

JILPT 資料シリーズ

No. 135 2014年3月

職業の現状と動向

— 職業動向調査(就業者Web調査)結果 —



独立行政法人 労働政策研究・研修機構
The Japan Institute for Labour Policy and Training

職業の現状と動向

— 職業動向調査（就業者Web調査）結果 —

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

The Japan Institute for Labour Policy and Training

まえがき

雇用や職業に関する課題は数多い。以前に比べ若者を巡る良好な雇用機会は減少していると言われているが、中小企業では必要な人材が確保できないところがあり、業界によっては慢性的な人手不足の分野も生じている。建設業界を見ると、これまで就業者が減少してきたが、震災からの復興需要に加え、社会インフラの維持、東京五輪関連の建設が見込まれることから、人材不足が問題になっている。経済のグローバル化により、海外から製品やサービスがもたらされ、一部事業者は海外に拠点を移す等、減少する仕事がある一方、増加する仕事もあり、新たな人材、新たな能力も求められている。

このような現状において、職業の世界を的確に把握できれば、様々な問題の解決に繋がるということが本研究の基本的な立場である。

当機構では職業の世界の状況について、これまでも調査研究を行い、結果を公表してきたが、今回は、個々の職業のリアルタイムの現状と職業の世界の変化に注目し、勤続状況、収入、時間等の労働条件、就業・雇用形態の他、仕事での自律性、対人関係、キャリアアップ、いわゆるコンピテンシー的な要素を含めた必要な能力・行動、生活面への影響等、これまで就業者から体系的に情報収集してこなかった側面を含め、就業者Web調査により広範に情報収集し、分析することとした。

これらの調査、分析結果をもとに、さらにデータを積み重ねることで、より多面的で信頼性のある職業情報の提供が可能となり、学生、生徒や教育機関、就職支援機関の的確な指針となること、また、職業の世界やその変化に関する知見が蓄積され、各種施策に貢献できることを念願している。

2014年3月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

理事長 菅野 和夫

執筆担当（執筆順）

氏名	所属	執筆担当章
松本真作	労働政策研究・研修機構 副統括研究員	第1章、第2章、 第3章、第4章
佐藤 舞	労働政策研究・研修機構 臨時研究協力員	第5章
安永正夫	労働政策研究・研修機構 臨時研究協力員	第6章、第8章
川崎友嗣	関西大学 教授	第7章
礪みず穂	労働政策研究・研修機構 副主任研究員	第9章
リン・シュナイパー	労働政策研究・研修機構 アシスタントフェロー*	
	元米国労働省 エコノミスト	補章1、補章2
	*執筆時点（平成25年5月まで）	

「職業動向調査（就業者 Web 調査）」企画検討研究会

松本安彦	労働政策研究・研究機構	キャリア支援部門	統括研究員
松本真作	労働政策研究・研究機構	キャリア支援部門	副統括研究員
西澤 弘	労働政策研究・研究機構	キャリア支援部門	主任研究員
礪みず穂	労働政策研究・研究機構	キャリア支援部門	副主任研究員

目次

第1章	はじめに	1
1.	職業情報とその必要性	1
2.	これまでの職業情報の収集	4
3.	本情報収集の検討	5
4.	調査結果と今後の課題	7
第2章	データ収集の目的と方法	9
1.	データ収集の目的	9
2.	データ収集の方法	9
第3章	収集データの基本属性、就業条件等	61
1.	収集データの職業別分布	61
2.	収集データの勤務先等	63
3.	収集データの個人属性等	65
4.	勤務時間、通勤時間	68
5.	まとめ:収集データについて	71
第4章	仕事の現状や状況	75
1.	趣旨と目的	75
2.	全体としての仕事の現状や状況	75
3.	業種別、職種別の仕事の現状や状況	78
4.	主成分分析、因子分析による仕事の現状や状況の検討	82
5.	仕事の現状や状況と職業満足、職業継続希望との関係	89
6.	生活面、必要な能力他、属性他を加えた職業継続希望、職業満足との関係	92
7.	仕事の現状や状況のまとめ	95
第5章	職業の量的変化と内容面の変化	97
1.	趣旨と目的	97
2.	人数等職業の量的な変化	98
3.	業種、職種別の量的な変化	102
4.	職業の内容面の変化	121
5.	業種、職種別の内容面の変化	122
6.	主成分分析、因子分析による内容面の変化の検討	129

7.	内容面の主成分得点からみた業種と職種	130
8.	量的変化と内容面の変化のまとめ	134
第6章	必要な能力等とその変化	135
1.	趣旨と目的	135
2.	全体としての必要な能力等	135
3.	業種別と職種別の必要な能力等	138
4.	主成分分析、因子分析による必要な能力等の検討	147
5.	必要な能力等のまとめ	154
第7章	職業の生活への影響と余暇	155
1.	趣旨と目的	155
2.	生活の現状や状況	156
3.	業種別と職種別の現状や状況	158
4.	主成分分析、因子分析による生活の現状や状況の検討	161
5.	生活の現状や状況と生活満足との関係	167
6.	余暇の過ごし方	168
7.	余暇の過ごし方の構造	175
8.	生活の現状や状況、余暇の過ごし方のまとめ	180
第8章	職業の変化の軸からの検討	
	—仕事の高度化、対人処理の重要化、成果主義化—	181
1.	趣旨と目的	181
2.	仕事の高度化	181
3.	対人処理の重要化	190
4.	成果主義化	196
5.	職業の変化のまとめ	201
第9章	職業相談・職業紹介における活用のための一定条件の下での職業の抽出と	
	職業プロフィールの記述(予備的作業)	203
1.	趣旨と目的	203
2.	分析の視点	203
3.	抽出された職業とプロフィール記述	207
4.	考察	238

補章1. 米国と英仏独の政府機関による職業情報	
—米国労働省『職業展望ハンドブック』を中心に—	249
補章2. 欧米の職業別雇用予測とインプリケーション	269

第1章 はじめに

1. 職業情報とその必要性

世の中の仕事には様々なものがあるが、これら仕事の内容を中心に類型化してまとめたものが職業と呼ばれる。通常、求職活動では、自分のしたい仕事（職業）をおおむね決めてから、具体的な求人情報にあたることになる。

職業は標準的な分類によって整理されている。これが職業分類であり、図表 1-1 に「厚生労働省編職業分類」の一部を示している。類似のものに産業分類がある。これは日本の産業が全体としてどのように構成されているかを示すものであり、図表 1-2 に「日本標準産業分類」の一部を示した。また、産業分野によっては、その中で別途の業種分類を設定しているケースもある。

図表1-1 厚生労働省編職業分類（H 生産工程の職業の中分類の一部）

49 生産設備制御・監視の職業（金属材料製造、金属加工、金属溶接・溶断）

小分類	細分類	該当例、非該当例
491 製鉄・製鋼・非鉄金属製錬設備制御・監視員	491-01 製鉄・製鋼設備制御・監視員	<p>該当例：鋳物用鉄溶融設備オペレーター、高炉オペレーター、製鋼設備オペレーター、製鉄設備オペレーター、造塊設備オペレーター、鋳鉄機オペレーター、電気炉オペレーター（製鋼）、転炉オペレーター（製鋼）、取へ精錬炉オペレーター、連続鋳造機オペレーター（製鋼）</p> <p>非該当例：圧延設備制御・監視員[499-02]、粉砕石焼結設備制御・監視員[499-99]、製鉄工[521-01]、製鋼工[521-02]、鋳物用鉄溶融工[521-03]、高炉保全工[601-04]、転炉保全工[601-04]、炉修工[712-02]</p>
	491-02 非鉄金属製錬設備制御・監視員	<p>該当例：鋳物用アルミ溶解設備オペレーター、多結晶シリコン精錬設備オペレーター、非鉄金属浸出・浄液設備オペレーター、非鉄金属電解設備オペレーター、非鉄金属溶融設備オペレーター、連続鋳造機オペレーター（非鉄金属）</p> <p>非該当例：金属焙焼設備制御・監視員[499-99]、半導体ウェハ一製造設備制御・監視員[502-02]、非鉄金属鋳込造塊工[522-01]、非鉄金属溶融炉工[522-01]、非鉄金属電解工[522-02]、半導体材料精錬工（多結晶シリコンなど）[522-03]</p>
492 鋳造・鍛造設備制御・監視員	492-01 鋳造設備制御・監視員	<p>該当例：鋳物製造設備オペレーター、造型機オペレーター、ダイカスト設備オペレーター</p>

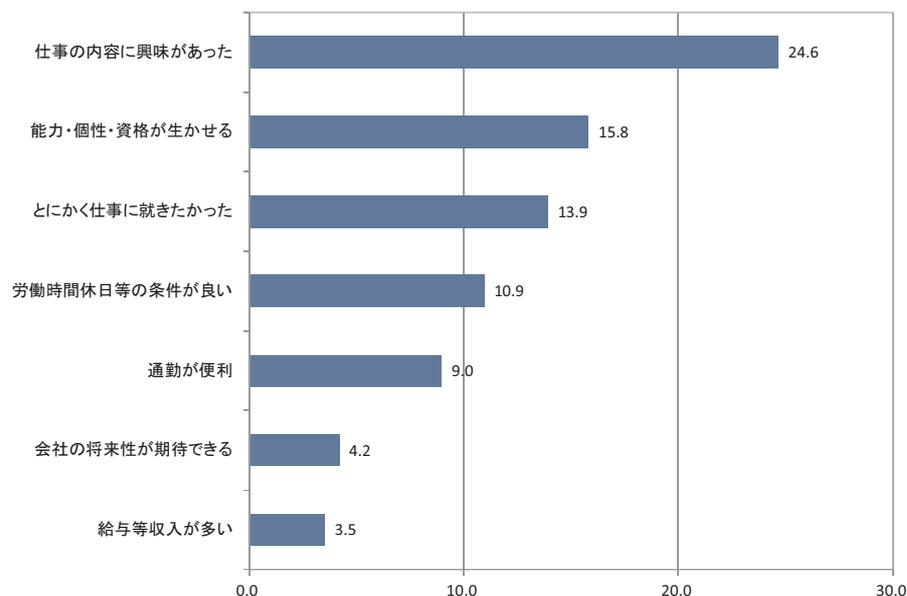
図表1-2 日本標準産業分類（大分類E 製造業の一部）

中分類	09	食料品製造業
	090	管理，補助的経済活動を行う事業所（09 食料品製造業）
	0900	主として管理事務を行う本社等
	0909	その他の管理，補助的経済活動を行う事業所
	091	畜産食料品製造業
	0911	部分肉・冷凍肉製造業
	0912	肉加工品製造業
	0913	処理牛乳・乳飲料製造業
	0914	乳製品製造業（処理牛乳，乳飲料を除く）
	0919	その他の畜産食料品製造業
	092	水産食料品製造業
	0921	水産缶詰・瓶詰製造業
	0922	海藻加工業
	0923	水産練製品製造業
	0924	塩干・塩蔵品製造業
	0925	冷凍水産物製造業
	0926	冷凍水産食品製造業
	0929	その他の水産食料品製造業

職業に関する情報は、前述の通り、まず、就職において必要である。執筆時点で最新の「雇用動向調査」の結果を図表 1-3 に示しているが、これによると現在の勤め先を選んだ理由として、「仕事の内容に興味があった」、「能力・個性・資格が活かせる」が第一位、第二位となっている。「雇用の構造に関する実態調査（転職者実態調査）」（厚生労働省,2006）においても、今の会社を選んだ理由として、「仕事の内容・職種に満足がいくから」、「自分の技術・能力が活かせるから」が第一位、第二位となっている（図表 1-4）。職業情報は個別の求人情報と並んで求職者が求職活動を行う際、まず必要とされる情報といえる。

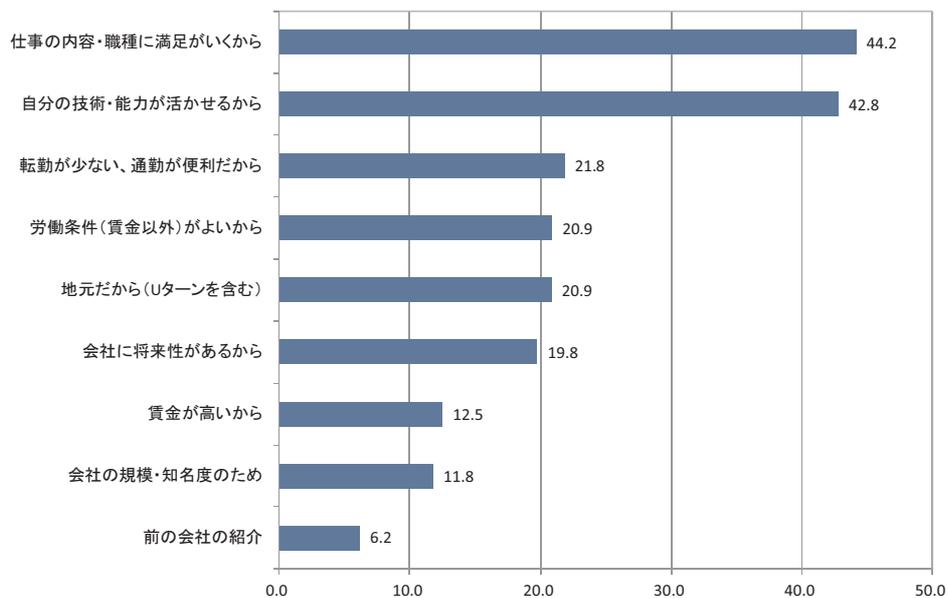
職業情報は膨大な求人を仕事の内容として整理する役割もある。ハローワークインターネットサービスではハローワークに集まる求人をインターネットで検索できるが、最近では、常時、約 80 万件から約 100 万件の求人がある。このような膨大な求人から求職者は仕事の内容、勤務地、給与、労働時間等によって、求人を絞り込むことになるが、先に調査結果を示したように、勤め先の選択において、様々な要件のなかで仕事の内容がまず重要なものとなっている。職種によって、求職者は探している求人を絞り込むことになり、求人側としても職種によって、どのような仕事をしてもらうかを示している。職業分類にはその職業の標準的な仕事内容の解説があり、職業名とその定義、解説によって、求職者、求人者、またその両者を仲介する紹介機関が情報交換しており、職業情報はこれらの間の共通言語の役割を果たしている。

図表1-3 現在の勤め先を選んだ理由（％、厚生労働省「雇用動向調査」2011）



図表1-4 今の会社を選んだ理由（3つまでの複数回答、％）

厚生労働省「雇用の構造に関する実態調査（転職者実態調査）2006」



キャリアコンサルティング、キャリアガイダンスにおいても職業情報は必要である。キャリアコンサルティング、キャリアガイダンスでは、まず、世の中に、またその地域にどのような職業があるかを知った上で、自分のしたいこと、自分の強みや自分の向き不向き等を検討し、自分の興味関心、強みを生かせる職業について具体的に検討するというステップが一般的である。

職業情報は国レベルの人材育成と人材配置のためにも有用であろう。例えば、日本においても震災からの復興に加え、東京五輪にかかわる建設も本格化するなか、建設人材の不足が顕著になっている。このような中では建設業にどのような仕事があり、どのような人材が必要かといった職業情報が政策の基礎として必要になっている。さらに、職業の世界における趨勢的变化が明らかになれば、今後の人材養成において有益な示唆が得られることになる。

法律（「職業安定法」）においても、職業情報に関連し以下のように記述されている（図表 1-5 のアンダーラインの部分）。

図表1-5 職業安定法（昭和二十二年十一月三十日法律第四十一号）

最終改正：平成二四年八月一日法律第五三号

第二章 職業安定機関の行う職業紹介及び職業指導

第一節 通則

（標準職業名等）

第十五条 職業安定主管局長は、職業に関する調査研究の成果等に基づき、職業紹介事業、労働者の募集及び労働者供給事業に共通して使用されるべき標準職業名を定め、職業解説及び職業分類表を作成し、並びにそれらの普及に努めなければならない。

第四節 学生若しくは生徒又は学校卒業者の職業紹介等

（学生生徒等の職業紹介等）

第二十六条 公共職業安定所は、学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）第一条に規定する学校（以下「学校」という。）の学生若しくは生徒又は学校を卒業した者（政令で定める者を除く。以下「学生生徒等」という。）の職業紹介については、学校と協力して、学生生徒等に対し、雇用情報、職業に関する調査研究の成果等を提供し、職業指導を行い、及び公共職業安定所間の連絡により、学生生徒等に対して紹介することが適当と認められるできる限り多くの求人を開拓し、各学生生徒等の能力に適合した職業に斡旋するよう努めなければならない。

○2 公共職業安定所は、学校が学生又は生徒に対して行う職業指導に協力しなければならない。

○3 公共職業安定所は、学生生徒等に対する職業指導を効果的かつ効率的に行うことができるよう、学校その他の関係者と協力して、職業を体験する機会の付与その他の職業の選択についての学生又は生徒の関心と理解を深めるために必要な措置を講ずるものとする。

2. これまでの職業情報の収集

これまで、職業に関する全般的情報は、主として各職業の関係団体等を訪問調査したり、その職業が見られる事業所を訪問し、収集されてきた。このような訪問調査によって、仕事の内容、必要な教育訓練、必要な免許資格、労働条件、等の情報を収集できる。しかし個別の職業の状況全般を把握している団体等が、すべての職業について存在しているとは限らない。このような中、国内で何百万という Web モニターを有する調査会社が出てきたことから、この Web モニターへの調査によって細かく職業を特定し、実際の就業者からデータを収集できるようになった。労働政策研究・研修機構（2012）の中では職業毎の就業者の興味、価値観、スキル、知識、仕事環境等の情報を収集し、また、最近では、職業の類似性等についても Web 調査を行っている。必要な免許資格に関しても、これまでは関係団体等から情報収集してきたが、様々な免許資格が登場し、どのような免許資格がどの程度、各職業に必

要かという情報は関係団体でも把握ができなくなってきたことから、「Web 免許資格調査」を実施し、その成果も労働政策研究・研修機構（2010）としてまとめている。

このように当機構では Web での職業情報収集は行っているところであるが、このような数万人の就業者から各職業の情報を収集することは、世界的にみても他の国では行われていない。

3. 本情報収集の検討

（1）情報収集の方針と設計

今回の情報収集では、Web モニターからこれまで情報収集してこなかった側面の情報収集を行うこととした。具体的には、リアルタイムの現状変化を捉えるものとして、勤続状況、収入、時間等の労働条件、就業・雇用形態の他、仕事での自律性、対人関係、能力発揮、キャリアアップ、いわゆるコンピテンシー面を含めた必要な能力・行動、生活への影響など、これまで就業者から直接情報収集してこなかった側面を含め、職業の現状と変化に関する情報を収集、分析することとした。

厚生労働省編職業分類では細分類レベルで約 500 の職業があるが、この中から主要な職業をカバーするよう、細分類をある程度まとめて、200 職業を選定し、この 200 職業について、各 120 名、計 24,000 名情報収集することとした。細分類をまとめた 200 職業に関して情報収集したが、もとの細分類でも職業が特定でき、細分類レベルでも集計できるようにしている。

（2）Web モニター調査について

これまで職業に関する情報を Web モニターから情報収集してきたが、世論調査等に関する Web モニターに関しては、様々なことが指摘されている。

一つは回答者の偏りである。PC を日ごろから使う者であることから、Web モニター調査では回答者の偏りとして、学歴が高くなり、大卒が多く、専門的技術職が多いとされる（萩原,2009）。

また、回答傾向の偏りも指摘されている。回答傾向として、不安・不満が強く、日本型雇用慣行（長期雇用、年功賃金など）に否定的な共通の傾向がみられるとされ（労働政策研究・研修機構,2005）、満足度や生活満足度に関して不満意識が強いという傾向も指摘されている（松田,2006）。内閣府大臣官房政府広報室（2006）では、訪問面接調査とインターネットモニター調査で回答結果を比較し、生活満足度や生活充実感などの意識設問が、訪問面接調査と大きく異なるとされている。

ただし、回答傾向の偏りに関しては、「意識設問については差が残ったままだが、就業実態に関する設問や、経験や行動に関する設問は、差がない」（萩原,2009）との指摘や、「調査回答者の偏りはインターネットモニターだけの問題ではなく、もはや、従来型調査手法で

も発生していることが明らかになった。また、設問のタイプによっては、調査間で差がないことも検証した。」（萩原,2009）とされている。

Web モニター調査は、職業情報の収集手段としてはこれまでにないものであり、代替できないものであるが、以上のような指摘に注意を払う必要もある。

（3）本調査独自の問題

今回の情報収集では本調査独特の問題もある。それは職業の選択が正しく行われているかという問題である。数百の職業から自分の職業を選択することは中々難しい作業である。また、回答するために、職業のなりすましといった点も懸念される。

そこで今回の調査では冒頭、図表 1-6 のような記述を行い、職業の選択を時間をかけて慎重に行ってもらおうよう促した。また、この表示に続き、職業を選択した次の設問で(図表 1-7)、職業の内容を記述してもらい、その職業についていないと回答できないことから、なりすましや選択ミスがないようにしている。さらに、該当職業ではない者や、すでに必要数が集まっている職業の場合にはそこで終了となるが、全員に途中までは回答してもらうことによって、選択した職業によって門前払いされたという印象がないようにした。

ただし、冒頭、このように慎重に回答を促す注意喚起や、自由記述があることによって、調査の最初の画面を見て止めてしまう者が多くなり、回答率は低下している。この回答率の低下は、調査のお知らせをより多くのモニターに発送することで対応している。

図表1-6 調査冒頭での注意喚起

今回のアンケートは独立行政法人 労働政策研究・研修機構の「職業動向調査（Web 調査）」です。この調査は、職業毎の現場の現状や変化をそれぞれの職業に就いている方にお聞きするものです。職業の現場の現状や変化を把握するための重要な調査です。

最初に、ご自分の職業を選んでいただきます。選んだ職業について、以下、細かくお聞きします。この職業の選択の部分が間違っていると、以下の回答がすべて無効になってしまいますので、職業の選択は時間をかけて、しっかり選択してください。

図表1-7 調査冒頭での職業内容の記述

あなたの現在の職業は ○○○○○○

ご自分の職業は具体的にはどのようなことをしますか。どのようなことをする職業かポイントを簡潔にお書きください。（自由記述）

例) ・システム開発でチームをまとめプロジェクトを推進する。

- ・福祉施設で高齢者の介護をする。
- ・書店で書籍や雑誌の配架や販売をする。
- ・パソコンを組み立てる。
- ・大量生産のための金型を製作する。
- ・会社の営業部門を統括する。

(4) 訪問調査等との相互補完

Web 調査は広範に情報収集することができる。しかしながら、Web 調査ではまったく新たな枠組みでの情報収集はできないという限界がある。約 500 の職業細分類レベルで職業を用意し調査しているが、この職業以外に新しい職業があったとしても、その職業に関しては情報収集できない。また、今回は職業の現状や変化といった側面を調べることとし、数多くの設問を用意したが、この設問以外の情報も得ることはできない。例えば、用意した項目以外に変化が見られるものがあっても、その情報を得ることはできない。このような新たな枠組みや新たな観点からの情報、また、Web 調査では収集できないような文脈的にまとまりのある情報や、当該職業、業界に詳しい人の深い知識、経験に基づく詳細な情報などについては、従来のような業界団体、職業団体を訪問するなどの「足で稼ぐ」情報収集が引き続き必要である。

4. 調査結果と今後の課題

今回のデータ収集では職業細分類をある程度集約した 200 職業に対して、その職業の従事者各 120 名を収集することを目標にデータ収集した。200 職業を各 120 名で、24,000 名となるが、全体では 26,586 名収集できた。200 職業のうち 120 名以上収集できたのが 162 職業であり、100 名以上収集が 167 職業、50 名以上収集が 192 職業となっている。最も少ない職業でも 23 名収集できた。200 職業を偏りなく集める点に関しては、目標に沿った収集ができたといえる。

業界や職業に関しては世の中には様々な情報があるが、主観的であったり、断片的であったり、また、事例的な情報であるものが多い。このような情報から業界や職業に対する印象やイメージが形成されているといえる。今回の調査では職業細分類レベルの各職業の就業者から直接、仕事の現状や変化に関して、多様な側面から一定量のデータを収集することで、各職業の状況を把握することができた。また、職業の現状や変化において、どのような要素がありその要素が相互にどのような関係があるかみることができ（主成分分析や因子分析での検討）、職業継続希望や職業満足に対して、各要素がどのように関係しているかみることができた（回帰分析での検討）。生活面への影響についてみるとともに、「仕事の高度化」、「対人処理の重要化」、「成果主義化」のような職業の世界における変化の軸を設定し分析することで一定の知見を得ることもできた。さらに、今回の調査結果に基づいて、職業相談、職業紹介での対応が必要となる転職者を想定し、そのニーズに合致しつつ、長期の準備や実務経験なしでも現実的に転職可能と考えられる職業を抽出し、職業プロフィールを描くという試みも行い、そのようなアプローチの現実的な可能性を示すこともできた。

しかしながら、今回の調査、分析結果の利用、活用については次のような課題がある。他の職業に関する Web 調査はこれまでも行ってきたが、今回の内容については初めての試みである。今回の調査結果はかなり妥当で安定性もあると思われるが、まずは同様の調査

を再度行い、妥当性、信頼性を検証し、収集情報や分析結果をより確実にした上で、さらに種々の視点から検討を行い、職業情報として提供したり、職業の変化に関する知見として活用することが必要であると考えられる。

今後、同様の調査を定期的実施すれば、職業の世界の現状や変化を、趨勢としていち早くとらえることができる可能性もある。定期的な実施を検討しても良いのではないだろうか。

なお、最近、ビッグデータの社会的な活用が話題になることが多い。今回は Web モニターから情報収集したが、膨大な量になっているブログやツイッターでの情報を収集整理し、分析することによって、また、行政が保有する情報を分析することによって、職業世界の現状や変化を捉えることも可能であろう。今後、このような方法での情報収集も検討していく必要がある。

文 献

- 萩原牧子 (2009). インターネットモニター調査はどのように偏っているのか—従来型調査手法に代替する調査手法の模索— Works Review Vol.4
- 松田映二 (2006). 世論調査報告 長野県知事選挙 郵送・インターネット比較調査で世論調査の可能性を探る 朝日総研レポート No.198
- 内閣府 (2009). 世論調査におけるインターネット調査の活用可能性—国民生活に関する意識について 内閣府大臣官房政府広報室
- 労働政策研究・研修機構 (2005). インターネット調査は社会調査に利用できるか—実験調査による検証結果— 労働政策研究報告書 No.17
- 労働政策研究・研修機構 (2010). 我が国における職業に関する資格の分析— Web 免許資格調査から— 労働政策研究報告書 No.121
- 労働政策研究・研修機構 (2012). 職務構造に関する研究—職業の数値解析と職業移動からの検討— 労働政策研究報告書 No.146

第2章 データ収集の目的と方法

1. データ収集の目的

当機構ではこれまでも職業に関する情報を Web 調査から収集してきている。①職業毎の興味、価値観、スキル、知識、仕事環境等について、約2万5千名の実際の就業者より、職業の特性を数値化する研究を行い（報告書 No.146「職務構造に関する研究—職業の数値解析と職業移動からの検討—」）、②職業に必要な免許資格の調査も約5万名の就業者で行っている（報告書 No.121「我が国における職業に関する資格の分析—Web 免許資格調査から—」）。また、③職業の DPT と基本業務を一通りこなせるようになるまでの期間に関する研究も進めている。

このような Web での情報収集と並行して、④関連する団体等のヒアリングを行い、業界や職業の構造的な変化やダイナミックな動向に関する情報収集も行ってきた。

これらを踏まえ、今回の調査では勤続状況、収入、時間等の労働条件、就業・雇用形態の他、仕事での自律性、能力発揮、対人関係、キャリアアップ、また、いわゆるコンピテンシー的な要素を含めた必要な能力・行動、生活への影響等、これまで就業者から情報収集してこなかった側面を含め、リアルタイムの各職業の現状、各職業の変化を捉えることとした。

このため、インターネットモニターとして登録されている各職業の実際の就業者より、主要な約200職業を対象に各職業120サンプルを目標に収集することとした。結果は業種、職種（厚生労働省編職業分類での職業大分類）等で集計するとともに、個別の職業毎に集計・分析し、職業毎の現状と変化をとらえることとした。職業の現場の現状や変化をこのような形で捉えようとするのは、これまでにない試みであり、Web 調査の特徴を生かした新たな職業情報の収集方法の開発といえる。また、この方法により、よりタイムリーな職業や職場の状況や変化が把握でき、それを広く提供できることになる。

2. データ収集の方法

具体的な調査方法に関しては以下の通りである。

（1）調査対象職業

章末の資料1「調査対象職業一覧」に示しているが、厚生労働省編職業分類（平成22年改定版）の細分類（566職業）より、調査対象を選定し（資料1の「採否・集約職業名」欄に○のもの）、これを類似していると考えられる職業毎に集約し、200職業としている。具体的にどのように集約しているかは資料1「調査対象職業一覧」の「採否・集約職業名」欄の通りである。これにより調査対象職業の構成は図表2-1のようになっている。

調査では自分の現職を細分類で選択してもらい、この細分類が含まれる集約200職業において、それぞれが120名になることを目標に収集した。

図表 2-1 調査対象職業の構成

分類	職業大分類	中分類	細分類	調査対象 細分類	非対象 細分類	集約 200 職業	
A	管理的職業	3	6	0	(6)	0	
B-1	研究者、技術者	7	54	45	(9)	31	
B-2	専門的職業	13	119	51	(68)	40	
C	事務の職業	7	60	32	(28)	23	
D	販売の職業	3	55	33	(22)	32	
E	サービスの職業	8	63	31	(32)	24	
F	保安の職業	3	15	0	(15)	0	
G	農林漁業の職業	3	10	6	(4)	5	
H	生産工程の職業	8	92	60	(32)	23	
I	輸送・機械運転の職業	5	31	15	(16)	7	
J	建設・採掘の職業	5	25	12	(13)	8	
K	運搬・清掃・包装等の職業	4	36	9	(27)	7	
		計	69	566	294	272	200

(2) 調査内容

調査内容は以下の通りである。設問と選択肢は章末の資料2「職業動向調査（Web調査）設問と選択肢一覧」に掲載している。また、調査実施のWeb画面は章末の資料3「職業動向調査（Web調査）調査画面」にある。

1. 職歴 初職、前職、現職
2. 現職の具体的な呼称
3. 現在の職業で使うもの（機器やソフトウェア、情報）
4. 職業の変化 増加減少等変化 18問 その他変化 28問
5. 職業の変化 自由記述
6. 職業の現状 18問
7. 職業の現状 自由記述
8. 職業面の満足度 100点満点
9. 生活の状況 12問
10. 生活の状況 自由記述
11. 生活面の満足度 100点満点
12. 休日や余暇の過ごし方（現在していること）
13. 休日や余暇の過ごし方（したいけれども「できていない」こと）
14. 現在の職業に必要な行動や能力（特に必要なもの）
15. 現在の職業に必要な行動や能力（最近重要になっているもの）
16. 就業時間 開始 昼休み 終了
17. 残業、定時帰宅の状況

18. 賃金・報酬 現在の職業からの収入（年収概算）
19. 勤務先（組織の種類、従業員数、業種・業界、雇用形態、職位、勤務先の場所、就業期間）
20. 回答者属性（性別、年齢、既婚未婚、子供有無、家計担い手、通勤時間、学歴）

（3）調査対象者

調査会社に調査モニターとして登録している有職者（学生、専業主婦、無職、以外）を対象とした。さらに調査冒頭、雇用形態として、「正規の職員、従業員」、「パート」、「派遣社員」、「契約社員、期間従業員、嘱託」、「自営、フリーランス」、「経営層」、「アルバイト（学生以外）」、「アルバイト（学生）」、「学生」、「専業主婦」、「無職（退職者、求職中等を含む）」を選択してもらい、「アルバイト（学生）」以降は調査対象外とした。

また、先に述べたように集約 200 職業において、すでに 120 名データが集まっている職業を選択した場合も調査対象外となるが、回答しようとした者はすべて SC7「職業の呼称」（章末資料 2）までは回答してもらうこととした。この設問までも回答者へ付与されるポイントは同じであり、調査での門前払いの印象を避けるためにこのようにした。

（4）調査の経過

2013 年 10 月 8 日（火曜）から調査モニターに調査の案内を配信した。毎日 2 万件程度の割合で、調査会社の登録情報として、学生、専業主婦、無職を除き配信したが、先に述べたように調査の冒頭でも有職者であることを、雇用形態の設問で確認している。この配信は 10 月 19 日（土曜）まで行い、21 日（月曜）までに回収できたものをデータとした。この配信においては、多くの回答が期待される土日、休日には多めに配信している。また、途中、集約 200 職業でデータの集まりが悪い職業に関して、調査会社の登録情報をもとにこのような職業に就いていることが考えられる 5,000 名に配信している。総配信数は 1,575,000 件となった。

スクリーニングを含めた総回収数は 152,139 名となる。総配信数に対する総回収数は 9.7% である。調査の冒頭で細かい職業細分類（566 職業）より職業を選択したり、その職業がどのようなことをするか記述したりする部分があり、回答が少なかったものと考えられる。

集約 200 職業に対して、26,598 名収集できたが、全問回答しているものの（全問回答しないと送信できない）、自由記述部分が文章になっていない等、回答内容が明らかに不自然なもの 12 名を除き、以下、26,586 名を対象として分析している。

資料1 調査対象職業一覧

No	大分類	No	中分類	No	細分類 (コメント付き)	採否・集約職業名	通番	集約数番		
A	管理的職業	02	法人・団体の役員	02101	会社役員	×	1	999		
				02199	会社以外の法人・団体の役員 (独立行政法人、公益・一般法人、経営者団体、学校、組合など)	×	2	999		
				03101	法人・団体の管理職員	×	3	999		
				03902	社会福祉施設管理者 (老人福祉施設・障害者福祉施設・児童福祉施設の長)	×	4	999		
				03999	会社以外の法人・団体の管理職 (節理長) (独立行政法人、公益・一般法人、協同組合、経営者団体、学校など)	×	5	999		
		B-1	研究者、技術者	04	個人事業主	04999	個人事業主 (主に経営・管理の仕事に従事する小売店、飲食店・旅館などの事業主および個人事業の店長・支配人)	×	6	999
						05101	理学研究者 (教育活動に従事する大学教員を除く) (物理的・化学的・生物学的な自然科学的事象の試験・研究)	○	7	1
						05102	工学研究者 (教育活動に従事する大学教員を除く) (製品開発、技術開発、技術改良のための試験・研究)	↑	8	1
						05103	農学・林学・水産学研究者 (教育活動に従事する大学教員を除く) (農林水産学に関する専門的・科学的な試験・研究)	↑	9	1
						05104	医学研究者 (教育活動に従事する大学教員を除く) (医学・薬学の基礎的・理論的な試験・研究)	↑	10	1
		06	農林水産技術者	05105	人文科学研究者 (教育活動に従事する大学教員を除く) (人文科学の専門的知識にもとづく調査・研究)	○	11	2		
				05106	社会科学研究者 (教育活動に従事する大学教員を除く) (社会科学の専門的知識にもとづく調査・研究)	↑	12	2		
				06100	農林水産技術者 (農業・畜産・林業・水産業の普及指導員など)	○	13	3		
				07101	食品技術者 (開発業務)	○	14	4		
				07201	電気・電子・電気通信技術者 (開発業務：設計)	○	15	5		
				07299	電気・電子・電気通信技術者 (開発業務：設計を除く)	○	16	5		
				07301	機械技術者 (開発業務：設計) (金型・工具等の器具、プラント等の設備の設計を含む)	↑	17	6		
				07399	機械技術者 (開発業務：設計を除く)	○	18	6		
				07401	自動車技術者 (開発業務：設計)	○	19	7		
				07499	自動車技術者 (開発業務：設計を除く)	↑	20	7		
		07	製造技術者 ⇒開発・製造技術者	07501	鉄道車両・船舶・航空機技術者 (開発業務)	×	21	999		
				07601	金属製錬・金属材料技術者 (開発業務) (製錬、精錬、圧延、鋳造、鍛造、熱処理、表面処理、合金など)	○	22	8		
				07701	化学技術者 (開発業務) (石油製品、プラスチック製品、化学繊維、医薬品、化粧品、塗料、化学肥料、油脂製品など)	○	23	9		
				07901	窯業技術者 (開発業務) (ガラス、セメント、ファインセラミックス、陶磁器、耐火物、研磨材など)	×	24	999		
				08101	食品技術者 (製造業務)	(07101食品技術者 (開発業務) と統合)	25	4		
				08201	電気・電子・電気通信技術者 (生産技術業務)	○	26	10		
				08202	電気工事施工管理技術者	×	27	999		
				08299	電気・電子・電気通信技術者 (製造業務：生産技術を除く)	(08201生産技術と統合)	28	10		
				08301	機械技術者 (生産技術業務)	○	29	11		
				08399	機械技術者 (製造業務：生産技術を除く)	↑	30	11		
		08	製造技術者 ⇒開発・製造技術者	08401	自動車技術者 (生産技術業務)	○	31	12		
				08499	自動車技術者 (製造業務：生産技術を除く)	↑	32	12		
				08501	鉄道車両・船舶・航空機技術者 (製造業務)	×	33	999		
				08601	金属製錬・金属材料技術者 (製造業務) (製錬、精錬、圧延、鋳造、鍛造、熱処理、表面処理、合金など)	(07601開発と統合)	34	8		
				08701	化学技術者 (製造業務) (石油製品、プラスチック製品、化学繊維、医薬品、化粧品、塗料、化学肥料、油脂製品など)	○	35	13		
				08702	分析化学技術者	↑	36	13		
				08901	窯業技術者 (製造業務) (ガラス、セメント、ファインセラミックス、陶磁器、耐火物、研磨材など)	×	37	999		
				09101	建築技術者 (設計業務)	○	38	14		
				09102	建築施工管理技術者	○	39	15		
				09201	土木技術者 (設計業務)	○	40	16		
		09	建築・土木・測量技術者	09202	土木施工管理技術者	○	41	17		
				09301	測量士	○	42	18		
				09398	測量士補	↑	43	18		

17	法務の職業	16202 障害者福祉施設専門員 (職業指導員、生活支援員など)	○障害者福祉施設専門員	90	45		
		16203 児童福祉施設専門員 (児童指導員、児童生活支援員、母子指導員、少年指導員など)	×	91	999		
		16301 保育士	○保育士 [30職業のひとつ]	92	46		
		16901 介護支援専門員 (ケアマネージャー)	○介護支援専門員 (ケアマネージャー)	93	47		
		16902 医療ソーシャルワーカー (MSW、PSW)	○医療ソーシャルワーカー (MSW、PSW)	94	48		
		16999 福祉用具専門相談員	×	95	999		
		17101 裁判官	×	96	999		
		17201 検察官	×	97	999		
		17301 弁護士	×	98	999		
		17401 弁理士	×	99	999		
		17501 司法書士	×	100	999		
		17901 土地家屋調査士	×	101	999		
		18	経営・金融・保険の職業	18101 公認会計士	×	102	999
				18201 税理士	○税理士	103	49
				18301 社会保険労務士	×	104	999
				18401 金融専門職 (証券アナリスト、ファンドマネージャ、クオオンツ、金融商品開発業務など)	○金融専門職	105	50
18402 保険専門職 (アクチュアリー、保険商品開発業務など)	×			106	999		
18901 経営コンサルタント (中小企業診断士など)	○経営コンサルタント			107	51		
18999 ファイナンシャル・プランナー	○ファイナンシャル・プランナー			108	52		
19	教育の職業			19101 幼稚園教員	○幼稚園教員	109	53
				19201 小学校教員	○小学校教員	110	54
				19301 中学校教員	○中学校教員	111	55
				19401 高等学校教員	○高等学校教員	112	56
				19501 中等教育学校教員	×	113	999
				19601 特別支援学校教員	○特別支援学校教員	114	57
				19701 高等専門学校教員	×	115	999
				19801 大学教員	○大学教員	116	58
				19901 専修学校教員	○専門学校 (専修学校・各種学校) 教員	117	59
		19902 各種学校教員 (予備校、服飾、料理、語学、自動車教習所、サポーター校など)	↑	118	59		
		19903 職業訓練指導員 (公共職業能力開発施設、認定職業訓練施設など)	×	119	999		
		19904 研修施設教員 (会社・国・地方自治体などの研修施設)	×	120	999		
		20101 宗教家	×	121	999		
		21	著述家、記者、編集者	21101 文芸家 (詩歌・戯曲・小説・随筆などの創作)	×	122	999
				21102 翻訳者	×	123	999
				21103 コピーライター	×	124	999
21201 新聞記者	○新聞・雑誌・放送記者・ライター			125	60		
21202 雑誌記者	↑			126	60		
21203 テクニカルライター、マニュアルライター	↑			127	60		
21204 放送記者	↑			128	60		
21299 スポーツライター、トラベルライター	↑			129	60		
21301 新聞編集者	○新聞・雑誌・図書編集者			130	61		
21302 雑誌編集者	↑			131	61		
21303 図書編集者	↑			132	61		
21399 映像編集者	○映像編集者			133	62		
22101 彫刻家	×			134	999		
22201 画家、書家	×			135	999		
22	美術家、デザイナー、写真家、映像撮影者						

23	音楽家、舞台芸術家	22202 漫画家	×		136	999
		イラストレーター	×	イラストレーター	137	63
		22301 工芸美術家 (陶芸、漆工芸、染織工芸、金属工芸、ガラス工芸など)	×		138	999
		22401 グラフィックデザイナー (広告、ポスター、包装紙などのデザイン)	○	グラフィックデザイナー	139	64
		22402 WEBデザイナー (インターネット上のウェブサイトの制作)	○	WEBデザイナー [30職業のひとつ]	140	65
		22403 ディスプレーデザイナー (展示場、ショールーム、ショーウィンドウなどのディスプレイのデザイン)	×		141	999
		22404 工業デザイナー (工業製品のデザイン) (生活用品のデザイン (クラフトデザイナー) を含む)	×		142	999
		22405 インテリアデザイナー (建物の室内空間のデザイン、家具・照明器具などのインテリア用品のデザイン)	×		143	999
		22406 服飾デザイナー (洋服、帽子、靴などのデザイン)	×		144	999
		22499 ジュエリー・アクセサリーデザイナー	×		145	999
		22499 CGデザイナー (コンピュータグラフィックスによる画像や図形のデザイン)	×		146	999
		22501 写真家 (営業写真家、商業カメラマン、報道カメラマンなど)	○	写真家 (助手含む)	147	66
		22502 テレビカメラマン、動画カメラマン	×		148	999
		22598 写真家助手、カメラマン助手		(写真家と統合)	149	66
		23101 音楽家 (作曲者、指揮者、演奏家、声楽家など)	○	音楽家	150	67
		23201 舞踏家 (ダンス、バレエ、日本舞踊)	×		151	999
		23301 俳優 (声優を含む)	×		152	999
		23401 プロデューサー (映画・演劇・テレビ番組などの企画・制作)	×		153	999
		23402 演出家 (映画・演劇・テレビ番組などの演出) (照明、美術などの監督、アシスタントディレクターを含む)	×		154	999
		23501 演芸家 (落語、漫才、手品、腹話術、曲芸、浪曲、講談など)	×		155	999
		24101 図書館司書 (司書教諭を除く)	×		156	999
		24201 学芸員 (博物館、美術館など)	×		157	999
		24301 学生カウンセラー (学校の児童・生徒・学生を対象にしたカウンセリング)	○	カウンセラー (学校・職場)	158	68
24302 職場カウンセラー (事業所の従業員を対象にしたカウンセリング)	↑		159	68		
24303 職業相談員 (求職者を対象にしたカウンセリング・職業相談)	×		160	999		
24401 学習塾教師 (フランチャイズ教室の運営・学習指導を含む)	○	学習塾教師	161	69		
24402 パソコン教室教師	○	パソコン教室教師	162	70		
24403 スポーツクラブ指導員 (スポーツインストラクター)	×		163	999		
24499 個人教師 (音楽、語学、茶道、生花、書道、アウトドア活動など)	×		164	999		
24601 無線通信員 (総合無線通信士、海上無線通信士、航空無線通信士)	×		165	999		
24602 テレビ・ラジオ放送技術員 (無線通信設備による電波の送受信)	×		166	999		
24603 有線放送技術員 (有線通信設備による通信操作、音響・映像の送受信)	×		167	999		
24699 航空管制官	×		168	999		
24901 行政書士	×		169	999		
24902 不動産鑑定士	×		170	999		
24903 テレビ・ラジオアナウンサー (アナウンサー、司会者、天気予報解説者など)	×		171	999		
24904 通訳 (手話通訳を含む)	×		172	999		
24905 速記者	×		173	999		
24906 ビデオ調律師	×		174	999		
24907 馬調教師、犬訓練士	×		175	999		
24908 通関士	×		176	999		
24N01 リサーチアドミニストレーター	○	リサーチアドミニストレーター (30職業のひとつ)	177	71		
24999 特許サチャー	×		178	999		
24999 プロデューサー・ディレクター (広告、web、ゲーム、音楽CD、出版、イベントなど)	×		179	999		
25101 総務事務員 (庶務、文書、資産管理、株式関連など)	○	総務事務員	180	72		
25102 広報事務員	○	広報事務員	181	73		

C 事務の職業

26	会計事務の職業	25201	人事係事務員 (採用、評価、給与、福利厚生、労務など)	人事係・教育・研修係事務員	182	74
		25202	教育・研修係事務員	↑	183	74
		25301	企画係事務員 (商品企画を除く) (販売促進、販売企画、店舗開発、経営企画、営業企画、イベント企画など)	○企画係事務員 (商品企画を除く)	184	75
		25302	商品企画・商品開発係事務員 (新商品の企画・開発)	○商品企画・商品開発係事務員	185	76
		25303	マーケティングリサーチ (市場調査の企画、調査結果の分析など)	×	186	999
		25401	会社・団体受付係	○受付係	187	77
		25499	受付係 (会社・団体受付を除く) (図書館カウンター受付、自動車整備工場フロント、ショールーム受付、銀行店頭案内など)	↑	188	77
		25501	秘書	○秘書	189	78
		25601	電話交換手	×	190	999
		25602	コールセンターオペレーター (電話による、通信販売の注文受付、宿泊などの予約受付、商品に関する問い合わせ対応、苦情・相談受付など)	○コールセンターオペレーター・テレフォニアポインター	191	79
		25603	テレフォニアポインター (電話による、商品・サービスの紹介・勧誘・訪問予約など)	↑	192	79
		25701	一般事務員 (文書作成、書類整理、帳簿記帳、電話対応、来訪者受付などの各種の事務)	○一般事務員	193	80
		25801	医療事務員 (医療機関、調剤薬局)	○医療事務員	194	81
		25802	介護事務員	×	195	999
		25901	通信販売受付事務員 (ECサイトの運営業務) (注文受付、問い合わせ対応、サイトへの商品登録など)	×	196	999
		25902	診療録係員	×	197	999
		25999	法務係事務員 (知的財産権の管理、契約の審査など)	○法務係事務員	198	82
		25992	法律事務所事務員 (法律業務に付随する書類作成、文献調査、資料収集・分析など)	○法律事務所事務員	199	83
		25991	学校事務員 (総務・人事・財務・福利厚生など学校経営資源の管理)	○学校事務員	200	84
		26101	現金出納事務員 (現金・小切手等の受払、租税・社会保険料・電気・ガス・水道・電話料金等の徴収・収納、飲食店会計係)	○会計・経理事務員	201	85
		26201	銀行窓口事務員 (銀行、信用金庫、信用協同組合、農業協同組合、郵便局貯金窓口などにおける現金・小切手などの受払)	↑	202	85
		26301	経理事務員 (公認会計士事務所・税理士事務所における会計業務を含む)	↑	203	85
		26901	予算係事務員 (収支予算案の編成)	↑	204	85
		26902	物品購買事務員 (消耗品・備品の調達、管理など)	↑	205	85
		26903	原価計算事務員 (見積係員 (建設工事などの費用の積算))	↑	206	85
		26999	財務事務員 (資金の調達・運用、資産・負債・損益の管理など)	↑	207	85
27	生産関連事務の職業	27101	生産・工程管理事務員 (工場) (原材料・部品の調達、原価管理、工程管理、在庫管理など)	○生産・工程管理事務員	208	86
		27200	倉庫事務員 (資材・製品の受け入れ、検品、保管、発送など)	×	209	999
		27201	クリーニング注文受付人	×	210	999
		27202	検収・検品係員 (製品・資材などの検収・検品)	×	211	999
		27203	保管・管理係員 (工場・倉庫などで機械・商品・資材の受け入れ、保管、管理)	×	212	999
		27204	出荷・発送係員 (送り状・納品書の作成など)	×	213	999
28	営業・販売関連事務の職業	28101	商品仕入係事務員 (内勤) (販売用商品の仕入れ業務)	○商品仕入係事務員 (内勤のもの)	214	87
		28102	カウンター係 (旅行・宴会・結婚式などの紹介・相談)	○カウンター係 (旅行・宴会・結婚式などの紹介・相談)	215	88
		28103	営業事務員	○営業事務員	216	89
		28104	貿易事務員	○貿易事務員	217	90
		28105	金融事務員 (貸付調査、融資、有価証券売買事務など)	○金融事務員	218	91
		28106	保険事務員 (物損事故調査、損害査定、保険金支払い、郵便局保険窓口など)	○保険事務員	219	92
		28991	労働者派遣コーディネーター	×	220	999
29	外勤事務の職業	28992	中古自動車査定員	×	221	999
		28993	チェーン店スーパーバイザー (店舗巡回指導員)	×	222	999
		29101	集金人 (新聞、公衆電話、コインパーキングなど)	×	223	999
		29201	訪問調査員 (市場調査、統計調査、世論調査など)	×	224	999
		29901	検針員 (電気、ガス、水道など)	×	225	999
		29999	車庫調査員 (自動車保管場所の現地調査など)	×	226	999
30	運輸・郵便事務の職業	30101	運輸出改札・旅客係 (駅務員、航空旅客係、船客案内係など)	×	227	999

D	販売の職業	31	事務用機器操作の職業	30102 有料道路料金収受員	×		228	999
			30103 貨物係（航空機、船舶、鉄道、自動車）	×		229	999	
			30201 鉄道運行管理事務員（車両の管理、運転計画の作成、運転状況の把握など）	×		230	999	
			30202 トラック運送事務員（運転・配車計画の作成、運行管理など）	×		231	999	
			30203 タクシー配車オペレーター	×		232	999	
			30204 船舶運航管理事務員	×		233	999	
			30205 航空運航管理事務員（ディスプレイャー）	×		234	999	
			30301 郵便窓口事務員（郵便物の引き受け、印紙・切手・はがきの販売など）	×		235	999	
			30302 郵便内務事務員（郵便物の仕分け・継送）	×		236	999	
			31101 パソコンオペレーター（パソコンによる文書作成、データ処理など）	○	パソコンオペレーター	237	93	
			31201 データ入力係員	○	データ入力係員	238	94	
			31301 電子計算機オペレーター（汎用コンピュータ、オフィスコンピュータなど）	×		239	999	
			32101 コンビニエンスストア店長（主に販売の仕事に従事するもの）	○	コンビニエンスストア店長（主に販売の仕事に従事するもの）	240	95	
			32199 小売店長（主に販売の仕事に従事するもの）（スーパー、家電量販店、ドラッグストア、ホームセンター、衣料品小売店など）	○	小売店長（コンビニ以外、主に販売の仕事に従事するもの）	241	96	
			32201 卸売店長（主に販売の仕事に従事するもの）（飲食料品、建築資材、繊維製品、雑貨、書籍、出版など）	×		242	999	
			32N01 ネットショップ責任者（ネットショップ店長）	○	個人営業の一部 ECサイト営業〔30職業のひとつ〕	243	97	
			32301 レジ係（小売店）	○	レジ係（小売店）	244	98	
			32302 デパート店員	○	デパート店員	245	99	
			32303 コンビニエンスストア店員	○	コンビニエンスストア店員	246	100	
			32304 身の回り品販売店員（衣料品、かばん、靴、鞆具など）	×	（品目・業態が拡散しすぎ）	247	999	
			32305 飲食料品販売店員（コーヒーションップ、ハンバーガーショップ、ベーカリーショップなど）	×	（品目・業態が拡散しすぎ）	248	999	
			32306 中古車販売員	×		249	999	
			32307 家庭用電気機器販売店員（家電量販店、電器店）	○	家庭用電気機器販売店員	250	101	
			32308 医薬品登録販売者	○	医薬品登録販売者	251	102	
			32309 ガソリンスタンド・スタック（ガソリン・軽油・灯油の販売、車の点検、洗車など）	○	ガソリンスタンド販売員	252	103	
			32310 スーパーマーケット店員	○	スーパーマーケット店員	253	104	
			32311 化粧品販売員	○	化粧品販売員	254	105	
			32391 携帯電話販売員	○	携帯電話販売員	255	106	
			32392 書店員、古書店員、文房具小売店員	×		256	999	
			32393 眼鏡販売店員	○	眼鏡販売店員	257	107	
			32394 フラワーショップ店員	○	フラワーショップ店員	258	108	
			32395 ホームセンター店員	○	ホームセンター店員	259	109	
			32401 卸売販売店員（飲食料品、魚介・野菜・果物、花き、建築資材、繊維製品、雑貨、書籍、出版など）	○	卸売販売店員	260	110	
32402 商品実演販売員	×		261	999				
32501 商品訪問販売員（化粧品、家庭配剤薬、布団など）	○	商品訪問販売員	262	111				
32502 移動販売員（列車内販売、自動車等の移動性店舗での販売など）	×		263	999				
32601 再生資源回収・卸売人	×		264	999				
32701 商品仕入営業員（バイヤー）（外勤：販売用商品の仕入れ）	○	商品仕入営業員（バイヤー）	265	112				
33101 不動産仲介・売買人（店舗での住宅・不動産の仲介・売買）	○	不動産仲介・売買人・営業員〔30職業のひとつ〕	266	113				
33201 保険代理人（保険代理店での保険契約などの代理・媒介）	×		267	114				
33202 保険仲立人（保険ブローカー）（店舗での保険の媒介）	×		268	999				
33301 証券外務員（内勤）（店舗での有価証券の売買、売買の媒介・取り次ぎ・代理など）	×		269	999				
33302 トレーダー、ディーラー	×		270	999				
33401 質屋店主・店員	×		271	999				
33901 卸売市場仲卸人	×		272	999				
33902 運くじ等販売人（宝くじ、ロト、ナンパズなど）	×		273	999				

E	サービスの職業	営業の職業	33999 チケットショップ (金券ショップ) 店員	×		274	999
			34101 飲食料品営業員	×	○ 飲食料品営業員	275	115
			34201 化学品営業員 (医薬品を除く) (化粧品、石けん・洗剤、油脂製品、塗料、化学肥料、農薬など)	○	○ 化学品営業員 (医薬品を除く)	276	116
			34301 医薬情報担当者 (MR)、医薬品卸販売担当者 (MS)	○	○ 医薬情報担当者 (MR) [30職業のひとつ] ○ 医薬品卸販売担当者 (MS)	277	117
			34401 一般機械器具営業員 (汎用・生産用・業務用機械器具)	○	○ 一般機械器具営業員	278	118
			34402 電気機械器具営業員 (発送電用電気機器、民生用電気機器、電子応用装置、電気計測器など)	○	○ 電気機械器具営業員	279	119
			34403 自動車営業員	○	○ 自動車営業員	280	120
			34499 精密機器・光学機器営業員	×		281	999
			34N01 医療機器販売営業員	○	○ 医療機器販売営業員 [30職業のひとつ]	282	121
			34501 通信回線・通信機器営業員 (通信、有線放送、携帯電話など)	×		283	999
			34502 情報システム営業員	○	○ 情報システム営業員	284	122
			34N02 商社営業部員	○	○ 商社営業部員 [30職業のひとつ]	285	123
			34601 銀行等渉外係 (銀行、信用金庫、信用協同組合など)	○	○ 銀行等渉外係	286	124
			34602 証券外務員 (外勤のもの)	×		287	999
			34603 保険営業員 (生命保険・損害保険の募集)	○	○ 損害保険会社営業社員 (代理店担当) [30職業のひとつ]	288	125
			34701 住宅・不動産営業員 (住宅・不動産の売買・賃借、住宅リフォーム、用地仕入れなど)	×	(33101不動産仲介・売買人と一括)	289	113
			34901 旅行会社営業員	×		290	999
			34902 広告会社営業員	×		291	999
			34903 印刷営業員	○	○ 印刷営業員	292	126
			34904 会員募集員 (スポーツクラブ、リゾートクラブなど)	×		293	999
			34905 新聞拡張員	×		294	999
			35101 家政婦 (家事全般の代行を含む)	×		295	999
			35901 ベビーシッター	×		296	999
			36101 施設介護員 (ケアワーカー)	○	○ 施設介護員 (ケアワーカー)	297	127
			36201 介護サービス提供責任者 (訪問介護計画の作成、ヘルパーのシフト管理・調整、苦情対応、ヘルパーの技術指導など)	×		298	999
			36201 訪問介護員 (ホームヘルパー)	○	○ 訪問介護員 (ホームヘルパー)	299	128
			36202 訪問入浴介助員	×		300	999
			37101 看護助手	○	○ 看護助手	301	129
			37201 歯科助手	○	○ 歯科助手	302	130
			37901 動物病院助手 (獣医補助業務)	×		303	999
			38101 理容師	○	○ 理容師	304	131
			38201 着付師	×	○ 美容師	305	132
			38301 着付師	×		306	999
			38302 エステティシャン (アシスタントを含む)	×		307	999
38303 ネイリスト (アシスタントを含む)	×		308	999			
38401 浴場業務従事者	×		309	999			
38501 クリーニング工 (水洗い、ドライクリーニング、しみ抜きなど)	×		310	999			
38502 クリーニング仕上工 (アイロン仕上げ、検査、仕分けなど)	×		311	999			
38901 洗髪職	×		312	999			
38997 理容師・美容師補助者	×		313	999			
39101 日本料理調理人	○	○ 日本料理調理人・すし職人	314	133			
39102 すし職人	↑		315	133			
39103 西洋料理調理人	○	○ 西洋料理調理人 (見習い含む)	316	134			
39104 中華料理調理人	○	○ 中華料理調理人 (見習い含む)	317	135			
39105 給食調理人 (会社、工場、学校、病院、福祉施設など)	○	○ 給食調理人	318	136			
39197 調理補助	○	○ 調理補助	319	137			

40	接客・給仕の職業	39198 調理人見習 (西洋料理)	調理人見習 (西洋料理調理人に統合)	320	134		
		39198 調理人見習 (中華料理)	調理人見習 (中華料理調理人に統合)	321	135		
		39199 居酒屋調理人	×	322	999		
		39201 パーティンダー	×	323	999		
41	居住施設・ビルの管理の職業	40101 飲食店長 (主に接客の仕事に従事するもの) (レストラン)	飲食店長 (主に接客の仕事に従事するもの) (ファストフード店 (ハンバーガー、丼物、麺、ピザ、ドーナッツ等)、居酒屋など)	324	138		
		40199 飲食店長 (主に接客の仕事に従事するもの) (ファストフード店 (ハンバーガー、丼物、麺、ピザ、ドーナッツ等)、居酒屋など)	↑	325	138		
		40201 ホテル・旅館支配人、ペンション経営者 (主に接客の仕事に従事するもの)	×	326	999		
		40301 配せん人 (ホテル・旅館・全館・会館・斎場等での配せん、給仕)	○配せん人	327	139		
		40302 ウエイター・ウエイトレス (飲食店ホール係)	○ウエイター・ウエイトレス (飲食店ホール係)	328	140		
		40303 ソムリエ	×	329	999		
		40401 ホテル・旅館フロント係	○ホテル・旅館フロント係	330	141		
		40402 ホテル・旅館接客係	○ホテル・旅館接客・客室係	331	142		
		40403 ホテル・旅館客室係	↑	332	142		
		40404 航空客室乗務員	×	333	999		
		40601 娯楽場支配人 (主に接客の仕事に従事するもの) (映画館、劇場、遊園地、ゴルフ場、パチンコ店、ゲームセンターなど)	×	334	999		
		40602 娯楽場接客係 (映画館、劇場、遊園地、ゴルフ場、パチンコ店、ゲームセンターなど) (入場券の販売・改札、座席案内、案内放送など)	○娯楽場接客係	335	143		
		40603 娯楽場遊戯施設係 (施設・機械の操作、点検、調整、修理など)	○娯楽場遊戯施設係	336	144		
		40604 スポーツクラブ係員 (受付、利用案内、トレーニング器具の点検・調整など)	×	337	999		
		40605 キャデヤ	×	338	999		
		42	その他のサービスの職業	41101 マンション・アパート・下宿管理人	○マンション・アパート・下宿管理人	339	145
				41201 寄宿舎・寮管理人	×	340	999
				41301 ビル管理人 (受付・清掃・警備・設備管理などのビル全般の管理業務)	○ビル管理人	341	146
				41401 駐車場・駐輪場管理人	×	342	999
				41999 公民館・体育館・スポーツ競技場管理人	×	343	999
42101 添乗員 (ツアーコンダクター)	○添乗員・観光案内人 (ツアーコンダクター・ガイド)			344	147		
42102 観光案内人 (旅行・観光ガイド)	↑			345	147		
42201 クローク係、コインロッカー管理人 (物品の一時預かり業務)	×			346	999		
42301 物品質入 (レンタルショップ、レンタカー営業所、貸衣装店など)	○レンタルショップ店員			347	148		
42401 広告宣伝員 (イベントコンパニオン、ショールーム係、キャンペーン宣伝員、モデルなど)	×			348	999		
42402 チラシ配布員 (広告チラシの配布・ポスティング)	×			349	999		
42501 葬儀師	×			350	999		
42502 火葬場現業員	×			351	999		
42601 トリマー	×			352	999		
43	保安の職業	42901 ポーター	×	353	999		
		42902 学童保育指導員 (児童館の児童指導員、児童の遊びを指導する者 (児童厚生員) を含む)	○学童保育指導員	354	149		
		42903 カイロプラクター、整体師	○カイロプラクター、整体師、リラクゼーション・スタッフ	355	150		
		42904 リラクゼーション・スタッフ (アロマセラピー、タラソセラピー、足裏マッサージなど)	↑	356	150		
		42999 ペット世話人 (ペットシッター、ペットホテル世話係など) (ペットショップ店員を除く)	×	357	999		
		43101 陸上自衛官	×	358	999		
		43102 海上自衛官	×	359	999		
		43103 航空自衛官	×	360	999		
		44101 警察官 (地域警察業務)	×	361	999		
		44102 警察官 (交通警察業務)	×	362	999		
44	司法警察職員	44201 海上保安官 (警備救難業務)	×	363	999		
		45101 刑務官 (管理職を除く)	×	364	999		
		45201 消防士	×	365	999		
F	保安の職業						

G	農林漁業の職業	46	農業の職業	45202 救急隊員(消防士)	x	366	999
				45301 警備員(施設警備業務)	x	367	999
				45901 道路管理員(パトロール隊員)	x	368	999
				45902 交通誘導警備員(道路交通の誘導)	x	369	999
				45903 雑踏警備員	x	370	999
				45999 ガス設備点検員(ガス配管の漏えい検査、給排気設備の調査など)	x	371	999
				45999 駐車監視員(放置車両の確認業務)	x	372	999
				46100 農耕従事者(稲作、畑作、園芸・工芸作物、ハウス野菜、キノコ栽培など)	○農耕従事者	373	151
				46200 畜産従事者(肉牛・乳牛飼育、養豚、養鶏、養蜂など)	○畜産従事者	374	152
				46204 動物飼育係(動物園、研究室など)	x	375	999
				46205 きゅう務員	x	376	999
				46301 榎木職	○榎木職・造園師	377	153
				46302 造園師	↑	378	153
				47000 林業従事者	○林業従事者	379	154
				H	生産工程の職業	49-52	林業の職業
48400 水産養殖従事者(魚類、貝類、真珠、のり、わかめなど)	x	381	999				
48499 水族館飼育係	x	382	999				
52101 製鉄工	○金属材料製造(鉄鋼・非鉄金属)	383	156				
52102 製鋼工	↑	384	156				
52200 非鉄金属製錬工	↑	385	156				
52300 鋳物製造工	○鋳物・鍛造・圧延	386	157				
52400 鍛造工	↑	387	157				
52501 金属熱処理工	↑	388	157				
52601 圧延工	↑	389	157				
50-54	製品製造・加工処理の職業 (金属材料、金属加工、金属溶接・溶断を除く)	49-52	金属材料製造・金属加工、金属溶接・溶断の職業	52700 汎用金属工作機械工(旋盤、フライス盤、ボール盤、研削盤など)	○機械加工	390	158
				52800 数値制御金属工作機械工(NC旋盤、NCフライス盤、マシニングセンタ、NC研削盤、NC放電加工機など)	↑	391	158
				53100 金属プレス工	○金属プレス・鉄工・製缶	392	159
				53201 鉄工(建築用鉄骨、船舶鋼板、橋梁などの製作)	↑	393	159
				53202 製缶工(ボイラー、圧力容器、タンクなどの製作)	↑	394	159
				53301 建築板金工(金属製の、屋根材・樋・ダクト・外壁材の製作、加工、接合、仕上げ)	○建築板金・工場板金・自動車板金	395	160
				53302 工場板金工(金属薄板製の部品・筐体などの製造)	↑	396	160
				53303 自動車板金工	↑	397	160
				53401 めっき工(電気めっき、化学めっき、溶融めっき、容射めっき、陽極処理、防せい処理など)	○めっき・金属研磨	398	161
				53403 金属研磨工(金属材料・製品のきず取り、研磨、研削)	↑	399	161
				53501 くぎ・ばね・金属線製品製造工(くぎ類、ばね、金属製の網、ワイヤロープ、クリップ、針など)	○金属製品製造・溶接	400	162
				53600 金属製品製造工(金属製の家具・建具・治工具・金型・刃物・金具など)	↑	401	162
				53700 金属溶接工(アーク溶接、抵抗溶接、ガス溶接・切断、自動溶接機の運転、レーザー溶接・切断など)	↑	402	162
				53901 併線工	x	403	999
				53905 ダイカスト工(アルミニウムやその他の合金などを用いた金属鑄造法による製品の製造)	x	404	999
53906 機械解体処理工(自動車、テレビ、洗濯機、冷蔵庫、エアコン、携帯電話など)	x	405	999				
54100 化学製品製造工(化学薬品、合成樹脂、化学繊維、石けん・洗剤、医薬品、化粧品、塗料、塩など)	○化学製品製造	406	163				
54200 窯業製品製造工(ガラス、かわら、陶磁器、ファイバーミックス製品、セメント、コンクリート製品、研磨用材、生コンなど)	x	407	999				
54300 精穀・製粉・調味食品製造工(精米、小麦粉製造、味噌、醤油、砂糖、ソース、マヨネーズなど)	○食料品製造	408	164				
54400 めん類製造工(うどん、そば、そうめん、中華そば、即席めん、ぎょうざ皮、マカロニなど)	↑	409	164				
54500 パン・菓子製造工(食パン、菓子パン、洋生菓子、和生菓子、和菓子、スナック菓子、チョコレート、ガムなど)	↑	410	164				
54600 豆腐・こんにやく・ふ製造工(豆腐、油揚げ、納豆、ゆば、こんにやく、白滝、麩など)	↑	411	164				

I	輸送・機械運 転の職業	63	機械検査の職業	62401 飲料・たばこ検査工（清酒、ビール、焼酎、ワイン、清涼飲料、たばこ、インスタントコーヒーなど）	×		458	999
				62500 紡織・衣服・繊維製品検査工（糸、布、衣服、繊維製品）	×		459	999
				62600 木製製品・パルプ・紙・紙製品検査工（板材、木材チップ、合板、木製家具、パルプ、紙、紙製品）	×		460	999
				62701 印刷・製本検査工	×		461	999
				62801 ゴム・プラスチック製品検査工	×		462	999
				63101 はん用・生産用・業務用機械器具検査工（原動機、金属加工機、建設機械、半導体製造装置、業務用冷凍機、娯楽機械など）	○	機械器具検査	463	175
				63201 電気機械器具検査工（電気機械、電気通信機器、電子応用機器、民生用電子・電気機器、半導体製品など）	↑		464	175
				63301 自動車検査工	↑		465	175
				63401 鉄道車両・船舶・航空機検査工	↑		466	175
				63501 計量計測機器・光学機械器具検査工	↑		467	175
64	生産関連・生産類似の職業	64101 金属・木工塗装工（銅板・金属管などの金属塗装、木製家具・建具などの木工塗装）	×		468	999		
		64103 建築塗装工	○	建築塗装	469	176		
		64201 アニメーター	×		470	999		
		64202 看板制作工	×		471	999		
		64301 CADオペレーター（建築製図）	×		472	177		
		64302 CADオペレーター（機械製図、電気・電子製図）	○	CADオペレーター（建築製図）	473	178		
		64401 パタンナー（立体裁断、平面裁断、アパレルCAD）	×		474	999		
		65101 電車運転士（路面電車、モノレールなどを含む）	×		475	999		
		65900 鉄道運転士、気動車運転士	×		476	999		
		66101 路線バス運転手（乗合バス、高速バス、観光路線バス、コミュニティバスなど）	○	バス運転士（路線バス）	477	179		
66	自動車運転の職業	66102 貸切バス運転手（貸切観光バス、貸切マイクロバスなど）	○	バス運転士（その他）	478	180		
		66103 送迎バス運転手（スクールバス、シャトルバスなど）	↑		479	180		
		66201 役員運転手	×		480	999		
		66202 タクシー運転手（タクシードライバー、ハイヤー、介護タクシー）	○	タクシー運転手	481	181		
		66203 自動車運転代行	×		482	999		
		66301 トラック運転手	○	トラック・トレーラー・タンクローリー運転、自動車陸送	483	182		
		66302 トレーラー・トラック運転手	↑		484	182		
		66303 コンクリートミキサー車運転手	○	コンクリートミキサー車運転手	485	183		
		66304 ダンプカー運転手	↑		486	183		
		66305 タンクローリー運転手	（	トラック運転手に統合）	487	182		
67	船舶・航空機運転の職業	66306 ごみ収集車運転手（バキヤーカー、車載専用車）	×		488	999		
		66307 自動車陸送員（キャリアカー、車載専用車）	（	トラック運転手に統合）	489	182		
		66999 産業廃棄物運搬車運転手	×		490	999		
		67100 船長（漁業船を除く）（貨物船、旅客船、コンテナ船、フェリー船、タンカー船、しゅんせつ船、タグボート、給油船、遊覧船など）	×		491	999		
		67401 航空機操縦士（旅客機、ヘリコプター、飛行船など）	×		492	999		
		68101 鉄道車掌	×		493	999		
		68102 観光バスガイド（貸切観光バス・観光路線バスに勤務して観光案内や乗客の世話など）	×		494	999		
		68401 フォークリフト運転作業員（フォークリフトによる資材・荷物などの運搬、積み卸し作業）	×		495	999		
		69100 発電員、送電員、変電員、配電員（発電所・変電所・配電室での発電・送電・変電・配電装置の操作・監視・点検など）	○	発電員、送電員、変電員、配電員	496	184		
		69103 自家用電気係員（工場・ビル・病院などの電気動力室での発電・変電・配電装置の操作・監視・点検など）	↑		497	184		
69	定置・建設機械運転の職業	69201 ポイラーオペレーター	×		498	999		
		69300 クレーン・巻上機運転工	○	建設重機オペレーター（フルドラー・クレーン等）	499	185		
		69501 建設用機械車両運転工（掘削機、ショベルカー、ブルドーザー、ロードローラー、くい打機など）	↑		500	185		
		69502 舗装機械運転工（アスファルトフィニッシャー、コンクリートフィニッシャーなど）	↑		501	185		
		69701 ビル設備管理員（ビルの電力・空調・冷暖房・給排水設備などの操作・監視・点検・調整）	×		502	999		
		69901 冷凍機運転工（工場、冷蔵倉庫など）	×		503	999		

J	建設・探掘の職業	70	建設躯体工事の職業	69902 ケーブル機関運転工（ケーブルカー、ロープウェイなど）	×	504	999
				69999 ごみ・下水処理設備操作員（ごみ焼却設備、し尿処理設備、下水処理設備、浄水場設備など）	×	505	999
K	運搬・清掃・包装等の職業	71	建設の職業（建設躯体工事の職業を除く）	70101 型枠大工	×	506	186
				70200 とび工（建築とび、取りこわし作業員）	↑	507	186
				70301 鉄筋工（土木施設の鉄筋コンクリート工事）	↑	508	186
				70302 鉄筋工（建築物の鉄筋コンクリート工事）	↑	509	186
				71100 大工	○大工	510	187
				71200 ブロック積・タイル張工（ブロック、れんが、タイル、石材）	×	511	999
				71300 屋根ふき工	×	512	999
				71401 左官	×	513	999
				71501 量工	×	514	999
				71601 配管工	○配管作業員	515	188
				71700 内装工	○内装作業員	516	189
				71801 防水工	×	517	999
				71902 熱絶縁工（保温、保冷）	×	518	999
				71903 測量作業員（測量士・測量士補の免許を有しないもの）	×	519	999
				71904 住宅水回り設備取付工	×	520	999
				71905 水道工事検査員	×	521	999
				72	電気工事の職業	72100 送電線・配電線・通信線架線（敷設）作業員	○送電線・配電線・通信線架線作業員
72400 電気通信装置取付・保守作業員（テレビ・ラジオ放送用送信機、中継装置、有線・無線通信用送信機、電話交換機など）	○電話線・通信線配線作業員（建物内）	523	191				
72501 電気配線工事作業員	○電気配線工事作業員（建物内）	524	192				
72502 電気工事検査員	×	525	999				
72503 産業用電気機械・装置取付作業員（金属工作機械・印刷機などの産業用電気装置の据え付け・調整）	×	526	999				
73101 建設・土木作業員（建設・土木工事現場の土木作業）	○建設・土木作業員	527	193				
73102 舗装作業員（道路の舗装・補修、道路標識の設置、道路区画線の塗装など）	↑	528	193				
73201 舗装線路工事作業員（レールの敷設・保線）	×	529	999				
74000 採鉱員、石切出作業員、じやり・砂・粘土採取作業員	×	530	999				
75101 郵便集配員	×	531	999				
75	運搬の職業	75201 港湾荷役作業員	×	532	999		
		75301 運搬作業員（工場、市場、リサイクル品回収など）	○運搬・積降・引越し作業員	533	194		
		75302 積卸作業員（工場、事業場、駅、運送店など）	↑	534	194		
		75303 引越作業員	↑	535	194		
		75400 倉庫作業員	○倉庫作業員	536	195		
		75501 荷物配達員（宅配便・バイク便・メール便などの配達業務）	○荷物配達員	537	196		
		75502 ルート集配員（荷物・商品などの配達・回収）	○ルート集配員	538	197		
		75503 新聞配達員	×	539	999		
		75504 自動販売機商品補充員（清涼飲料水など）	×	540	999		
		75601 荷造作業員（こん包作業）	×	541	999		
		76101 ビル・建物清掃員	○ビル・建物清掃員	542	198		
		76	清掃の職業	76201 ハウスクリーニング作業員（住宅の水回り設備・換気扇・エアコンなどの清掃）	○ハウスクリーニング作業員	543	199
				76301 道路清掃員（路面清掃車運転手を除く）	×	544	999
				76302 公園清掃員	×	545	999
76401 ごみ収集作業員（家庭の廃棄物、事業所の一般廃棄物）（ごみ収集車運転手を除く）	×			546	999		
76402 し尿汲取作業員	×			547	999		
76501 産業廃棄物収集作業員（がれき、工場汚泥、工場廃液、廃プラスチックなど）	×	548	999				
76901 洗淨員（機械、航空機、鉄道車両、タンク、貯水槽、ポイラー、建物外壁など）	×	549	999				

		76902	消毒・害虫防除作業員		×	550	999
		76903	乗物内清掃員（鉄道車両、航空機、船舶など）		×	551	999
		76993	浄化槽清掃員		×	552	999
77	包装の職業	77101	製品包装作業員（包装機械オペレーターを含む）		○製品包装作業員（包装機械オペレーターを含む）	553	200
		77900	ラベル・シール貼付作業員、タッグ付作業員		×	554	999
78	その他の運搬・清掃・包装等の職業	78101	原材料選別作業員（工場）		×	555	999
		78102	ピッキング作業員		×	556	999
		78103	青果・水産物選別作業員（選果場での野菜・果物の選別、漁港での水産物の選別）		×	557	999
		78201	工場労務作業員（原材料の搬入、製品の搬出、機械の清掃、燃料の補給など）		×	558	999
		78202	建設現場労務作業員（養生、散水、廃材分別、現場の片付け・清掃、廃棄物の分別など）		×	559	999
		78203	小売店作業員（商品品出し、陳列・補充、棚卸しなど）		×	560	999
		78204	病院用務員（病室・廊下清掃、シーツ・枕カバーの回収・洗濯、消耗品交換、ごみ分別など）		×	561	999
		78205	旅館作業員（客室・浴場清掃、宴会準備・片付け、食器洗浄・宿泊客送迎など）		×	562	999
		78206	レストラン・飲食店作業員（食器洗浄、客席・厨房清掃、ゴミ分別など）		×	563	999
		78207	会場設営作業員（展示場、催事場など）		×	564	999
		78208	学校用務員（施設・設備点検、消耗品交換、除草・散水、夜間・休日巡回、ごみ分別など）		×	565	999
		78901	公園・ゴルフ場・競技場整備員（芝刈り、散水、地ならし、除草、清掃、ゴミ分別など）		×	566	999

資料2 職業動向調査(Web調査)設問と選択肢一覧

項目	設問	選択肢
SC1 雇用形態	以下の中で、あなたご自身にあてはまるものをお知らせください。	正規の職員、従業員 パート 派遣社員 契約社員、期間従業員、嘱託 自営、フリーランス 経営層 アルバイト(学生以外)
		アルバイト(学生) 学生 専業主婦 無職(退職者、求職中等を含む)
SC2 現職選択	あなたご自身の職業を選択してください。	職業細分類(550)から現職を選択
SC3 現職内容	ご自分の職業は具体的にはどのようなことをしますか。どのようなことをする職業かポイントを簡潔にお書きください。	(自由記述)
SC4 職業継続年数	現在の職業は何年位続けていますか、年数/ヶ月をお知らせください。	6ヶ月以下 7ヶ月以上1年6ヶ月以下 1年7ヶ月以上2年6ヶ月以下 約3年 約4年 約5年 ...
SC5S1 前職有無	あなたは、現在の職業の前に学生時代のアルバイト以外で違う職業に就いていたことがありますか。	違う職業に就いたことがある 違う職業に就いたことはない
SC5S2 前職選択	会社や職場が変わったか変わらないかは関係なく、現在の職業の前に就いていた職業を選択してください。	職業細分類(550)から現職を選択
SC6S1 初職	あなたが学校を出て最初に就いた職業は以下のどれにあたりますか。	回答いただいた現在の職業 回答いただいた以前の職業 上記以外の職業
SC6S2 初職選択	学校を卒業し、最初に就いた職業を選択してください。	職業細分類(550)から現職を選択
SC7 現職の呼称	あなたの現在の職業は、社会や職場では具体的にどのように呼ばれていますか。	(自由記述)
Q1 使う機械、器具、IT機器、ソフトウェア等	現在の職業で主に使う機械、器具、IT機器、ソフトウェア等を以下にご記入ください。	(自由記述)
Q2 仕事で使う情報	現在の職業で情報源としてよく使うインターネットサイトや社内情報システム等がありましたら、それらから仕事に必要ななどのような情報を得ているか、さしつかえない範囲でご記入ください。	(自由記述)
Q3S1 現職の人数等の変化	現在の職業の、人数等の変化についてお聞きします。あなたと同じ会社・団体で同じ職業についている人の状況などをもとにして、以下の項目について「増加傾向」「やや増加傾向」「変わらない」「やや減少傾向」「減少傾向」「継続的にない」「わからない」で回答してください。	増加傾向 やや増加傾向 変わらない やや減少傾向 減少傾向 継続的にない わからない
	1.自分と同じ職業では30歳以下の人が～	
	2.自分と同じ職業では60歳以上の人が～	
	3.自分と同じ職業では女性が～	
	4.自分と同じ職業では女性管理職が～	
	5.自分と同じ職業では外国人が～	
	6.自分と同じ職業では高齢者の採用が～	
	7.自分と同じ職業では障害者の採用が～	
	8.自分と同じ職業では正社員が～	
	9.自分と同じ職業では非正規社員(パート、アルバイト)が～	
	10.自分と同じ職業では非正規社員(派遣)が～	
	11.自分と同じ職業では非正規社員(契約)が～	
	12.自分の職業では独立・開業する人やフリーランスになる人が～	
	13.自分の職業では自宅で仕事をする人が～	
	14.自分の職業では自宅以外の場所をレンタルして仕事をする人が～	
	15.自分と同じ職業の人の人数は全体として～	

Q3S2 現職の変化	<p>16.自分と同じ職業では収入が全体的に～</p> <p>17.自分の職業では最近(ここ1、2年)、仕事量が～</p> <p>18.自分の職業では最近(ここ1、2年)、残業が～</p> <p>現在の職業の変化の状況についてお聞きします。以下の項目について「Yes」「ややYes」「どちらともいえない」「ややNo」「No」「わからない」で回答してください。</p> <p>1.自分の職業では仕事のテンポ、サイクルが速くなっている</p> <p>2.自分の職業では、様々なことをしなくてはならない等仕事の範囲が広がっている</p> <p>3.自分の職業では、仕事が特定の分野に特化、専門化してきている</p> <p>4.自分の職業では以前よりもマニュアル化、定式化が進んでいる</p> <p>5.自分の職業では以前よりも各人の創意工夫が求められるようになってきている</p> <p>6.自分の職業では、より高い専門性や高度なスキルが求められるようになってきている</p> <p>7.自分の職業では、仕事をするために、新しいことを学ぶ必要が増えている</p> <p>8.自分の職業では、仕事の変化が早くなりついて行くのが難しくなっている</p> <p>9.自分の職業ではIT化、機械化等により、より心身の負担が軽減している</p> <p>10.自分の職業では作業の自動化により、必要人員が減少している</p> <p>11.自分の職業では経験から得られるカン・コツやノウハウが以前より重要になっている</p> <p>12.自分の職業では後継者不足や技能・ノウハウの伝承が問題になっている</p> <p>13.自分の職業では、IT(PC、情報機器、ネット)の利用活用が重要になっている</p> <p>14.自分の職業では、ソーシャルメディア等ネットでの人と人のつながりが重要になっている</p> <p>15.自分の職業では、仕事で英語を使うことが多くなっている</p> <p>16.自分の職業では、よりレベルの高い英語力が必要になっている</p> <p>17.自分の職業では、中国語が必要なことが多くなっている</p> <p>18.自分の職業では、英語、中国語以外の外国語が必要になっている</p> <p>19.自分の職業では、関係者とチームで働くことが多くなっている</p> <p>20.自分の職業では、関係者とチームで働くことが重要になっている</p> <p>21.自分の職業では、同業他社や関係者との情報交換が重要になっている</p> <p>22.自分の職業では、人脈を広げることが仕事をする上で重要になっている</p> <p>23.自分の職業では、顧客との関係で神経を使うことが多くなっている</p> <p>24.自分の職業では、顧客との間でトラブル処理が重要になっている</p> <p>25.自分の職業では、評価が行われ、それが給与や報酬に反映されるようになった</p> <p>26.自分の職業では、評価が以前よりも厳しくなっている</p> <p>27.自分の職業では、成果を数字で求められるようになった</p> <p>28.自分の職業では、より短期間で成果を求められるようになった</p>	<p>Yes ややYes どちらともいえない ややNo No わからない</p>
------------	---	--

Q3S3 変化記述	あなたの職業における変化の状況をお聞きましたが、これ以外に、あなたの職業における、大きな変化やはっきりとした変化等、ありましたら、以下にお書きください。	(自由記述)
Q4S1 現職の現状や状況	<p>現在の職業についてお聞きます。以下の項目について「Yes」「ややYes」「どちらともいえない」「ややNo」「No」「わからない」で回答してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 仕事で自分の個性や能力を発揮できる 2. 仕事に充実感や達成感を感じられる 3. 仕事では手順や方法を自分で決められる 4. 仕事の目標や計画を自分で決められる 5. 仕事を通じて色々なことが学べる 6. 仕事を通じて成長を実感できる 7. 仕事は社会に役立っていると感じる 8. 仕事は人の役に立っていると感じる 9. 同僚と和気あいあい、協力的に仕事ができる 10. 外部の関係者と良い関係で、協力的に仕事ができている 11. 仕事に必要な知識やノウハウを学ぶ機会がある 12. 顧客との関係で気を使うことが多い 13. ミスが無いよう気を使うことが多い 14. 自分の職業では勤続年数に応じて賃金が上昇していく 15. 自分の職業ではキャリアアップ／昇進の道筋が明確である 16. 自分の職業では年収はおおよそ安定している 17. 自分の職業は引越を伴う転職の可能性が高い方である 18. 現在の職業をずっと続けていきたいと思う 	<p>Yes ややYes どちらともいえない ややNo No わからない</p>
Q4S2 特徴記述	あなたの職業についてお聞きましたが、何かこれ以外に、あなたの職業に関して、他の職業と較べて特徴的なこと、違いがあること等、ありましたら、以下にお書きください。	(自由記述)
Q5 職業満足度	全体として現在の職業面の満足度を0～100(満点)で表すと何点になりますか。だいたい満足しているを50として、点数化してください。	— 点
Q6S1 現在の生活	<p>現在のご自分の生活についてお聞きます。以下の項目について「Yes」「ややYes」「どちらともいえない」「ややNo」「No」「わからない」で回答してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 休日は趣味や自分のしたいことができる 2. 土日祭日等、一般的な休日は、自分も休める 3. 休日にも急に仕事で呼び出されることが月に何回もある 4. 休日でも仕事のことが頭を離れない 5. 起床、就寝等は比較的規則正しいといえる 6. 最近(ここ1、2年)、生活時間が不規則になっている 	<p>Yes ややYes どちらともいえない ややNo No わからない</p>

		粘り強さ	計画性	人に好かれること	コミュニケーション能力	説明力	健康・医療・ケアの知識・	スタミナ
		集中力	決断力	人当たりの良さ	交渉力	説得力	法律の知識・経験	第一印象
		責任感	実行力	社交性	管理能力・マネジメント能	国際感覚	経理の知識・経験	身だしなみ
		信頼できること	指導力・統率力・リーダー・協調性・	生活規律	顧客目線・相手の立場からクリエー	段取りでできること	人事労務の知識・経験	清潔感
		観察力	チームワーク	団体規律	ティブ・独創性	応用力	建築・土木の知識・経験	人脈
		注意深さ	思いやり・感受性(人の	学習力・成長力(必要な	感性・感覚	販売の知識・経験	保安警備の知識・経験	資金力
Q9 就業時間	現在の職業では、就業時間はどのようになっているかお知らせください。	朝始まり夕刻までで	ほぼ毎日同じ		三交代等いくつかの	パターンがある		不定期に夜勤がある等日々変化
Q9SQ 時間	典型的、平均的な始業時間(職場に来る時間)、昼休み、終業時間(職場を出る時間)をお知らせください。	前問で就業時間が「朝始まり夕刻まででほぼ毎日同じ」という方にお伺いします						
	Q9SQS1.始業時間	一時間単位の選択肢						
	Q9SQS2.昼休み(休憩)	一時間単位の選択肢						
	Q9SQS3.終業時間	一時間単位の選択肢						
Q10 定時帰宅	現在の職業では、ほぼ定時に帰れますか。以下からお知らせください。	ほぼ定時に帰れる			たまに残業等がある			毎日のように残業等がある
Q11 年収	直近1年間の現在の職業の年収/収入を概数で回答してください。	年収	()	万円				
Q12 職場組織	現在の職場はどのような組織でしょうか。以下からお知らせください。	会社	会社以外の法人/団体	国/地方自治体	個人/自営	その他		
Q13 従業員数	現在の勤務先の会社全体、組織全体の従業員数は何人程度でしょうか。以下からお知らせください。	1~30名	31~300名	301~3000名	3001名以上			
Q14 業種/業界	現在の勤務先の業種/業界を以下からお知らせください。	建設業	製造業	運輸業	小売業	宿泊業	飲食業	
		医療	福祉	IT	その他サービス業	()	国/地方自治体	その他 ()
Q15 勤務先場所	現在の勤務先はどちらにありますか。47都道府県の中から選択してください。	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	...	
Q16 特定勤務地	現在の勤務先が以下にあてはまる場合は、該当する場所をお知らせください。	東京23区	都道府県庁所在地	政令指定都市	あてはまるものはない			
Q17 就業期間	現在の企業や団体での、または現在の自営やフリーランスとしての就業期間をお知らせください。	6ヶ月以下	7ヶ月以上1年6ヶ月以下	1年7ヶ月以上2年6ヶ月以下	約3年	約4年	約5年	...
Q18 職位	職場でのあなたの職位をお知らせください。	一般	係長・主任相当	課長相当	部長・次長相当	経営層	その他	
Q19S1 性別	性別をお知らせください。	男性	女性					
Q19S2 年齢	年齢をお知らせください。	満	歳					
Q19S3 既未婚	ご結婚状況をお知らせください。	結婚している	結婚していない					
Q19S4 子供有無	お子様の有無をお知らせください。	子供がいる	子供はいない					
Q19S5 家計	ご自分が家計の主たる担い手ですか。	そうである	そうではない					
Q19S6 学歴	あなたの学歴をお知らせください。	高校卒	専門学校卒	短大卒	大学卒	大学院卒	その他	
Q20 居住地	現在のお住まいをお知らせください。47都道府県の中から選択してください。	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	...	
Q21 通勤時間	現在のお住まいをお知らせください。47都道府県の中から選択してください。	10分以内	20分以内	30分以内	40分以内	50分以内	...	
集約職業(割付)	集約200職業	理系研究者	文系研究者	農林水産技術者	食品技術者(開発・製造業)	電気・電子・電気通信技術	機械技術者(開発業務)	...

資料3 職業動向調査(Web調査)調査画面

アンケートページにアクセスいただきまして、ありがとうございます。
今回のアンケートは、「**あなたご自身に関するアンケート**」です。

【モニターの皆様へのお願い】

本アンケートは一般に公開していない情報が含まれる場合がございます。
アンケート内で知り得た、いかなる情報についても、決して第三者に口外なさらぬようお願いします。

「第三者への口外」に含まれる例

- ・口頭、電話、メール等で友人・知人に情報共有すること
- ・掲示板やブログに書き込むことで不特定多数に情報共有すること
- ・その他いかなる手段でも情報が漏れてしまうことに寄与する行為

【注意事項】

- ・アンケート回答後、ポイント付与までに最大60日間掛かる場合がございます。
- 一部付与のタイミングが異なる場合がありますので、予めご了承ください。
- システムの事情により、アンケートが既に終了している場合や、混雑などで回答できない場合がございます。予めご了承ください。
- ・複数のアンケート画面を同時に開きますと、正常に回答できず、ポイント付与の対象になりません。
- 同時に複数のアンケートにご回答なさらないようご注意ください。
- 当社は会員の個人情報を、個人情報保護方針に基づいて取り扱います。

「承諾し、アンケート開始」ボタンをクリックすると、アンケート画面が開きます。
上記注意事項にご同意いただけない場合は、ブラウザの「×」ボタンをクリックしてウィンドウを閉じてください。

下記のラインの中に「承諾し、アンケート開始」ボタンが表示されない場合は、
JavaScriptがOFFになっているか、推奨環境ブラウザではありません。

承諾し、アンケート開始

あなたご自身に関するアンケート

SC1.

以下の中で、あなたご自身にあてはまるものをお知らせください。

- 正規の職員、従業員
- パート
- 派遣社員
- 契約社員、期間従業員、嘱託
- 自営、フリーランス
- 経営層
- アルバイト(学生以外)
- アルバイト(学生)
- 学生
- 専業主婦
- 無職(退職者、求職中等を含む)

次へ >>

回答を確認してから次へお進みください。

「次へ」ボタンが表示されない場合は、JavaScriptがOFFになっているか、推奨環境ブラウザではありません。

あなたご自身に関するアンケート

今回のアンケートは独立行政法人 労働政策研究・研修機構の「職業動向調査(Web調査)」です。

この調査は、職業毎の現場の現状や変化をそれぞれの職業に就いている方にお聞きするものです。

職業の現場の現状や変化を把握するための重要な調査です。

最初に、ご自分の職業を選んでいただきます。選んだ職業について、以下、細かくお聞きします。

この職業の選択の部分が間違っていると、以下の回答がすべて無効になってしまいますので、

職業の選択は時間をかけて、しっかり選択してください。

次へ >>

回答を確認してから次へお進みください。

「次へ」ボタンが表示されない場合は、JavaScriptがOFFになっているか、推奨環境ブラウザではありません。

あなたご自身に関するアンケート

SC2.

あなたご自身の職業を選択してください。

※「職業」とは、勤め先の会社・団体で、または事業主として行っている仕事のことです。
派遣労働者の場合は、派遣先で行っている仕事のことです。

職業を一覧から確認されたい方は、[こちら\(職業参照リスト\)](#)をクリックしてください。別ウィンドウが立ち上がります。

※検索方法

Step1 検索画面上のタブメニューの「職業分類から選ぶ」または「職業名から検索する」を押してください。

Step2-1 「職業分類から選ぶ」を選択した場合は、(1)大分類職業区分→(2)中分類職業区分の順で選択してください。

Step2-2 「職業名から検索する」を選択した場合は、キーワード枠内に職業名を入力してください。

Step3 検索結果ボックスに該当する職業が表示されます。あなたご自身の職業名を選択してください。

あなたの仕事が複数にまたがっていると思う場合は、主なものを選んでもください。

職業分類から選ぶ

職業名から検索する

(1)大分類職業区分

* 該当する大分類職業区分をクリックしてください。その中にある中分類職業区分が表示されます。

| 管理的職業 | 研究者、技術者 | 専門的職業 | 事務的職業 | 販売の職業 | サービスの職業 | 保安の職業 | 農林漁業の職業 | 生産
工程の職業 | 輸送・機械運転の職業 | 建設・採掘の職業 | 運搬・清掃・包装等の職業 |

(2)中分類職業区分

* 該当する中分類職業区分をクリックすると、その中にある職業名が下記の検索結果ボックスに表示されます。

以下に職業名が表示されました。

あなたご自身の職業名をクリックし、選択してください。

検索件数:-件

--

選択された職業名

次へ >>

回答を確認してから次へお進みください。

「次へ」ボタンが表示されない場合は、JavaScriptがOFFになっているか、推奨環境ブラウザではありません。

あなたご自身に関するアンケート

SC2「現在の職業」確認用

職業コード : *** ANS Q1310 ***

カテゴリコード: *** ANS Q1320 ***

職業名 : *** ANS Q1330 ***

次へ >>

回答を確認してから次へお進みください。

「次へ」ボタンが表示されない場合は、JavaScriptがOFFになっているか、推奨環境ブラウザではありません。

あなたご自身に関するアンケート

あなたの現在の職業は【 *** ANS Q1330 *** 】

SC3.

ご自分の職業は具体的にはどのようなことをしますか。
どのようなことをする職業かポイントを簡潔にお書きください。
(自由記述)

例)

- ・システム開発でチームをまとめプロジェクトを推進する。
- ・福祉施設で高齢者の介護をする。
- ・書店で書籍や雑誌の配架や販売をする。
- ・パソコンを組み立てる。
- ・大量生産のための金型を製作する。
- ・会社の営業部門を統括する。

次へ >>

回答を確認してから次へお進みください。

「次へ」ボタンが表示されない場合は、JavaScriptがOFFになっているか、推奨環境ブラウザではありません。

あなたご自身に関するアンケート

■ここからは、あなたの職業について詳しくお伺いします。

この調査で回答いただいた内容は職業毎に集計し、それぞれの職業の現状や変化を把握するために使われます。

回答は集計されますので、個人の結果がそのまま使われることは決してありません。

これからお聞きするのはあなたの「職業」の現状や変化であり、「会社」や「職場」についてお聞きするものではありません。

それぞれの職業に関して、より正確に、より客観的に回答いただくようお願いします。

※「職業」とは、勤め先の会社・団体に、または事業主として行っている仕事のことです。
派遣労働者の場合は、派遣先で行っている仕事のことです。

あなたの現在の職業[*** ANS Q1330 ***]について

SC4.

現在の職業は何年位続けていますか、年数/ヶ月をお知らせください。
途中で中断がある場合は通算でお答えください。

勤続年数

次へ >>

回答を確認してから次へお進みください。

「次へ」ボタンが表示されない場合は、JavaScriptがOFFになっているか、推奨環境ブラウザではありません。

あなたご自身に関するアンケート

あなたの現在の職業は【 *** ANS Q1330 *** 】

SC5-1.

あなたは、現在の職業の前に学生時代のアルバイト以外で違う職業に就いていたことがありますか。

※会社や職場が変わったかわらないかは関係なく、現在の職業と違う職業についていた場合、違う職業に就いたことがあるを選択してください。

- 違う職業に就いたことがある
- 違う職業に就いたことはない

次へ >>

回答を確認してから次へお進みください。

「次へ」ボタンが表示されない場合は、JavaScriptがOFFになっているか、推奨環境ブラウザではありません。

あなたご自身に関するアンケート

あなたの現在の職業は【 *** ANS Q1330 *** 】

SC5-2.

会社や職場が変わったか変わらないかは関係なく、現在の職業の前に就いていた職業を選択してください。

職業を一覧から確認されたい方は、こちら(職業参照リスト)をクリックしてください。別ウィンドウが立ち上がります。

※検索方法

Step1 検索画面上のタブメニューの「職業分類から選ぶ」または「職業名から検索する」を押してください。

Step2-1 「職業分類から選ぶ」を選択した場合は、(1)大分類職業区分→(2)中分類職業区分の順で選択してください。

Step2-2 「職業名から検索する」を選択した場合は、キーワード枠内に職業名を入力してください。

Step3 検索結果ボックスに該当する職業が表示されます。あなたご自身の職業名を選択してください。

あなたの仕事が複数にまたがっていると思う場合は、主なものを1つ選んでください。

職業分類から選ぶ

職業名から検索する

(1)大分類職業区分

* 該当する大分類職業区分をクリックしてください。その中にある中分類職業区分が表示されます。

| 管理的職業 | 研究者、技術者 | 専門的職業 | 事務の職業 | 販売の職業 | サービスの職業 | 保安の職業 | 農林漁業の職業 | 生産
工程の職業 | 輸送・機械運転の職業 | 建設・採掘の職業 | 運搬・清掃・包装等の職業 |

(2)中分類職業区分

* 該当する中分類職業区分をクリックすると、その中にある職業名が下記の検索結果ボックスに表示されます。

以下に職業名が表示されました。
あなたご自身の職業名をクリックし、選択してください。

検索件数:-件

--

選択された職業名

次へ >>

回答を確認してから次へお進みください。

「次へ」ボタンが表示されない場合は、JavaScriptがOFFになっているか、推奨環境ブラウザではありません。

あなたご自身に関するアンケート

SC5-2「以前の職業」確認用

職業コード : *** ANS Q1610 ***

カテゴリコード: *** ANS Q1620 ***

職業名 : *** ANS Q1630 ***

次へ >>

回答を確認してから次へお進みください。

「次へ」ボタンが表示されない場合は、JavaScriptがOFFになっているか、推奨環境ブラウザではありません。

あなたご自身に関するアンケート

SC6-1.

あなたが学校を出て最初に就いた職業は以下のどれにあたりますか。

- 回答いただいた現在の職業: *** ANS Q1330 ***
- 回答いただいた以前の職業: *** ANS Q1630 ***
- 上記以外の職業

次へ >>

回答を確認してから次へお進みください。

「次へ」ボタンが表示されない場合は、JavaScriptがOFFになっているか、推奨環境ブラウザではありません。

あなたご自身に関するアンケート

あなたの現在の職業は【 *** ANS Q1330 *** 】

SC6-2.

学校を卒業し、最初に就いた職業を選択してください。

職業を一覧から確認されたい方は、[こちら\(職業参照リスト\)](#)をクリックしてください。別ウィンドウが立ち上がります。

※検索方法

Step1 検索画面上のタブメニューの「職業分類から選ぶ」または「職業名から検索する」を押してください。

Step2-1 「職業分類から選ぶ」を選択した場合は、(1)大分類職業区分→(2)中分類職業区分の順で選択してください。

Step2-2 「職業名から検索する」を選択した場合は、キーワード枠内に職業名を入力してください。

Step3 検索結果ボックスに該当する職業が表示されます。あなたご自身の職業名を選択してください。

あなたの仕事が複数にまたがっていると思う場合は、主なものを選んでもください。

職業分類から選ぶ

職業名から検索する

(1)大分類職業区分

* 該当する大分類職業区分をクリックしてください。その中にある中分類職業区分が表示されます。

| 管理的職業 | 研究者、技術者 | 専門的職業 | 事務の職業 | 販売の職業 | サービスの職業 | 保安の職業 | 農林漁業の職業 | 生産
| 工程の職業 | 輸送・機械運転の職業 | 建設・採掘の職業 | 運搬・清掃・包装等の職業 |

(2)中分類職業区分

* 該当する中分類職業区分をクリックすると、その中にある職業名が下記の検索結果ボックスに表示されます。

以下に該当する職業名が表示されました。
あなたご自身の職業名をクリックし、選択してください。

検索件数:-件

--

選択された職業名	
----------	--

次へ >>

回答を確認してから次へお進みください。

「次へ」ボタンが表示されない場合は、JavaScriptがOFFになっているか、推奨環境ブラウザではありません。

あなたご自身に関するアンケート

SC6-1「最初の職業」確認用

職業コード : *** ANS Q1710 ***

カテゴリコード: *** ANS Q1720 ***

職業名 : *** ANS Q1730 ***

次へ >>

回答を確認してから次へお進みください。

「次へ」ボタンが表示されない場合は、JavaScriptがOFFになっているか、推奨環境ブラウザではありません。

あなたご自身に関するアンケート

あなたの現在の職業【 *** ANS Q1330 *** 】について

SC7.

あなたの現在の職業は、社会や職場では具体的にはどのように呼ばれていますか。
(自由記述)

例)「○○係」、「○○主任」、「○○オペレーター」、「○○エンジニア」、「○○デザイナー」、「○○アドバイザー」、
「○○プランナー」、「○○ディレクター」、などこれらの例の○○を含めた「 」内にあたる、
あなたの現在の職業の社会や職場での具体的な呼び方をお書きください。

特にない場合は「なし」と記入してください。

次へ >>

回答を確認してから次へお進みください。

「次へ」ボタンが表示されない場合は、JavaScriptがOFFになっているか、推奨環境ブラウザではありません。

あなたご自身に関するアンケート

あなたの現在の職業[*** ANS Q1330 ***]について

Q1.

現在の職業で主に使う機械、器具、IT機器、ソフトウェア等を以下にご記入ください。
(自由記述)

Q2.

現在の職業で情報源としてよく使うインターネットサイトや社内情報システム等がありましたら、それらから仕事に必要ななどのような情報を得ているか、さしつかえない範囲でご記入ください。
(自由記述)

次へ >>

回答を確認してから次へお進みください。

「次へ」ボタンが表示されない場合は、JavaScriptがOFFになっているか、推奨環境ブラウザではありません。

あなたご自身に関するアンケート

■ここからは、あなたの職業の現状や変化についてお伺いします。

あなたの現在の職業【 ** ANS Q1330 ** 】について

Q3-1.

現在の職業の、人数等の変化についてお聞きします。

あなたと同じ会社・団体で同じ職業についている人の状況などをもとにして、以下の項目について「増加傾向」「やや増加傾向」「変わらない」「やや減少傾向」「減少傾向」「継続的にいない」「わからない」で回答してください。

(矢印方向にそれぞれひとつだけ)

	増加傾向	やや増加傾向	変わらない	やや減少傾向	減少傾向	継続的にいない	わからない
自分と同じ職業では30歳以下の人が～	<input type="radio"/>						
自分と同じ職業では60歳以上の人が～	<input type="radio"/>						
自分と同じ職業では女性が～	<input type="radio"/>						
自分と同じ職業では女性管理職が～	<input type="radio"/>						
自分と同じ職業では外国人が～	<input type="radio"/>						
自分と同じ職業では高齢者の採用が～	<input type="radio"/>						
自分と同じ職業では障害者の採用が～	<input type="radio"/>						
自分と同じ職業では正社員が～	<input type="radio"/>						
自分と同じ職業では非正規社員(パート、アルバイト)が～	<input type="radio"/>						
自分と同じ職業では非正規社員(派遣)が～	<input type="radio"/>						
自分と同じ職業では非正規社員(契約)が～	<input type="radio"/>						
自分の職業では独立・開業する人やフリーランスになる人が～	<input type="radio"/>						
自分の職業では自宅で仕事をする人が～	<input type="radio"/>						
自分の職業では自宅以外の場所をレンタルして仕事をする人が～	<input type="radio"/>						
自分と同じ職業の人の人数は全体として～	<input type="radio"/>						
自分と同じ職業では収入が全体的に～	<input type="radio"/>						
自分の職業では最近(ここ1、2年)、仕事量が～	<input type="radio"/>						
自分の職業では最近(ここ1、2年)、残業が～	<input type="radio"/>						

あなたご自身に関するアンケート

あなたの現在の職業[*** ANS Q1330 ***]について

Q3-2.
現在の職業の変化の状況についてお聞きします。以下の項目について「Yes」「ややYes」「どちらともいえない」「ややNo」「No」「わからない」で回答してください。
(矢印方向にそれぞれひとつだけ)

	Y e s	や や Y e s	ど ち ら と も い え な い	や や N o	N o	わ か ら な い
自分の職業では仕事のテンポ、サイクルが速くなっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分の職業では、様々なことをしなくてはならない等仕事の範囲が広がっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分の職業では、仕事が特定の分野に特化、専門化してきている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分の職業では以前よりもマニュアル化、定式化が進んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分の職業では以前よりも各人の創意工夫が求められるようになっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分の職業では、より高い専門性や高度なスキルが求められるようになっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分の職業では、仕事をするために、新しいことを学ぶ必要が増えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分の職業では、仕事の変化が早くなりついて行くのが難しくなっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分の職業ではIT化、機械化等により、より心身の負担が軽減している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分の職業では作業の自動化により、必要人員が減少している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	Y e s	や や Y e s	ど ち ら と も い え な い	や や N o	N o	わ か ら な い
自分の職業では経験から得られるカン・コツやノウハウが以前より重要になっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分の職業では後継者不足や技能・ノウハウの伝承が問題になっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分の職業では、IT(PC、情報機器、ネット)の利用活用が重要になっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分の職業では、ソーシャルメディア等ネットでの人と人のつながりが重要になっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分の職業では、仕事で英語を使うことが多くなっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分の職業では、よりレベルの高い英語力が必要になっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分の職業では、中国語が必要なことが多くなっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分の職業では、英語、中国語以外の外国語が必要になっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分の職業では、関係者とチームで働くことが多くなっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分の職業では、関係者とチームで働くことが重要になっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

	Y e s	や や Y e s	ど ち ら と も い え な い	や や N o	N o	わ か ら な い
自分の職業では、同業他社や関係者との情報交換が重要になっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分の職業では、人脈を広げることが仕事をする上で重要になっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分の職業では、顧客との関係で神経を使うことが多い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分の職業では、顧客との間でトラブル処理が重要になっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分の職業では、評価が行われ、それが給与や報酬に反映されるようになった	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分の職業では、評価が以前よりも厳しくなっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分の職業では、成果を数字で求められるようになった	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分の職業では、より短期間で成果を求められるようになった	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

あなたご自身に関するアンケート

あなたの現在の職業【 *** ANS Q1330 *** 】について

Q3-3.

あなたの職業における変化の状況をお聞きましたが、これ以外に、あなたの職業における、**大きな変化やはっきりとした変化等**、ありましたら、以下にお書きください。
(自由記述)

次へ >>

回答を確認してから次へお進みください。

「次へ」ボタンが表示されない場合は、JavaScriptがOFFになっているか、推奨環境ブラウザではありません。

あなたご自身に関するアンケート

あなたの現在の職業[*** ANS Q1330 ***]について

Q4-1.
現在の職業についてお聞きします。以下の項目について
「Yes」「ややYes」「どちらともいえない」「ややNo」「No」「わからない」で回答してください。
(矢印方向にそれぞれひとつだけ)

	Y e s	や や Y e s	ど ち ら と も い え な い	や や N o	N o	わ か ら な い
仕事で自分の個性や能力を発揮できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
仕事に充実感や達成感を感じられる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
仕事では手順や方法を自分で決められる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
仕事の目標や計画を自分で決められる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
仕事を通じて色々なことが学べる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
仕事を通じて成長を実感できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
仕事は社会に役立っていると感じる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
仕事は人の役に立っていると感じる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
同僚と和気あいあい、協力的に仕事ができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
外部の関係者と良い関係で、協力的に仕事ができている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
仕事に必要な知識やノウハウを学ぶ機会がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
顧客との関係で気を使うことが多い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ミスが無いよう気を使うことが多い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	Y e s	や や Y e s	ど ち ら と も い え な い	や や N o	N o	わ か ら な い
自分の職業では勤続年数に応じて賃金が上昇していく	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分の職業ではキャリアアップ／昇進の道筋が明確である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分の職業では年収はおおよそ安定している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分の職業は引越を伴う転職の可能性が高い方である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
現在の職業をずっと続けていきたいと思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	Y e s	や や Y e s	ど ち ら と も い え な い	や や N o	N o	わ か ら な い

あなたご自身に関するアンケート

あなたの現在の職業[*** ANS Q1330 ***]について

Q4-2.

あなたの職業についてお聞きしましたが、何かこれ以外に、あなたの職業に関して、他の職業と比べて特徴的なこと、違いがあること等、ありましたら、以下にお書きください。
(自由記述)

次へ >>

回答を確認してから次へお進みください。

「次へ」ボタンが表示されない場合は、JavaScriptがOFFになっているか、推奨環境ブラウザではありません。

あなたご自身に関するアンケート

あなたの現在の職業[*** ANS Q1330 ***]について

Q5.

全体として現在の職業面の満足度を0～100(満点)で表すと何点になりますか。
だいたい満足しているを50として、点数化してください。

点

次へ >>

回答を確認してから次へお進みください。

「次へ」ボタンが表示されない場合は、JavaScriptがOFFになっているか、推奨環境ブラウザではありません。

あなたご自身に関するアンケート

■ここからは、あなたの生活面についてお伺いします。

あなたの現在の職業[*** ANS Q1330 ***]について

Q6-1.

現在のご自分の生活についてお聞きします。以下の項目について

「Yes」「ややYes」「どちらともいえない」「ややNo」「No」「わからない」で回答してください。

(矢印方向にそれぞれひとつだけ)

	Y e s	や や Y e s	ど ち ら と も い え な い	や や N o	N o	わ か ら な い
休日は趣味や自分のしたいことをできる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
土日祭日等、一般的な休日は、自分も休める	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
休日も急に仕事で呼び出されることが月に何回もある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
休日も仕事のことが頭を離れない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
起床、就寝等は比較的規則正しいといえる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
最近(ここ1、2年)、生活時間が不規則になっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
夜間や深夜の勤務となることがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
仕事の都合や交代で、勤務時間が通常と異なる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
最近(ここ1、2年)、心や気持ちの面で心配が多い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
最近(ここ1、2年)、体の健康面で心配が多い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
最近(ここ1、2年)、疲れている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
最近(ここ1、2年)、睡眠時間が短い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	Y e s	や や Y e s	ど ち ら と も い え な い	や や N o	N o	わ か ら な い

次へ >>

回答を確認してから次へお進みください。

「次へ」ボタンが表示されない場合は、JavaScriptがOFFになっているか、推奨環境ブラウザではありません。

あなたご自身に関するアンケート

あなたの現在の職業[*** ANS Q1330 ***]について

Q6-2.

様々な生活面の現状をお聞きしましたが、何かこれ以外に、あなたの職業において生活面で、他の職業と比べて特徴的なこと、違いがあること等、ありましたら、以下にお書きください。
(自由記述)

次へ >>

回答を確認してから次へお進みください。

「次へ」ボタンが表示されない場合は、JavaScriptがOFFになっているか、推奨環境ブラウザではありません。

あなたご自身に関するアンケート

あなたの現在の職業[*** ANS Q1330 ***]について

Q6-3.

全体として現在の生活面の満足度を0～100(満点)で表すと何点になりますか。
だいたい満足しているを50として、点数化してください。

点

次へ >>

回答を確認してから次へお進みください。

「次へ」ボタンが表示されない場合は、JavaScriptがOFFになっているか、推奨環境ブラウザではありません。

あなたご自身に関するアンケート

■ここからは、あなたの休日や余暇の過ごし方についてお伺いします。

あなたの現在の職業[*** ANS Q1330 ***]について

Q7-1.
現在の職業で、休日や余暇はどのように過ごしていますか。
以下のなかから主なものを全てお選びください。
(いくつでも)

※「友人と旅行する」というような複数の要素がある場合は、その双方を選択してください。
この場合、「友人と過ごす」と「旅行・行楽」を選択

- テレビ
- 新聞・雑誌
- インターネット(検索、閲覧、メール、ブログ、等々)
- ショッピング
- 食べ歩き
- 家族と過ごす
- 友人と過ごす
- 休養・静養
- スポーツ(競技)
- スポーツ(健康維持)
- ボランティア活動・社会貢献
- 旅行・行楽
- 学習・自己啓発(語学、実務の勉強、等々)
- 研究(調べごと、収集、等々)
- 創作・芸能(制作、演奏、等々)
- その他、趣味・娯楽(気晴らし的な活動、映画、音楽鑑賞、スポーツ観戦、機械いじり、日曜大工、園芸、読書、囲碁、将棋、パズル、TVゲーム、カラオケ、等々)
- その他(具体的に:)

次へ >>

回答を確認してから次へお進みください。

「次へ」ボタンが表示されない場合は、JavaScriptがOFFになっているか、推奨環境ブラウザではありません。

あなたご自身に関するアンケート

あなたの現在の職業[*** ANS Q1330 ***]について

Q7-2.

現在の職業で、休日や余暇に「したい」けれどもできていないことを、以下のなかからあてはまるものを全てお選びください。
(いくつでも)

※「友人と旅行する」というような複数の要素がある場合は、その双方を選択してください。
この場合、「友人と過ごす」と「旅行・行楽」を選択

- テレビ
- 新聞・雑誌
- インターネット(検索、閲覧、メール、ブログ、等々)
- ショッピング
- 食べ歩き
- 家族と過ごす
- 友人と過ごす
- 休養・静養
- スポーツ(競技)
- スポーツ(健康維持)
- ボランティア活動・社会貢献
- 旅行・行楽
- 学習・自己啓発(語学、実務の勉強、等々)
- 研究(調べごと、収集、等々)
- 創作・芸能(制作、演奏、等々)
- その他、趣味・娯楽(気晴らし的な活動、映画、音楽鑑賞、スポーツ観戦、機械いじり、日曜大工、園芸、読書、囲碁、将棋、パズル、TVゲーム、カラオケ、等々)
- その他(具体的に:)

次へ >>

回答を確認してから次へお進みください。

「次へ」ボタンが表示されない場合は、JavaScriptがOFFになっているか、推奨環境ブラウザではありません。

あなたご自身に関するアンケート

あなたの現在の職業【 *** ANS Q1330 *** 】について

Q8-1.
現在の職業ではどのような行動や能力が求められますか。下記に関して、現在の職業に特に必要なものをすべてお選びください。
(矢印方向にいくつでも)

Q8-2.
また、最近(ここ5年程度)、重要になっている行動や能力をすべてお選びください。
(矢印方向にいくつでも)

	現在の職業に 特に必要なもの (いくつでも)	最近(ここ5年程度) 重要になっているもの (いくつでも)
意欲・やる気	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
積極性・主体性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
前向きな姿勢	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
熱心さ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
粘り強さ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
集中力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
責任感	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
信頼できること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
観察力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
注意深さ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ミスがないこと	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
精神的な安定性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ストレスに強いこと	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
先見性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
計画性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
決断力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
実行力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
指導力・統率力・リーダーシップ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
協調性・チームワーク	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
思いやり・感受性(人の気持ちがわかること)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
素直さ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
柔軟性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
気配り	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
人間的な魅力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
人に好かれること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
人当たりの良さ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
社交性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
生活規律	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
団体規律	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	現在の職業に 特に必要なもの (いくつでも)	最近(ここ5年程度) 重要になっているもの (いくつでも)
学習力・成長力 (必要な知識やスキルを吸収し経験から成長していけること)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
数的処理能力(数学・統計学等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
コンピュータスキル	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
機械に強いこと	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
対人能力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

	現在の職業に 特に必要なもの (いくつでも)	最近(ここ5年程度) 重要になっているもの (いくつでも)
コミュニケーション能力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
交渉力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
管理能力・マネジメント能力(人や組織)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
顧客目線・相手の立場から考えられること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
クリエイティブ・独創性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
感性・感覚	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
情報収集能力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
調査研究能力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
論理的分析力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
企画力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
説明力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
説得力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
国際感覚	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
段取りができること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
応用力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
販売の知識・経験	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
産業やビジネスの知識・経験	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
科学や技術の知識・経験	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
文化や芸術的な知識・経験	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
社会や経済の知識・経験	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
健康・医療・ケアの知識・経験	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法律の知識・経験	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
経理の知識・経験	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
人事労務の知識・経験	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
建築・土木の知識・経験	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
保安警備の知識・経験	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
セキュリティの知識・経験	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
手先の器用さ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
体力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
健康	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
スタミナ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
第一印象	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
身だしなみ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
清潔感	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
人脈	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
資金力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
社会常識	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
マナー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他(現在特に必要なもの) (具体的に: <input type="text"/>)	<input type="checkbox"/>	
その他(最近重要になっているもの) (具体的に: <input type="text"/>)		<input type="checkbox"/>
特にない		<input type="checkbox"/>

あなたご自身に関するアンケート

■ここからは、現在のあなたのお勤めについてお伺いします。

あなたの現在の職業[*** ANS Q1330 ***]について

Q9.
現在の職業では、就業時間はどのようになっているかお知らせください。

- 朝始まり夕刻まででほぼ毎日同じ
- 三交代等いくつかのパターンがある
- 不定期に夜勤がある等日々変化

次へ >>

回答を確認してから次へお進みください。

「次へ」ボタンが表示されない場合は、JavaScriptがOFFになっているか、推奨環境ブラウザではありません。

あなたご自身に関するアンケート

あなたの現在の職業[*** ANS Q1330 ***]について

■前問で就業時間が「朝始まり夕刻まででほぼ毎日同じ」という方にお伺いします■

Q9SQ.
典型的、平均的な始業時間(職場に来る時間)、昼休み、終業時間(職場を出る時間)をお知らせください。

始業時間

昼休み(休憩)

終業時間

次へ >>

回答を確認してから次へお進みください。

「次へ」ボタンが表示されない場合は、JavaScriptがOFFになっているか、推奨環境ブラウザではありません。

あなたご自身に関するアンケート

あなたの現在の職業[*** ANS Q1330 ***]について

Q10.
現在の職業では、ほぼ定時に帰れますか。以下からお知らせください。

- ほぼ定時に帰れる
- たまに残業等がある
- 毎日のように残業等がある

次へ >>

回答を確認してから次へお進みください。

「次へ」ボタンが表示されない場合は、JavaScriptがOFFになっているか、推奨環境ブラウザではありません。

あなたご自身に関するアンケート

あなたの現在の職業[*** ANS Q1330 ***]について

Q11.
直近1年間の現在の職業の年収／収入を概算で回答してください。

年収 万円

次へ >>

回答を確認してから次へお進みください。

「次へ」ボタンが表示されない場合は、JavaScriptがOFFになっているか、推奨環境ブラウザではありません。

あなたご自身に関するアンケート

あなたの現在の職業[*** ANS Q1330 ***]について

Q12.
現在の職場はどのような組織でしょうか。以下からお知らせください。

- 会社
- 会社以外の法人／団体
- 国／地方自治体
- 個人／自営
- その他(具体的に:)

次へ >>

回答を確認してから次へお進みください。

「次へ」ボタンが表示されない場合は、JavaScriptがOFFになっているか、推奨環境ブラウザではありません。

あなたご自身に関するアンケート

あなたの現在の職業[*** ANS Q1330 ***]について

Q13.
現在の勤務先の会社全体、組織全体の従業員数は何人程度でしょうか。以下からお知らせください。

- 1～30名
- 31～300名
- 301～3000名
- 3001名以上

次へ >>

回答を確認してから次へお進みください。

「次へ」ボタンが表示されない場合は、JavaScriptがOFFになっているか、推奨環境ブラウザではありません。

あなたご自身に関するアンケート

あなたの現在の職業[*** ANS Q1330 ***]について

Q14.
現在の勤務先の業種／業界を以下からお知らせください。

- 建設業
- 製造業
- 運輸業
- 小売業
- 宿泊業
- 飲食業
- 医療
- 福祉
- IT
- その他サービス業(具体的に:)
- 国／地方自治体
- その他(具体的に:)

次へ >>

回答を確認してから次へお進みください。

「次へ」ボタンが表示されない場合は、JavaScriptがOFFになっているか、推奨環境ブラウザではありません。

あなたご自身に関するアンケート

あなたの現在の職業[*** ANS Q1330 ***]について

Q15.
現在の勤務先はどちらにありますか。47都道府県の中から選択してください。

▼▼都道府県を選択して下さい▼▼

次へ >>

回答を確認してから次へお進みください。

「次へ」ボタンが表示されない場合は、JavaScriptがOFFになっているか、推奨環境ブラウザではありません。

あなたご自身に関するアンケート

あなたの現在の職業[*** ANS Q1330 ***]について

Q16.
現在の勤務先が以下にあてはまる場合は、該当する場所をお知らせください。

※複数にあてはまる場合は、あてはまるものすべてをチェックしてください。

- 東京23区
- 都道府県庁所在地
- 政令指定都市
- あてはまるものはない

次へ >>

回答を確認してから次へお進みください。

「次へ」ボタンが表示されない場合は、JavaScriptがOFFになっているか、推奨環境ブラウザではありません。

あなたご自身に関するアンケート

あなたの現在の職業[*** ANS Q1330 ***]について

Q17.
現在の企業や団体での、または現在の自営やフリーランスとしての就業期間をお知らせください。

現在の企業・団体等での就業期間

次へ >>

回答を確認してから次へお進みください。

「次へ」ボタンが表示されない場合は、JavaScriptがOFFになっているか、推奨環境ブラウザではありません。

あなたご自身に関するアンケート

Q18.
職場でのあなたの職位をお知らせください。

- 一般
- 係長・主任相当
- 課長相当
- 部長・次長相当
- 経営層
- その他(具体的に:)

次へ >>

回答を確認してから次へお進みください。

「次へ」ボタンが表示されない場合は、JavaScriptがOFFになっているか、推奨環境ブラウザではありません。

あなたご自身に関するアンケート

■最後にあなたご自身のことについてお伺いします。

Q19-1.
性別をお知らせください。

- 男性
 女性

Q19-2.
年齢をお知らせください。

満 歳

Q18-3.
ご結婚状況をお知らせください。

- 結婚している
 結婚していない

Q19-4.
お子様の有無をお知らせください。

- 子供がいる
 子供はいない

Q19-5.
ご自分が家計の主たる担い手ですか。

- そうである
 そうではない

Q19-6.
あなたの学歴をお知らせください。

- 高校卒
 専門学校卒
 短大卒
 大学卒
 大学院卒
 その他(具体的に:)

次へ >>

回答を確認してから次へお進みください。

「次へ」ボタンが表示されない場合は、JavaScriptがOFFになっているか、推奨環境ブラウザではありません。

あなたご自身に関するアンケート

Q20.
現在のお住まいをお知らせください。47都道府県の中から選択してください。

▼▼都道府県を選択して下さい▼▼

次へ >>

回答を確認してから次へお進みください。

「次へ」ボタンが表示されない場合は、JavaScriptがOFFになっているか、推奨環境ブラウザではありません。

あなたご自身に関するアンケート

Q21.
住まいから職場までの通勤時間は何分位かをお知らせください。

通勤時間 ▼▼ 時分 ▼▼

次へ >>

回答を確認してから次へお進みください。

「次へ」ボタンが表示されない場合は、JavaScriptがOFFになっているか、推奨環境ブラウザではありません。

第3章 収集データの基本属性、就業条件等

1. 収集データの職業別分布

今回のデータ収集では集約した 200 職業に対して、その職業の従事者各 120 名を収集することを目標にデータ収集した。集約 200 職業に対する収集数は章末付表の「1. 集約 200 職業別収集数」の通りである。全体では 26,586 名収集し、200 職業のうち 120 名以上収集できたのが 162 職業であり、100 名以上収集が 167 職業、50 名以上収集が 192 職業となっている。最も少ない職業でも 23 名収集できており、平均等を求めるのであれば、かなり安定した結果が得られることが期待される数は収集できていることになる。

これを平成 23 年厚生労働省編職業分類での細分類でみたのが章末付表の「2. 厚生労働省編職業分類の職業細分類別収集数」である。集約 200 職業はこの細分類を類似性によりまとめたものであり、細分類では 100 名以上収集できたのが 139 職業、50 名以上収集が 200 職業、20 名以上収集が 255 職業となっている。収集数が一桁の職業もある。

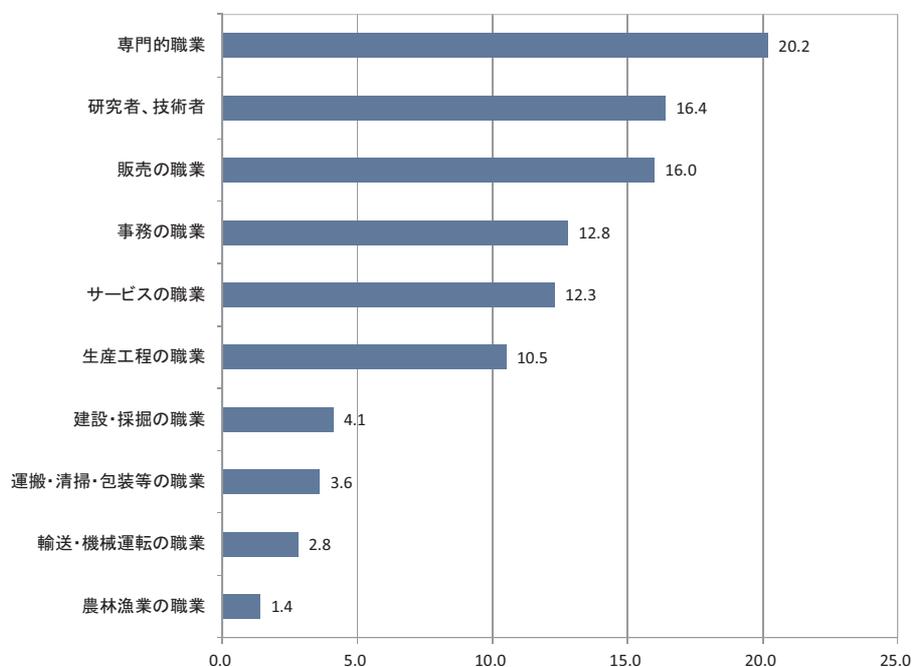
これを職業大分類でまとめたのが図表 3-1 である。収集数の多いものから並べグラフ化すると図表 3-2 のようになる。B-2 専門的職業が多く、I 輸送・機械運転の職業、G 農林漁業の職業は少ない。最新の「国勢調査」（平成 22 年）において、職業大分類別 15 歳以上就業者の割合は、「専門的・技術的職業」14.5%、「事務」18.4%、「販売」13.4%、「サービスの職業」11.5%、「生産工程」14.2%、「運搬・清掃・包装等」6.2%となっている。これと比べると、国勢調査の「専門的・技術的職業」に該当する「専門的職業」は 20.2%、「研究者、技術者」は 16.4%となり、計 36.6%と多くなっている。「事務の職業」12.8%、「生産工程の職業」10.5%は少ない。データがネットモニターから収集したものであり、また、集約 200 職業を均等に集めようとしたため、このような差が生まれているといえる。

職業は現在の職業、現職として聞いたものであるが、この現職の継続年数は図表 3-3 のような分布となる。4 年以上 10 年まで、11 年以上 20 年まで、3 年までが多いが、31 年以上もいる。なお、現職の前に他の職業に就いていたという者が 61.2%、現職以外に他の職業に就いたことが「ない」というものが 38.8%となっていた。

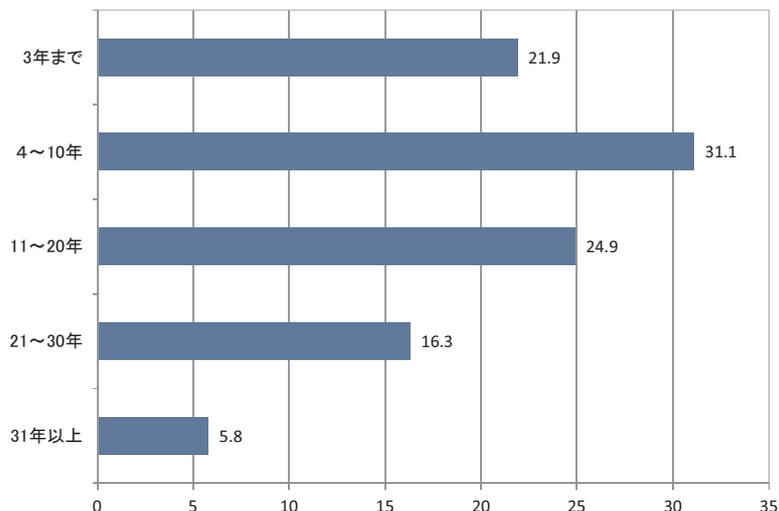
図表3-1 職業大分類別収集数

番号	職業大分類	収集人数	%
B-1	研究者、技術者	4,373	16.4
B-2	専門的職業	5,360	20.2
C	事務の職業	3,395	12.8
D	販売の職業	4,250	16.0
E	サービスの職業	3,272	12.3
G	農林漁業の職業	368	1.4
H	生産工程の職業	2,792	10.5
I	輸送・機械運転の職業	732	2.8
J	建設・採掘の職業	1,087	4.1
K	運搬・清掃・包装等の職業	957	3.6
合計		26,586	100

図表3-2 職業大分類別収集割合（全体を100とする%、n=26,586）



図表3-3 職業の継続年数（全体を100とする%、n=26,586）

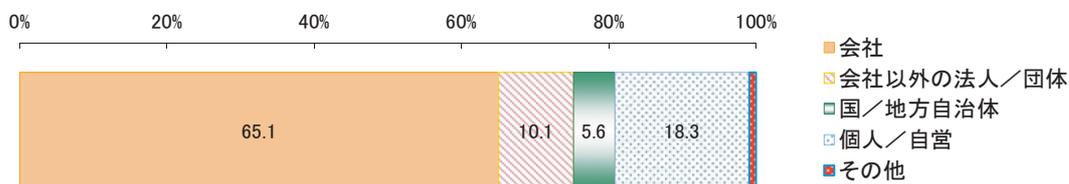


2. 収集データの勤務先等

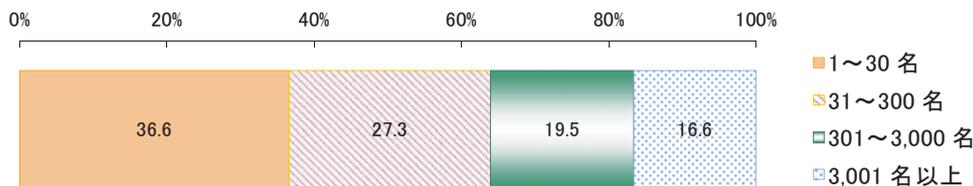
勤務先に関しては会社が65.1%と多く、個人／自営も18.3%と多くなっている（図表3-4）。勤務先の会社全体、団体全体の従業員数としては、30名までが多く、次いで31名から300名となっている（図表3-5）。

勤務先の業種としては、多いものから、「製造業」（21.1%）、「その他サービス業」（16.3%）、「小売業」（11.3%）、「医療」と「福祉」を合計すると12.2%、「建設業」（8.2%）、「IT」（7.6%）となっている（図表3-6）。国勢調査（平成22年度）における産業大分類別15歳以上就業者の割合では、多い順に、「卸売業、小売業」が16.4%、「製造業」が16.1%、「医療、福祉」が10.3%、「建設業」7.5%、「宿泊業、飲食サービス業」5.7%、「サービス業（他に分類されないもの）」5.7%、「運輸業、郵便業」5.4%、「農業、林業」3.7%となっており、これに較べると本データは「製造業」、「その他サービス業」の割合が多いことになる。職種（厚生労働省編職業分類の職業大分類）別分布と同様、データがネットモニターから収集したものであり、また、集約200職業を均等に集めようとしたためといえる。

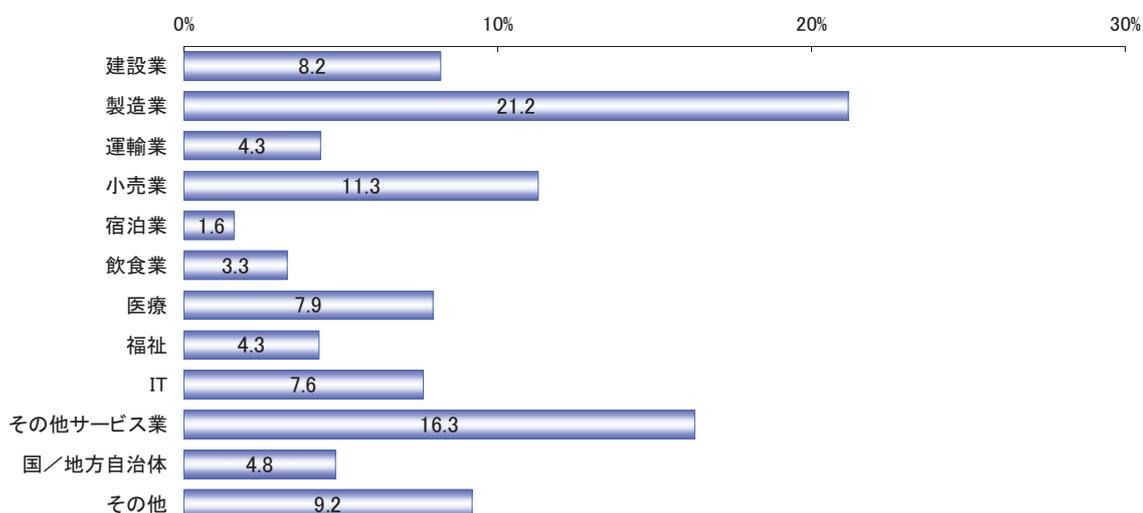
図表3-4 勤務先の組織（全体を100とする%、n=26,586）



図表3-5 勤務先の会社全体、団体全体の従業員数（全体を100とする%、n=26,586）

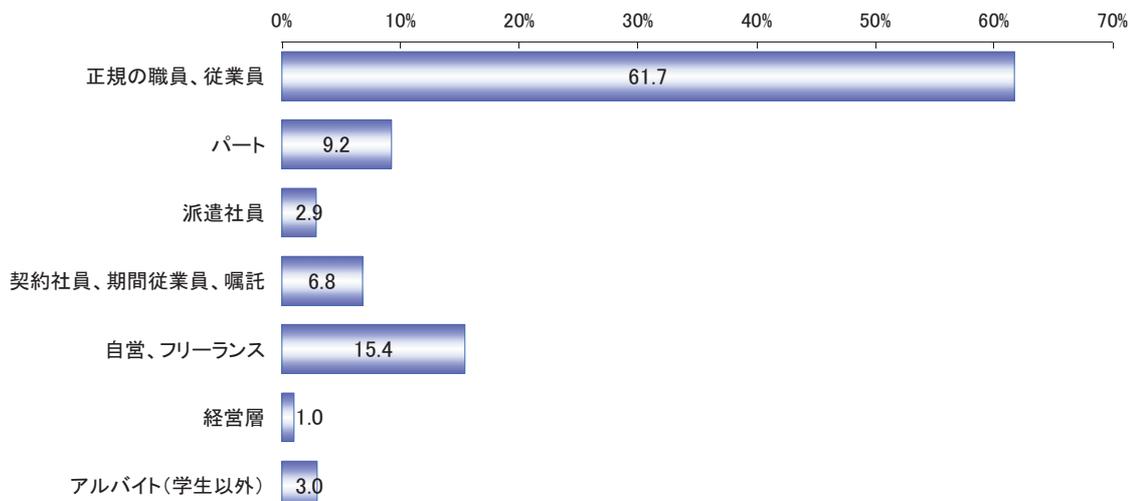


図表3-6 勤務先の業種（全体を100とする%、n=26,586）

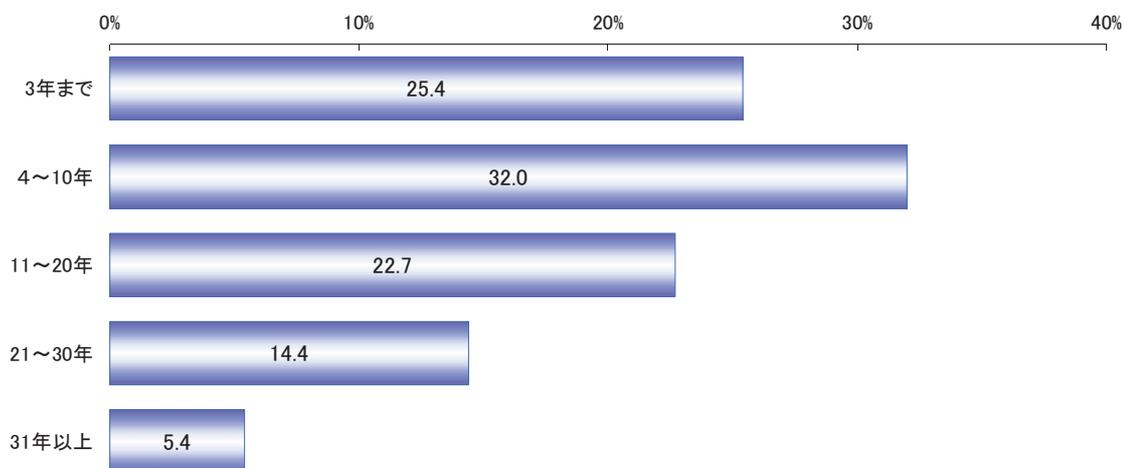


勤務先での雇用形態としては、正規の職員、従業員が61.7%と多くなっており、自営、フリーランスも15.4%と比較的多い（図表3-7）。平成22年国勢調査では男女込みの「正規の職員・従業員」が65.8%となっており、比較的近い値といえる。勤務先での勤続年数は、4年以上10年までが多くなっている（図表3-8）。勤務先での職位としては一般が55.4%と多い（図表3-9）。

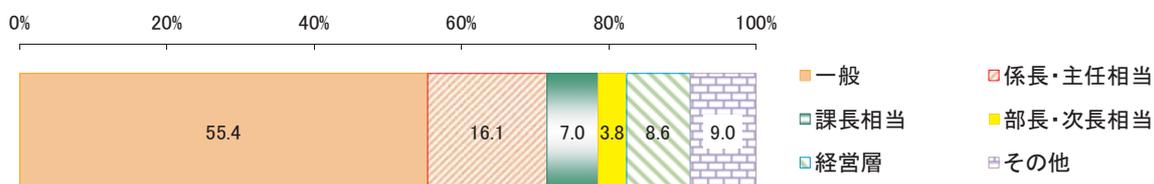
図表3-7 勤務先での雇用形態（全体を100とする%、n=26,586）



図表3-8 勤務先での勤務年数（全体を100とする%、n=26,586）



図表3-9 勤務先での職位（全体を100とする%、n=26,586）



3. 収集データの個人属性等

収集したデータの個人属性としては、年齢と性別が図表 3-10 のようになっており、全体としては年齢では 40 歳代、30 歳代が多い。性別では男性が 18,518 名（69.7%）、女性が

8,068名（30.3%）となっている。性別に年齢別をみると男性では40歳代、50歳代、60歳以上は男性が多く、29歳まで、30歳代は女性が多くなっている。労働力調査（平成24年）と比較すると（図表3-11）、本調査では男女では男性の割合がやや高く、年齢では40歳代、30歳代の割合がやや高い。男女の年齢段階別をみると、労働力調査では分布に大きな山がないのに対し、本調査では男性では40歳代がやや多く、女性では30歳代と40歳代がやや多くなっている。

学歴としては大学卒が40.7%と多く、次いで高校卒が27.6%となっている（図表3-12）。「就業構造基本調査」（平成24年）では就業者に占める割合として、高卒45.5%、大卒25.0%、大学院卒2.6%となっており、本調査では高卒が少なく、大卒が多い。就業者以外も含まれるが、「国勢調査」（平成22年）では、高卒が38.9%、大学・大学院卒16.4%となっている。

現在の職業として回答した職業からの直近1年間の収入としては（図表3-13）、200万円代、300万円代が多くなっている。国税庁「民間給与実態統計調査結果」（平成24年）では平均が408万円となっており、総務省「家計調査」（平成25年9月分速報）では、世帯主の月収が357,312円（12を乗ずると429万円）、配偶者の月収が54,502円（12を乗ずると65万円）となっている。本調査のサンプルは、同じ職業の中でも、収入が比較的低い層へ偏っている可能性が考えられる。

なお、年収に関して職業細分類で100名以上集まっている職業を、中央値が高いものからみると、医師（1,500万円）、医薬情報担当者（MR）・医薬品卸販売担当者（MS）（800万円）、歯科医師（730万円）、大学教員（720万円）、ITアーキテクト（700万円）であった。逆に、最も中央値が低いものは、ウェイター・ウェイトレス（飲食店ホール係）（100万円）、コンビニエンスストア店員（100万円）であった。

この他の属性としては「結婚している」が16,400名（61.7%）、「子供がいる」が13,889名（52.2%）、「家計の担い手である」が19,096名（71.8%）となっている。

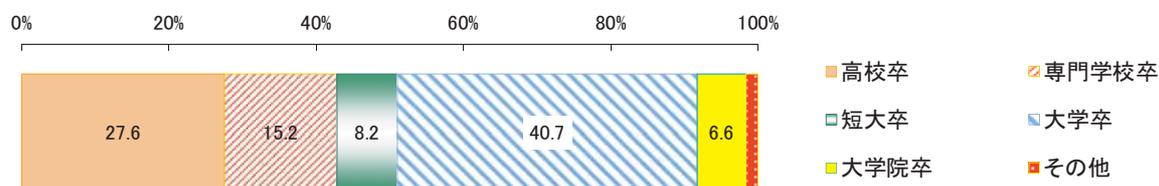
図表3-10 収集データの性別年齢段階別

		29歳 まで	30歳代	40歳代	50歳代	60歳 以上	計
男性	実数	834	4,352	7,375	4,543	1,414	18,518
	%	4.5	23.5	39.8	24.5	7.6	69.7
女性	実数	1,085	2,643	2,713	1,377	250	8,068
	%	13.4	32.8	33.6	17.1	3.1	30.3
計	実数	1,919	6,995	10,088	5,920	1,664	26,586
	%	7.2	26.3	37.9	22.3	6.3	100.0

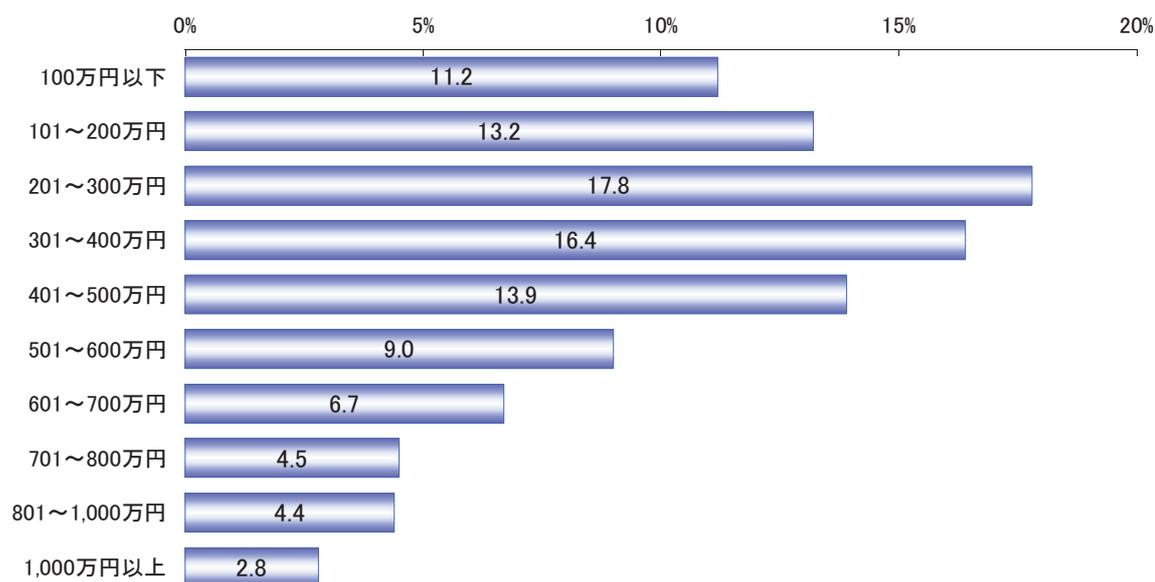
図表3-11 平成24年「労働力調査」労働力人口（単位万人）

		29歳 まで	30歳代	40歳代	50歳代	60歳 以上	計
男性	実数	601	847	852	731	758	3,789
	%	15.9	22.4	22.5	19.3	20.0	57.8
女性	実数	524	583	641	542	476	2,766
	%	18.9	21.1	23.2	19.6	17.2	42.2
計	実数	1,125	1,430	1,493	1,273	1,234	6,555
	%	17.2	21.8	22.8	19.4	18.8	100.0

図表3-12 学歴（全体を100とする%、n=26,586）



図表3-13 現職からの直近1年の収入（全体を100とする%、n=26,586）



4. 勤務時間、通勤時間

最後に始業時間、就業時間、通勤時間等について、職業毎に特徴があるであろうが、ここではまず全体の傾向をみておく。

勤務のパターンとしては、「朝始まり夕刻まででほぼ毎日同じ」が73.1%と多くなっている（図表3-14）。この「朝始まり夕刻まででほぼ毎日同じ」（n=19,436）に関して、始業時間（職場に来る時間）をみると、8時台、9時台が多い（図表3-15）。昼休みは12時から13時頃が多くなっているが（76.0%）、13時から14時頃も10.3%いる（図表3-16）。終業時間（職場を出る時間）は17時台、18時台が多いが、20時台、21時台もいる（図表3-17）。職業細分類において100名以上収集できた職業に関して、終業時間（職場を出る時間）が20時台から深夜2時台になる者の割合を計算すると、比率が高い職業から日本料理調理人（42.9%）、西洋料理調理人（38.8%）、医薬情報担当者（MR）・医薬品卸販売担当者（MS）（34.0%）、自動車営業員（32.9%）、学習塾教師（28.1%）となっていた。

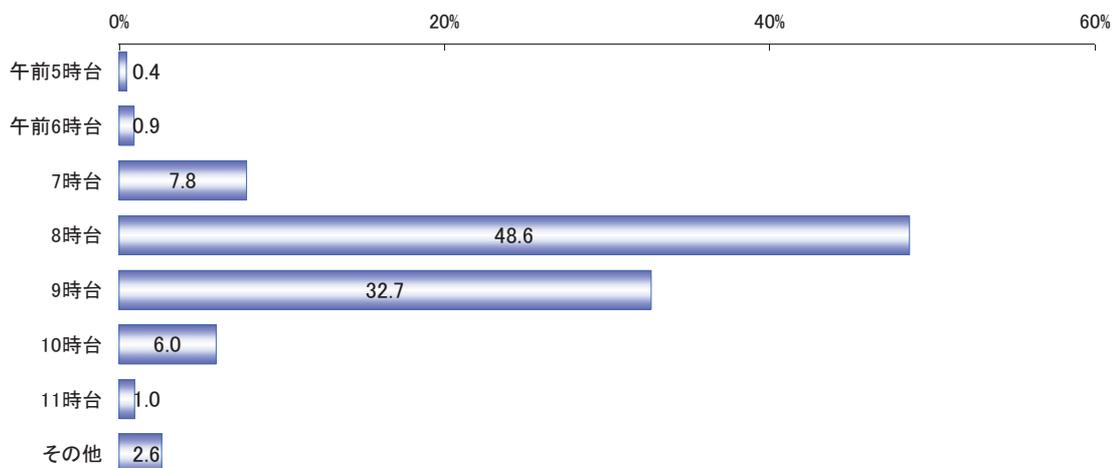
残業に関しては、「ほぼ定時に帰れる」が33.9%、「たまに残業等がある」が37.0%、「毎日のように残業等がある」が29.1%となっている（図表3-18）。なお、職業細分類において100名以上収集できている職業で、「毎日のように残業等がある」の比率が高いものからみると、中学校教員（79.5%）、小学校教員（66.4%）、情報処理プロジェクトマネージャ（58.6%）、印刷営業員（58.2%）、建築施工管理技術者（56.4%）であった。「毎日のように残業等がある」の比率が低いものは理容師（2.0%）、ビル・建物清掃員（4.1%）であった。

通勤時間（片道）に関しては、30分以内が過半数を占めるが、1時間以上も合計すると約1割以上となる（図表3-19）。

図表3-14 勤務のパターン（全体を100とする%、n=26,586）

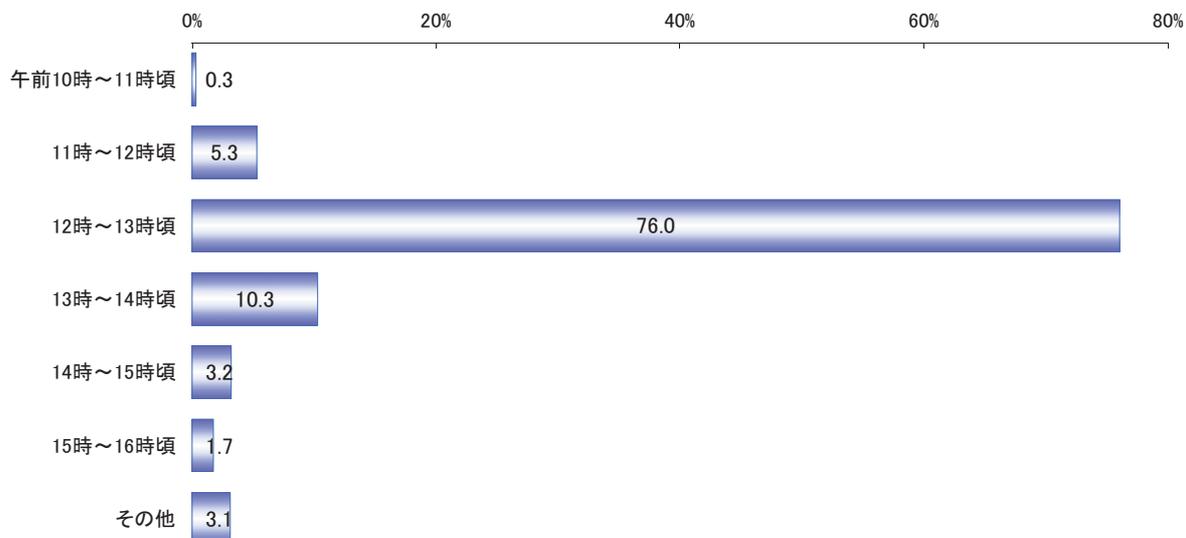


図表3-15 職場に来る時間（全体を100とする%、n=19,436）



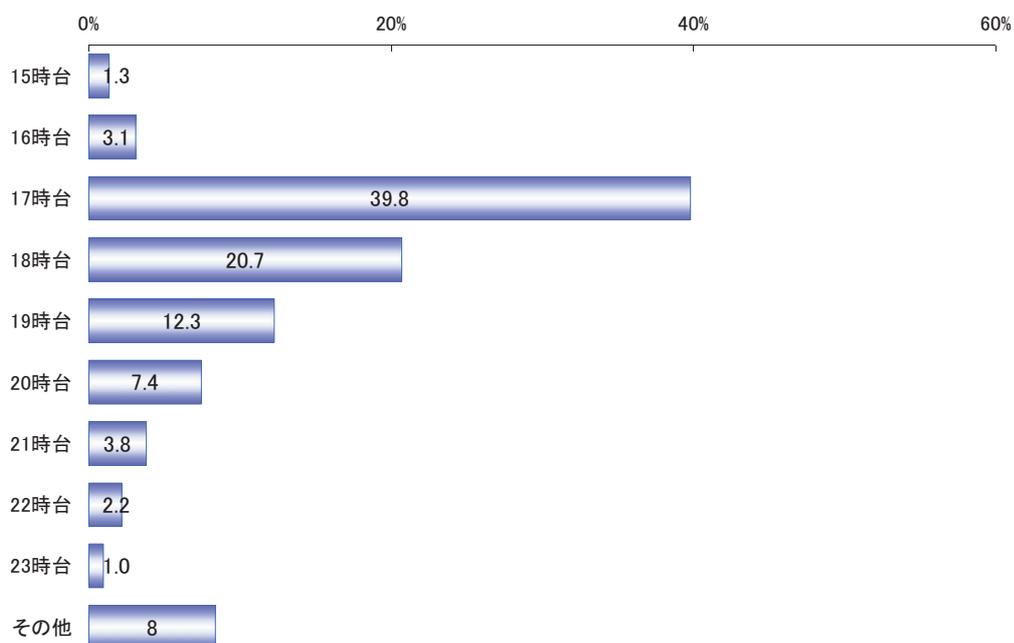
注) 「朝始まり夕刻まででほぼ毎日同じ」 (n=19,436) の場合のみ。

図表3-16 昼休み（全体を100とする%、n=19,436）



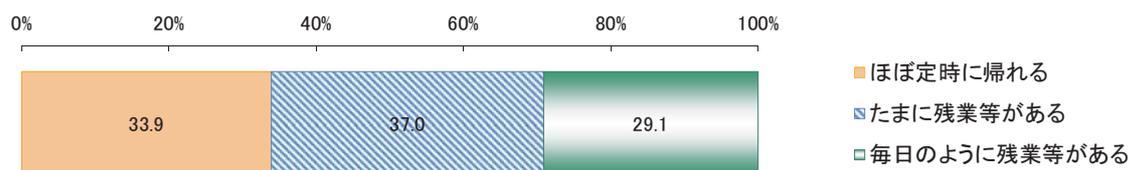
注) 「朝始まり夕刻まででほぼ毎日同じ」 (n=19,436) の場合のみ。

図表3-17 職場を出る時間（全体を100とする%、n=19,436）

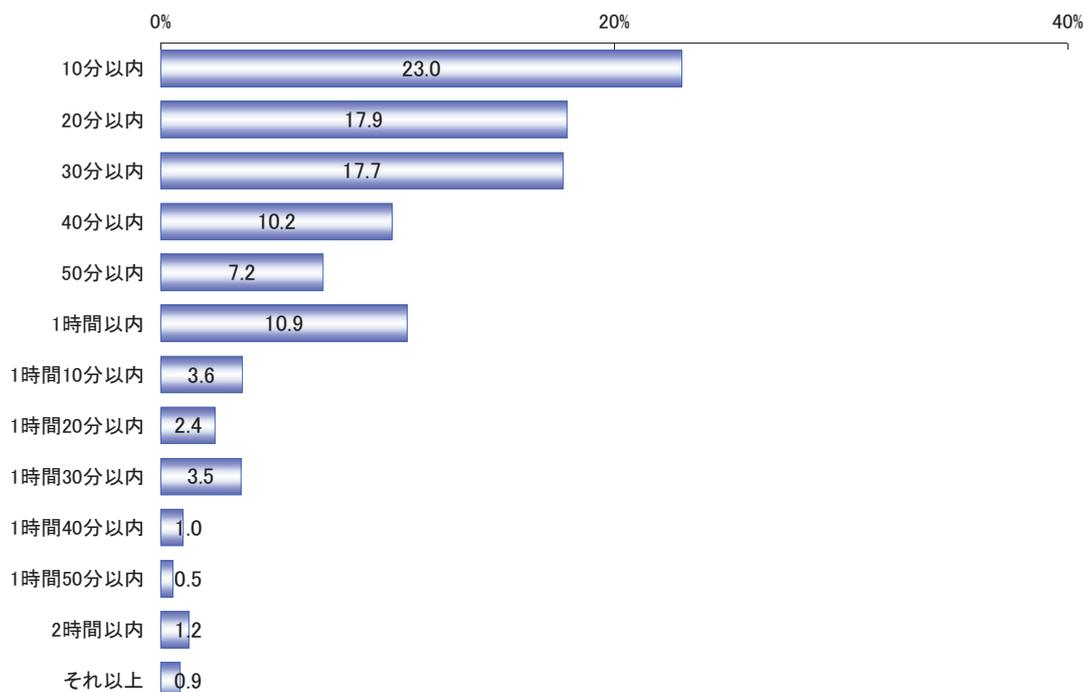


注) 「朝始まり夕刻まででほぼ毎日同じ」(n=19,436) の場合のみ。

図表3-18 残業の頻度（全体を100とする%、n=26,586）



図表3-19 通勤時間（片道、全体を100とする%、n=26,586）



5. まとめ:収集データについて

今回のデータ収集では集約した200職業に対して、その職業の従事者各120名を収集することを目標にデータ収集した。集約200職業に対し全体では26,586名収集し、200職業のうち120名以上収集できたのが162職業であり、100名以上収集が167職業、50名以上収集が192職業となっている。最も少ない職業でも23名収集できた。200職業を偏りなく集める点に関しては、目標に沿った収集ができたといえる。

しかしながら、Web調査によって200職業に対して均等にデータを収集したため、他の調査と比較すると、分布に違いがみられるものがあった。「国勢調査」（平成22年）と比較すると、本調査では「専門的職業」、「研究者、技術者」が多く、「事務の職業」、「生産工程の職業」は少ない。学歴は「就業構造基本調査」（平成24年）と比較すると、本調査では高卒が少なく、大卒が多い。このように本調査では専門職や高学歴が比較的多いことになる。また、労働力調査（平成24年）と比較すると、本調査では男女では男性の割合がやや高く、年齢では40歳代、30歳代の割合がやや高い。一方、収入では、現在の職業からの直近1年間の収入として、200万円代、300万円代が多くなっている。

1	14	建築技術者(設計業務)	172	101	41	栄養士・管理栄養士	147
2	80	一般事務員	161	102	44	老人福祉施設専門員	147
3	193	建設・土木作業員	161	103	47	介護支援専門員(ケアマネージャー)	147
4	17	土木施工管理技術者	160	104	51	経営コンサルタント	147
5	86	生産・工程管理事務員	158	105	61	新聞・雑誌・図書編集者	147
6	89	営業事務員	158	106	66	写真家(助手含む)	147
7	72	総務事務員	157	107	73	広報事務員	147
8	79	コールセンターオペレーター・テレフォンアポインター	157	108	83	法律事務所事務員	147
9	15	建築施工管理技術者	156	109	87	商品仕入係事務員(内勤のもの)	147
10	182	トラック・トレーラー・タンクローリー運転、自動車陸送	156	110	91	金融事務員	147
11	5	電気・電子・電気通信技術者(開発業務)	155	111	93	パソコンオペレーター	147
12	22	ソフトウェア開発技術者(WEB・オープン系)	155	112	117	医薬情報担当者(MR)・医薬品卸販売担当者(MS)	147
13	10	電気・電子・電気通信技術者(製造業務)	153	113	145	マンション・アパート・下宿管理人	147
14	59	専門学校(専修学校・各種学校)教員	153	114	149	学童保育指導員	147
15	101	家庭用電気機器販売店員	153	115	158	機械加工	147
16	148	レンタルショップ店員	153	116	172	機械修理	147
17	167	印刷・製本・DTP作業	153	117	189	内装作業員	147
18	16	土木技術者(設計業務)	152	118	194	運搬・積降・引越し作業員	147
19	20	プロジェクトマネージャー	152	119	195	倉庫作業員	147
20	35	看護師・准看護師	152	120	2	文系研究者	146
21	36	診療放射線技師	152	121	31	社内SE	146
22	54	小学校教員	152	122	46	保育士	146
23	56	高等学校教員	152	123	50	金融専門職	146
24	76	商品企画・商品開発事務員	152	124	69	学習塾教師	146
25	11	機械技術者(製造業務)	151	125	104	スーパーマーケット店員	146
26	19	ITアーキテクト	151	126	120	自動車営業員	146
27	25	プログラマー	151	127	124	銀行等渉外係	146
28	27	ネットワークエンジニア	151	128	126	印刷営業員	146
29	37	臨床検査技師(衛生検査技師を含む)	151	129	134	西洋料理調理人(見習い含む)	146
30	55	中学校教員	151	130	147	添乗員・観光案内人(ツアーコンダクター・ガイド)	146
31	57	特別支援学校教員	151	131	166	木製製品・紙・紙製製品製造	146
32	60	新聞・雑誌・放送記者・ライター	151	132	168	プラスチック製品製造	146
33	100	コンビニエンスストア店員	151	133	173	自動車整備	146
34	4	食品技術者(開発・製造業務)	150	134	187	大工	146
35	8	金属技術者(開発・製造業務)	150	135	1	理系研究者	145
36	75	企画係事務員(商品企画を除く)	150	136	18	測量士・測量士補	145
37	85	会計・経理事務員	150	137	24	ソフトウェア開発技術者(汎用機系)	145
38	90	貿易事務員	150	138	39	作業療法士	145
39	92	保険事務員	150	139	65	WEBデザイナー	145
40	97	個人営業の一部 ECサイト営業	150	140	103	ガソリンスタンド販売員	145
41	98	レジ係(小売店)	150	141	118	一般機械器具営業員	145
42	99	デパート店員	150	142	129	看護助手	145
43	113	不動産仲介・売買取手・営業員	150	143	137	調理補助	145
44	122	情報システム営業員	150	144	165	繊維製品製造(アパレル等)	145
45	123	商社営業部員	150	145	179	バス運転士(路線バス)	145
46	127	施設介護員(ケアワーカー)	150	146	45	障害者福祉施設専門員	144
47	128	訪問介護員(ホームヘルパー)	150	147	58	大学教員	144
48	146	ビル管理人	150	148	112	商品仕入営業員(バイヤー)	144
49	164	食料品製造	150	149	141	ホテル・旅館フロント係	144
50	181	タクシー運転手	150	150	3	農林水産技術者	143
51	7	自動車技術者(開発業務)	149	151	63	イラストレーター	143
52	12	自動車技術者(製造業務)	149	152	74	人事係・教育・研修係事務員	143
53	38	理学療法士	149	153	70	パソコン教室教師	137
54	64	グラフィックデザイナー	149	154	200	製品包装作業員(包装機械オペレーターを含む)	137
55	67	音楽家	149	155	102	医薬品登録販売者	136
56	81	医療事務員	149	156	52	ファイナンシャル・プランナー	134
57	84	学校事務員	149	157	180	バス運転士(その他)	133
58	96	小売店長(コンビニ以外。主に販売の仕事に従事するもの)	149	158	186	建築躯体工事作業員(型枠、とび、鉄筋)	133
59	110	卸売販売店員	149	159	191	電話録・通信線配線作業員(建物内)	131
60	115	飲食料品営業員	149	160	142	ホテル・旅館接客・客室係	130
61	116	化学品営業員(医薬品を除く)	149	161	109	ホームセンター店員	122
62	119	電気機械器具営業員	149	162	139	配せん人	121
63	132	美容師(見習い含む)	149	163	53	幼稚園教員	118
64	133	日本料理調理人・すし職人	149	164	48	医療ソーシャルワーカー(MSW、PSW)	115
65	136	給食調理人	149	165	114	保険代理人	113
66	162	金属製品製造・溶接	149	166	156	金属材料製造(鉄鋼・非鉄金属)	112
67	163	化学製品製造	149	167	68	カウンセラー(学校・職場)	105
68	171	自動車組立	149	168	160	建築板金・工場板金・自動車板金	97
69	175	機械器具検査	149	169	130	歯科助手	91
70	188	配管作業員	149	170	95	コンビニエンスストア店長(主に販売の仕事に従事するもの)	87
71	6	機械技術者(開発業務)	148	171	105	化粧品販売員	86
72	9	化学技術者(開発業務)	148	172	88	カウンター係(旅行・宴会・結婚式などの紹介・相談)	84
73	13	化学技術者(製造業務)	148	173	106	携帯電話販売員	83
74	23	ソフトウェア開発技術者(組込・制御系)	148	174	199	ハウスクリーニング作業員	82
75	26	システム運用管理者	148	175	21	Webディレクター	81
76	34	薬剤師(調剤業務)	148	176	107	眼鏡販売店員	80
77	49	税理士	148	177	161	めっき・金属研磨	78
78	77	受付係	148	178	178	CADオペレーター(機械製図、電気・電子製図)	78
79	78	秘書	148	179	157	鋳物・鍛造・圧延	75
80	82	法務係事務員	148	180	152	畜産従事者	73
81	94	データ入力係員	148	181	190	送電線・配電線・通信線架線作業員	72
82	121	医療機器販売営業員	148	182	108	フラワーショップ店員	68
83	125	損害保険会社営業社員(代理店担当)	148	183	111	商品訪問販売員	65
84	131	理容師(見習い含む)	148	184	185	建設重機オペレーター(ブルドーザー・クレーン等)	63
85	138	レストラン等飲食店の店長(主に調理をする人を除く)	148	185	184	発電員、送電員、変電員、配電員	62
86	140	ウェイター・ウェイトレス(飲食店ホール係)	148	186	135	中華料理調理人(見習い含む)	61
87	143	娯楽場接客係	148	187	144	娯楽場遊戯施設係	59
88	150	カイロプラクター、整体師、リラクゼーション・スタッフ	148	188	154	林業従事者	59
89	151	農耕従事者	148	189	170	電子機器部品組立	58
90	159	金属プレス・鉄工・製缶	148	190	28	セキュリティエンジニア	52
91	169	機械組立(電気機械含む)	148	191	62	映像編集者	51
92	174	金属材料・金属加工品検査	148	192	42	臨床心理士(病院)	50
93	192	電気配線工事作業員(建物内)	148	193	153	植木職・造園師	46
94	196	荷物配達員	148	194	155	漁労従事者(海藻・貝類採取を含む)	42
95	197	ルート集配員	148	195	176	建築塗装	37
96	198	ビル・建物清掃員	148	196	177	CADオペレーター(建築製図)	37
97	30	セールスエンジニア(ソフトウェアメーカー)	147	197	43	治験コーディネーター	31
98	32	医師	147	198	71	リサーチアドミニストレーター	29
99	33	歯科医師	147	199	29	データサイエンティスト	26
100	40	歯科衛生士	147	200	183	ダンプカー・コンクリートミキサー車運転手	23

1	建築技術者(設計業務)	172	101	ソフトウェア開発技術者(汎用機系)	145	201	新聞記者	49
2	一般事務員(文書作成、書類整理、備)	161	102	一般機械器具営業員(汎用・生産用)	145	202	カイロプラクター、整体師	48
3	土木施工管理技術者	160	103	看護助手	145	203	テクニカルライター、マニュアルライタ	48
4	営業事務員	158	104	作業療法士	145	204	パン、菓子製造工(食パン、菓子パン、)	48
5	生産・工程管理事務員(工場)(原材料)	158	105	調理補助	145	205	職場カウンセラー(事業所の従業員を)	48
6	総務事務員(庶務、文書、資産管理、)	157	106	路線バス運転手(乗合バス、高速バス)	145	206	会社・団体受付係	47
7	建築施工管理技術者	156	107	ホテル・旅館フロント係	144	207	とび工(建築とび、取りこわし作業員)	46
8	ソフトウェア開発技術者(WEB・オーブ)	155	108	商品仕入営業員(バイヤー)(外勤:販)	144	208	鉄工(建築用鉄骨、船舶鋼板、橋梁な)	46
9	家庭用電気機器販売店員(家電量販)	153	109	障害者福祉施設専門員(職業指導員)	144	209	金属研磨工(金属材料・製品のきず取)	45
10	物品賃貸人(レンタルショップ、レンタ)	153	110	大学教員	144	210	不動産仲介・売買人(店舗での住宅・)	44
11	高等学校教員	152	111	イラストレーター	143	211	工場板金工(金属薄板製の部品・筐体)	43
12	商品企画・商品開発事務員(新商品の)	152	112	農林水産技術者(農業・畜産・林業・水)	143	212	積卸作業員(工場、事業場、駅、運送)	43
13	小学校教員	152	113	トラック運転手	140	213	漁労従事者(海藻・貝類採取を含む)	42
14	情報処理プロジェクトマネージャ	152	114	西洋料理調理人	139	214	添乗員(ツアーコンダクター)	42
15	診療放射線技師	152	115	写真家(営業写真家、商業カメラマン、)	138	215	発電員、送電員、変電員、配電員(発)	41
16	土木技術者(設計業務)	152	116	パソコン教室教師	137	216	型枠大工	40
17	ITアーキテクト	151	117	製品包装作業員(包装機械オペレータ)	137	217	自動車板金工	40
18	コールセンターオペレーター(電話によ)	151	118	医薬品登録販売者	136	218	栄養士	39
19	コンビニエンスストア店員	151	119	ファイナンシャル・プランナー	134	219	貸切バス運転手(貸切観光バス、貸切)	39
20	プログラマー	151	120	電気通信装置据付・保守作業員(テレ)	131	220	非鉄金属製錬工	39
21	中学校教員	151	121	電気・電子・電気通信技術者(開発業)	130	221	金属材料検査工(金属製錬、圧延、鉄)	38
22	通信ネットワーク技術者(サーバ技術)	151	122	看護師	126	222	CADオペレーター(建築製図)	37
23	特別支援学校教員	151	123	機械技術者(開発業務:設計)(金型・)	126	223	建築塗装工	37
24	臨床検査技師(衛生検査技師を含む)	151	124	ホームセンター店員	122	224	分析化学技術者	37
25	タクシー運転手(タクシー、ハイヤー、)	150	125	各種学校教員(予備校、服飾、料理、)	122	225	鉄筋工(建築物の鉄筋コンクリート工)	36
26	デパート店員	150	126	配せん人(ホテル・旅館・会館・斎場等)	121	226	DTPオペレーター	35
27	ネットショップ責任者(ネットショップ店)	150	127	日本料理調理人	119	227	クレーン・巻上機運転工	35
28	ビル管理人(受付・清掃・警備・設備管)	150	128	印刷・製本作業員(製版、オフセット印)	118	228	理学研究者(教育活動に従事する大)	34
29	レジ係(小売店)	150	129	幼稚園教員	118	229	めっき工(電気めっき、化学めっき、溶)	33
30	企画係事務員(商品企画を除く)(販売)	150	130	衣服・繊維製品製造工(紳士服・婦人)	116	230	診療コーディネーター	31
31	建設・土木作業員(建設・土木工事現)	150	131	医療ソーシャルワーカー(MSW、PS)	115	231	専修学校教員	31
32	施設介護員(ケアワーカー)	150	132	保険代理人(保険代理店での保険契)	113	232	すし職人	30
33	商社営業部員	150	133	化学技術者(製造業務)(石油製品、)	111	233	リサーチ・アドミニストレーター	29
34	情報システム営業員	150	134	金属加工・溶接検査工(金属切削加工)	110	234	雑誌記者	29
35	保険事務員(物損事故調査、損害査定)	150	135	管理栄養士	108	235	紡織工(粗紡、捻糸、加工糸、織布、)	29
36	訪問介護員(ホームヘルパー)	150	136	住宅・不動産営業員(住宅・不動産の)	106	236	現金出納事務員(現金・小切手等の受)	28
37	貿易事務員	150	137	観光案内人(旅行・観光ガイド)	104	237	造園師	28
38	グラフィックデザイナー(広告、ポスタ)	149	138	受付係(会社・団体受付を除く)(図書)	101	238	金属熱処理工	27
39	医療事務員(医療機関、調剤薬局)	149	139	リラクゼーション・スタッフ(アロマセラ)	100	239	電気機械組立工(発電機、電動機、配)	27
40	飲食料品営業員	149	140	金属製錬・金属材料技術者(製造業務)	97	240	電子応用機械器具組立工(汎用コン)	27
41	卸売販売店員(飲食料品、魚介・野菜)	149	141	自動車技術者(開発業務:設計)	97	241	データサイエンティスト	26
42	音楽家(作曲家、指揮者、演奏家、声)	149	142	電気・電子・電気通信技術者(生産技)	97	242	医学研究者(教育活動に従事する大)	26
43	化学製品製造工(化学薬品、合成樹)	149	143	測量士	95	243	建設用機械車両運転工(掘削機、ショ)	26
44	化学品営業員(医薬品を除く)(化粧品)	149	144	送迎バス運転手(スクールバス、シャ)	94	244	准看護師	26
45	学校事務員(総務・人事・財務・福利厚)	149	145	はん用・生産用・業務用機械器具修理	92	245	電気・電子・電気通信技術者(開発業)	25
46	給食調理人(会社、工場、学校、病院)	149	146	歯科助手	91	246	自動車検査工	24
47	自動車組立工(フォークリフト・ロード)	149	147	運搬作業員(工場、市場、リサイクル)	88	247	はん用・生産用・業務用機械器具検査	23
48	小売店長(主に販売の仕事に従事す)	149	148	人事係事務員(採用、評価、給与、)	88	248	鋳物製造工	23
49	電気機械器具営業員(発電用電気)	149	149	コンビニエンスストア店長(主に販売の)	87	249	機械技術者(開発業務:設計を除く)	22
50	配管工	149	150	機械技術者(生産技術業務)	87	250	製缶工(ボイラー、圧力容器、タンク)	22
51	美容師	149	151	食品技術者(製造業務)	87	251	自家用電気係員(工場・ビル・病院な)	21
52	理学療法士	149	152	化粧品販売員	86	252	新聞編集者	21
53	ウエイター・ウェイトレス(飲食店ホ)	148	153	飲食店長(主に接客の仕事に従事す)	85	253	精穀・製粉・調味食品製造工(精米、)	21
54	システム運用管理者(システム・ネット)	148	154	カウンター係(旅行・宴会・結婚式など)	84	254	製鉄工	21
55	ソフトウェア開発技術者(組込・制御系)	148	155	携帯電話販売員	83	255	ダンパー運転手	20
56	データ入力係員	148	156	数値制御金属工作機械工(NC旋盤、)	83	256	財務事務員(資金の調達・運用、資産)	18
57	ビル・建物清掃員	148	157	ハウスクリーニング作業員(住宅の水)	82	257	植木職	18
58	ルート集配員(荷物・商品などの配達)	148	158	Webディレクター	81	258	飲料・たばこ製造工(清酒、ビール、焼)	17
59	医療機器販売営業員	148	159	経理事務員(公認会計士事務所・税理)	81	259	くぎ・ばね・金属線製品製造工(くぎ類)	16
60	化学技術者(開発業務)(石油製品、)	148	160	眼鏡販売店員	80	260	引越作業員	16
61	荷物配達員(宅配便・バイク便・メル)	148	161	金属プレス工	80	261	庄延工	14
62	娯楽場接客係(映画館、劇場、遊園地)	148	162	ホテル・旅館接客係	79	262	建築板金工(金属製の、屋根材・樋・)	14
63	税理士	148	163	自動車技術者(生産技術業務)	79	263	電気通信機械器具組立工(携帯電話)	14
64	電気配線工事作業員	148	164	電気機械器具検査工(電気機械、電)	79	264	鉄道車両・船舶・航空機検査工	13
65	農耕従事者(稲作、畑作、園芸・工芸)	148	165	CADオペレーター(機械製図、電気・)	78	265	弁当・惣菜類製造工	13
66	秘書	148	166	パルプ・紙・紙製品製造工(パルプ・段)	75	266	放送記者	13
67	保険営業員(生命保険・損害保険の)	148	167	工学研究者(教育活動に従事する大)	74	267	スポーツライター、トラベルライター	12
68	法務係事務員(知的財産権の管理、)	148	168	社会科学研究者(教育活動に従事す)	73	268	鍛造工	11
69	薬剤師(調剤業務)(処方せんにもと)	148	169	人文科学研究者(教育活動に従事す)	73	269	鉄筋工(土木施設の鉄筋コンクリート)	11
70	理容師	148	170	畜産従事者(肉牛・乳牛飼育、養豚、)	73	270	農学・林学・水産学研究者(教育活動)	11
71	セールスエンジニア(ハード、ソフト)	147	171	送電線・配電線・通信線架線(敷設)作	72	271	舗装作業員(道路の舗装・補修、道路)	11
72	パソコンオペレーター(パソコンによる)	147	172	図書編集者	71	272	民生用電子・電気機械器具組立工(エ)	11
73	マンション・アパート・下宿管理人	147	173	木製製品製造工(製材、木材チップ・)	71	273	計量計測機器・光学機械器具検査工	10
74	医師	147	174	金属溶接工(アーク溶接、抵抗溶接、)	70	274	保存食品・冷凍加工食品製造工(お茶)	10
75	医療情報担当者(MR)、医薬品卸販売	147	175	自動車技術者(製造業務:生産技術)	70	275	写真家助手、カメラマン助手	9
76	介護支援専門員(ケアマネージャー)	147	176	はん用・生産用・業務用機械器具組立	69	276	水産物加工工(かつお節、干物、ねり)	9
77	学童保育指導員(児童館の児童指導)	147	177	フラワーショップ店員	68	277	肉加工品製造工(精肉、ハム、ペ)	8
78	金融事務員(貸付調査、融資、有価証)	147	178	商品訪問販売員(化粧品、家庭配置)	65	278	トレーラートラック運転手	7
79	経営コンサルタント(中小企業診断士)	147	179	機械技術者(製造業務:生産技術を除)	64	279	原価計算事務員、見積係員(建設工)	7
80	広報事務員	147	180	汎用金属工作機械工(旋盤、フライ)	64	280	調理人見習(西洋料理)	7
81	歯科医師	147	181	飲食店長(主に接客の仕事に従事す)	63	281	かん詰・びん詰・レトルト食品製造工	6
82	歯科衛生士	147	182	金属製品製造工(金属製の家具・建具)	63	282	テレフォンポインター(電話による、)	6
83	商品仕入係事務員(内勤)(販売用商)	147	183	食品技術者(開発業務)	63	283	めん類製造工(うどん、そば、そうめん)	6
84	倉庫作業員	147	184	娯楽場遊戯施設係(施設・機械の操作)	59	284	銀行窓口事務員(銀行、信用金庫、信)	6
85	内装工	147	185	林業従事者	59	285	予算係事務員(収支予算案の編成)	6
86	法律事務所事務員(法律業務に付随)	147	186	電子機器部品組立工(電子回路用コ)	58	286	タンクローリー運転手	5
87	老人福祉施設専門員(生活相談員な)	147	187	学生カウンセラー(学校の児童・生徒)	57	287	乳・乳製品製造工(牛乳、乳酸発酵製)	5
88	スーパーマーケット店員	146	188	中華料理調理人	57	288	自動車陸送員(キャリアカー、車載専)	4
89	プラスチック製品製造工(原料プラス)	146	189	電子・電気・電気通信技術者(製造業)	56	289	調理人見習(中華料理)	4
90	印刷営業員	146	190	教育・研修係事務員	55	290	豆腐・こんにやく・ふ製造工(豆腐、油)	4
91	学習塾教師(フランチャイズ教室の運)	146	191	雑誌編集者	55	291	物品購買事務員(消耗品・備品の調)	4
92	金融専門職(証券アナリスト、ファンド)	146	192	電気機械器具修理工(電気機械、電)	55	292	コンクリートミキサー車運転手	3
93	銀行等渉外係(銀行、信用金庫、信用)	146	193	金属製錬・金属材料技術者(開発業務)	53	293	野菜つづけ工	3
94	自動車営業員	146	194	セキュリティエンジニア	52	294	舗装機械運転工(アスファルトフィニッ)	2
95	自動車整備工	146	195	自動車技術者(開発業務:設計を除く)	52	合計		26,586
96	社内SE(自社の情報システムの企画、)	146	196	製鋼工	52			
97	大工	146	197	ホテル・旅館客室係	51			
98	保育士	146	198	映像編集者	51			
99	WEBデザイナー(インターネット上のウ)	145	199	測量士補	50			
100	ガソリンスタンド・スタッフ(ガソリン・軽)	145	200	臨床心理士(病院)	50			

注)スペースの関係で途中までしか表示されていない部分がある。表示できない職業名のコメントについては第2章「資料1調査対象職業一覧」を参照のこと。

第4章 仕事の現状や状況

1. 趣旨と目的

ここでは現在の職業の現状や状況に関する設問の部分を検討する。設問は、仕事のやりがいや達成感、仕事での自律性や裁量、仕事での能力発揮や成長、同僚や関係者との関係、キャリアアップや収入の安定性、他を聞いている。具体的な設問としては、「1.仕事で自分の個性や能力を発揮できる」、「2.仕事に充実感や達成感を感じられる」、「3.仕事では手順や方法を自分で決められる」、「4.仕事の目標や計画を自分で決められる」、「5.仕事を通じて色々なことが学べる」、「6.仕事を通じて成長を実感できる」、「7.仕事は社会に役立っていると感じる」、「8.仕事は人の役に立っていると感じる」、「9.同僚と和気あいあい、協力的に仕事ができている」、「10.外部の関係者と良い関係で、協力的に仕事ができている」、「11.仕事に必要な知識やノウハウを学ぶ機会がある」、「12.顧客との関係で気を使うことが多い」、「13.ミスが無いよう気を使うことが多い」、「14.自分の職業では勤続年数に応じて賃金が上昇していく」、「15.自分の職業ではキャリアアップ／昇進の道筋が明確である」、「16.自分の職業では年収はおおよそ安定している」、「17.自分の職業は引越を伴う転職の可能性が高い方である」、「18.現在の職業をずっと続けていきたいと思う」の18問がある。これに対して、「現在の職業についてお聞きします。以下の項目について Yes やや Yes どちらともいえない やや No No わからない で回答してください。」として、この5段階に「わからない」を加え回答を求めている。

また、この設問の次に「全体として現在の職業面の満足度を0～100（満点）で表すと何点になりますか。だいたい満足しているを50として、点数化してください。」という設問があり（「職業満足」）、職業の現状や状況の18問との関係を見ることにする。

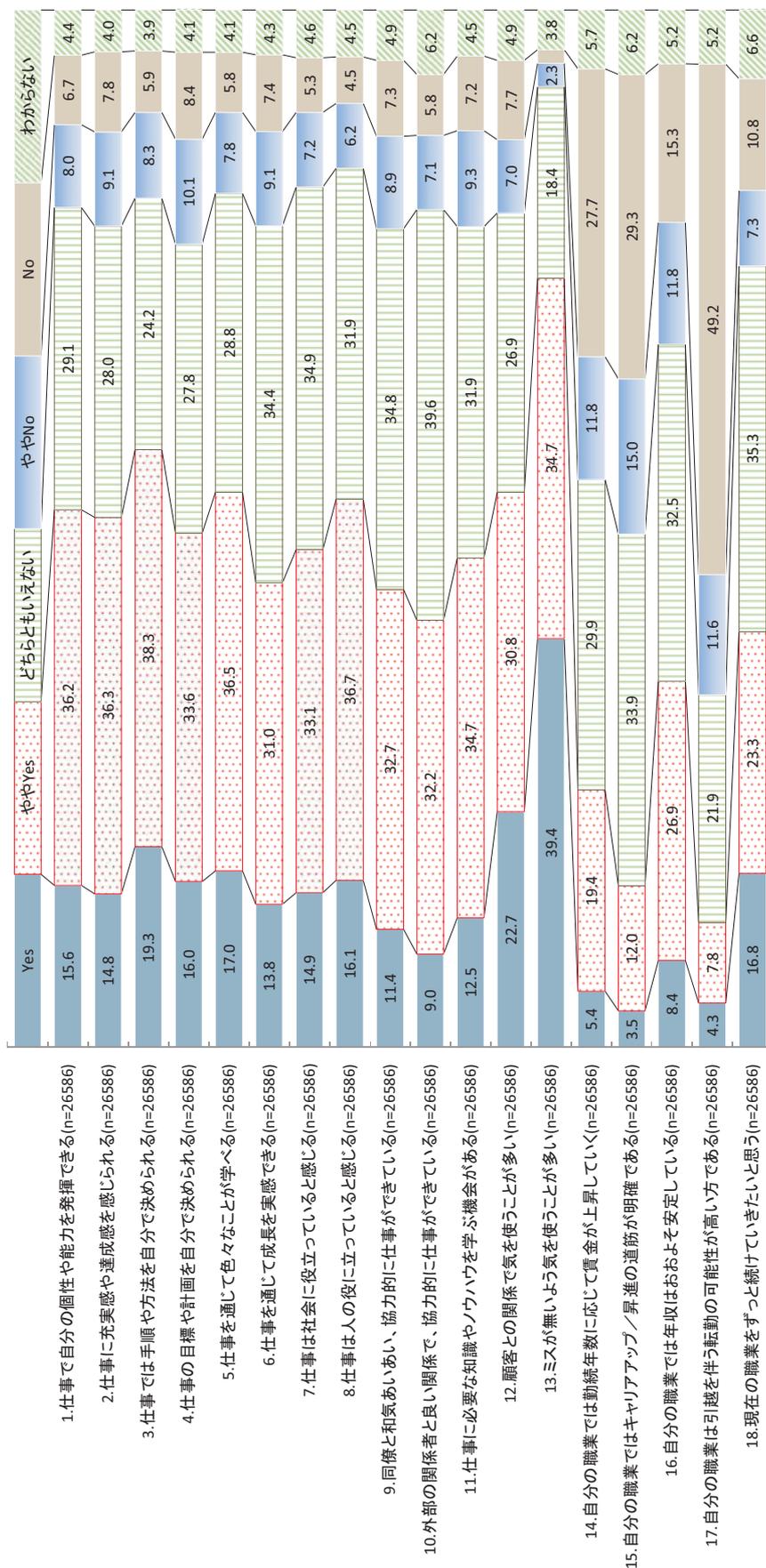
2. 全体としての仕事の現状や状況

図表4-1に18問に対する「Yes」、「ややYes」、「どちらともいえない」、「ややNo」、「No」、「わからない」の回答を度数とパーセントで示している。これを図にしたのが図表4-2である。「Yes」と「ややYes」を加えた割合で見ると、これが高いものが「13.ミスが無いよう気を使うことが多い」、「3.仕事では手順や方法を自分で決められる」等である。逆に「No」と「ややNo」を加えた割合が高いものとして、「17.自分の職業は引越を伴う転職の可能性が高い方である」、「15.自分の職業ではキャリアアップ／昇進の道筋が明確である」、「14.自分の職業では勤続年数に応じて賃金が上昇していく」等がある。

図表4-1 全体としての仕事の現状や状況

	Y e s	や や Y e s	い ど ち ら な い も	や や N o	N o	わ か ら な い	計
1.仕事で自分の個性や能力を発揮できる	4,154 15.6	9,620 36.2	7,749 29.1	2,117 8.0	1,786 6.7	1,160 4.4	26,586 100.0
2.仕事に充実感や達成感を感じられる	3,931 14.8	9,656 36.3	7,453 28.0	2,416 9.1	2,061 7.8	1,069 4.0	26,586 100.0
3.仕事では手順や方法を自分で決められる	5,142 19.3	10,174 38.3	6,447 24.2	2,194 8.3	1,579 5.9	1,050 3.9	26,586 100.0
4.仕事の目標や計画を自分で決められる	4,243 16.0	8,935 33.6	7,403 27.8	2,694 10.1	2,223 8.4	1,088 4.1	26,586 100.0
5.仕事を通じて色々なことが学べる	4,517 17.0	9,710 36.5	7,660 28.8	2,074 7.8	1,538 5.8	1,087 4.1	26,586 100.0
6.仕事を通じて成長を実感できる	3,670 13.8	8,237 31.0	9,151 34.4	2,410 9.1	1,969 7.4	1,149 4.3	26,586 100.0
7.仕事は社会に役立っていると感じる	3,965 14.9	8,795 33.1	9,289 34.9	1,911 7.2	1,401 5.3	1,225 4.6	26,586 100.0
8.仕事は人の役に立っていると感じる	4,284 16.1	9,761 36.7	8,490 31.9	1,654 6.2	1,189 4.5	1,208 4.5	26,586 100.0
9.同僚と和気あいあい、協力的に仕事ができている	3,026 11.4	8,703 32.7	9,250 34.8	2,370 8.9	1,944 7.3	1,293 4.9	26,586 100.0
10.外部の関係者と良い関係で、協力的に仕事ができている	2,396 9.0	8,550 32.2	10,528 39.6	1,900 7.1	1,554 5.8	1,658 6.2	26,586 100.0
11.仕事に必要な知識やノウハウを学ぶ機会がある	3,315 12.5	9,230 34.7	8,485 31.9	2,466 9.3	1,901 7.2	1,189 4.5	26,586 100.0
12.顧客との関係で気を使うことが多い	6,039 22.7	8,184 30.8	7,163 26.9	1,868 7.0	2,040 7.7	1,292 4.9	26,586 100.0
13.ミスが無いよう気を使うことが多い	10,477 39.4	9,236 34.7	4,898 18.4	612 2.3	347 1.3	1,016 3.8	26,586 100.0
14.自分の職業では勤続年数に応じて賃金が上昇していく	1,441 5.4	5,155 19.4	7,958 29.9	3,149 11.8	7,368 27.7	1,515 5.7	26,586 100.0
15.自分の職業ではキャリアアップ／昇進の道筋が明確である	935 3.5	3,202 12.0	9,018 33.9	3,980 15.0	7,797 29.3	1,654 6.2	26,586 100.0
16.自分の職業では年収はおおよそ安定している	2,229 8.4	7,155 26.9	8,635 32.5	3,125 11.8	4,069 15.3	1,373 5.2	26,586 100.0
17.自分の職業は引越を伴う転勤の可能性が高い方である	1,132 4.3	2,070 7.8	5,825 21.9	3,087 11.6	13,083 49.2	1,389 5.2	26,586 100.0
18.現在の職業をずっと続けていきたいと思う	4,455 16.8	6,195 23.3	9,374 35.3	1,931 7.3	2,874 10.8	1,757 6.6	26,586 100.0

図表4-2 全体としての仕事の現状や状況 (26,586名)



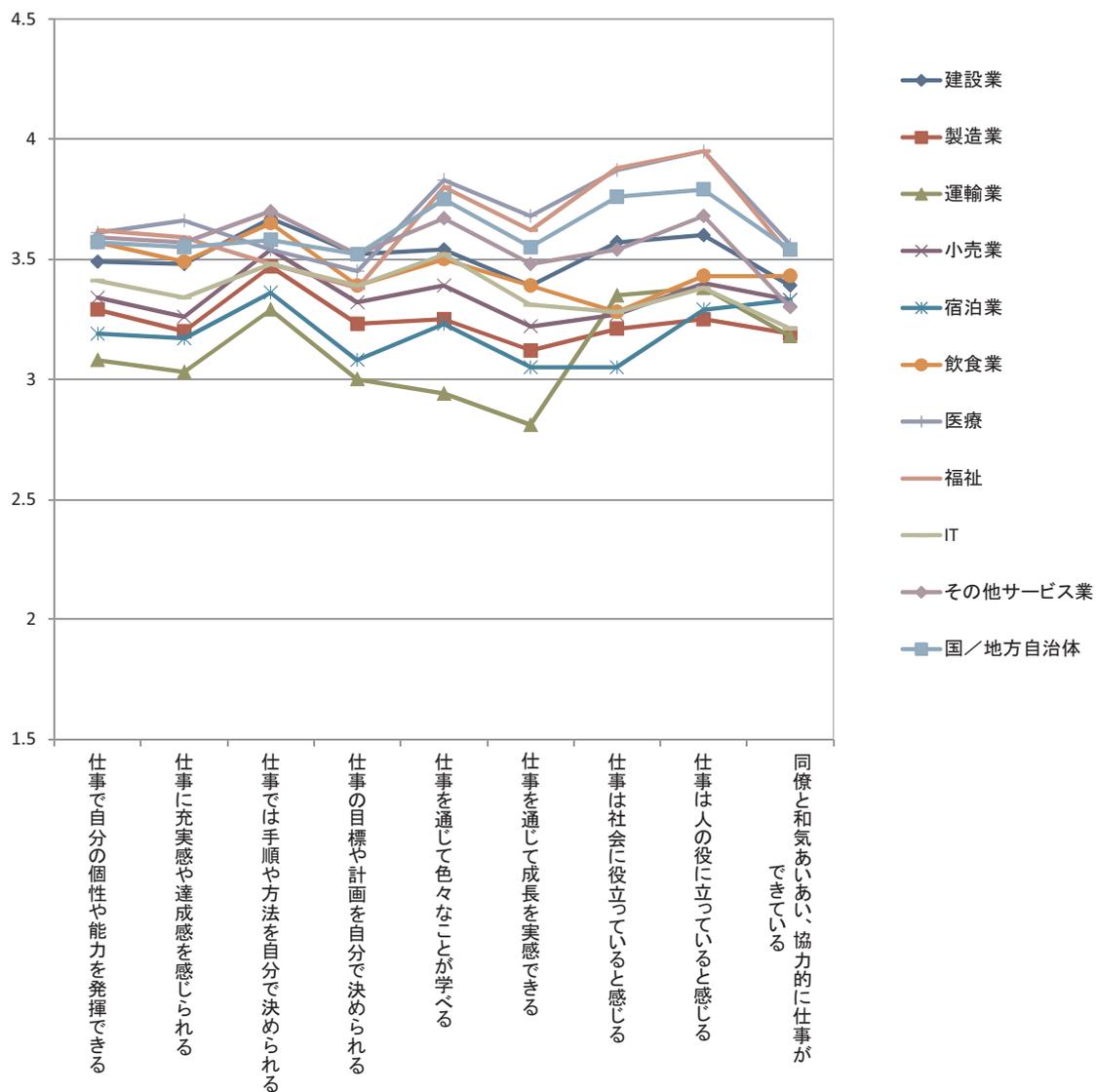
3. 業種別、職種別の仕事の現状や状況

仕事の現状や状況に関する18問について、業種別に回答を集計し平均を求めたのが図表4-3、図表4-4である。集計では「Yes」を5、「ややYes」を4、「どちらともいえない」と「わからない」を3、「ややNo」を2、「No」を1として、平均を求めている。値が高いほどYesが多く、Noが少ないことになる。「わからない」はいずれの設問も5%程度と少なく、回答の意味としても「どちらともいえない」に加えても問題ないと考え、まとめることとした。

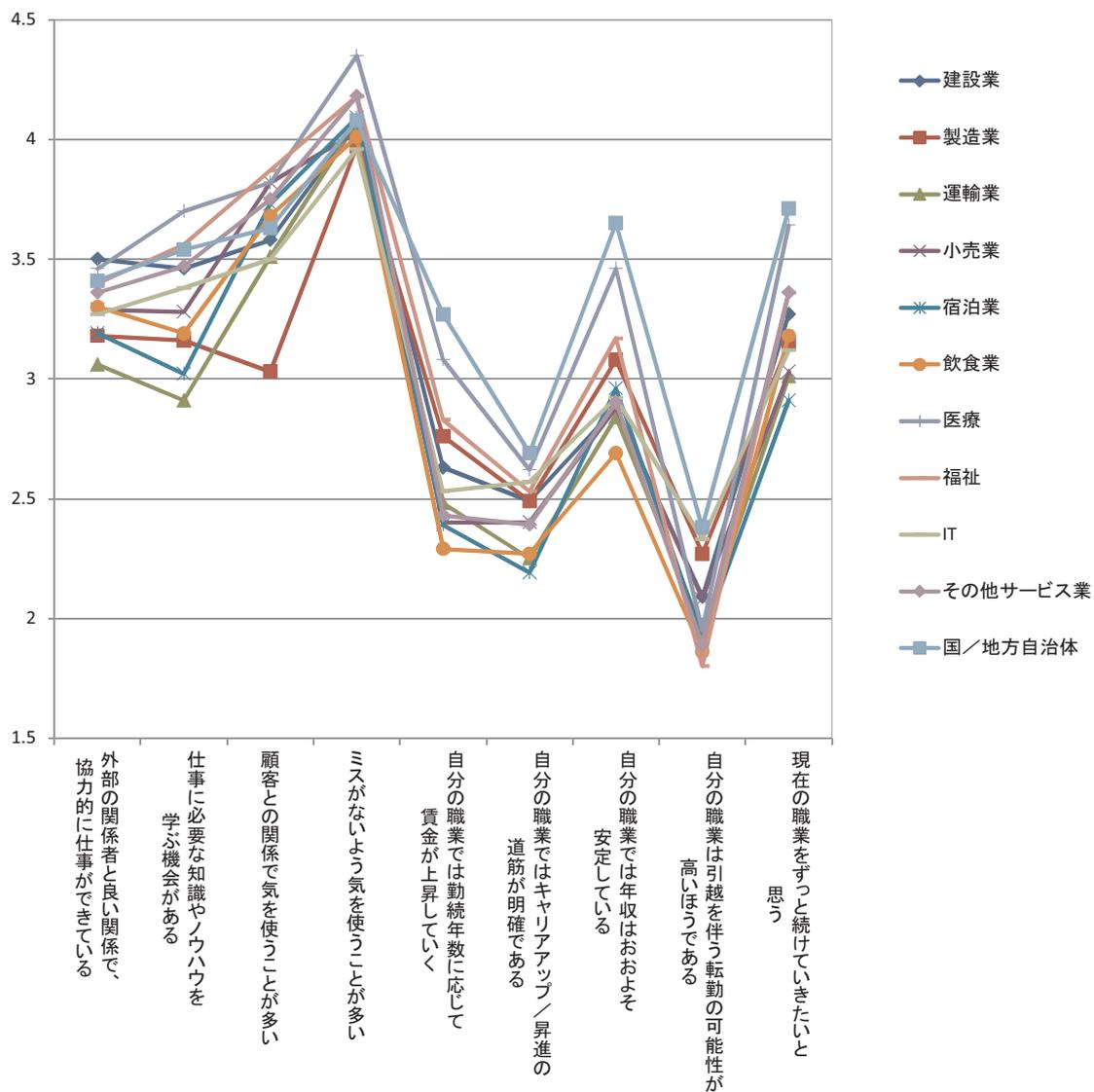
設問の順番に特徴のあるところを見ていくと、「1.仕事で自分の個性や能力を発揮できる」、「2.仕事に充実感や達成感を感じられる」、「3.仕事では手順や方法を自分で決められる」、「4.仕事の目標や計画を自分で決められる」、「5.仕事を通じて色々なことが学べる」、「6.仕事を通じて成長を実感できる」において、運輸業、宿泊業が低い値となっている。「13.ミスが無いよう気を使うことが多い」では医療が最も高い値となっている。「16.自分の職業では年収はおおよそ安定している」、「18.現在の職業をずっと続けていきたいと思う」では国/地方自治体と医療が高くなっている。

同様に職種（厚生労働省編職業分類の職業大分類）別に集計したものが図表4-5、図表4-6である。特徴のあるところを見ていくと、専門的職業が「1.仕事で自分の個性や能力を発揮できる」、「2.仕事に充実感や達成感を感じられる」、「3.仕事では手順や方法を自分で決められる」、「4.仕事の目標や計画を自分で決められる」、「5.仕事を通じて色々なことが学べる」、「6.仕事を通じて成長を実感できる」、「7.仕事は社会に役立っていると感じる」、「8.仕事は人の役に立っていると感じる」が際立って高くなっている。「18.現在の職業をずっと続けていきたいと思う」も専門的職業が際立って高いが、「13.ミスが無いよう気を使うことが多い」も高い。

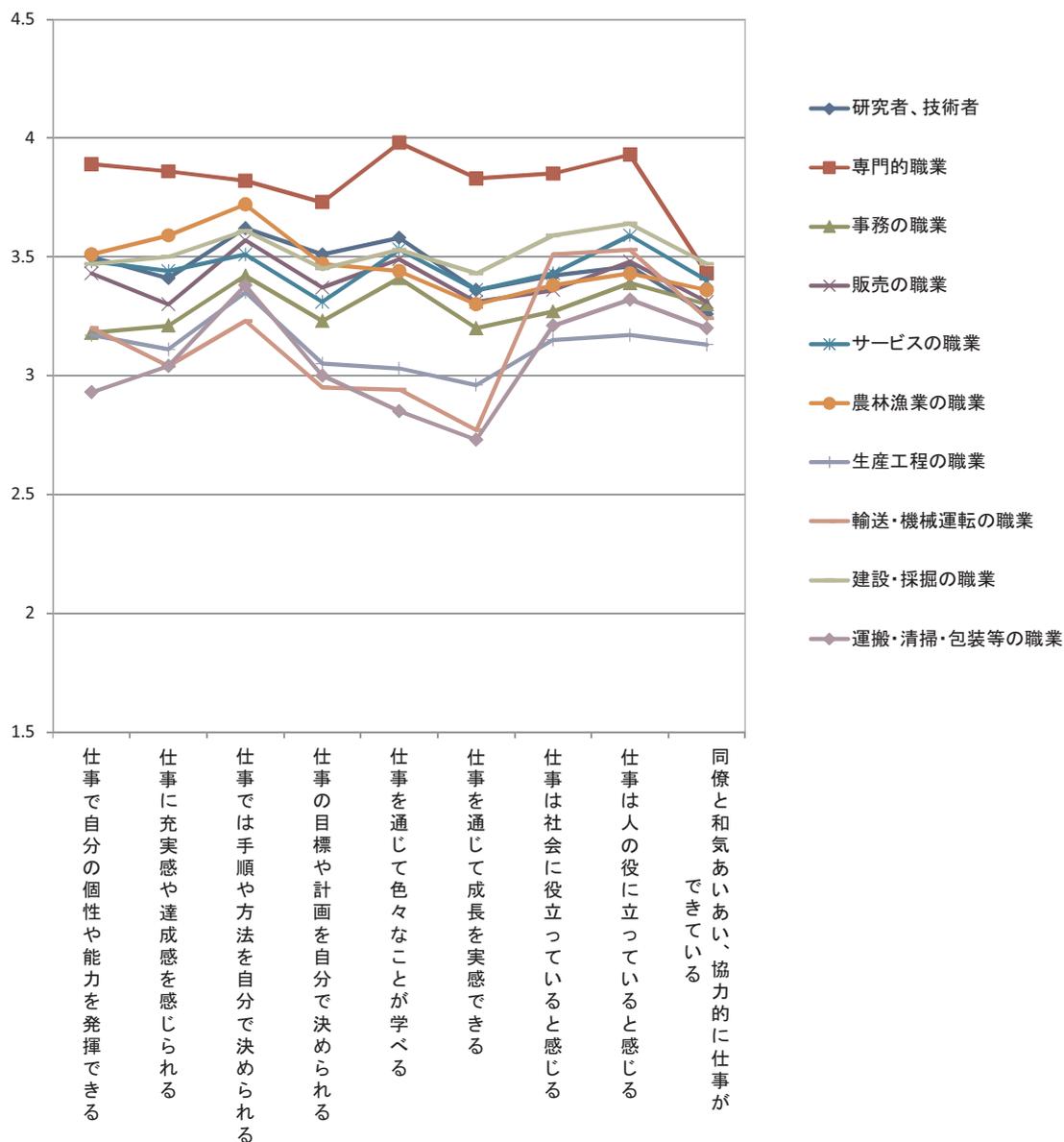
図表4-3 仕事の現状や状況（前半の設問、業種別、26,586名）



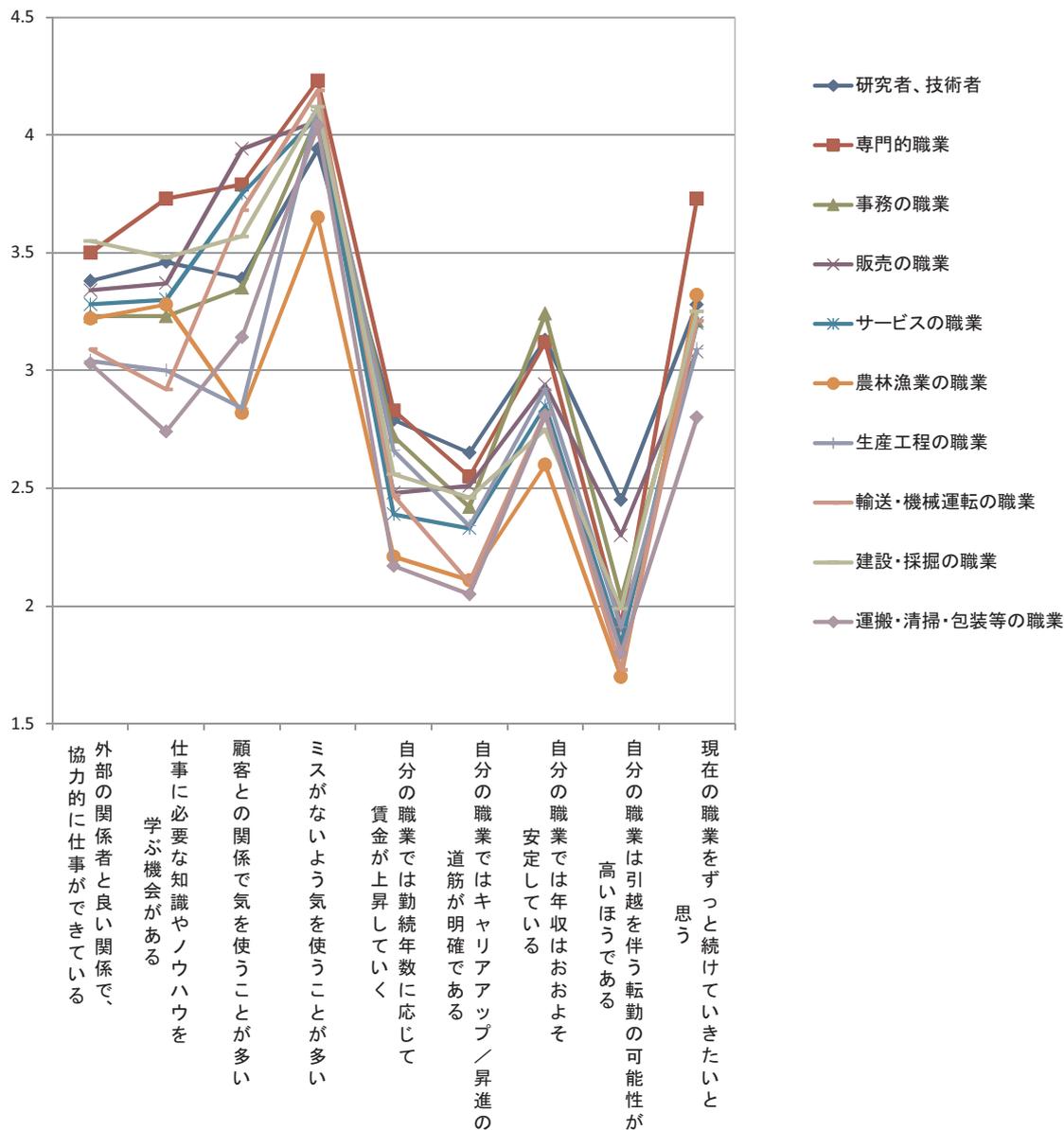
図表4-4 仕事の現状や状況（後半の設問、業種別、26,586名）



図表4-5 仕事の現状や状況（前半の設問、職種別、26,586名）



図表4-6 仕事の現状や状況（後半の設問、職種別、26,586名）



4. 主成分分析、因子分析による仕事の現状や状況の検討

(1) 主成分分析と因子分析による検討

仕事の現状と状況に関する18問の相互関係や意味合いを検討し、何らかの集約ができないかをみるため、主成分分析、因子分析により検討した。

図表4-7は18問に関して主成分分析を行った結果である。主成分を抽出し、直交回転であるバリマックス回転を行っている。第1成分は「仕事は人の役に立っていると感じる」、「仕事は社会に役立っていると感じる」、「同僚と和気あいあい、協力的に仕事ができている」、「外部の関係者と良い関係で、協力的に仕事ができている」等に負荷量が高く、「良い人間関係・人や社会に役立」というような仕事の要素と考えられる。第2成分は「仕事の目標や計画を自

分で決められる」、「仕事では手順や方法を自分で決められる」、「仕事で自分の個性や能力を発揮できる」、「仕事に充実感や達成感を感じられる」、「仕事を通じて色々なことが学べる」等に負荷量が高く「自律性・能力発揮・成長」というような仕事の要素と考えられる。第3成分は「自分の職業ではキャリアアップ／昇進の道筋が明確である」、「自分の職業では勤続年数に応じて賃金が上昇していく」、「自分の職業は引越を伴う転勤の可能性が高いほうである」、「自分の職業では年収はおおよそ安定している」に負荷量が高い。「キャリアアップ・賃金上昇」というような仕事の要素といえる。キャリアアップや昇進があり、年収も安定しているが、引越を伴う転勤の可能性が高い点が興味深い。第4成分は「顧客との関係で気を使うことが多い」、「ミスがないよう気を使うことが多い」の負荷量が高く「顧客やミスに気を使う」というような仕事の要素といえる。

因子分析、主成分分析は設定により結果が異なるため、設定を変え因子分析を行った（図表4-8）。主因子法で因子を抽出し、斜交回転であるプロマックス法で回転している。結果は主成分分析と類似しており、第3因子は、第3成分の「キャリアアップ・賃金上昇」と同じであり、第4因子は、第4成分の「顧客やミスに気を使う」と同じである。第2因子がやや異なり、「自律性」、「能力発揮」は第2成分と同じであるが、「仕事を通じて成長を実感できる」、「仕事を通じて色々なことが学べる」等、「成長」は第1因子に混ざっている。もっとも、主成分分析においても、「仕事に必要な知識やノウハウを学ぶ機会がある」は第1成分であり、因子分析において、第1因子と第2因子の相関係数は0.693とかなり高い。第1成分、第2成分、第1因子、第2因子は類似した面があるといえ、「成長」はいずれにまとまる可能性もあるといえる。

第4因子、第4成分の「顧客やミスに気を使う」以外の3つの成分、3つの因子に関しては、アルダファのERG理論として、以前から類似の要素が指摘されている。アルダファは「欲求階層説」で有名なマズロー（Maslow, A. 1943）の考え方を修正、発展させ、人間の欲求として、生存（existence）、関係（relatedness）、成長（growth）の三つがコア（核）であるとしている（Alderfer, C. 1969）。生存とは文字通り生存の欲求であるが、給与、雇用の保障、安全な職場環境等が含まれる。関係とは同僚、友人、家族との人間関係の欲求である。成長とはマズローの自己実現と似ているが、自らの能力を伸ばしたいという欲求である。ERG理論はこのexistence、relatedness、growthの頭文字である。ERG理論はその後の様々な研究でも妥当性が認められている。また、この生存（existence）、関係（relatedness）、成長（growth）は、仕事の魅力に関するWeb調査においても抽出されている（労働政策研究・研修機構，2011）。安定して抽出される仕事の要素ということができよう。

主成分分析において、第1成分の「良い人間関係・人や社会に役立つ」は関係（relatedness）、第2成分の「自律性・能力発揮・成長」は成長（growth）、第3成分の「キャリアアップ・賃金上昇」は生存（existence）に近い要素といえることができる。

主成分分析と因子分析を比較し、回転後の負荷量をみると、主成分分析の方が項目を balan

スよく分けているといえる。また、生存（existence）、関係（relatedness）、成長（growth）との関係では因子分析において、関係（relatedness）が成長（growth）に混ざっており、主成分分析の方が ERG 理論に近い結果といえる。そこで、ここでは、以下、主成分分析の結果を中心にみていくことにする。

図表4-7 仕事の現状や状況の主成分分析（主成分抽出、直交回転、26,586名）

	成分 1	成分 2	成分 3	成分 4
仕事は人の役に立っていると感じる	0.738	0.289	0.020	0.266
仕事は社会に役立っていると感じる	0.730	0.288	0.065	0.235
同僚と和気あいあい、協力的に仕事ができている	0.714	0.101	0.094	0.020
外部の関係者と良い関係で、協力的に仕事ができている	0.613	0.303	0.105	0.144
現在の職業をずっと続けていきたいと思う	0.571	0.328	0.155	-0.103
仕事に必要な知識やノウハウを学ぶ機会がある	0.504	0.431	0.199	0.277
仕事の目標や計画を自分で決められる	0.146	0.831	0.052	0.038
仕事では手順や方法を自分で決められる	0.147	0.805	-0.053	0.042
仕事で自分の個性や能力を発揮できる	0.395	0.695	0.050	0.081
仕事に充実感や達成感を感じられる	0.548	0.618	0.062	0.038
仕事を通じて色々なことが学べる	0.487	0.604	0.096	0.256
仕事を通じて成長を実感できる	0.547	0.604	0.129	0.194
自分の職業ではキャリアアップ／昇進の道筋が明確である	0.161	0.136	0.806	-0.016
自分の職業では勤続年数に応じて賃金が上昇していく	0.196	-0.003	0.790	0.001
自分の職業は引越を伴う転勤の可能性が高いほうである	-0.222	0.085	0.665	0.012
自分職業では年収はおおよそ安定している	0.363	-0.092	0.599	-0.040
顧客との関係で気を使うことが多い	0.047	0.176	0.074	0.844
ミスがないよう気を使うことが多い	0.238	0.005	-0.134	0.749
負荷量平方和	3.884	3.560	2.224	1.624
分散の %	21.6	19.8	12.4	9.0
累積 %	21.6	41.4	53.7	62.7

図表4-8 仕事の現状や状況の因子分析（主因子抽出、斜交回転、26,586名）

	因子1	因子2	因子3	因子4
仕事は人の役に立っていると感じる	0.994	-0.195	-0.107	0.037
仕事は社会に役立っていると感じる	0.983	-0.192	-0.062	0.001
仕事を通じて成長を実感できる	0.565	0.315	0.024	0.021
仕事に充実感や達成感を感じられる	0.564	0.383	-0.038	-0.133
同僚と和気あいあい、協力的に仕事ができている	0.534	-0.004	0.084	0.000
現在の職業をずっと続けていきたいと思う	0.508	0.145	0.097	-0.150
仕事を通じて色々なことが学べる	0.456	0.351	0.004	0.108
外部の関係者と良い関係で、協力的に仕事ができている	0.452	0.151	0.074	0.089
仕事に必要な知識やノウハウを学ぶ機会がある	0.412	0.203	0.130	0.164
仕事の目標や計画を自分で決められる	-0.108	0.871	0.001	0.008
仕事では手順や方法を自分で決められる	-0.077	0.833	-0.096	0.011
仕事で自分の個性や能力を発揮できる	0.345	0.514	-0.036	-0.049
自分の職業ではキャリアアップ／昇進の道筋が明確である	0.001	0.039	0.783	-0.015
自分の職業では勤続年数に応じて賃金が上昇していく	0.022	-0.070	0.765	0.014
自分の職業では年収はおおよそ安定している	0.195	-0.116	0.504	-0.029
自分の職業は引越を伴う転勤の可能性が高いほうである	-0.150	-0.007	0.463	-0.013
顧客との関係で気を使うことが多い	-0.093	0.047	0.053	0.756
ミスがないよう気を使うことが多い	0.162	-0.071	-0.120	0.510
負荷量平方和	5.995	4.876	2.412	2.218

因子間相関行列

	因子1	因子2	因子3
因子2	0.693		
因子3	0.352	0.242	
因子4	0.473	0.330	0.052

(2) 抽出された要素からみた業種や職種

検討してきた主要な要素（成分）である「良い人間関係・人や社会に役立つ」、「自律性・能力発揮・成長」、「キャリアアップ・賃金上昇」、「顧客やミスに気を使う」の成分得点を求め、業種別に平均値を求めたのが図表 4-9 である。成分得点は全体の平均値が0になるため、各業種の平均値は、他の業種と相対的に比較して得点が高いかどうかを示したものである。

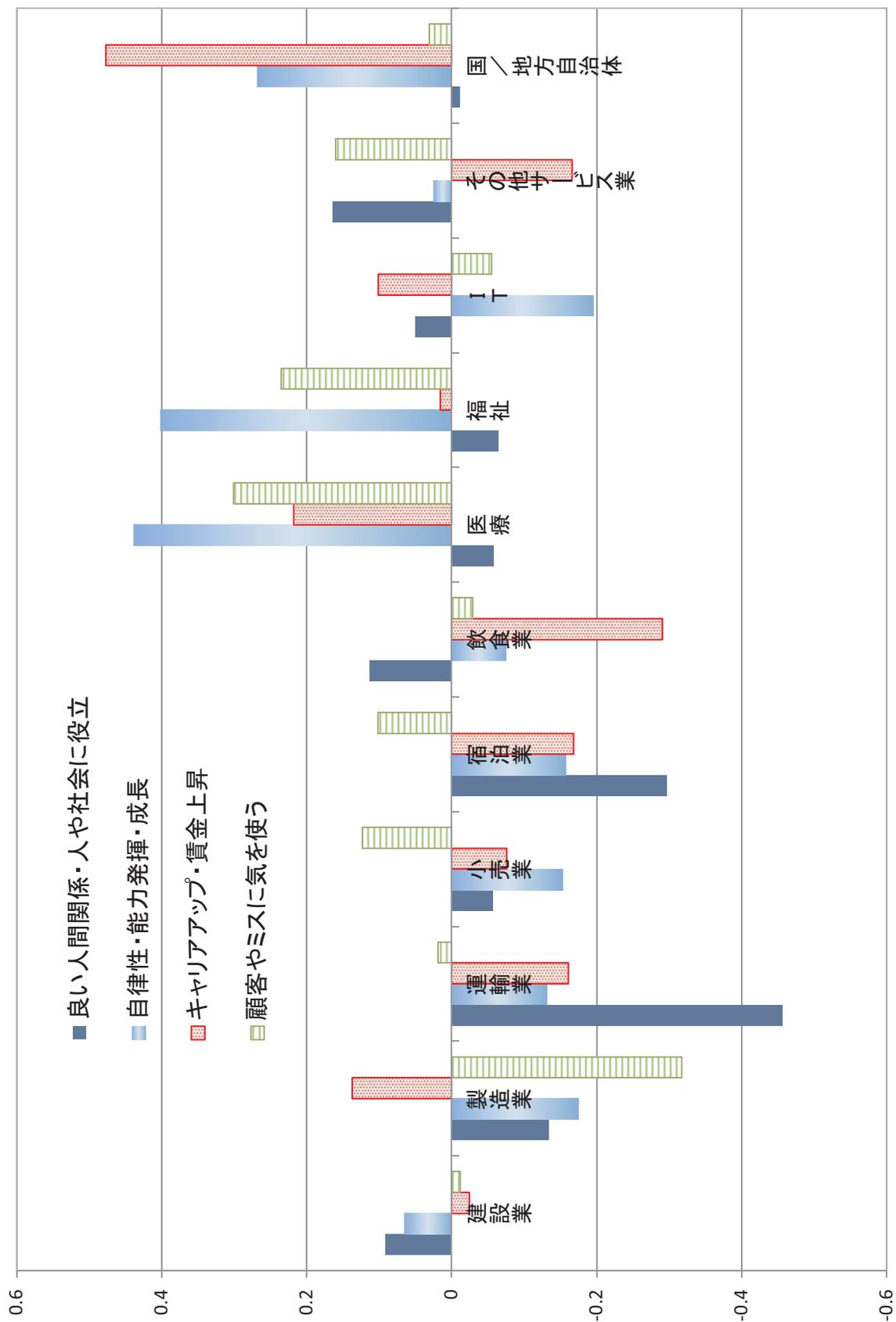
特徴のあるところをみていくと、医療では「自律性・能力発揮・成長」、「キャリアアップ・賃金上昇」、「顧客やミスに気を使う」が高い。福祉では「自律性・能力発揮・成長」、「顧客やミスに気を使う」が高くなっている。国／地方自治体では「自律性・能力発揮・成長」、「キャリアアップ・賃金上昇」が高くなっている。一方、運輸業、宿泊業では「良い人間関係・人や社会に役立つ」が低い。飲食業では「キャリアアップ・賃金上昇」が低くなっている。

同様に4つの成分得点を職種別に集計し平均値を求めたのが図表 4-10 である。特徴のあるところを見ていくと、専門的職業は「良い人間関係・人や社会に役立つ」、「自律性・能力発揮・成長」は高いが、「顧客やミスに気を使う」も高い。農林漁業の職業では「キャリアアップ・賃金上昇」、「顧客やミスに気を使う」が低い。輸送・機械運転の職業、運搬・清掃・包装等

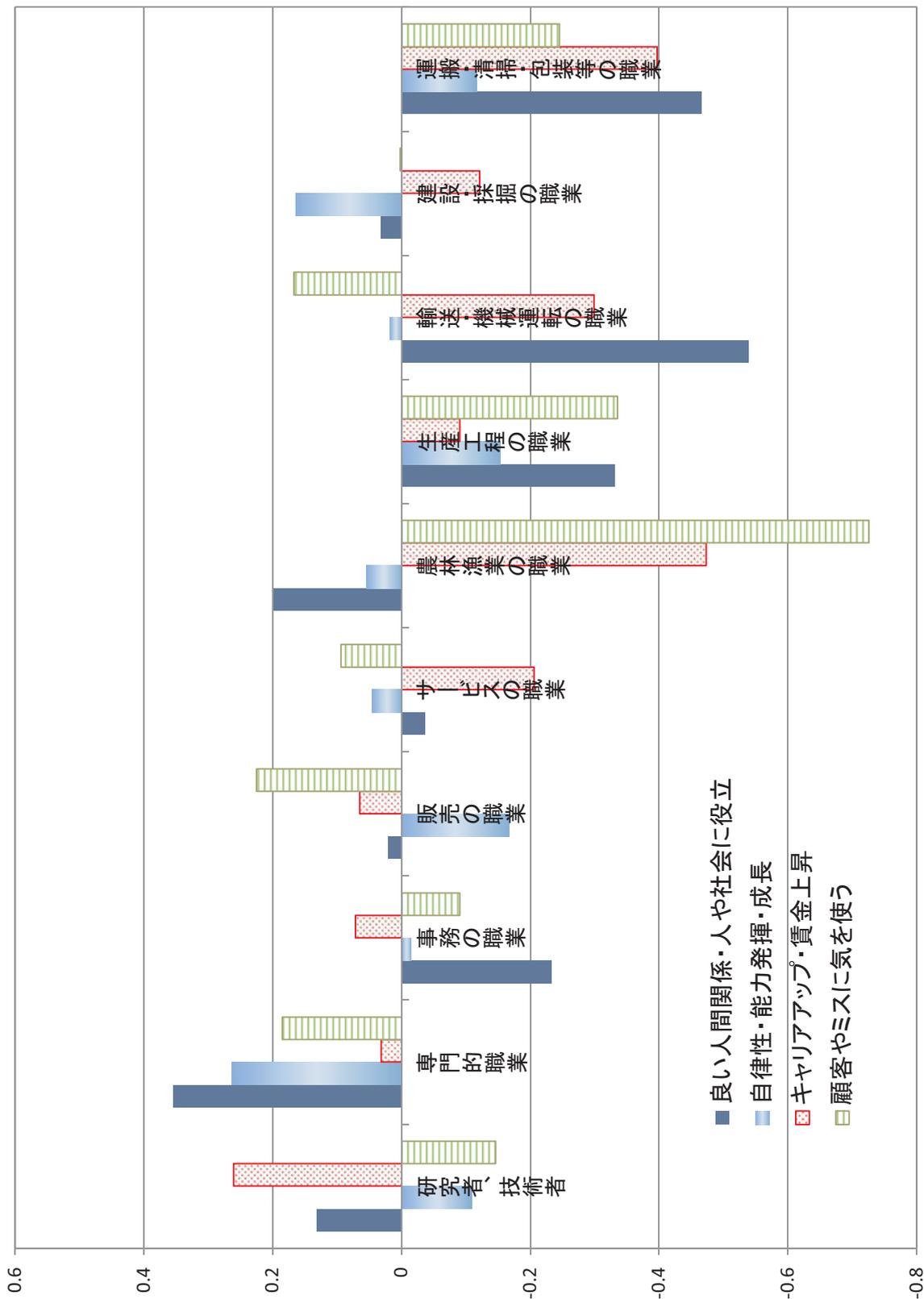
の職業では「良い人間関係・人や社会に役立」、「キャリアアップ・賃金上昇」が低い。

大きくりの職業でみてきたが、細かい具体的な職業でみると（職業細分類）、「良い人間関係・人や社会に役立」では、「イラストレーター」、「音楽家（作曲者、指揮者、演奏家、声楽家など）」、「美容師」、「経営コンサルタント（中小企業診断士など）」、「写真家（営業写真家、商業カメラマン、報道カメラマンなど）」等が高い成分得点となっていた。「自律性・能力発揮・成長」では、「幼稚園教員」、「保育士」、「診療放射線技師」、「臨床検査技師（衛生検査技師を含む）」、「理学療法士」が高い成分得点であった。「キャリアアップ・賃金上昇」では、「医薬情報担当者（MR）・医薬品卸販売担当者（MS）」、「農林水産技術者（農業・畜産・林業・水産業の普及指導員など）」、「中学校教員」、「特別支援学校教員」、「小学校教員」の成分得点が高かった。「顧客やミスに気を使う」では、「銀行等渉外係（銀行、信用金庫、信用協同組合など）」、「医薬情報担当者（MR）・医薬品卸販売担当者（MS）」、「保険代理人（保険代理店での保険契約などの代理・媒介）」、「路線バス運転手（乗合バス、高速バス、観光路線バス、コミュニティバスなど）」、「税理士」などが高い成分得点であった。

図表4-9 主成分分析の成分からみた仕事の現状や状況（業種別、26,586名）



図表4-10 主成分分析の成分からみた仕事の現状や状況（職種別、26,586名）



5. 仕事の現状や状況と職業満足、職業継続希望との関係

仕事の現状と状況の最後に「現在の職業をずっと続けていきたいと思う」の設問がある（「職業継続希望」）。また、仕事の現状や状況の設問の次に「全体として現在の職業面の満足度を0～100（満点）で表すと何点になりますか。だいたい満足しているを50として、点数化してください。」という設問がある（「職業満足」）。ここではこれらの項目と仕事の現状や状況の17項目の関係をみていく。

図表4-11は、仕事の現状や状況の17項目と「現在の職業をずっと続けていきたいと思う」（「職業継続希望」）、100点満点の職業満足度を10段階にした「職業満足（10段階）」、「職業満足度（100点満点）」の相関係数をみたものである。「職業満足（10段階）」と「職業満足度（100点満点）」は100点満点を10段階にしたものであるため相関は高い（0.995）。職業継続希望と職業満足（2種類）は0.517となっており、意外と高くはない。職業満足と職業継続希望の間に色々な背景、例えば、一部不満はあるが自分の能力や経歴を生かせるため続けていきたい、仕事には満足はしていないが同僚や関係者と良い人間関係であり続けていきたい等、様々な事情が考えられる。

17項目との関係では、職業満足との相関係数が大きいものから並べており、相関係数が大きい項目から「仕事に充実感や達成感を感じられる」、「仕事を通じて成長を実感できる」、「仕事で自分の個性や能力を発揮できる」、「仕事を通じて色々なことが学べる」、「仕事は社会に役立っていると感じる」、「仕事は人の役に立っていると感じる」、「同僚と和気あいあい、協力的に仕事ができている」、「仕事に必要な知識やノウハウを学ぶ機会がある」、「外部の関係者と良い関係で、協力的に仕事ができている」となっており、先の主成分分析、因子分析における「良い人間関係・人や社会に役立つ」、「自律性・能力発揮・成長」に含まれる項目との関係が強いといえる。

「現在の職業をずっと続けていきたいと思う」（「職業継続希望」）では「仕事に充実感や達成感を感じられる」、「仕事を通じて成長を実感できる」、「仕事は社会に役立っていると感じる」、「仕事で自分の個性や能力を発揮できる」、「仕事を通じて色々なことが学べる」、「仕事は人の役に立っていると感じる」、「仕事に必要な知識やノウハウを学ぶ機会がある」、「外部の関係者と良い関係で、協力的に仕事ができている」、「同僚と和気あいあい、協力的に仕事ができている」、「仕事の目標や計画を自分で決められる」、「仕事では手順や方法を自分で決められる」の順に相関係数が高い。これらも、主成分分析、因子分析における「良い人間関係・人や社会に役立つ」、「自律性・能力発揮・成長」の項目である。

次に職業継続希望、職業満足との関係をみるため回帰分析を行った。17項目は相互に相関があり、前述のような成分や因子も抽出されていることから、ここでは主成分分析によって得られた4成分と職業継続希望、職業満足の関係をみることにした。先の主成分分析は職業継続希望を含む18項目で行っているため（図表4-7）、17項目で主成分分析をやり直した結果を図表4-12に示す。第1成分、第2成分の順番が入れ替わっているが、図表4-7と同じく、「自律性・

能力発揮・成長」、「良い人間関係・人や社会に役立」、「キャリアアップ・賃金上昇」、「顧客やミスに気を使う」の4つの成分となっている。

図表 4-13 が職業継続希望に対する4成分の回帰分析の結果である。回帰分析の R は 0.571 であり、R 自乗は 0.326 とそれほど説明率が高いわけではないが、成分との関係としては、「良い人間関係・人や社会に役立」、「自律性・能力発揮・成長」、「キャリアアップ・賃金上昇」の順にプラスの関係があり、「顧客やミスに気を使う」との関係は小さい。なお、サンプル数が 26,586 名と多いこともあり、R や R 自乗は大きくはないが、回帰分析のモデル全体も4つの成分に対する回帰係数もすべて有意となっている。

職業満足（10段階）との関係をみると（図表 4-14）、回帰分析の R は 0.546、R 自乗は 0.298 であり、こちらの説明率はそれほど高くないが、「良い人間関係・人や社会に役立」、「自律性・能力発揮・成長」、「キャリアアップ・賃金上昇」の順にプラスの関係があり、「顧客やミスに気を使う」とはマイナスの関係となっている。なお、回帰分析のモデル全体も4つの成分に対する回帰係数もすべて有意となっている。

図表4-11 職業満足、職業継続希望との相関係数（26,586名）

		現在の職業をずっと続けていきたいと思う	職業満足（10段階）	職業満足度（100点）
1	仕事に充実感や達成感を感じられる	0.522	0.491	0.492
2	仕事を通じて成長を実感できる	0.475	0.418	0.419
3	仕事で自分の個性や能力を発揮できる	0.435	0.381	0.382
4	仕事を通じて色々なことが学べる	0.427	0.369	0.370
5	仕事は社会に役立っていると感じる	0.438	0.367	0.370
6	仕事は人の役に立っていると感じる	0.425	0.362	0.364
7	同僚と和気あいあい、協力的に仕事ができている	0.339	0.348	0.350
8	仕事に必要な知識やノウハウを学ぶ機会がある	0.384	0.337	0.338
9	外部の関係者と良い関係で、協力的に仕事ができている	0.351	0.334	0.336
10	仕事の目標や計画を自分で決められる	0.338	0.294	0.296
11	自分職業では年収はおおよそ安定している	0.258	0.289	0.288
12	仕事では手順や方法を自分で決められる	0.316	0.272	0.273
13	自分の職業ではキャリアアップ／昇進の道筋が明確である	0.245	0.261	0.261
14	自分の職業では勤続年数に応じて賃金が上昇していく	0.211	0.221	0.220
15	自分の職業は引越を伴う転勤の可能性が高いほうである	0.021	0.040	0.039
16	顧客との関係で気を使うことが多い	0.089	0.028	0.027
17	ミスがないよう気を使うことが多い	0.130	0.026	0.025
	現在の職業をずっと続けていきたいと思う	1.000	0.517	0.517
	職業満足 10段階	0.517	1.000	0.995
	職業満足度 100点満点	0.517	0.995	1.000

注) 目安として、相関係数が 0.300 以上のものに着色をしている。

図表4-12 職業継続希望を除く17項目での主成分分析（主成分抽出、直交回転、26,586名）

	成分1	成分2	成分3	成分4
仕事の目標や計画を自分で決められる	0.835	0.113	0.050	0.025
仕事では手順や方法を自分で決められる	0.810	0.113	-0.054	0.032
仕事で自分の個性や能力を発揮できる	0.721	0.345	0.060	0.090
仕事に充実感や達成感を感じられる	0.653	0.490	0.075	0.056
仕事を通じて成長を実感できる	0.635	0.511	0.140	0.190
仕事を通じて色々なことが学べる	0.631	0.459	0.104	0.247
同僚と和気あいあい、協力的に仕事ができている	0.124	0.752	0.098	-0.035
仕事は人の役に立っていると感じる	0.331	0.726	0.035	0.255
仕事は社会に役立っていると感じる	0.330	0.713	0.080	0.227
外部の関係者と良い関係で、協力的に仕事ができている	0.318	0.650	0.103	0.083
仕事に必要な知識やノウハウを学ぶ機会がある	0.451	0.502	0.202	0.249
自分の職業ではキャリアアップ／昇進の道筋が明確である	0.147	0.139	0.809	-0.018
自分の職業では勤続年数に応じて賃金が上昇していく	0.015	0.171	0.798	0.010
自分の職業は引越を伴う転勤の可能性が高いほうである	0.063	-0.212	0.651	-0.009
自分の職業では年収はおおよそ安定している	-0.061	0.330	0.614	-0.019
顧客との関係で気を使うことが多い	0.173	0.057	0.067	0.835
ミスがないよう気を使うことが多い	0.026	0.219	-0.126	0.776
負荷量平方和	3.699	3.387	2.226	1.597
分散の %	21.8	19.9	13.1	9.4
累積 %	21.8	41.7	54.8	64.2

図表4-13 仕事の要素（主成分分析の成分）から職業継続希望への回帰分析（26,586名）

	回帰係数	標準化係数
(定数)	3.279	
自律性・能力発揮・成長	0.415	0.359
良い人間関係・人や社会に役立	0.474	0.411
キャリアアップ・賃金上昇	0.193	0.168
顧客やミスに気を使う	0.026	0.023

図表4-14 仕事の要素（主成分分析の成分）から職業満足への回帰分析（26,586名）

	回帰係数	標準化係数
(定数)	5.833	
自律性・能力発揮・成長	0.697	0.311
良い人間関係・人や社会に役立	0.887	0.395
キャリアアップ・賃金上昇	0.448	0.199
顧客やミスに気を使う	-0.171	-0.076

なお、「現在の職業をずっと続けていきたいと思う」（「職業継続希望」）について、100名以上集まっている職業細分類に関して、職業毎の平均値を求めると、高い職業としては（職

業名順)、「イラストレーター」、「医師」、「音楽家(作曲者、指揮者、演奏家、声楽家など)」、「大学教員」、「写真家(営業写真家、商業カメラマン、報道カメラマンなど)」となっており、自分の能力や才能を發揮できていると考えられる職業であった。同様に、職業満足(100点満点)について平均値を求めると、高い職業としては(職業名順)、「医師」、「経営コンサルタント(中小企業診断士など)」、「作業療法士」、「大学教員」、「理学療法士」となり、人と接し、人に役立つことが実感できるといえる職業であった。この点は、先に述べた、職業継続希望と職業満足の相関係数がそれほど高くない理由の一端を示していると考えられる。

6. 生活面、必要な能力他、属性他を加えた職業継続希望、職業満足との関係

職業継続希望(「現在の職業をずっと続けていきたいと思う」)、職業満足(「全体として現在の職業面の満足度を0~100(満点)で表すと何点になりますか。だいたい満足しているを50として、点数化してください。」を10段階にしたもの)に関して、仕事の生活への影響、属性、勤め先等も加え、さらに検討を行った。

仕事に関しては仕事の現状や状況の17項目から求められた4成分(「自律性・能力発揮・成長」、「良い人間関係・人や社会に役立つ」、「キャリアアップ・賃金上昇」、「顧客やミスに気を使う」)、仕事に必要な能力他に関しては第6章で検討している6成分(「マナー・コミュニケーション」、「情報スキル・交渉力・説明力」、「人間的魅力」、「意欲・主体性・熱心さ」、「ミスがないこと・集中力」、「体力・スタミナ・健康」)、生活に関しては第7章で検討しているが、そこで求められた3成分(「疲れ・心配」、「不規則・夜間勤務」、「休日に呼び出し等」)、さらに年齢段階(1=29歳まで、2=30歳代、3=40歳代、4=50歳代、5=60歳以上)、年収(1=50万円以下、2=50~100万円、3=101~200万円、4=201~300万円、5=301~400万円、6=401~500万円、7=501~600万円、8=601~700万円、9=701~800万円、10=801~1,000万円、11=1,000万円以上)、結婚(1=結婚している、2=結婚していない)、職位(1=一般、2=係長・主任相当、3=課長相当、4=部長・次長相当、5=経営層)、企業規模(1=1~30名、2=31~300名、3=301名~3,000名、4=3,001名以上)、性別(1=男性、2=女性)、学歴(1=高校卒、2=専門学校卒、3=短大卒、4=大学卒、5=大学院卒)を加え、全体で回帰分析した。職位の「その他」と学歴の「その他」はデータから除外した。このため分析データは、23,821名となっている。

図表4-15が職業継続希望への回帰の結果である。モデルのRは0.597、R自乗は0.356であった。先の仕事の現状や状況の成分のみからの回帰において、R自乗は0.326であり(図表4-13)、説明率はあまり高まらず、加えた要因の影響は少ないといえる。図表では標準化回帰係数の絶対値が大きいものから並べている。標準化回帰係数は先の仕事の現状や状況の成分が大きい、加えた項目の中で、仕事の生活への影響の「疲れ・心配」が-0.099と続いており、仕事の生活への影響が職業継続希望にも関係している。

図表 4-16 が職業満足への回帰の結果である。モデルの R は 0.590、 R 自乗は 0.349 であった。先の仕事の現状や状況の成分のみからの回帰において、 R 自乗は 0.298 であり（図表 4-14）、説明率が僅かに高まっている。図表では標準化回帰係数の絶対値が大きいものから並べているが、加えた要因の中では、仕事の生活への影響の「疲れ・心配」と年収が大きい。「疲れ・心配」は職業満足にマイナスの効果となることを示している。また、年収はプラスの効果を持つことを示している。

このモデルでは学歴が標準化係数で 0.0 となり、影響がないことになるが、100 点満点の職業満足では、高校卒、専門学校卒、短大卒、大学卒、大学院卒がそれぞれ、平均が 55、57、58、58、62 となっており、学歴とともに僅かではあるが職業満足が上がっている。回帰分析の多重共線性が影響し、仕事の「自律性・能力発揮・成長」、「良い人間関係・人や社会に役立」、「キャリアアップ・賃金上昇」等と学歴は相関があり、この中に埋没していることも考えられる。

この多重共線性に関しては、ここで用いた仕事、生活、能力他の各成分は直交回帰で求めているため、それぞれの成分に関しては無相関であり、無いことを仮定できるが、仕事、生活、能力他の成分間、また、属性他との間ではそれほど強くはないが相互に相関があり、この影響によって、学歴と同様に、標準化回帰係数が下がっていることも考えられる。

図表4-15 生活、能力他、属性他を加えた職業継続希望への回帰分析（23,821名）

		回帰係数	標準化係数
(定数)		2.981	
仕事	良い人間関係・人や社会に役立	0.437	0.379
仕事	自律性・能力発揮・成長	0.368	0.313
仕事	キャリアアップ・賃金上昇	0.218	0.187
生活	疲れ・心配	-0.114	-0.099
属性他	年齢段階	0.079	0.068
属性他	年収	0.031	0.064
仕事	顧客やミスに気を使う	0.057	0.050
属性他	結婚	-0.075	-0.032
必要な能力他	ミスがないこと・集中力	0.036	0.032
生活	不規則・夜間勤務	-0.035	-0.031
属性他	職位	0.024	0.027
属性他	企業規模	-0.025	-0.023
生活	休日に呼び出し等	-0.026	-0.023
必要な能力他	意欲・主体性・熱心さ	0.025	0.021
必要な能力他	情報スキル・交渉力・説明力	-0.022	-0.020
必要な能力他	体力・スタミナ・健康	0.020	0.018
属性他	性別	0.040	0.016
必要な能力他	人間的魅力	-0.010	-0.009
属性他	学歴	-0.006	-0.008
必要な能力他	マナー・コミュニケーション	-0.003	-0.003

注) 標準化回帰係数の絶対値が大きい順としている。仕事、生活、属性他、能力他の分野ごとに異なる色で着色をしている。

図表4-16 生活、能力他、属性他を加えた職業満足への回帰分析（23,821名）

		回帰係数	標準化係数
(定数)		4.873	
仕事	良い人間関係・人や社会に役立つ	0.753	0.334
仕事	自律性・能力発揮・成長	0.643	0.281
仕事	キャリアアップ・賃金上昇	0.403	0.177
生活	疲れ・心配	-0.389	-0.173
属性他	年収	0.117	0.124
属性他	性別	0.380	0.077
生活	休日に呼び出し等	-0.150	-0.066
必要な能力他	意欲・主体性・熱心さ	0.084	0.037
必要な能力他	ミスがないこと・集中力	0.073	0.033
必要な能力他	情報スキル・交渉力・説明力	-0.064	-0.028
属性他	結婚	-0.129	-0.028
仕事	顧客やミスに気を使う	-0.056	-0.025
生活	不規則・夜間勤務	-0.053	-0.024
属性他	年齢段階	0.051	0.023
必要な能力他	人間的魅力	-0.042	-0.019
必要な能力他	体力・スタミナ・健康	-0.023	-0.010
属性他	企業規模	-0.019	-0.009
属性他	職位	0.015	0.009
必要な能力他	マナー・コミュニケーション	0.004	0.002
属性他	学歴	0.000	0.000

注) 標準化回帰係数の絶対値が大きい順としている。仕事、生活、属性他、能力他の分野ごとに異なる色で着色をしている。

7. 仕事の現状や状況のまとめ

ここでは仕事の現状と状況に関する18問と「職業満足」の設問についてみてきた。全体としては「ミスがないよう気を使うことが多い」が多く、職業全般にこのような傾向が強いことがわかる。業種別、職種別にみると、その業種、その職種の一般の印象やイメージに沿った傾向が具体的な数値として示された。

仕事の現状と状況に関する18問を主成分分析、因子分析で検討すると、「良い人間関係・人や社会に役立つ」、「自律性・能力発揮・成長」、「キャリアアップ・賃金上昇」、「顧客やミスに気を使う」という仕事の4つの要素が抽出された。最初の三つはアルダファの関係（relatedness）、成長（growth）、生存（existence）に近い要素と考えられた。

この4要素と職業継続希望（「現在の職業をずっと続けていきたいと思う」）との関係のみ

ると、「良い人間関係・人や社会に役立」、「自律性・能力発揮・成長」、「キャリアアップ・賃金上昇」の順にプラスの関係がみられた。職業満足との関係では「良い人間関係・人や社会に役立」、「自律性・能力発揮・成長」、「キャリアアップ・賃金上昇」の順にプラスの関係、「顧客やミスに気を使う」とは弱いマイナスの関係がみられた。また、職業継続希望と職業満足に関して、仕事の要素以外の仕事から生活への影響、必要とされる能力他、年齢、性別他の属性や年収等、影響が考えられるものを加え、回帰分析を行った。この結果は職業継続希望に関しては仕事の生活への影響の「疲れ・心配」がマイナスの関係となり、職業満足に関しては、仕事の要素に加えて、「疲れ・心配」がマイナス、年収がプラスの影響となっていた。

業界や職業に関しては世の中には様々な情報があるが、主観的であったり、断片的であったり、また、事例やケースのような情報であるものが大半である。このような情報から業界や職種に対する印象やイメージが形成されているといえる。ここでは仕事の現状や状況に関して、多面的な側面からデータに基づき数値化し、プロフィールを描くことができた。また、仕事の現状や状況において、どのような要素がありその要素が相互にどのような関係があるかみることができた（主成分分析、因子分析の部分）。そして、職業継続希望や職業満足に対して、仕事の現状や状況の各要素がどのように関係しているかみることができた（回帰分析の部分）。

文 献

Alderfer, C. P. (1969). An empirical test of a new theory of human needs. *Organizational Behavior and Human Performance*, 4, 142-175.

Maslow, A. H. (1943). A theory of human motivation. *Psychological Review*, 50, 370-396.

労働政策研究・研修機構（2011）. 求人企業サービスに関する研究—仕事魅力、求人充足、求人開拓、事業所訪問、他— JILPT 資料シリーズ No. 85.

第5章 職業の量的変化と内容面の変化

1. 趣旨と目的

職業の現場は常に変化している。このような職業の現状や変化を即時的に捉えることは、職業選択や進路選択に資するより有益な情報を作成し、また職業についての趨勢的变化を捉えるために重要であるが、現実的には種々の困難があった。個別の職業の状況を直接把握している団体等がすべての職業について存在しているとは限らない。また、大規模な調査は技術的に難しく、情報収集し、分析しおえた頃にはまた、職業の現場は変化しているという事態も起こりかねなかった。しかし、インターネットによる Web 調査が使えるようになり、調査にかかる経費や時間を抑え、リアルタイムに近い状態で現状を把握することが可能となってきた。このような現状認識・目的意識から、就業者 Web 調査を実施し、第4章では職業の現状に関して収集されたデータを分析したが、本章では、同調査のなかで、職業の現場の変化について尋ねた項目を対象とし、どのように変化しているか検討する。

方法としては、今回得られた 26,586 名のデータを分析する。調査の手続きおよび調査対象者の属性他は第2章と第3章にある。

職業の人数等量的変化をみるために「現職の人数等の変化」18項目、職業の内容面の変化をみるため「現職の変化」28項目を用いた。具体的な設問内容と選択肢を図表 5-1 に示す。各設問に対して、調査対象者の現在の職業について、自分の周囲で同じ職業についている人の状況などをもとにして回答してもらっている。

図表 5-1 本分析で使用した変化に関する設問の内容

項目	項目番号	設問	選択肢
Q3S1 現職の人数等 の変化	1	自分と同じ職業では30歳以下の人が～	増加傾向 やや増加傾向 変わらない やや減少傾向 減少傾向 継続的にいない わからない
	2	自分と同じ職業では60歳以上の人が～	
	3	自分と同じ職業では女性が～	
	4	自分と同じ職業では女性管理職が～	
	5	自分と同じ職業では外国人が～	
	6	自分と同じ職業では高齢者の採用が～	
	7	自分と同じ職業では障害者の採用が～	
	8	自分と同じ職業では正社員が～	
	9	自分と同じ職業では非正規社員(パート、アルバイト)が～	
	10	自分と同じ職業では非正規社員(派遣)が～	
	11	自分と同じ職業では非正規社員(契約)が～	
	12	自分の職業では独立・開業する人やフリーランスになる人が～	
	13	自分の職業では自宅で仕事をする人が～	
	14	自分の職業では自宅以外の場所をレンタルして仕事をする人が～	
	15	自分と同じ職業の人の人数は全体として～	
	16	自分と同じ職業では収入が全体的に～	
	17	自分の職業では最近(ここ1、2年)、仕事量が～	
	18	自分の職業では最近(ここ1、2年)、残業が～	
Q3S2 現職の変化	1	自分の職業では仕事のテンポ・サイクルが速くなっている	Yes ややYes どちらともいえない ややNo No わからない
	2	自分の職業では、様々なことをしなくてはならない等仕事の範囲が広がっている	
	3	自分の職業では、仕事が特定の分野に特化、専門化してきている	
	4	自分の職業では以前よりもマニュアル化、定式化が進んでいる	
	5	自分の職業では以前よりも各人の創意工夫が求められるようになっている	
	6	自分の職業では、より高い専門性や高度なスキルが求められるようになっている	
	7	自分の職業では、仕事をするために、新しいことを学ぶ必要が増えている	
	8	自分の職業では、仕事の変化が早くなりついて行くのが難しくなっている	
	9	自分の職業ではIT化、機械化等により、より心身の負担が軽減している	
	10	自分の職業では作業の自動化により、必要人員が減少している	
	11	自分の職業では経験から得られるカン・コツやノウハウが以前より重要になっている	
	12	自分の職業では後継者不足や技能・ノウハウの伝承が問題になっている	
	13	自分の職業では、IT(PC、情報機器、ネット)の利用活用が重要になっている	
	14	自分の職業では、ソーシャルメディア等ネットでの人と人とのつながりが重要になっている	
	15	自分の職業では、仕事で英語を使うことが多くなっている	
	16	自分の職業では、よりレベルの高い英語力が必要になっている	
	17	自分の職業では、中国語が必要なことが多くなっている	
	18	自分の職業では、英語、中国語以外の外国語が必要になっている	
19	自分の職業では、関係者とチームで働くことが多くなっている		
20	自分の職業では、関係者とチームで働くことが重要になっている		
21	自分の職業では、同業他社や関係者との情報交換が重要になっている		
22	自分の職業では、人脈を広げることが仕事をする上で重要になっている		
23	自分の職業では、顧客との関係で神経を使うことが多くなっている		
24	自分の職業では、顧客との間でトラブル処理が重要になっている		
25	自分の職業では、評価が行われ、それが給与や報酬に反映されるようになった		
26	自分の職業では、評価が以前よりも厳しくなっている		
27	自分の職業では、成果を数字で求められるようになった		
28	自分の職業では、より短期間で成果を求められるようになった		

2. 人数等職業の量的な変化

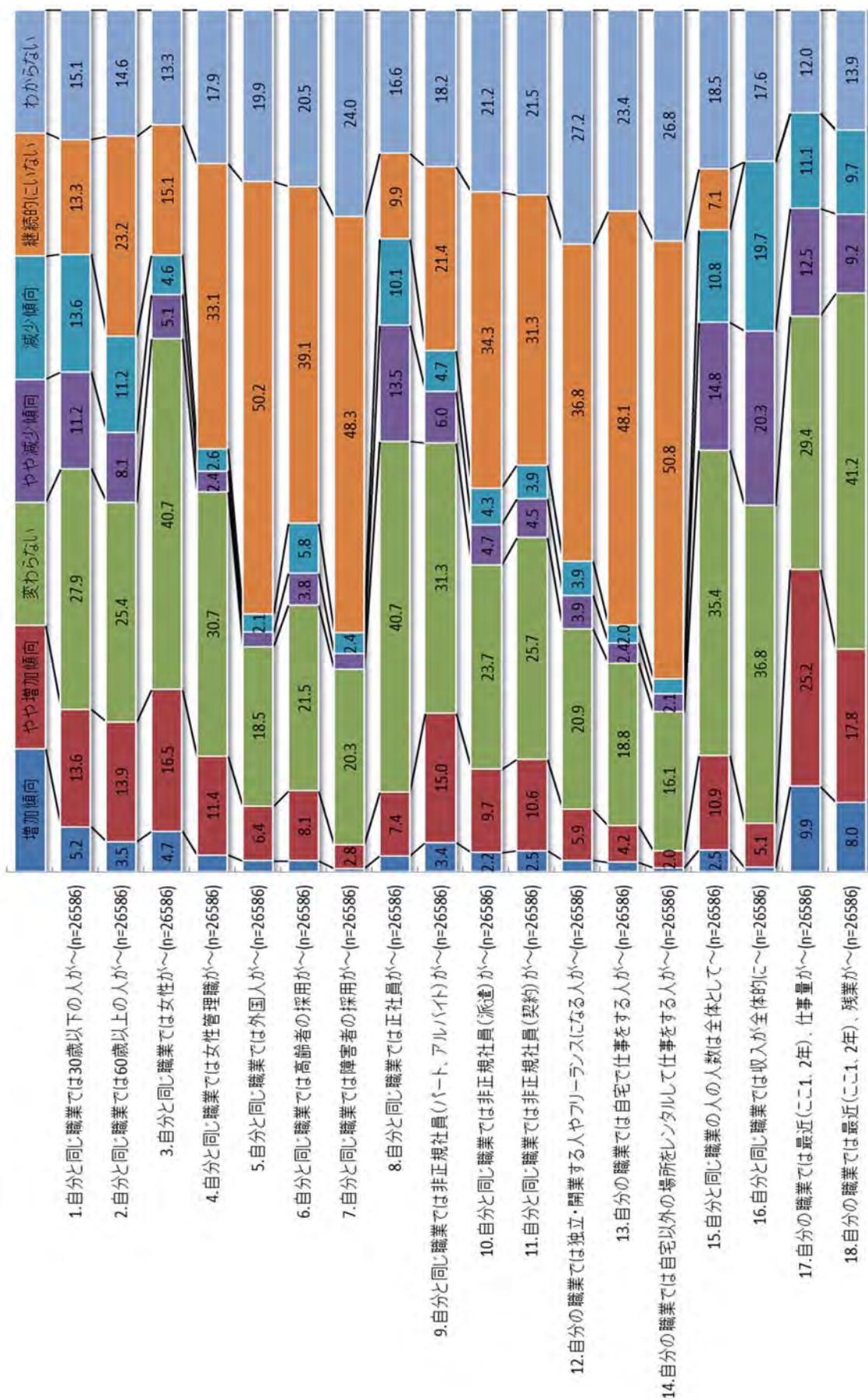
現職の人数等の変化を尋ねる 18 項目について、全設問における全体の度数分布を図表 5-2 と図表 5-3 に示す。「3.自分と同じ職業では女性が～」は「変わらない」が最も多いものの、「増加傾向」と「やや増加傾向」を加えた割合が比較的大きく、「減少傾向」と「やや減少傾向」を加えた割合が小さかった。一般に、女性の採用は従来と変わらない～増えている傾向にあるといえる。また、「17.自分の職業では最近(ここ1、2年)、仕事量が～」、「18.自分の職業では最近(ここ1、2年)、残業が～」は、「増加傾向」または「やや増加傾向」と回答した割合が大きかった。一方、「8.自分と同じ職業では正社員が～」、「16.自分と同じ職業では収入が全体的に～」では「増加傾向」または「やや増加傾向」が小さく、「減少傾向」または「やや減少傾向」が大きいうという結果であった。「8.自分と同じ職業では正社員が～」と比較すると、「9.自

分と同じ職業では非正規社員（パート、アルバイト）が～」、「10. 自分と同じ職業では非正規社員（派遣）が～」、「11. 自分と同じ職業では非正規社員（契約）が～」で「増加傾向」と「やや増加傾向」が大きく、「減少傾向」と「やや減少傾向」が小さかった。全般的にみて、正社員数が変わらないか減っており、対照的に、非正規社員は変わらないかやや増加している割合が高い。収入も減少している傾向がみられた。また、「5.自分と同じ職業では外国人が～」、「7. 自分と同じ職業では障害者の採用が～」、「13.自分の職業では自宅で仕事をする人が～」、「14. 自分の職業では自宅以外の場所をレンタルして仕事をする人が～」で「継続的にいない」と回答した割合が大きく、「変わらない」も相対的に大きかった。

図表 5-2 現職の人数等の変化における全体の度数分布 (n=26, 586)

	増加傾向	増加や傾向	変わらない	減少や傾向	減少傾向	継続的に	わからない	計
1.自分と同じ職業では30歳以下の人が～	1,386 5.2	3,619 13.6	7,427 27.9	2,985 11.2	3,626 13.6	3,538 13.3	4,005 15.1	26,586 100.0
2.自分と同じ職業では60歳以上の人～	925 3.5	3,698 13.9	6,764 25.4	2,162 8.1	2,973 11.2	6,170 23.2	3,894 14.6	26,586 100.0
3.自分と同じ職業では女性が～	1,240 4.7	4,380 16.5	10,819 40.7	1,359 5.1	1,222 4.6	4,018 15.1	3,548 13.3	26,586 100.0
4.自分と同じ職業では女性管理職が～	510 1.9	3,040 11.4	8,163 30.7	645 2.4	682 2.6	8,791 33.1	4,755 17.9	26,586 100.0
5.自分と同じ職業では外国人が～	340 1.3	1,692 6.4	4,909 18.5	461 1.7	547 2.1	13,335 50.2	5,302 19.9	26,586 100.0
6.自分と同じ職業では高齢者の採用が～	340 1.3	2,155 8.1	5,717 21.5	997 3.8	1,531 5.8	10,394 39.1	5,452 20.5	26,586 100.0
7.自分と同じ職業では障害者の採用が～	102 0.4	733 2.8	5,403 20.3	493 1.9	644 2.4	12,838 48.3	6,373 24.0	26,586 100.0
8.自分と同じ職業では正社員が～	492 1.9	1,958 7.4	10,816 40.7	3,588 13.5	2,676 10.1	2,634 9.9	4,422 16.6	26,586 100.0
9.自分と同じ職業では 非正規社員(パート、アルバイト)が～	897 3.4	3,994 15.0	8,331 31.3	1,602 6.0	1,246 4.7	5,677 21.4	4,839 18.2	26,586 100.0
10.自分と同じ職業では 非正規社員(派遣)が～	589 2.2	2,573 9.7	6,299 23.7	1,237 4.7	1,132 4.3	9,132 34.3	5,624 21.2	26,586 100.0
11.自分と同じ職業では 非正規社員(契約)が～	652 2.5	2,814 10.6	6,839 25.7	1,195 4.5	1,045 3.9	8,328 31.3	5,713 21.5	26,586 100.0
12.自分の職業では独立・開業する人や フリーランスになる人が～	347 1.3	1,575 5.9	5,563 20.9	1,039 3.9	1,045 3.9	9,785 36.8	7,232 27.2	26,586 100.0
13.自分の職業では 自宅で仕事をする人が～	293 1.1	1,121 4.2	5,010 18.8	634 2.4	542 2.0	12,778 48.1	6,208 23.4	26,586 100.0
14.自分の職業では自宅以外の場所を レンタルして仕事をする人が～	121 0.5	527 2.0	4,281 16.1	565 2.1	466 1.8	13,504 50.8	7,122 26.8	26,586 100.0
15.自分と同じ職業の人の人数は 全体として～	674 2.5	2,911 10.9	9,413 35.4	3,945 14.8	2,859 10.8	1,876 7.1	4,908 18.5	26,586 100.0
16.自分と同じ職業では収入が全体的に～	129 0.5	1,368 5.1	9,793 36.8	5,388 20.3	5,232 19.7	3 0.0	4,673 17.6	26,586 100.0
17.自分の職業では 最近(ここ1、2年)、仕事量が～	2,635 9.9	6,697 25.2	7,811 29.4	3,316 12.5	2,940 11.1	1 0.0	3,186 12.0	26,586 100.0
18.自分の職業では 最近(ここ1、2年)、残業が～	2,136 8.0	4,737 17.8	10,966 41.2	2,450 9.2	2,589 9.7	1 0.0	3,707 13.9	26,586 100.0

図表 5-3 現職の人数等の変化における回答の割合 (n=26, 586)



3. 業種、職種別の量的な変化

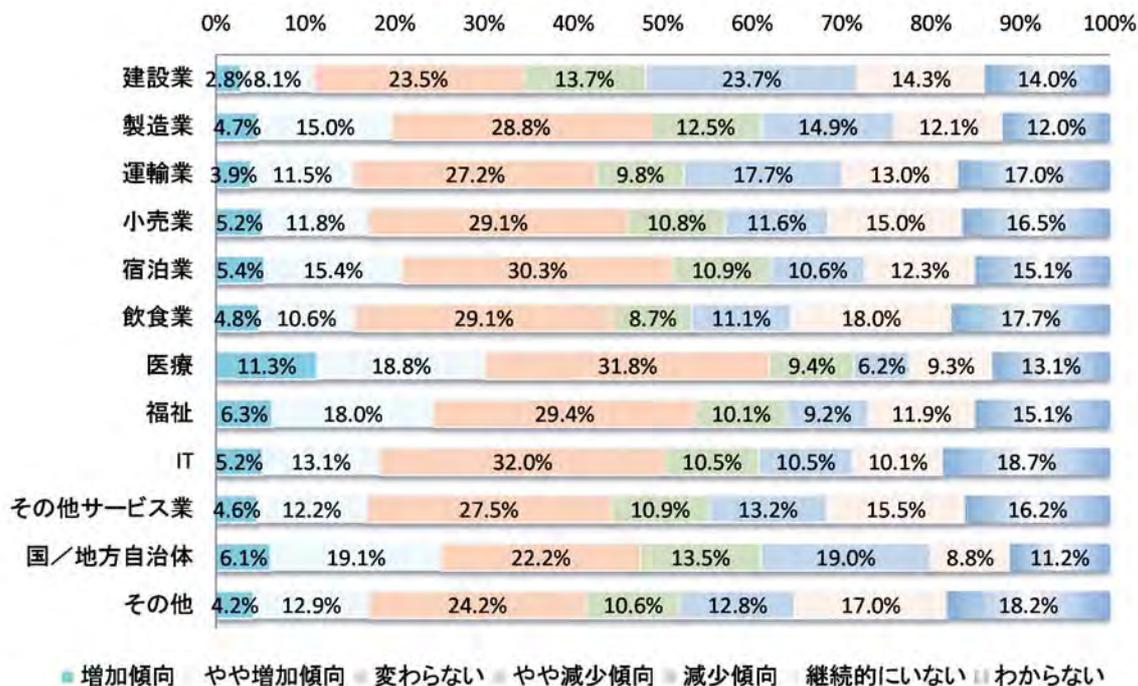
現職の人数等の変化を尋ねる 18 項目について、業種別、職種（厚生労働省編職業分類における職業大分類）別に回答の度数分布を求めた（図表 5-4～図表 5-39）。

業種別でみると、仕事量（図表 5-36）と残業量（図表 5-38）は様々な業種で増加している。なかでも、「国／地方自治体」において増加の割合が大きかった。「国／地方自治体」はパートやアルバイト（図表 5-20）、女性管理職（図表 5-10）に対しても高い増加傾向を示した。これらの設問に関して、「福祉」も「国／地方自治体」と類似したパターンを示した。また、「国／地方自治体」は収入（図表 5-34）や正社員数（図表 5-18）に関して減少しているという割合も大きかった。一方、「建設業」、「製造業」、「運輸業」で女性（図表 5-8）や女性管理職（図表 5-10）が継続的にいないと回答する割合が大きかった。

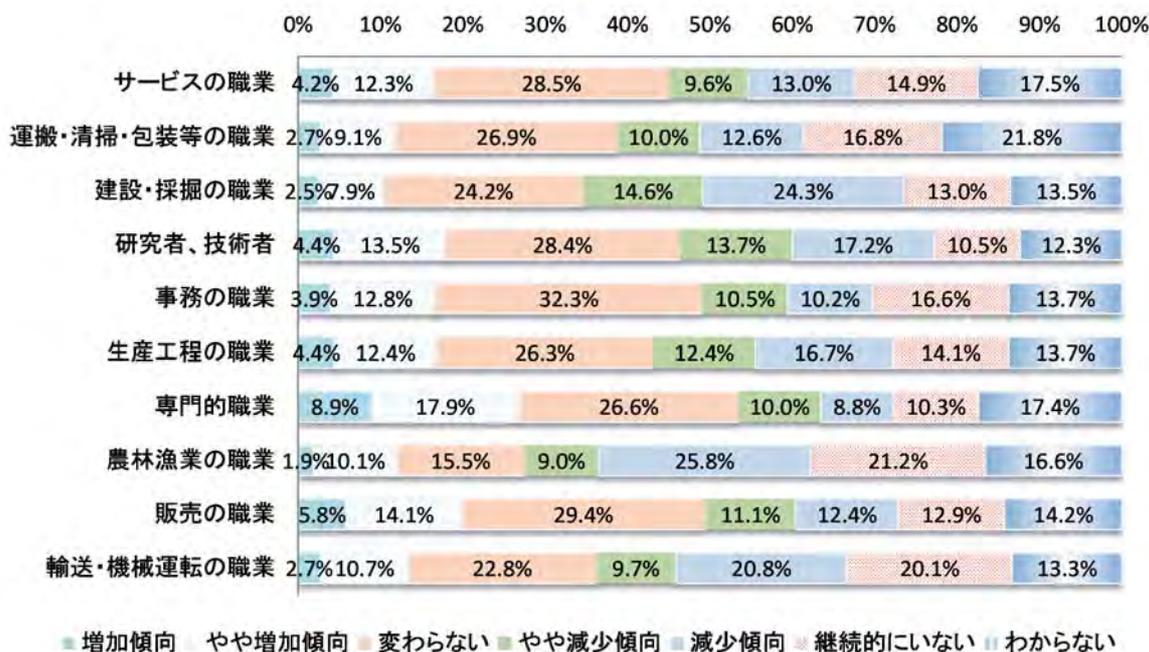
職種別にみると、特に「専門的職業」で変化が見られた。仕事量（図表 5-37）や残業量（図表 5-39）が増加し、従事する人数が増え（図表 5-33）、なかでも女性（図表 5-9）や女性管理職（図表 5-11）、30 歳以下の若年者（図表 5-5）が増加していた。対照的に、「生産工程の職業」、「建設・採掘の職業」、「輸送・機械運転の職業」では仕事量（図表 5-37）、残業量（図表 5-39）ともに減少しており、「建設・採掘の職業」、「輸送・機械運転の職業」では収入が減少しているという回答も多かった（図表 5-35）。さらに、「建設・採掘の職業」と「農林漁業の職業」では収入（図表 5-35）、従事者数（図表 5-33）、30 歳以下の若年者（図表 5-5）が減少しているという割合が大きかった。また、「建設・採掘の職業」、「輸送・機械運転の職業」、「農林漁業の職業」、「生産工程の職業」で女性（図表 5-9）や女性管理職（図表 5-11）が継続的にいないと回答する割合が大きかった。

また、100 名以上の回答が得られた職業（職業細分類）について、「増加」と「やや増加」の割合を合計し、その値が大きい上位 5 職業を以下に示す（職業名順）。なお、設問数が多いため、「増加」と「やや増加」の合計が大きい上位 5 つの設問のみを対象とした。「17.自分の職業では最近（ここ 1、2 年）、仕事量が～」に関しては「高等学校教員」、「小学校教員」、「大学教員」、「中学校教員」、「特別支援学校教員」で割合が大きく、すべて教員であった。「18.自分の職業では最近（ここ 1、2 年）、残業が～」に関しても「高等学校教員」、「小学校教員」、「大学教員」、「中学校教員」、「特別支援学校教員」であり、まったく同じ結果であった。「3.自分と同じ職業では女性が～」は「医師」、「医薬情報担当者（MR）、医薬品卸販売担当者（MS）」、「歯科医師」、「写真家（営業写真家、商業カメラマン、報道カメラマンなど）」、「診療放射線技師」で割合が大きかった。「1.自分と同じ職業では 30 歳以下の人が～」は「医薬情報担当者（MR）、医薬品卸販売担当者（MS）」、「作業療法士」、「小学校教員」、「中学校教員」、「理学療法士」であった。「9.自分と同じ職業では非正規社員（パート、アルバイト）が～」は「スーパーマーケット店員」、「デパート店員」、「障害者福祉施設専門員（職業指導員、生活支援員など）」、「保育士」、「幼稚園教員」であった。

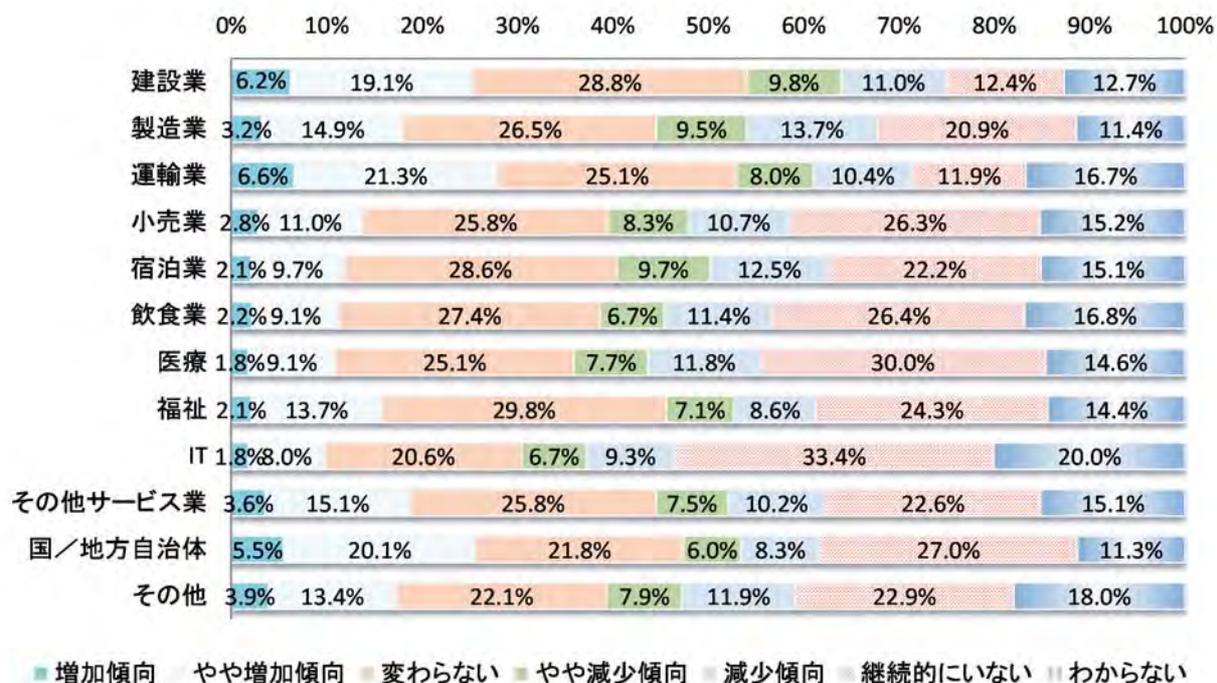
図表 5-4 「1. 自分と同じ職業では 30 歳以下の人が～」における回答の割合(業種別、n=26, 586)



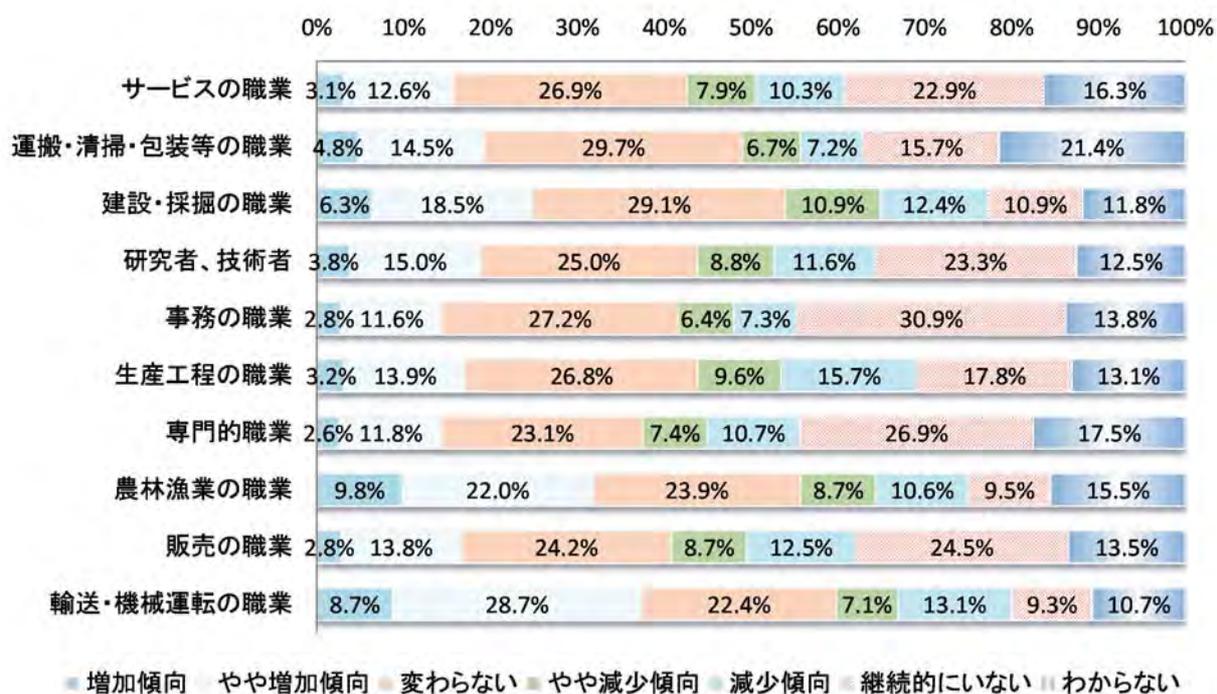
図表 5-5 「1. 自分と同じ職業では 30 歳以下の人が～」における回答の割合(職種別、n=26, 586)



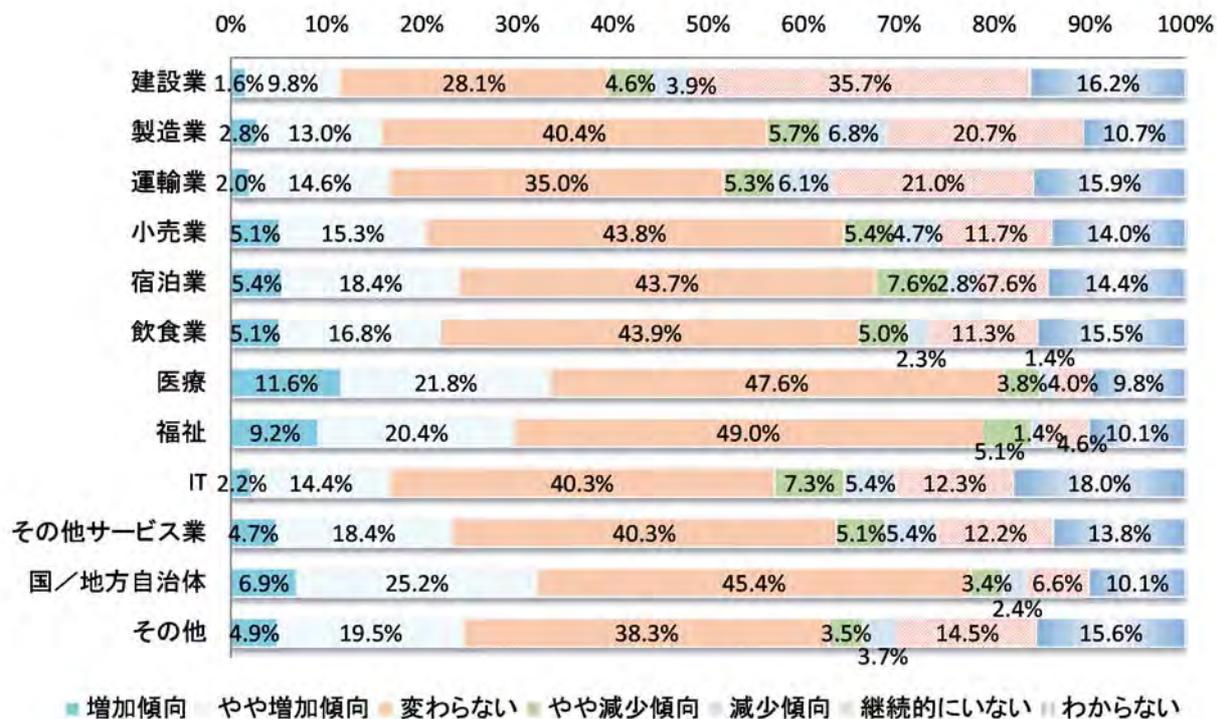
図表 5-6 「2. 自分と同じ職業では 60 歳以上の人が～」における回答の割合(業種別、n=26, 586)



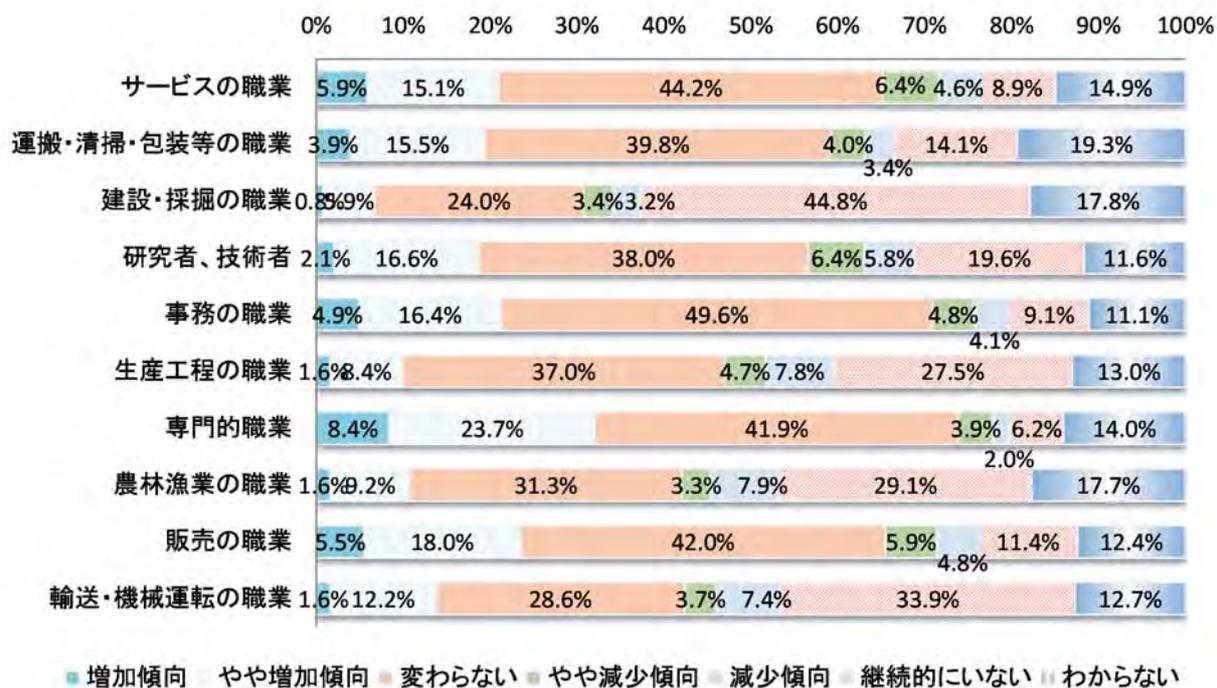
図表 5-7 「2. 自分と同じ職業では 60 歳以上の人が～」における回答の割合(職種別、n=26, 586)



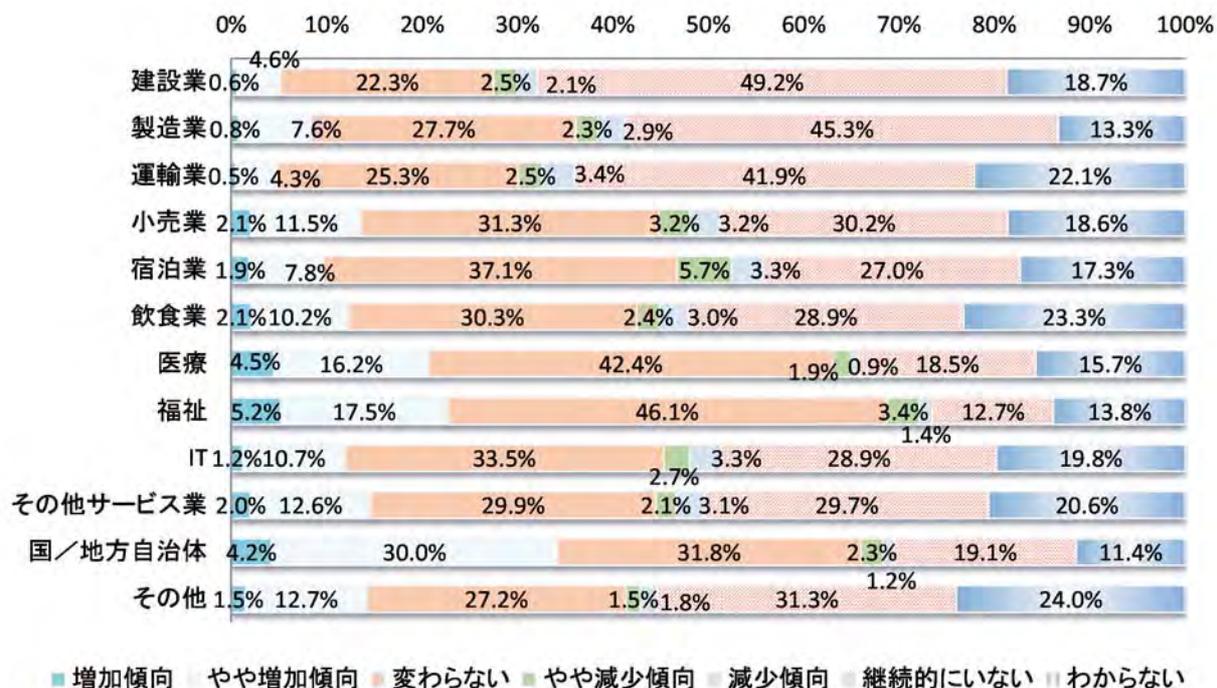
図表 5-8 「3. 自分と同じ職業では女性が～」における回答の割合（業種別、n=26,586）



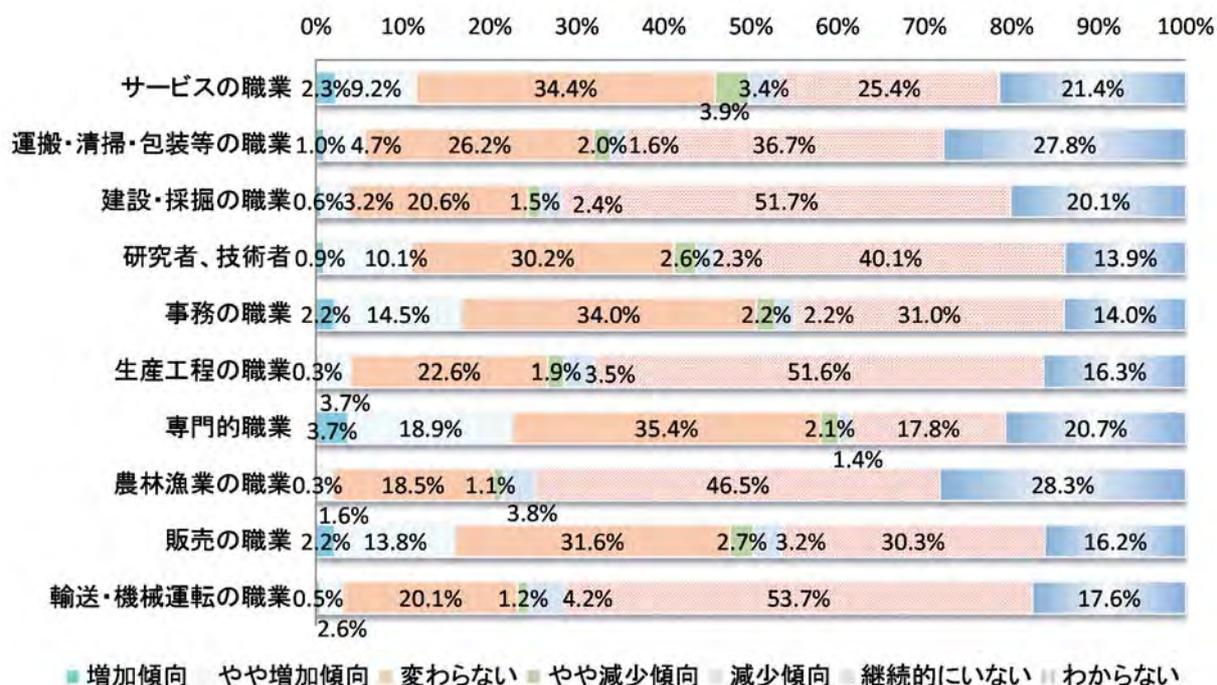
図表 5-9 「3. 自分と同じ職業では女性が～」における回答の割合（職種別、n=26,586）



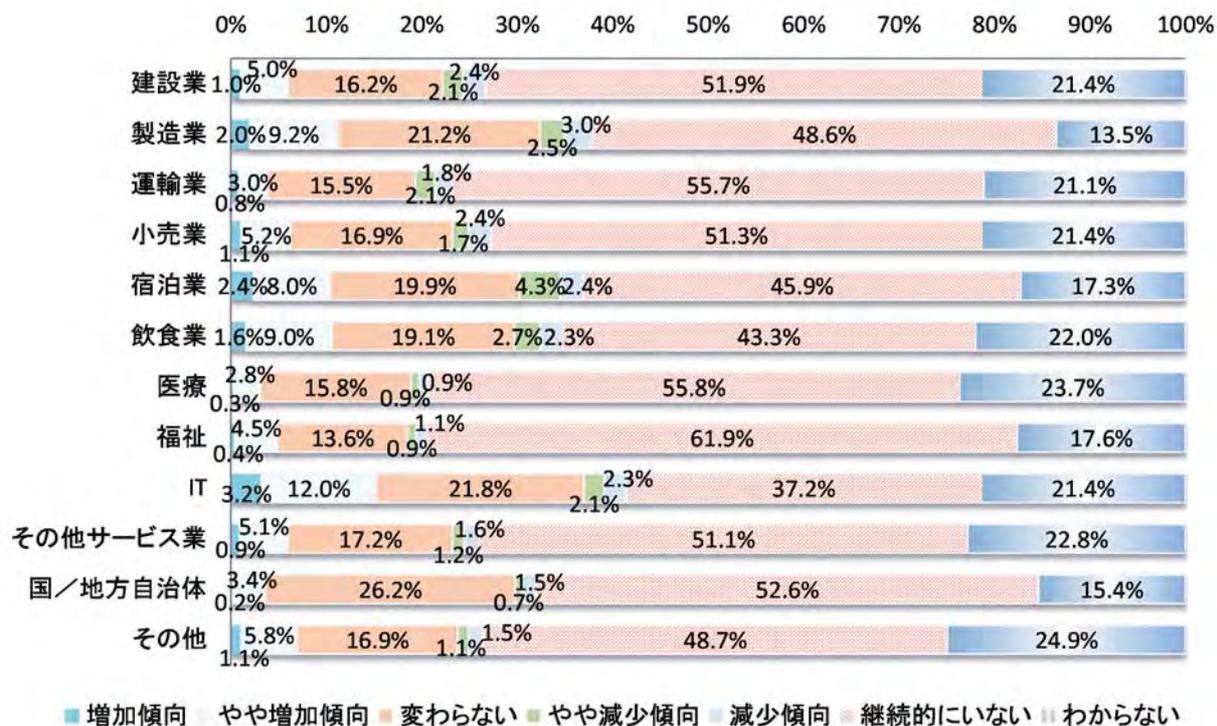
図表 5-10 「4. 自分と同じ職業では女性管理職が～」における回答の割合（業種別、n=26,586）



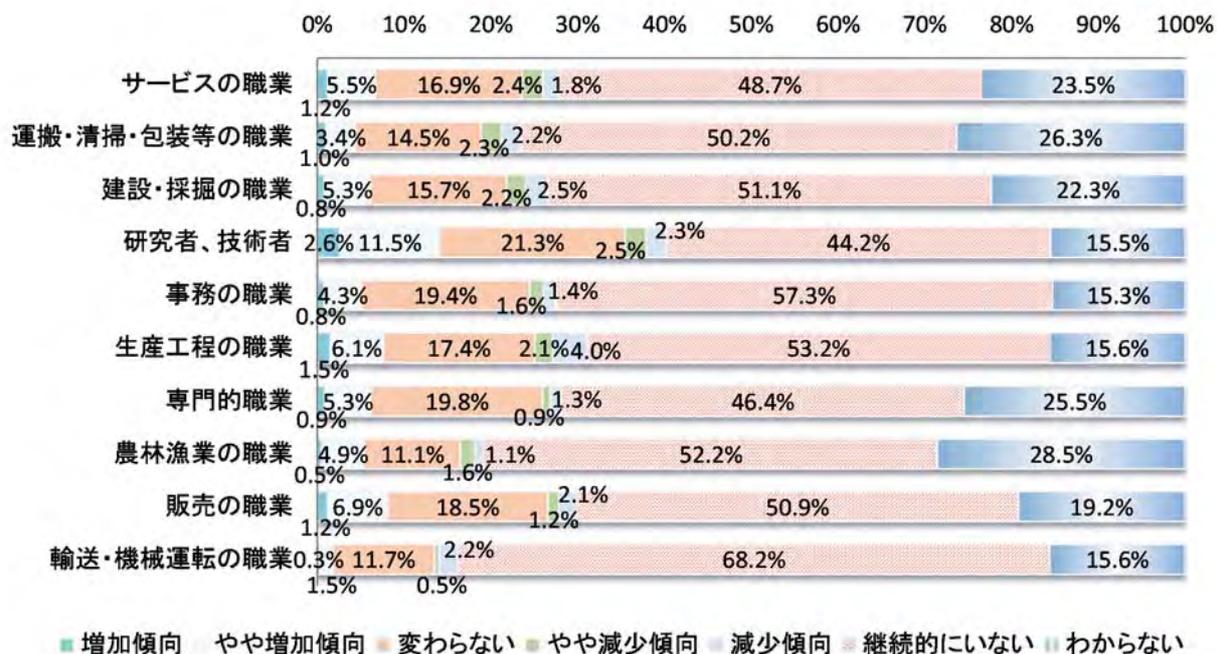
図表 5-11 「4. 自分と同じ職業では女性管理職が～」における回答の割合（職種別、n=26,586）



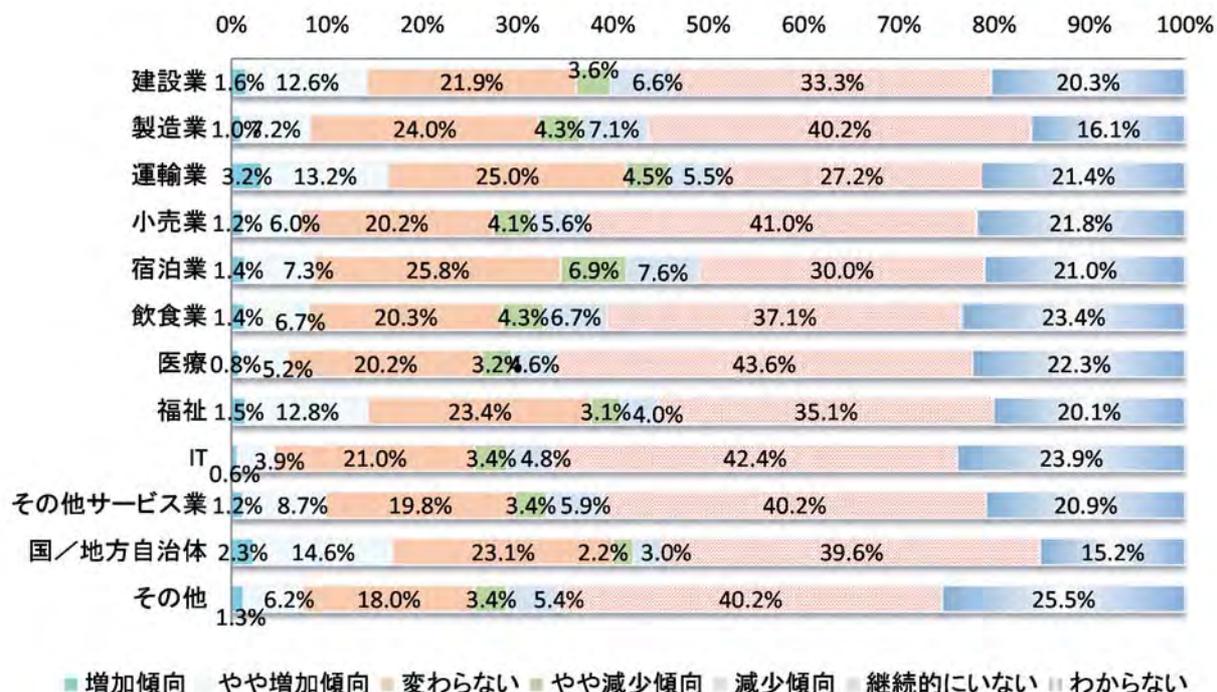
図表 5-12 「5. 自分と同じ職業では外国人が～」における回答の割合（業種別、n=26,586）



図表 5-13 「5. 自分と同じ職業では外国人が～」における回答の割合（職種別、n=26,586）



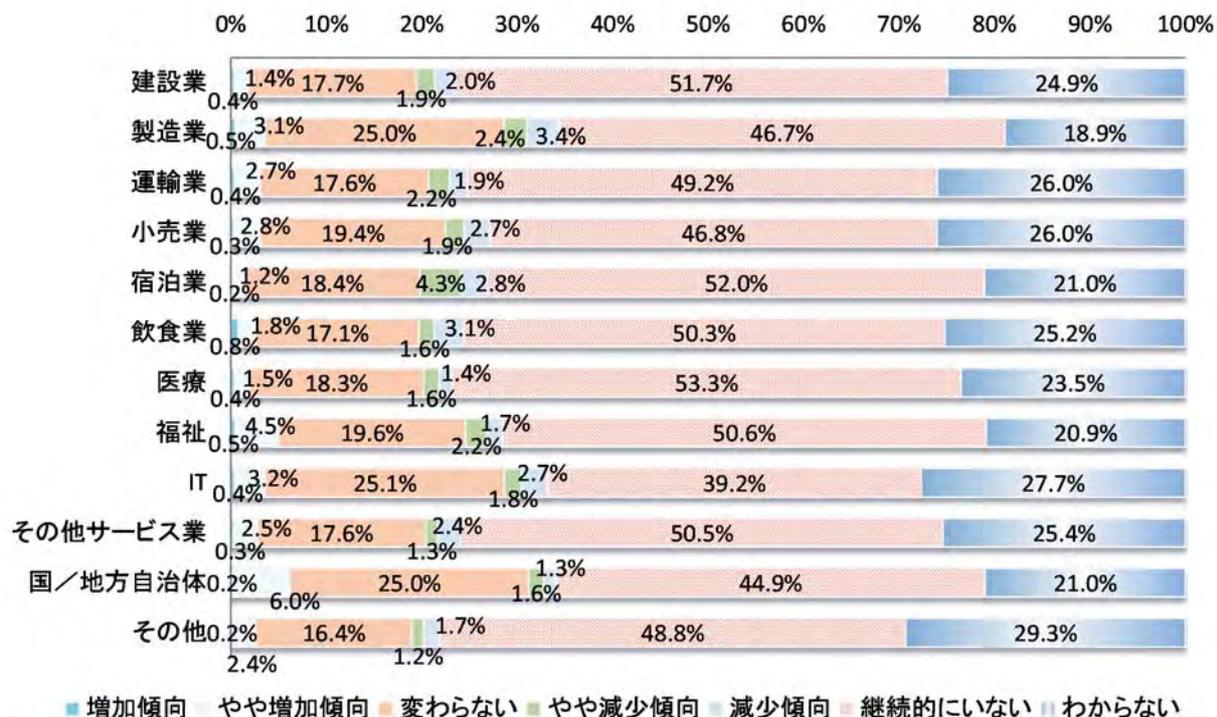
図表 5-14 「6. 自分と同じ職業では高齢者の採用が～」における回答の割合(業種別、n=26, 586)



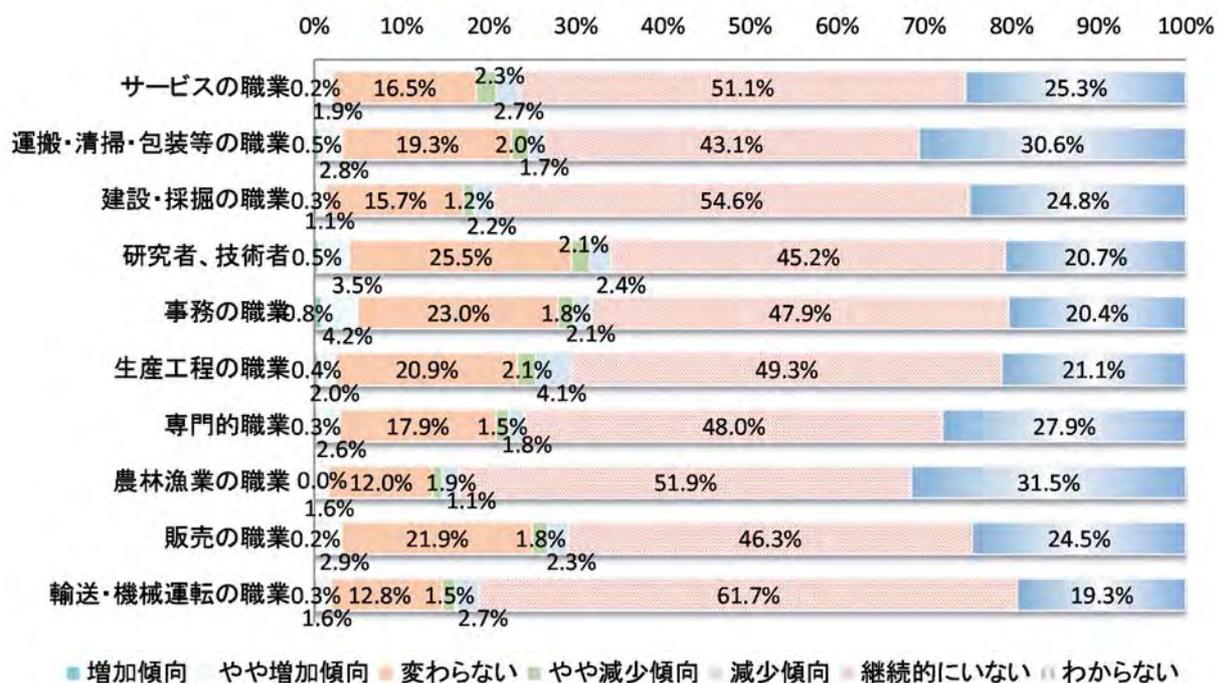
図表 5-15 「6. 自分と同じ職業では高齢者の採用が～」における回答の割合(職種別、n=26, 586)



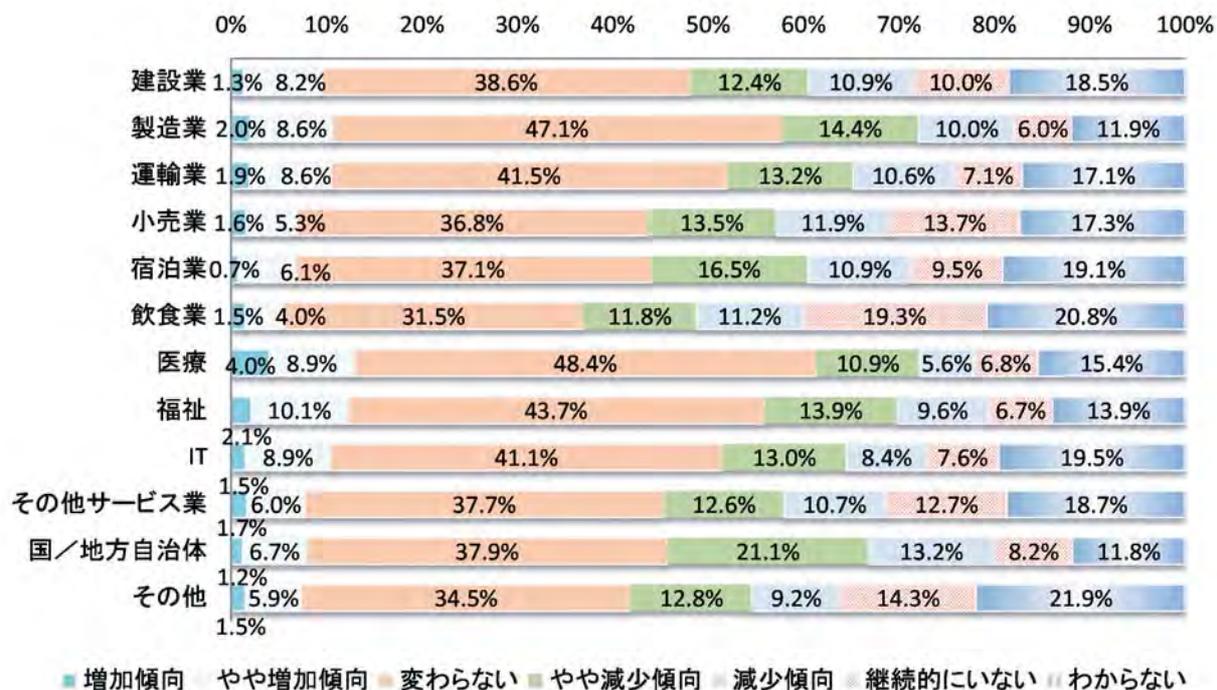
図表 5-16 「7. 自分と同じ職業では障害者の採用が～」における回答の割合(業種別、n=26, 586)



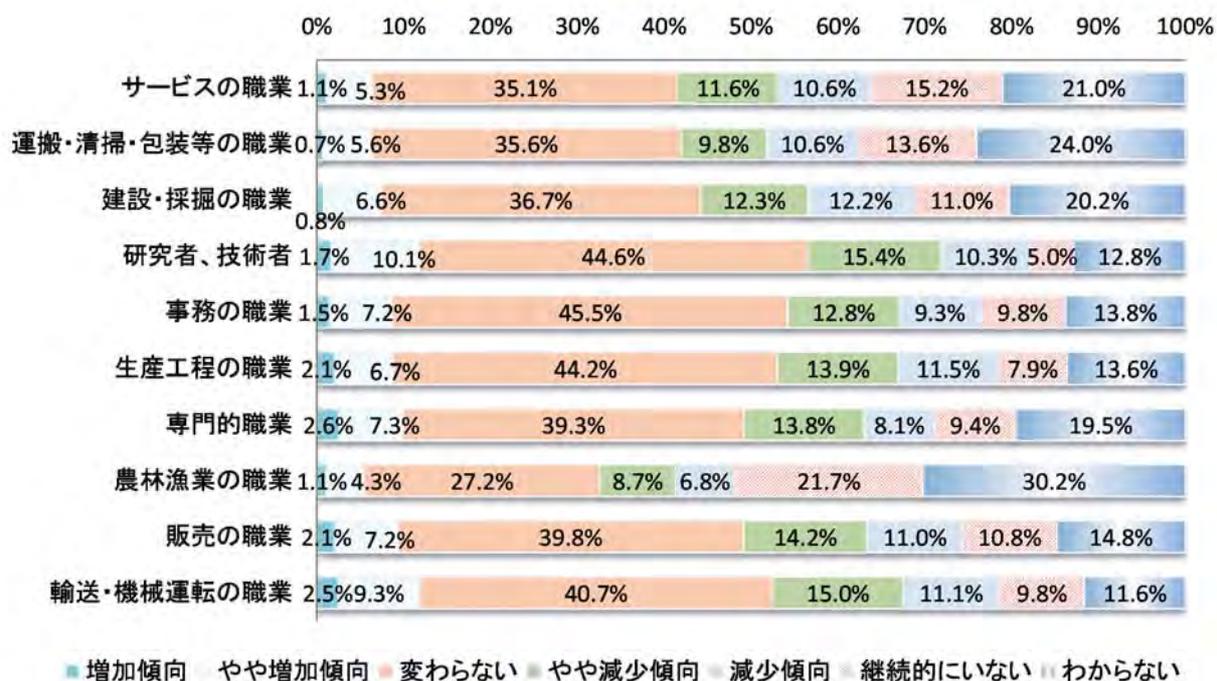
図表 5-17 「7. 自分と同じ職業では障害者の採用が～」における回答の割合(職種別、n=26, 586)



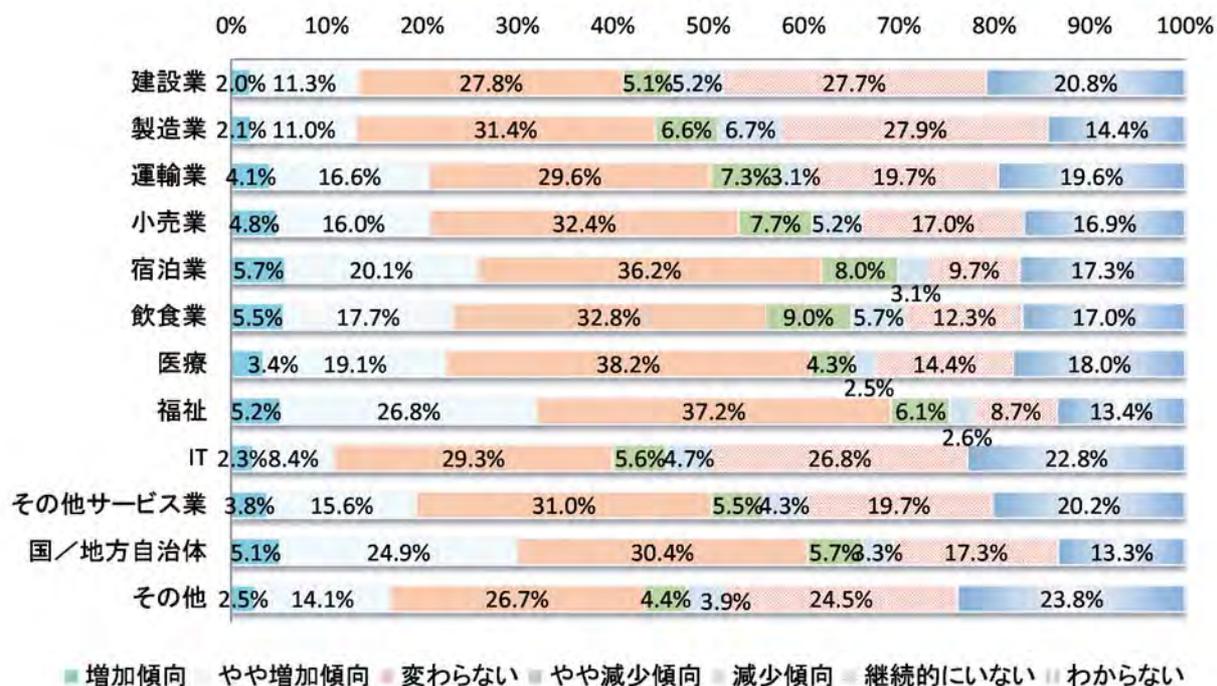
図表 5-18 「8. 自分と同じ職業では正社員が～」における回答の割合（業種別、n=26,586）



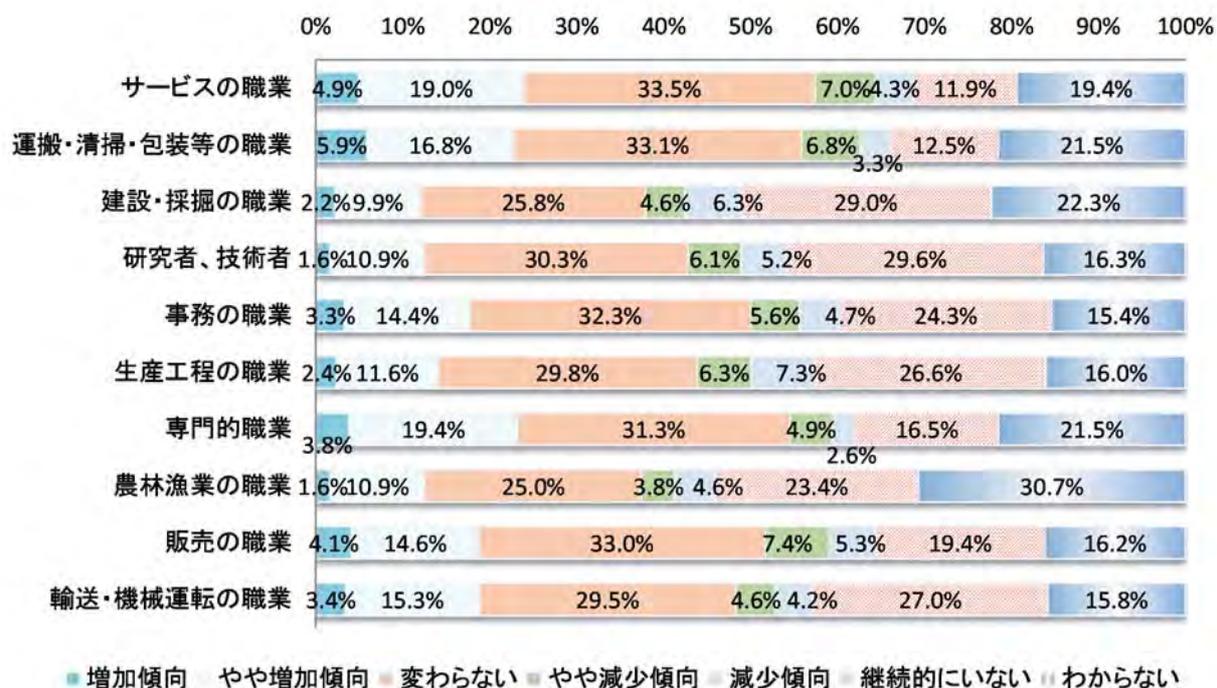
図表 5-19 「8. 自分と同じ職業では正社員が～」における回答の割合（職種別、n=26,586）



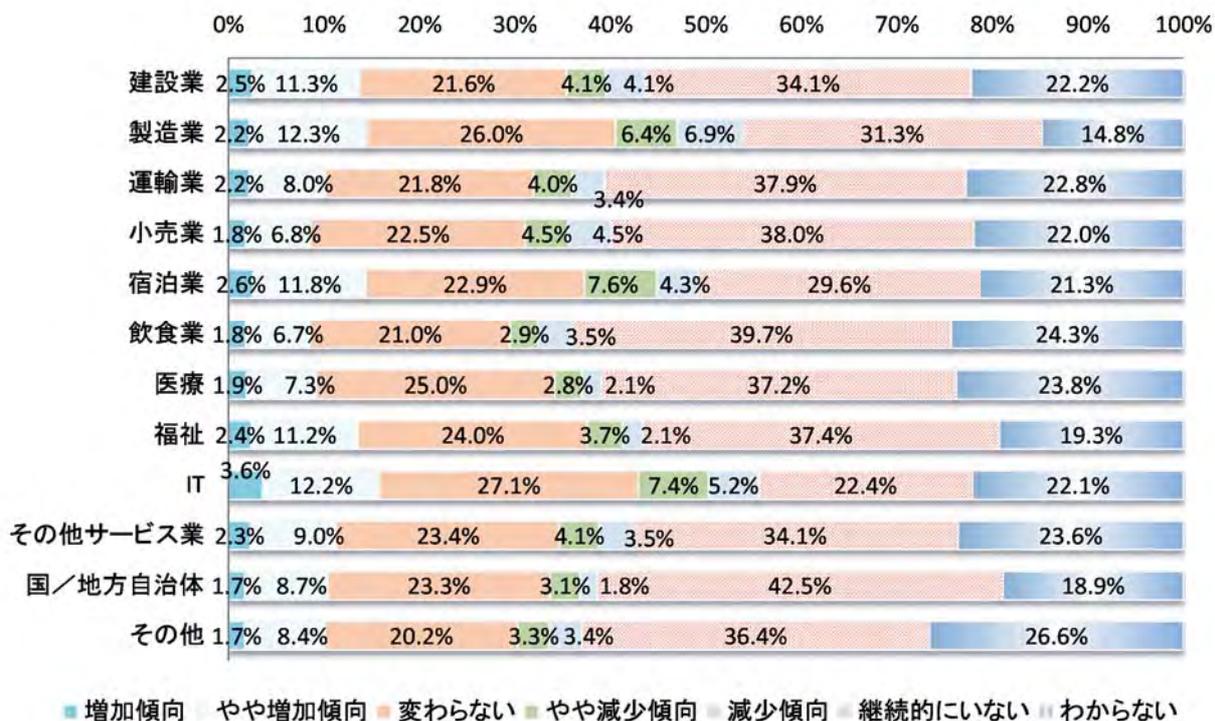
図表 5-20 「9. 自分と同じ職業では非正規社員（パート、アルバイト）が～」における回答の割合（業種別、n=26,586）



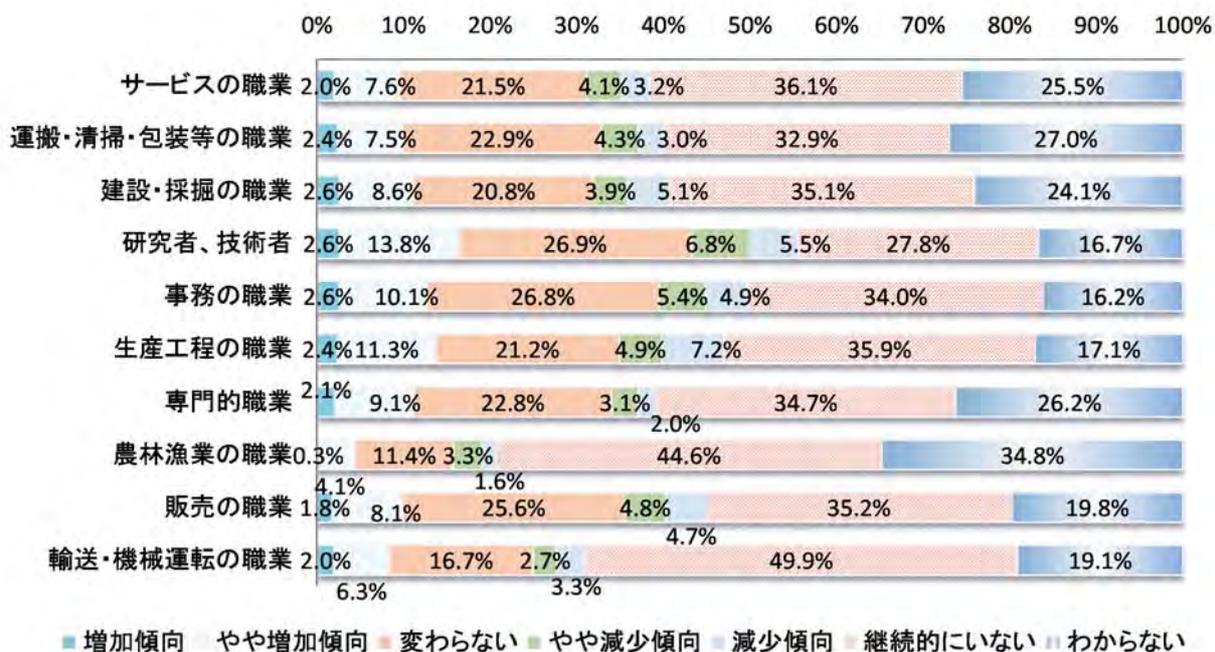
図表 5-21 「9. 自分と同じ職業では非正規社員（パート、アルバイト）が～」における回答の割合（職種別、n=26,586）



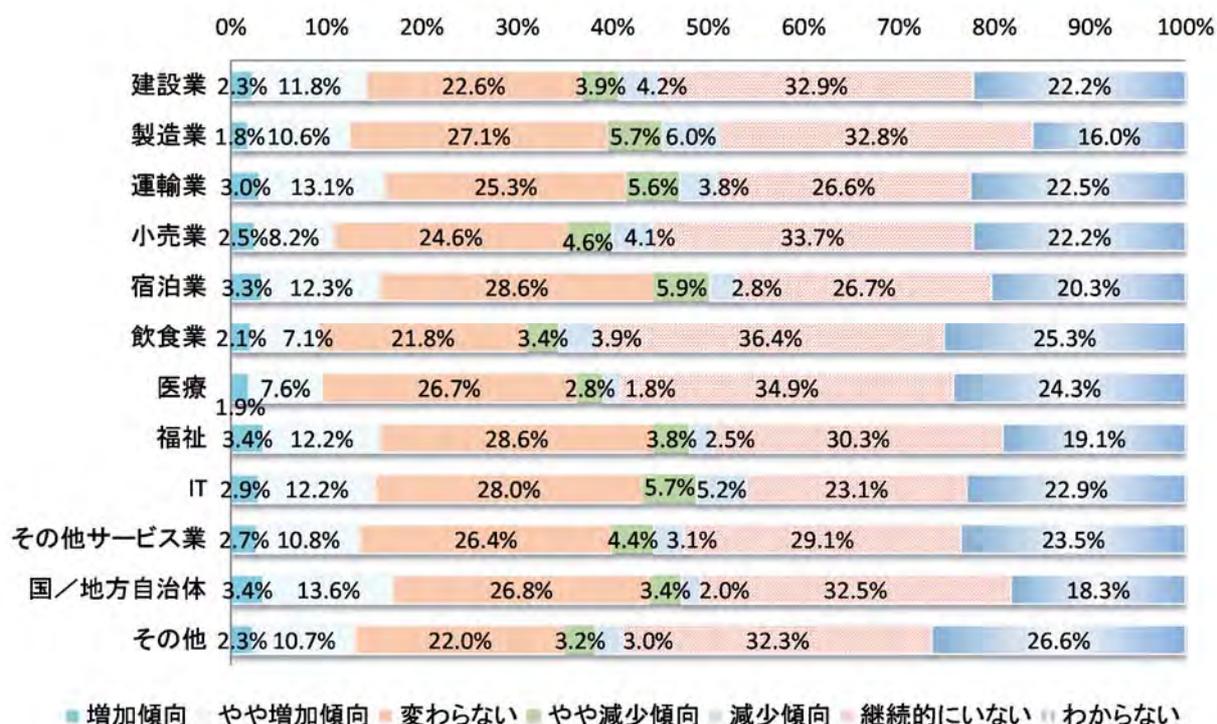
図表 5-22 「10. 自分と同じ職業では非正規社員（派遣）が～」における
回答の割合（業種別、n=26,586）



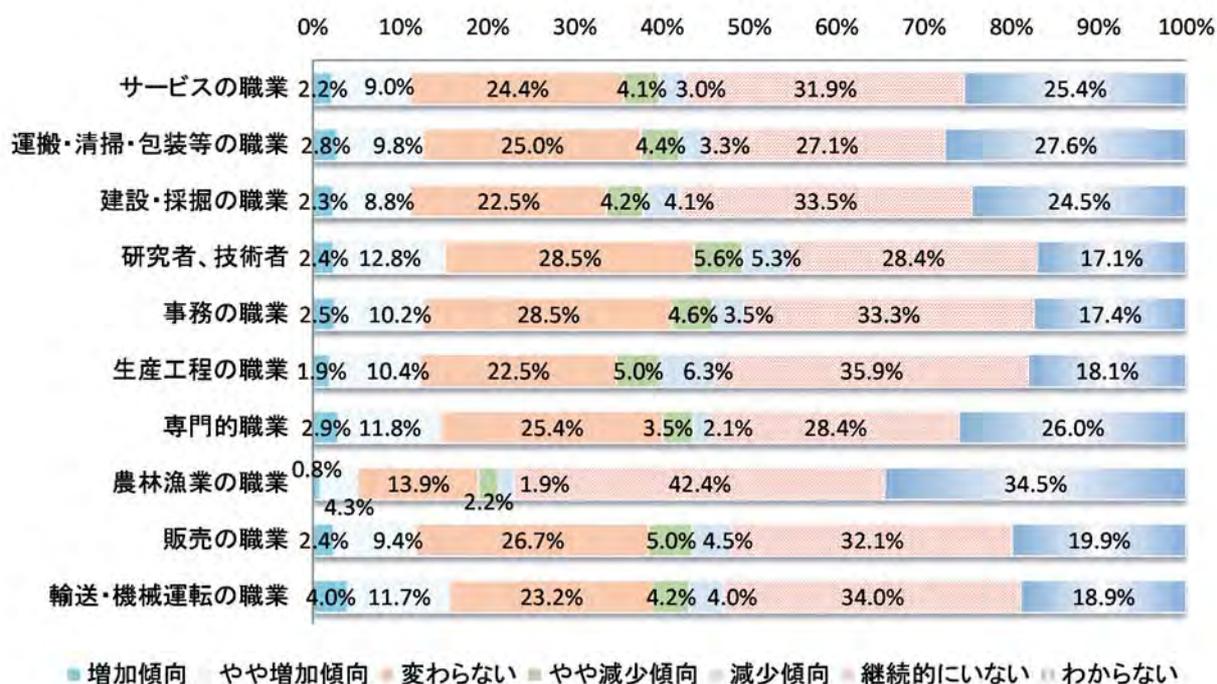
図表 5-23 「10. 自分と同じ職業では非正規社員（派遣）が～」における
回答の割合（職種別、n=26,586）



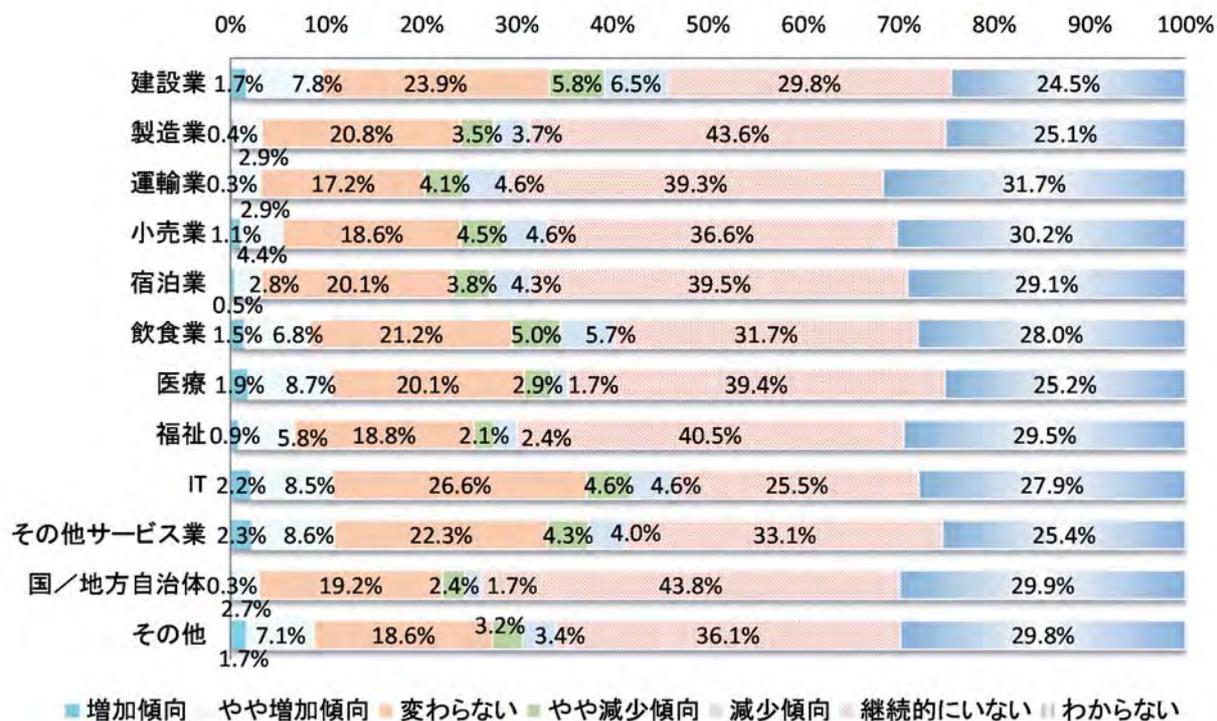
図表 5-24 「11. 自分と同じ職業では非正規社員（契約）が～」における
回答の割合（業種別、n=26,586）



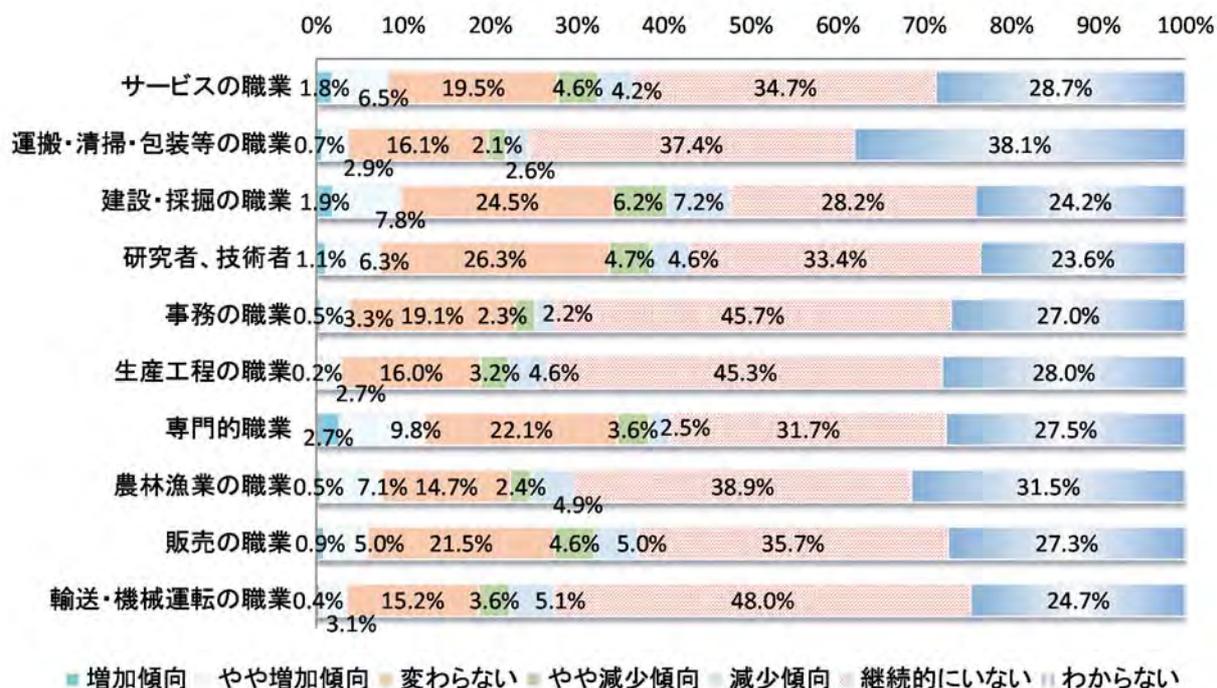
図表 5-25 「11. 自分と同じ職業では非正規社員（契約）が～」における
回答の割合（職種別、n=26,586）



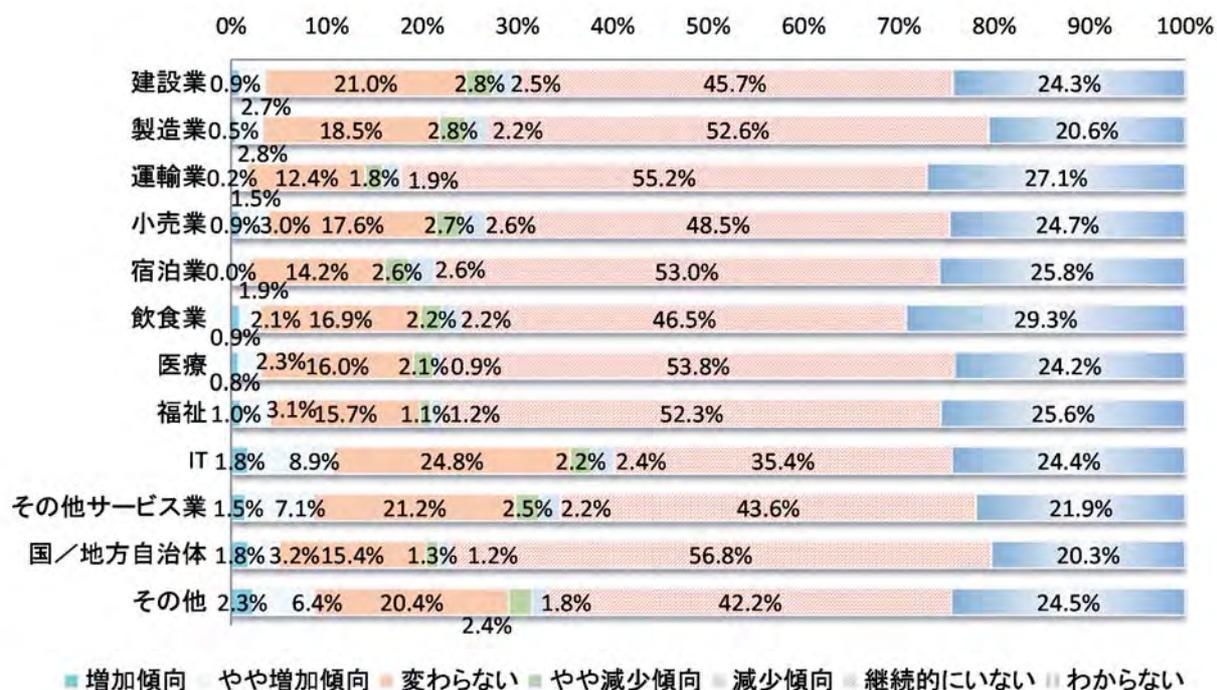
図表 5-26 「12. 自分の職業では独立・開業する人やフリーランスになる人が～」における回答の割合（業種別、n=26,586）



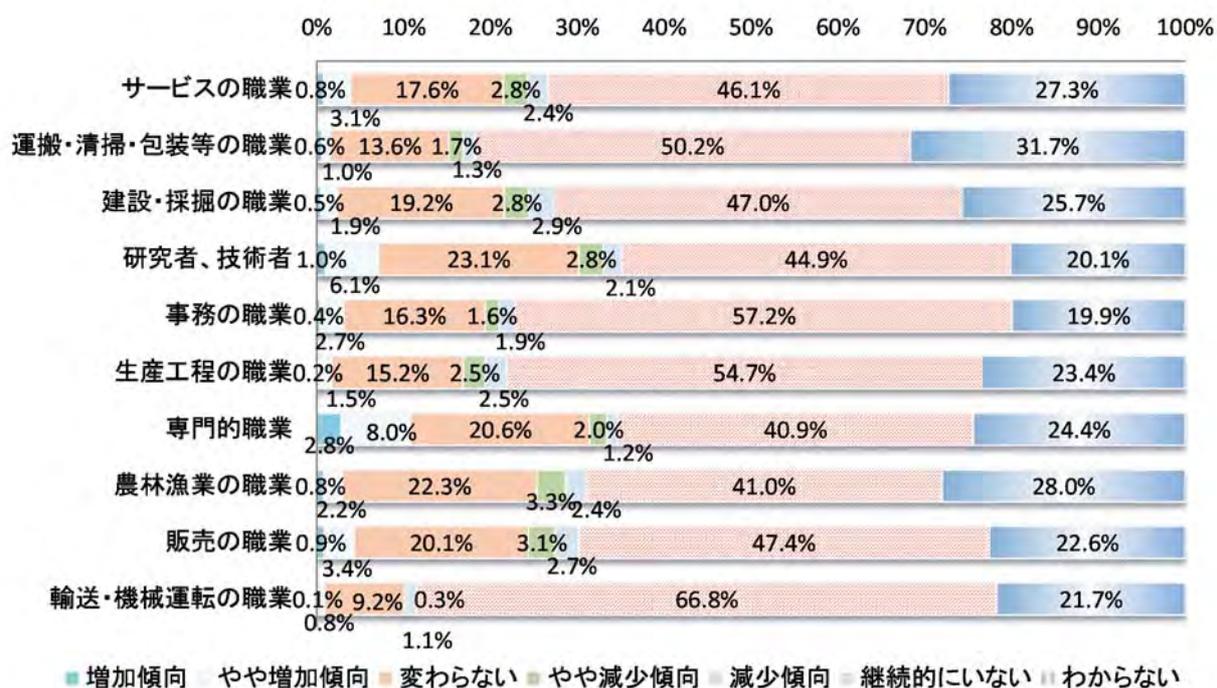
図表 5-27 「12. 自分の職業では独立・開業する人やフリーランスになる人が～」における回答の割合（職種別、n=26,586）



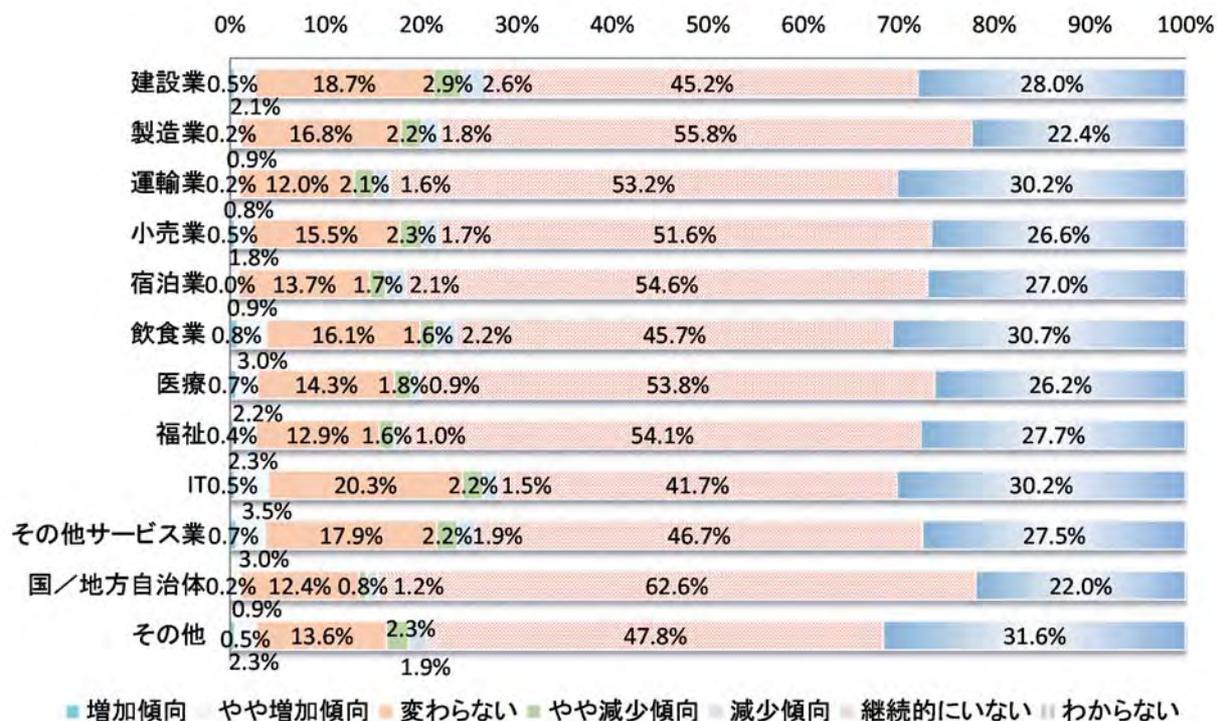
図表 5-28 「13. 自分の職業では自宅で仕事をする人が～」における
回答の割合（業種別、n=26,586）



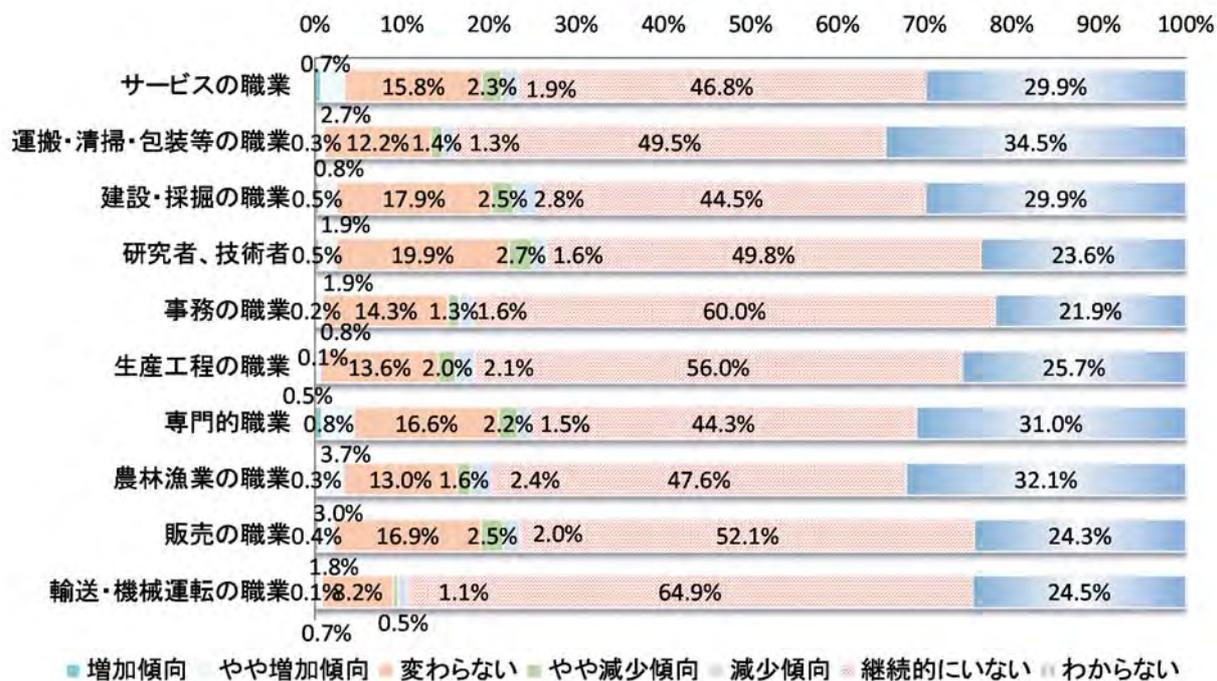
図表 5-29 「13. 自分の職業では自宅で仕事をする人が～」における
回答の割合（職種別、n=26,586）



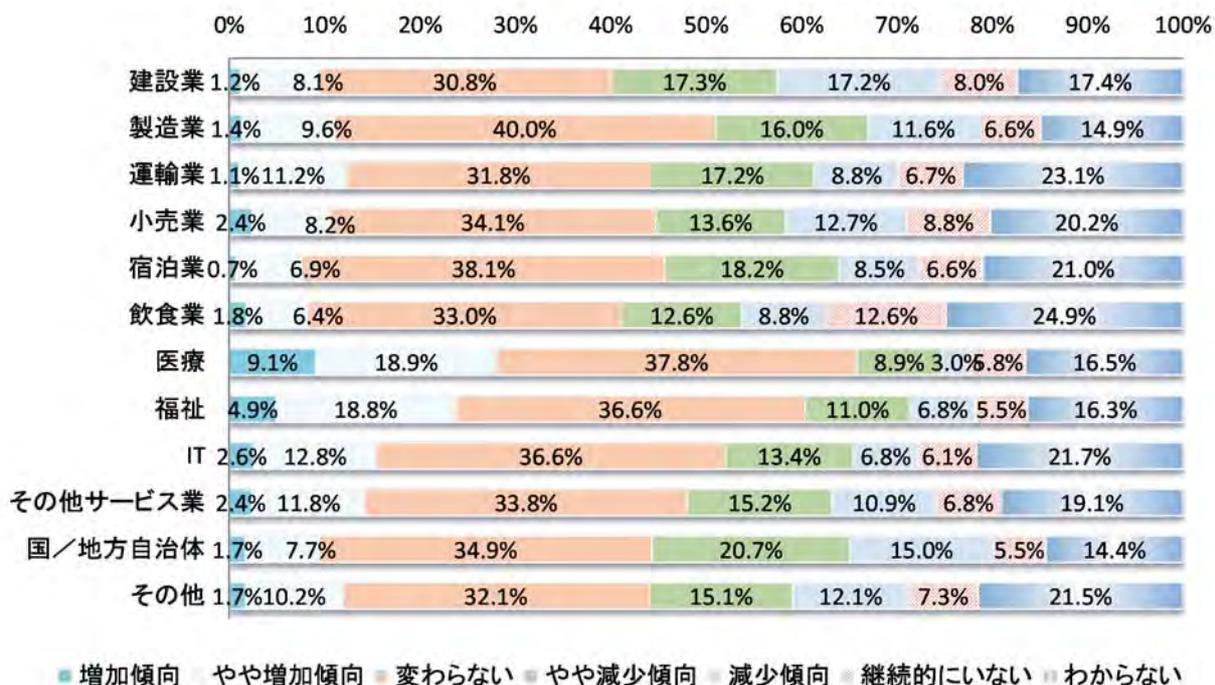
図表 5-30 「14. 自分の職業では自宅以外の場所をレンタルして仕事をする人が～」における回答の割合（業種別、n=26,586）



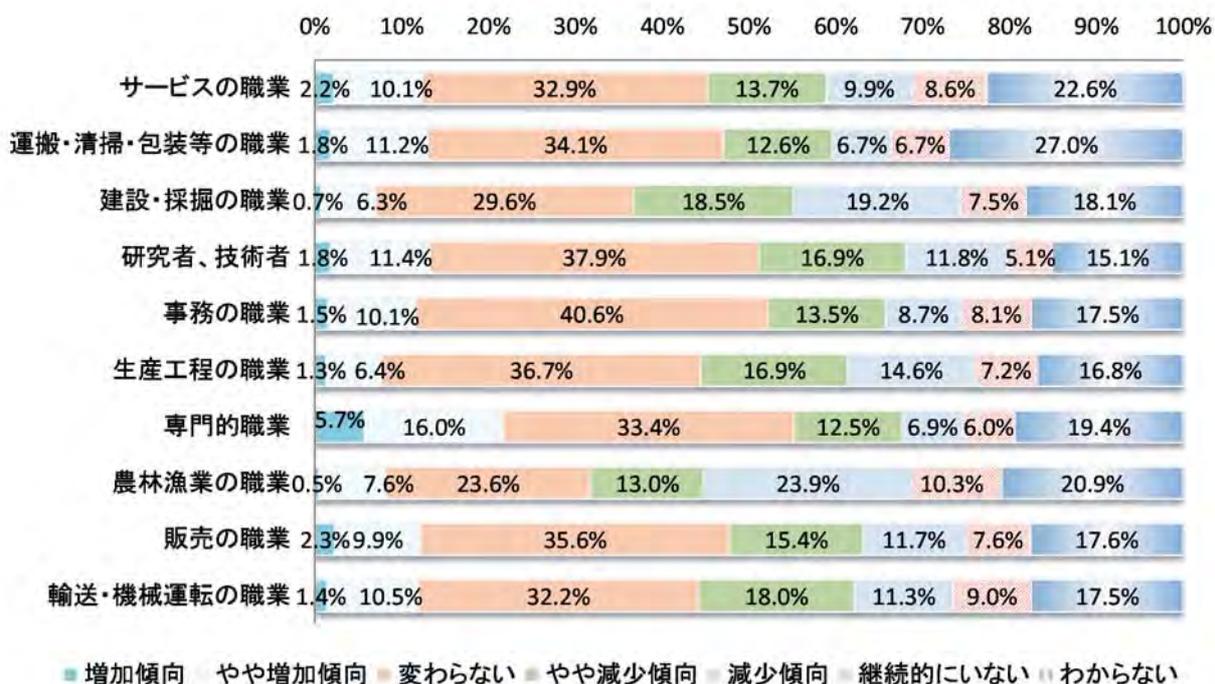
図表 5-31 「14. 自分の職業では自宅以外の場所をレンタルして仕事をする人が～」における回答の割合（職種別、n=26,586）



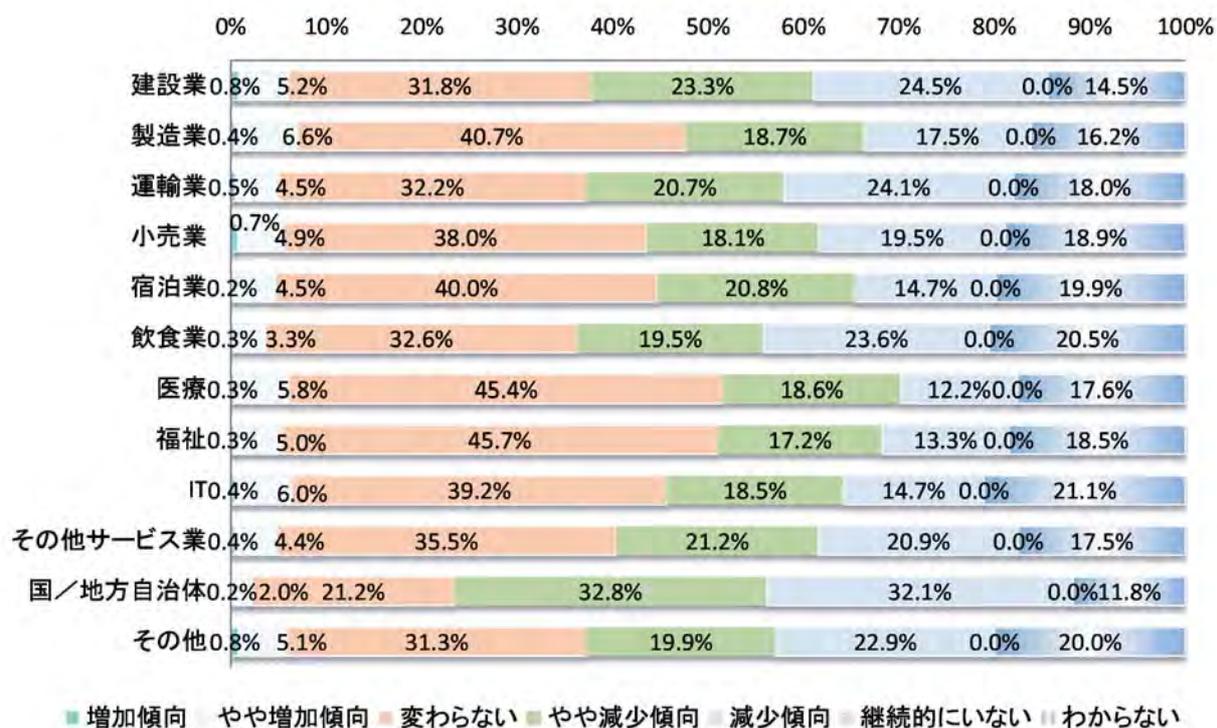
図表 5-32 「15. 自分と同じ職業の人の人数は全体として～」における
回答の割合（業種別、n=26,586）



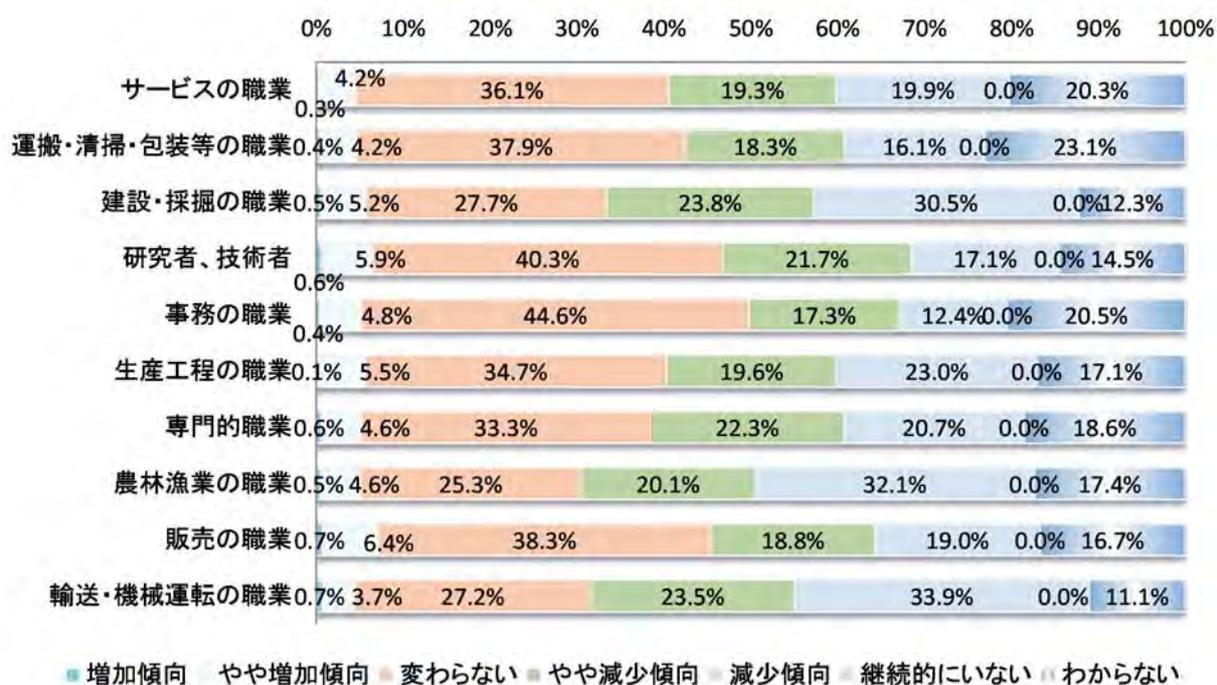
図表 5-33 「15. 自分と同じ職業の人の人数は全体として～」における
回答の割合（職種別、n=26,586）



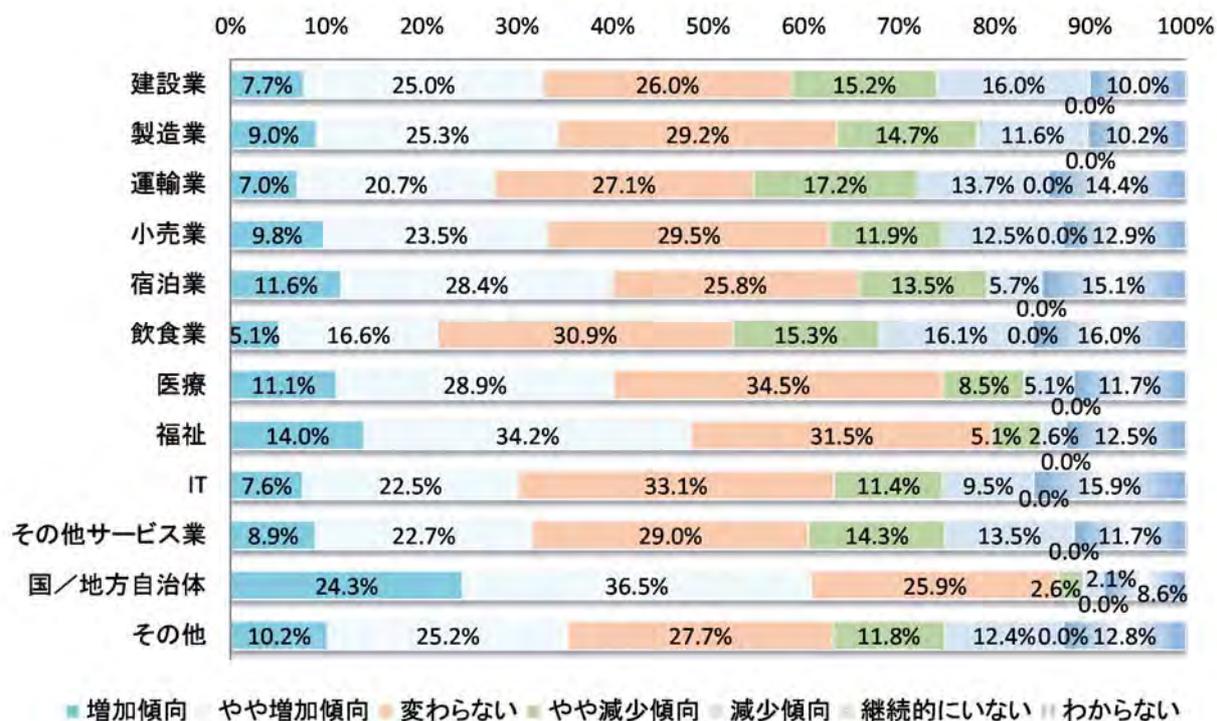
図表 5-34 「16. 自分と同じ職業では収入が全体的に～」における回答の割合(業種別、n=26,586)



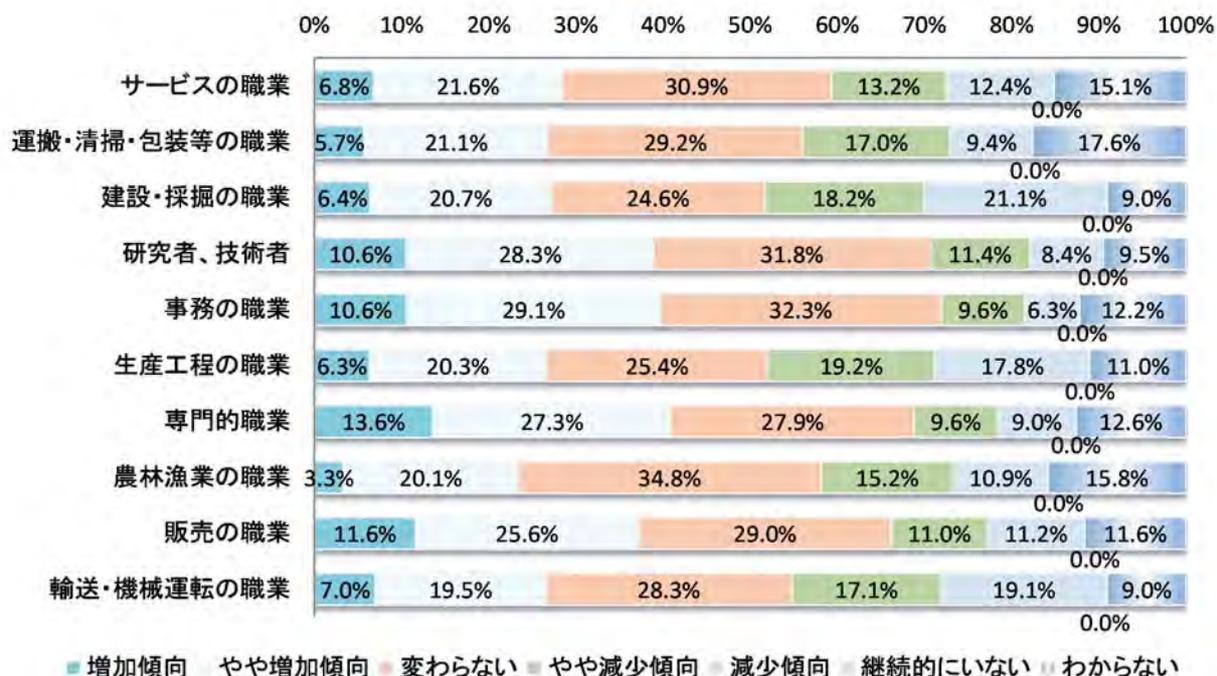
図表 5-35 「16. 自分と同じ職業では収入が全体的に～」における回答の割合(職種別、n=26,586)



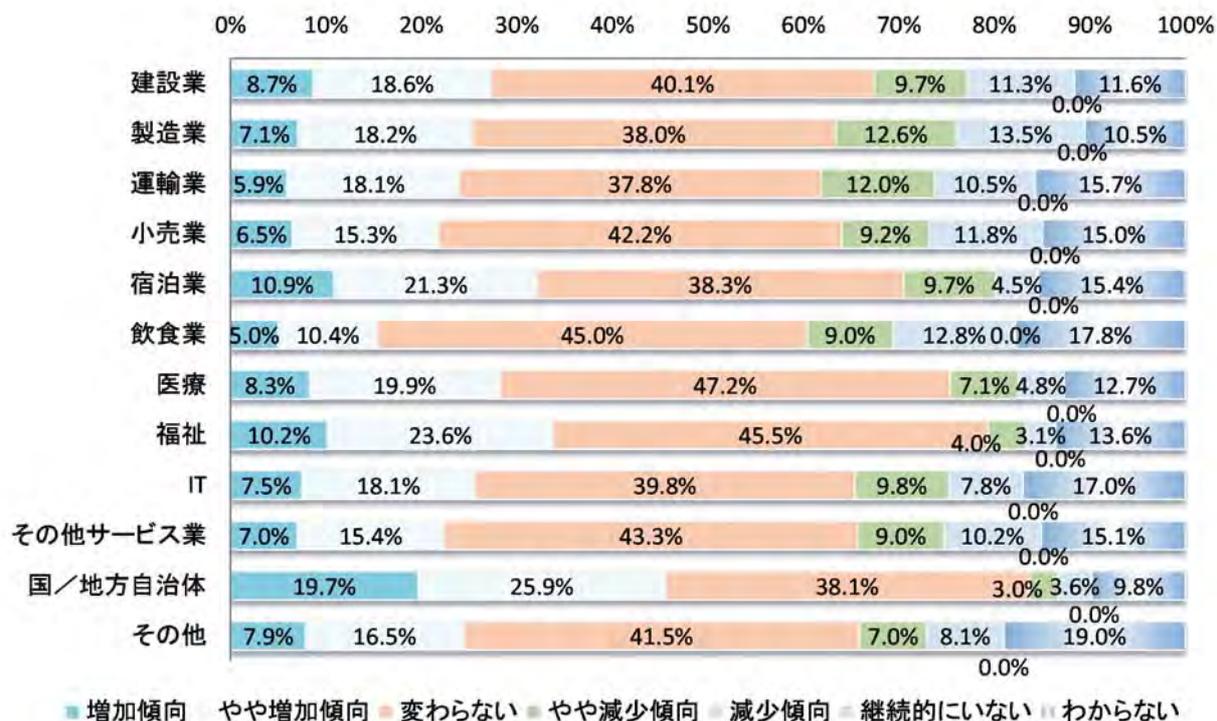
図表 5-36 「17. 自分の職業では最近（ここ1、2年）、仕事量が～」における回答の割合（業種別、n=26,586）



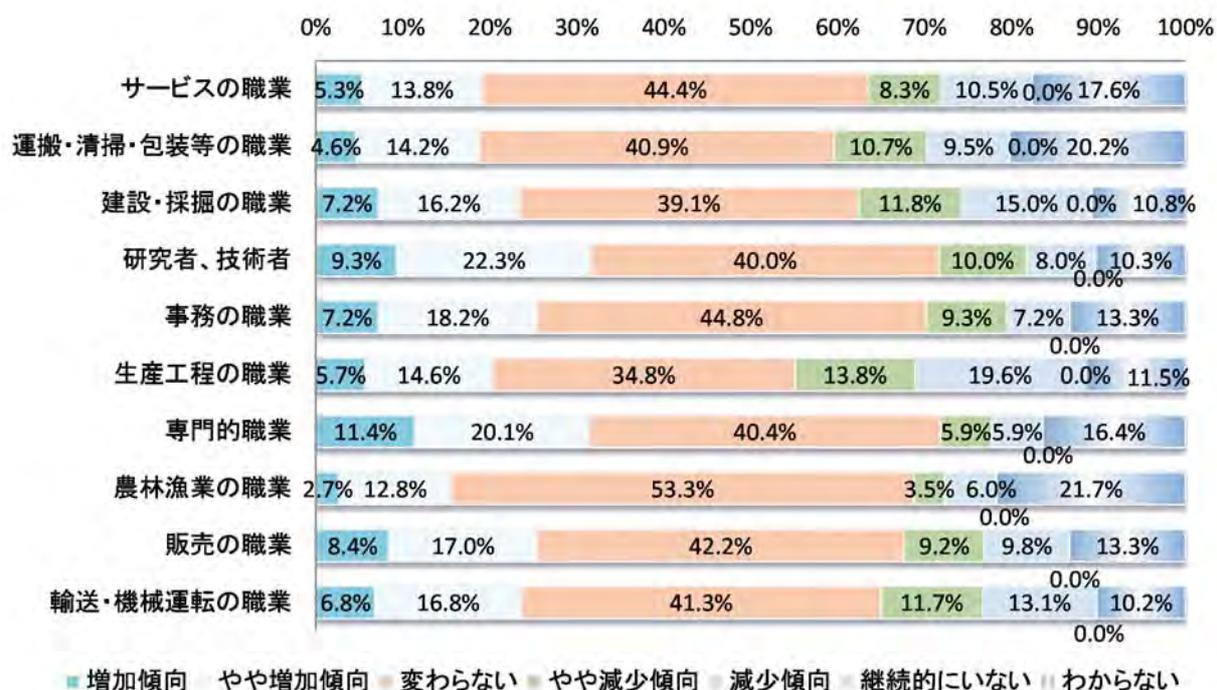
図表 5-37 「17. 自分の職業では最近（ここ1、2年）、仕事量が～」における回答の割合（職種別、n=26,586）



図表 5-38 「18. 自分の職業では最近（ここ1、2年）、残業が～」における回答の割合（業種別、n=26,586）



図表 5-39 「18. 自分の職業では最近（ここ1、2年）、残業が～」における回答の割合（職種別、n=26,586）



4. 職業の内容面の変化

現職の変化を尋ねる 28 項目について平均値と標準偏差を求めた。集計に際して回答を 5 段階（1. No—5. Yes）で得点化し、肯定的なほど得点が高くなるようにした。「わからない」には「どちらともいえない」同様 3 点を与えた。結果を図表 5-40 に示す。最も高い平均値と最も低い平均値に着色（白黒印刷では灰色）している。

全体の平均値を見ると、最も平均値が高いのは「2.自分の職業では、様々なことをしなくてはならない等仕事の範囲が広がっている」であり、次いで「7.自分の職業では、仕事をするために、新しいことを学ぶ必要が増えている」と「6.自分の職業では、より高い専門性や高度なスキルが求められるようになっている」が高くなっている。職業の一般的傾向として、従来よりも様々なことを仕事で求められるようになり、対応するために新しいことを学んだり、より高度な技能を身につけたりする必要に迫られるようになってきているといえる。対して、平均値が最も低いのは「18.自分の職業では、英語、中国語以外の外国語が必要になっている」であり、次いで「17.自分の職業では、中国語が必要なことが多くなっている」、「16.自分の職業では、よりレベルの高い英語力が必要になっている」、「15.自分の職業では、仕事で英語を使うことが多くなっている」が低かった。職業全体で見ると、英語を含めた外国語の必要性が高まっているとはいえない。

図表 5-40 現職の変化に関する 28 項目における全体の平均値と標準偏差 (n=26,586)

設問	平均値	標準偏差
1 自分の職業では仕事のテンポ・サイクルが速くなっている	3.42	0.91
2 自分の職業では、様々なことをしなくてはならない等仕事の範囲が広がっている	3.74	0.94
3 自分の職業では、仕事が特定の分野に特化、専門化してきている	3.29	0.97
4 自分の職業では以前よりもマニュアル化、定式化が進んでいる	3.12	0.99
5 自分の職業では以前よりも各人の創意工夫が求められるようになっている	3.44	0.96
6 自分の職業では、より高い専門性や高度なスキルが求められるようになっている	3.61	0.99
7 自分の職業では、仕事をするために、新しいことを学ぶ必要が増えている	3.64	0.98
8 自分の職業では、仕事の変化が早くなりついて行くのが難しくなっている	3.18	0.98
9 自分の職業ではIT化、機械化等により、より心身の負担が軽減している	2.62	1.00
10 自分の職業では作業の自動化により、必要人員が減少している	2.55	1.06
11 自分の職業では経験から得られるカン・コツやノウハウが以前より重要になっている	3.42	0.92
12 自分の職業では後継者不足や技能・ノウハウの伝承が問題になっている	3.25	1.04
13 自分の職業では、IT (PC、情報機器、ネット) の利用活用が重要になっている	3.35	1.13
14 自分の職業では、ソーシャルメディア等ネットでの人と人とのつながりが重要になっている	2.53	1.10
15 自分の職業では、仕事で英語を使うことが多くなっている	2.29	1.21
16 自分の職業では、よりレベルの高い英語力が必要になっている	2.19	1.19
17 自分の職業では、中国語が必要なことが多くなっている	1.95	1.09
18 自分の職業では、英語、中国語以外の外国語が必要になっている	1.93	1.07
19 自分の職業では、関係者とチームで働くことが多くなっている	2.98	1.17
20 自分の職業では、関係者とチームで働くことが重要になっている	3.06	1.18
21 自分の職業では、同業他社や関係者との情報交換が重要になっている	3.23	1.07
22 自分の職業では、人脈を広げることが仕事をする上で重要になっている	3.27	1.11
23 自分の職業では、顧客との関係で神経を使うことが多くなっている	3.49	1.11
24 自分の職業では、顧客との間でトラブル処理が重要になっている	3.31	1.11
25 自分の職業では、評価が行われ、それが給与や報酬に反映されるようになった	2.85	1.18
26 自分の職業では、評価が以前よりも厳しくなっている	3.24	1.00
27 自分の職業では、成果を数字で求められるようになった	3.14	1.14
28 自分の職業では、より短期間で成果を求められるようになった	3.19	1.08

注)最も高い平均値と最も低い平均値に着色(白黒印刷では灰色)している。

5. 業種、職種別の内容面の変化

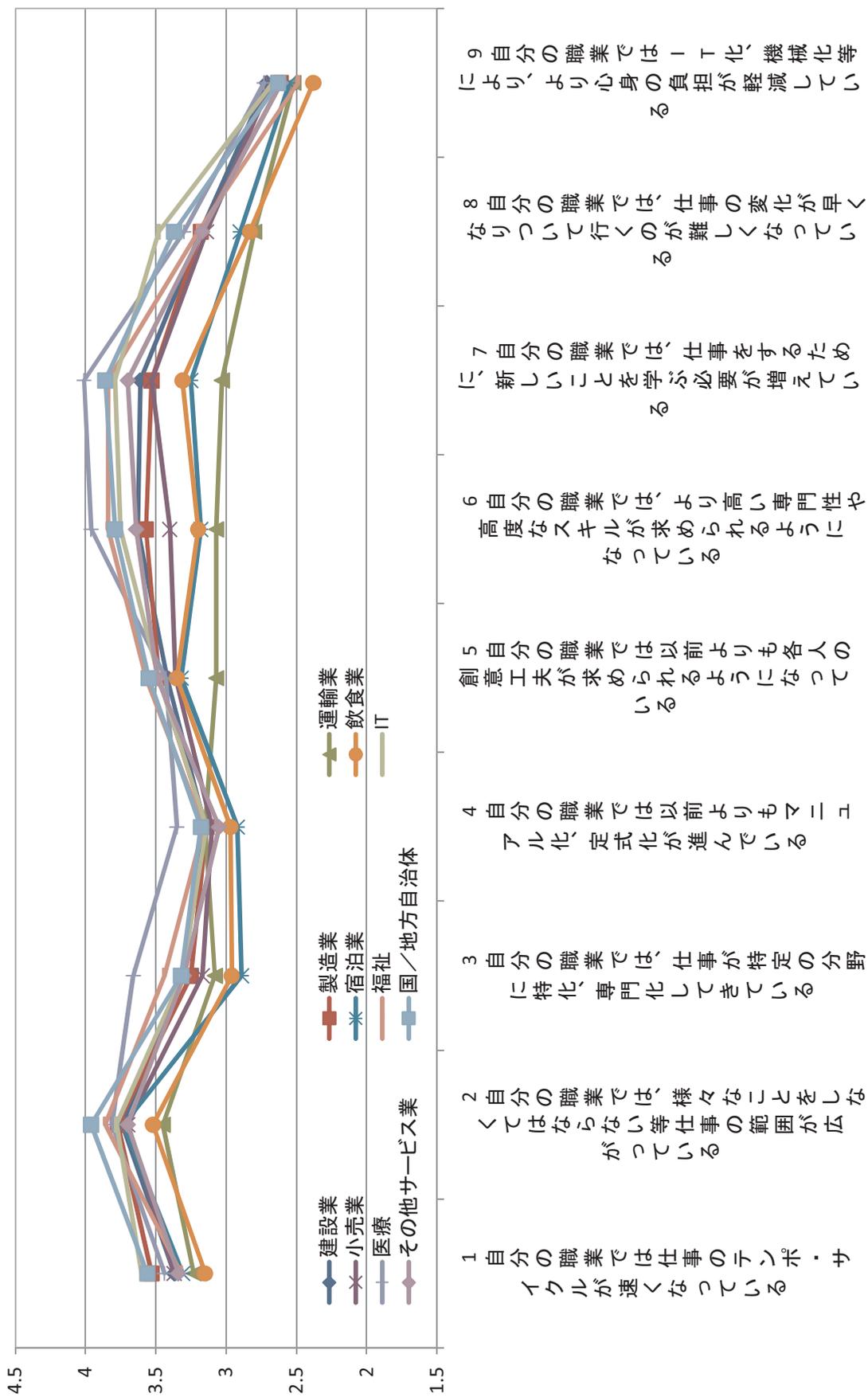
現職の変化を尋ねる 28 項目について、業種別、職種別に平均値と標準偏差を求めた。結果を図表 5-41 と図表 5-42 に示す。なお、業種において「その他」と回答したデータは、内容が明確でないため図表に含めなかった。

図表 5-41 より、「13.自分の職業では、IT (PC、情報機器、ネット) の利用活用が重要になっている」に関して「IT」業種の平均値が最も高く、妥当な結果であった。「IT」業種は「15.自分の職業では、仕事で英語を使うことが多くなっている」、「16.自分の職業では、よりレベルの高い英語力が必要になっている」においても比較的高い値を示した。これらの英語に関する設問に対しては「宿泊業」が最も高い値を示しており、「17.自分の職業では、中国語が必要なことが多くなっている」、「18.自分の職業では、英語、中国語以外の外国語が必要になっている」のような語学全般に関する設問で平均値が最も高かった。全体の傾向で見ると外国語の必要性は高まっていないものの、特定の業種では他の業種よりも必要性が高いとする回答傾向が見られた。

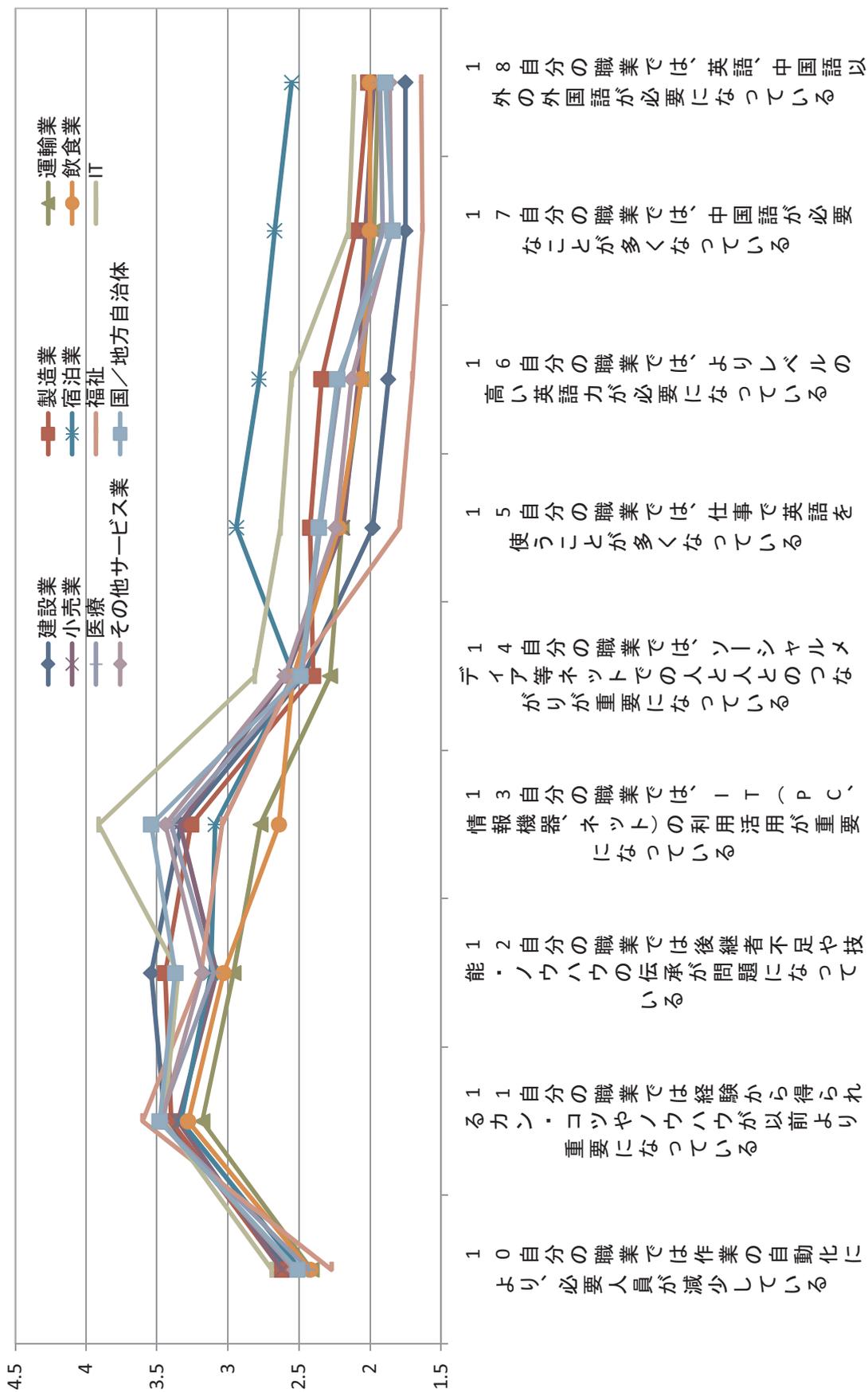
また、「運輸業」では多くの設問で低い値を示しており、あまり変化が見られない業種といえる。

図表 5-42 では、「運搬・清掃・包装等の職業」が多くの設問で低い値を示していた。この職種では全般的にあまり変化が見られないといえる。

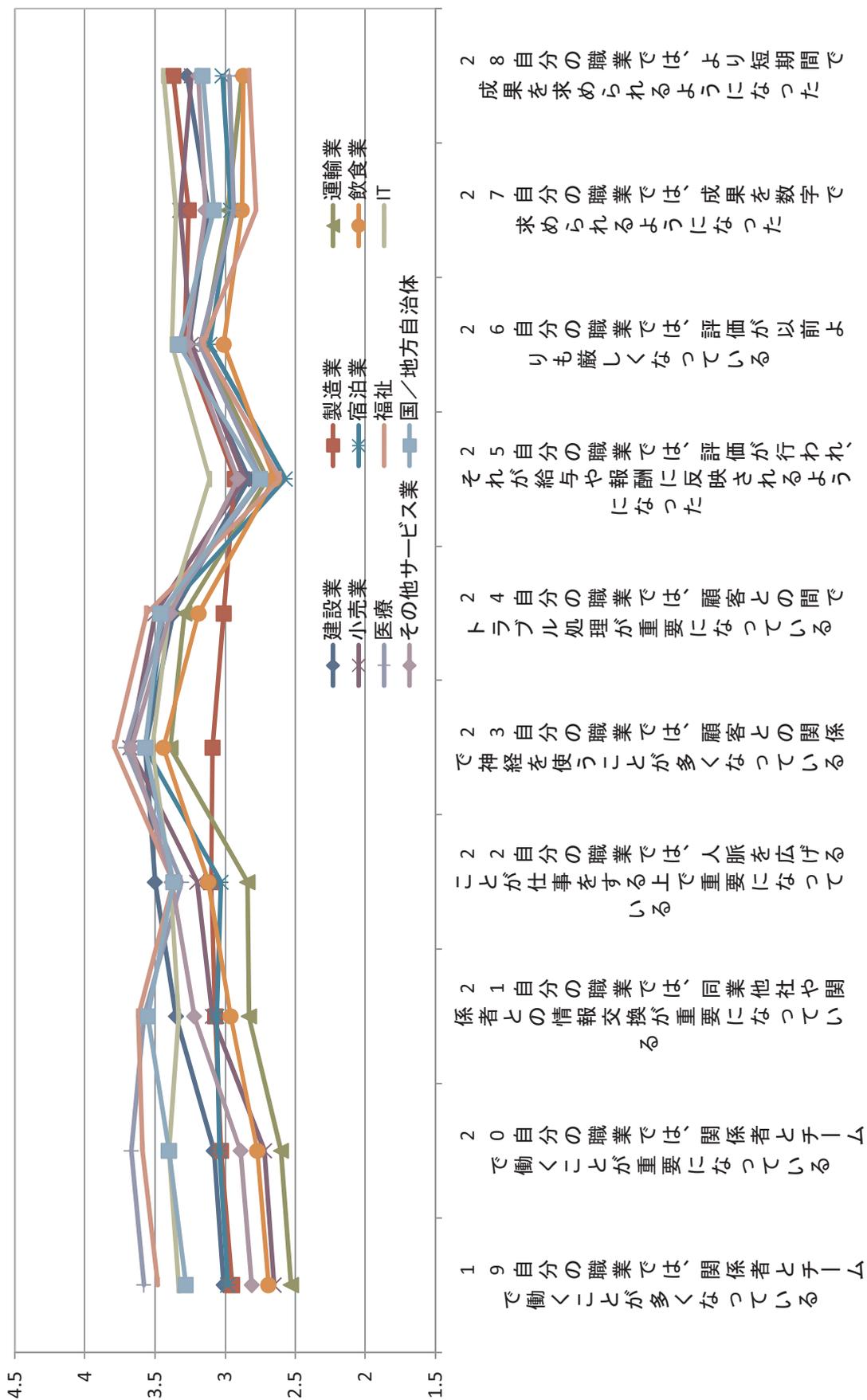
図表 5-41 現職の変化における業種別平均値(項目 1—9)



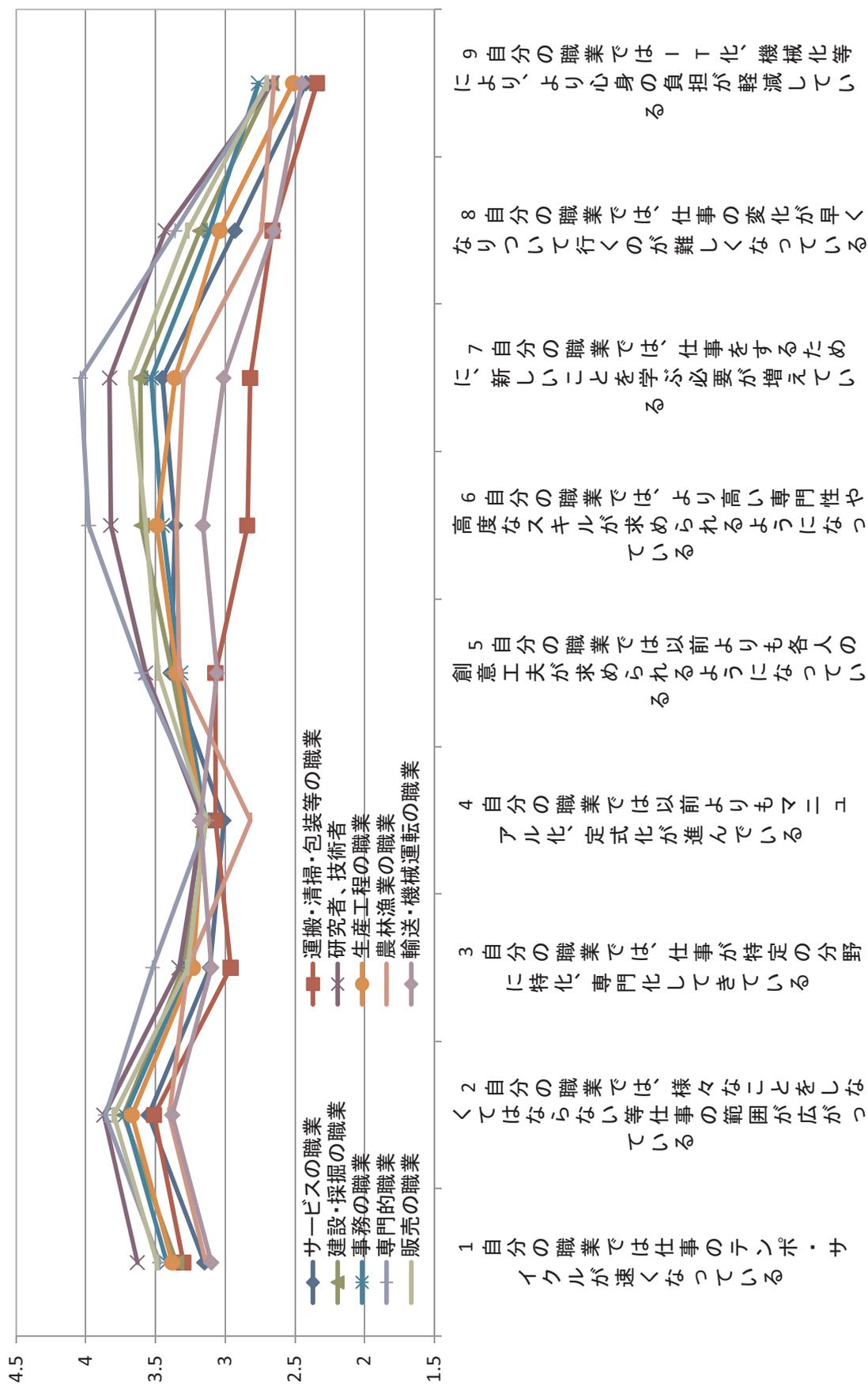
図表 5-41 現職の変化における業種別平均値(項目 10—18)



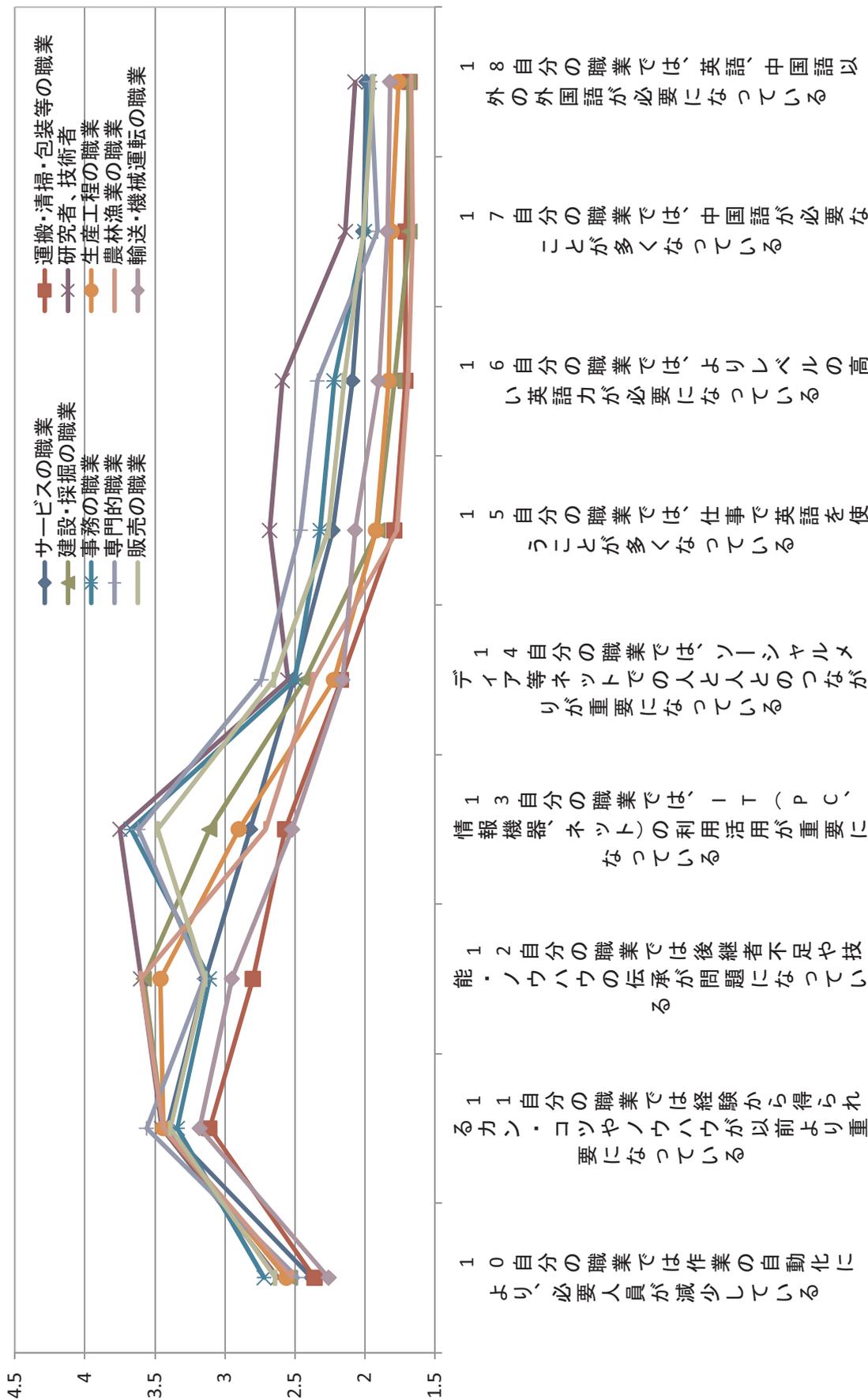
図表 5-41 現職の変化における業種別平均値(項目 19—28)



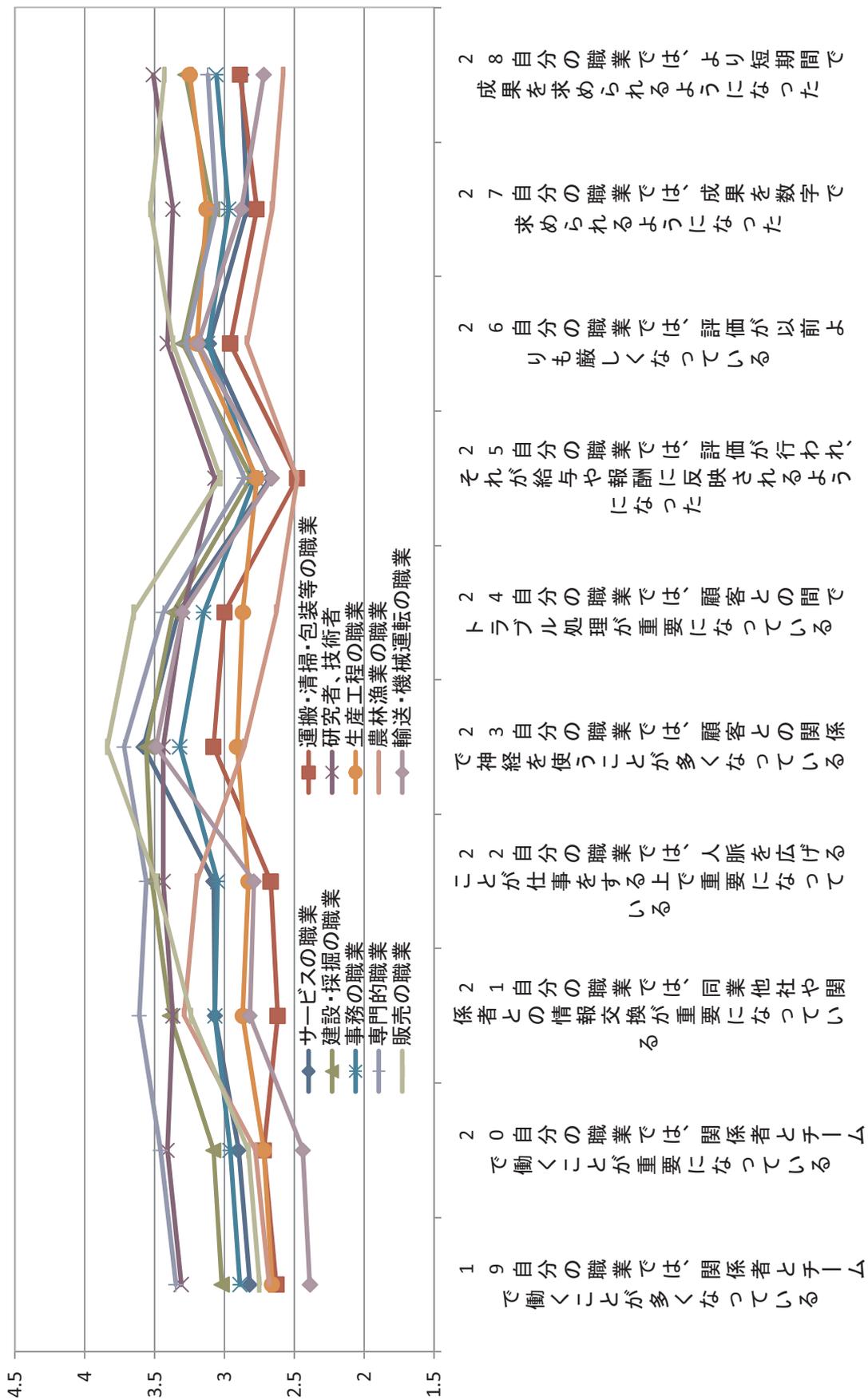
図表 5-42 現職の変化における職種別平均値(項目 1—9)



図表 5-42 現職の変化における職種別平均値(項目番号 10—18)



図表 5-42 現職の変化における職種別平均値(項目番号 19—28)



6. 主成分分析、因子分析による内容面の変化の検討

現職の変化に関する 28 項目について、主因子法プロマックス回転により因子分析を行った（図表 5-43）。第 1 因子は「自分の職業では、より高い専門性や高度なスキルが求められるようになってきている」をはじめとして、仕事で求められる範囲が拡大し、より専門性や創意工夫を必要とする難しい内容となっていることを表す設問に負荷が高いことから「高度化」とした。第 2 因子は語学に関する設問に負荷が高いことから「語学力」とした。第 3 因子は成果や評価に関する設問に負荷が高いことから「成果主義」とした。第 4 因子は顧客や同業者との関係に関する設問に負荷が高いことから「顧客や同業者との関係」とした。第 5 因子はチームで働くことに関する設問に負荷が高いことから「チームワーク」とした。第 6 因子は作業の IT 化や機械化に関する設問に負荷が高いことから「機械化・自動化」とした。

また、主成分法バリマックス回転を用いた分析も行っている（図表 5-44）。結果はいずれの分析も同様であり、同一の 6 要素が抽出され、同一の要素に対して同一の項目が負荷していた。

図表 5-43 内容面の変化に関する因子分析結果(主因子法・プロマックス回転)

	因子1	因子2	因子3	因子4	因子5	因子6
自分の職業では、より高い専門性や高度なスキルが求められるようになってきている	.903	.002	-.083	-.012	-.045	-.049
自分の職業では、仕事をするために、新しいことを学ぶ必要が増えている	.823	.001	-.068	.068	-.039	-.034
自分の職業では以前よりも各人の創意工夫が求められるようになってきている	.657	.018	-.005	.002	-.039	-.011
自分の職業では、様々なことをしなくてはならない等仕事の範囲が広がっている	.574	-.064	.189	-.055	.040	-.172
自分の職業では経験から得られるカン・コツやノウハウが以前より重要になっている	.525	-.020	-.085	.093	-.013	-.050
自分の職業では、仕事の変化が早くなりついて行くのが難しくなっている	.484	.026	.191	-.025	-.031	.156
自分の職業では、仕事が特定の分野に特化、専門化してきている	.471	-.042	-.059	-.045	.026	.135
自分の職業では仕事のテンポ・サイクルが速くなっている	.450	-.008	.249	-.165	.081	-.053
自分の職業では、IT(PC、情報機器、ネット)の利用活用が重要になっている	.365	.046	.042	.119	.000	.202
自分の職業では後継者不足や技能・ノウハウの伝承が問題になっている	.355	.015	.094	.028	.004	.024
自分の職業では、よりレベルの高い英語力が重要になっている	.074	.937	.022	-.053	-.002	-.085
自分の職業では、仕事で英語を使うことが多くなっている	.094	.887	.010	-.036	-.001	-.079
自分の職業では、英語、中国語以外の外国語が必要になっている	-.113	.837	.001	-.001	.010	.049
自分の職業では、中国語が必要になることが多くなっている	-.113	.831	.029	-.007	.000	.027
自分の職業では、成果を数字で求められるようになった	-.041	.022	.817	.061	-.024	.018
自分の職業では、より短期間で成果求められるようになった	.056	.029	.778	.006	.003	-.026
自分の職業では、評価が以前よりも厳しくなっている	.021	-.024	.677	.113	-.008	-.018
自分の職業では、評価が行われ、それが給与や報酬に反映されるようになった	-.024	.070	.425	.057	.043	.124
自分の職業では、顧客との関係で神経を使うことが多くなっている	-.028	-.073	.083	.855	-.054	-.106
自分の職業では、顧客との間でトラブル処理が重要になっている	-.092	-.046	.188	.733	-.040	-.045
自分の職業では、人脈を広げることが仕事をする上で重要になっている	.177	.057	-.058	.568	.051	.043
自分の職業では、同業他社や関係者との情報交換が重要になっている	.163	.036	-.114	.487	.193	.044
自分の職業では、関係者とチームで働くことが重要になっている	-.009	-.009	.006	.018	.957	-.023
自分の職業では、関係者とチームで働くことが多くなっている	-.018	.010	.005	-.015	.950	.003
自分の職業ではIT化、機械化等により、より心身の負担が軽減している	.026	-.050	-.054	-.032	.001	.686
自分の職業では作業の自動化により、必要人員が減少している	-.080	-.016	.103	-.090	-.029	.681
自分の職業では、ソーシャルメディア等ネットでの人と人とのつながりが重要になっている	.069	.262	-.066	.189	-.040	.339
自分の職業では以前よりもマニュアル化、定式化が進んでいる	.170	-.101	.177	-.117	.071	.255
因子間相関	因子1	.160	.528	.584	.446	.282
	因子2		.223	.238	.295	.460
	因子3			.459	.289	.260
	因子4				.400	.251
	因子5					.214

図表 5-44 内容面の変化に関する主成分分析結果(主成分法・バリマックス回転)

	主成分1	主成分2	主成分3	主成分4	主成分5	主成分6
自分の職業では、より高い専門性や高度なスキルが求められるようになっていく	.785	.002	.114	.204	.096	.049
自分の職業では、仕事をするために、新しいことを学ぶ必要が増えている	.744	.011	.136	.265	.103	.057
自分の職業では以前よりも各人の創意工夫が求められるようになっている	.671	.047	.116	.158	.033	.042
自分の職業では、様々なことをしなくてはならない等仕事の範囲が広がっている	.619	-.078	.317	.014	.159	-.143
自分の職業では経験から得られるカン・コツやノウハウが以前より重要になっている	.608	.009	-.027	.209	.007	-.048
自分の職業では、仕事の変化が早くなりついて行くのが難しくなっている	.538	.106	.331	.115	.054	.232
自分の職業では仕事のテンポ・サイクルが速くなっている	.516	.013	.371	-.139	.212	-.018
自分の職業では、仕事特定の分野に特化、専門化してきている	.509	-.018	.006	.024	.140	.258
自分の職業では後継者不足や技能・ノウハウの伝承が問題になっている	.470	.079	.161	.117	.013	.034
自分の職業では、IT(PC、情報機器、ネット)の利用活用が重要になっている	.436	.141	.162	.278	.068	.287
自分の職業では、よりレベルの高い英語力が必要になっている	.087	.894	.109	.041	.099	.068
自分の職業では、英語、中国語以外の外国語が必要になっている	-.044	.872	.061	.032	.071	.128
自分の職業では、仕事で英語を使うことが多くなっている	.108	.869	.103	.052	.098	.062
自分の職業では、中国語が必要になることが多くなっている	-.042	.867	.084	.022	.060	.108
自分の職業では、成果を数字で求められるようになった	.187	.108	.795	.186	.020	.074
自分の職業では、より短期間で成果求められるようになった	.259	.105	.770	.147	.050	.031
自分の職業では、評価が以前よりも厳しくなっている	.207	.039	.747	.207	.041	.028
自分の職業では、評価が行われ、それが給与や報酬に反映されるようになった	.068	.151	.562	.149	.102	.194
自分の職業では、顧客との関係で神経を使うことが多くなっている	.225	-.037	.284	.741	.052	-.066
自分の職業では、人脈を広げることが仕事をする上で重要になっている	.318	.137	.115	.689	.150	.079
自分の職業では、顧客との間でトラブル処理が重要になっている	.154	.004	.364	.684	.043	-.014
自分の職業では、同業他社や関係者との情報交換が重要になっている	.290	.118	.040	.626	.323	.084
自分の職業では、関係者とチームで働くことが多くなっている	.184	.172	.103	.175	.897	.050
自分の職業では、関係者とチームで働くことが重要になっている	.201	.151	.110	.204	.892	.029
自分の職業ではIT化、機械化等により、より心身の負担が軽減している	.065	.136	-.009	.065	.020	.767
自分の職業では作業の自動化により、必要人員が減少している	-.015	.178	.135	-.021	-.034	.745
自分の職業では以前よりもマニュアル化、定式化が進んでいる	.207	-.078	.284	-.140	.219	.436
自分の職業では、ソーシャルメディア等ネットでの人と人とのつながりが重要になっている	.148	.420	.003	.328	-.034	.424
寄与率	14.9	12.4	10.5	9.0	6.9	6.6
累積寄与率	14.9	27.3	37.8	46.8	53.7	60.3

7. 内容面の主成分得点からみた業種と職種

第6節で得られた6主成分について求めた主成分得点の業種および職種別平均値を図表5-45と図表5-46に示す。主成分得点は全体の平均値が0になるため、各業種(職種)の平均値は他の業種(職種)と相対的に比較して得点が高いかどうかを示したものである。なお、業種において「その他」と回答したデータは、内容が明確でないため図表に含めなかった。

図表5-45より、「国/地方自治体」、「医療」、「福祉」、「IT」において「高度化」の得点が相対的に高かった。「語学力」に関しては「宿泊業」の得点が高かった。インバウンドの拡大に伴い訪日外国人への対応が求められるようになったため、英語をはじめとして様々な言語の必要が高まっていると推測される。「IT」業種も得点が高かったが、図表5-41より英語以外の言語に関する設問では項目平均値が低下していたため、特に英語が必要とされていると読み取れる。

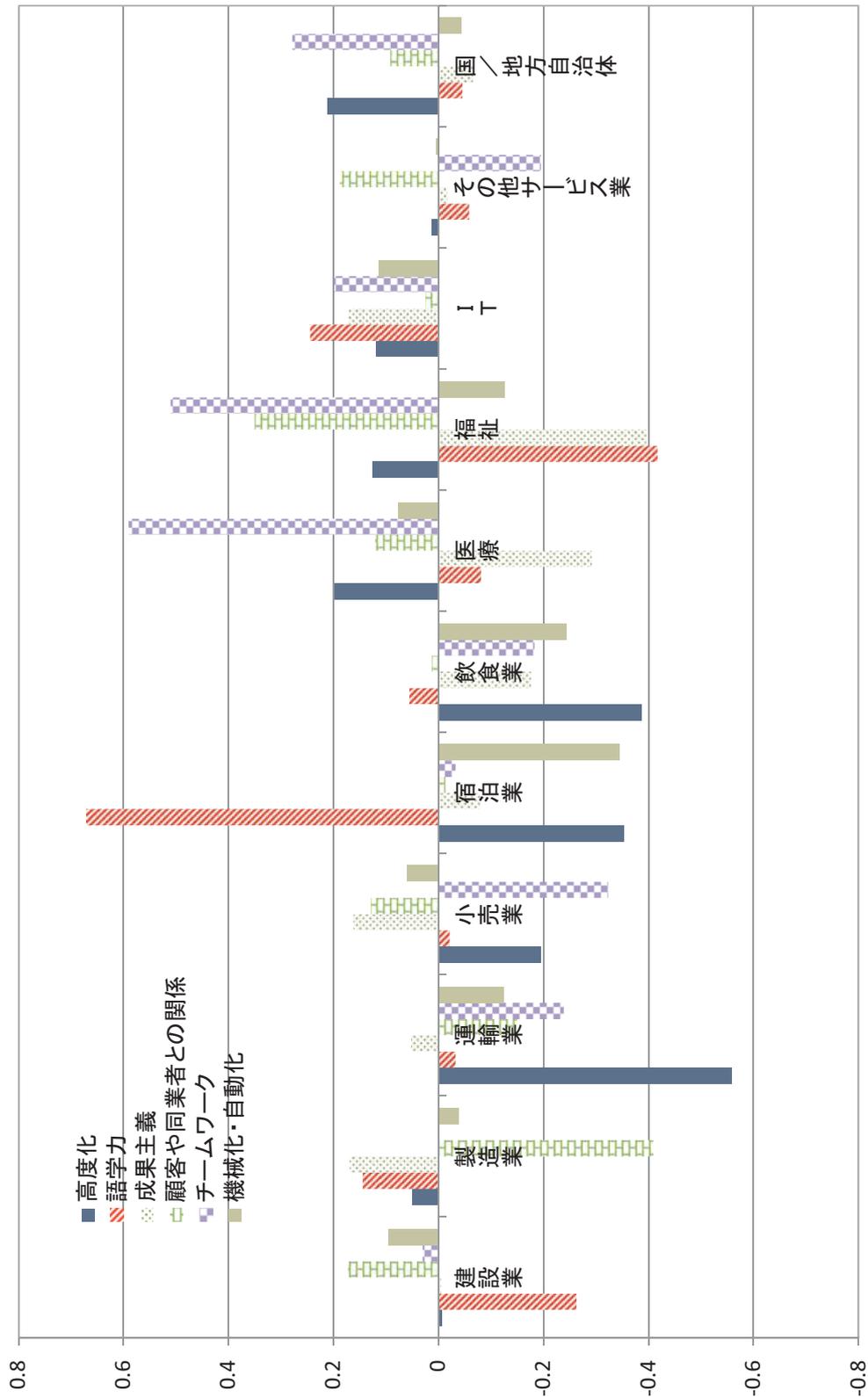
「成果主義」は「福祉」と「医療」で低くなっており、短期的に結果を出すことと馴染まないというこれらの業種の特徴を反映していると考えられる。「顧客や同業者との関係」は「製造業」で低くなっていた。この結果は対人接触が少ない職業が製造業に多く含まれるためであろう。

「チームワーク」は「医療」と「福祉」で得点が高かった。理由は2点考えられる。第一に、チーム医療の重要性が高まっている例からわかるように、おのこの業種内でチームアプローチがとられるようになっているためである。第二に、医療と福祉という異なる業種間での連携も求められるようになっているためである。これらの現状が反映されたと考えられる。「機械化・自動化」は「宿泊業」や「飲食業」のような、顧客との細やかなコミュニケーションが求められる業種において得点が低かった。

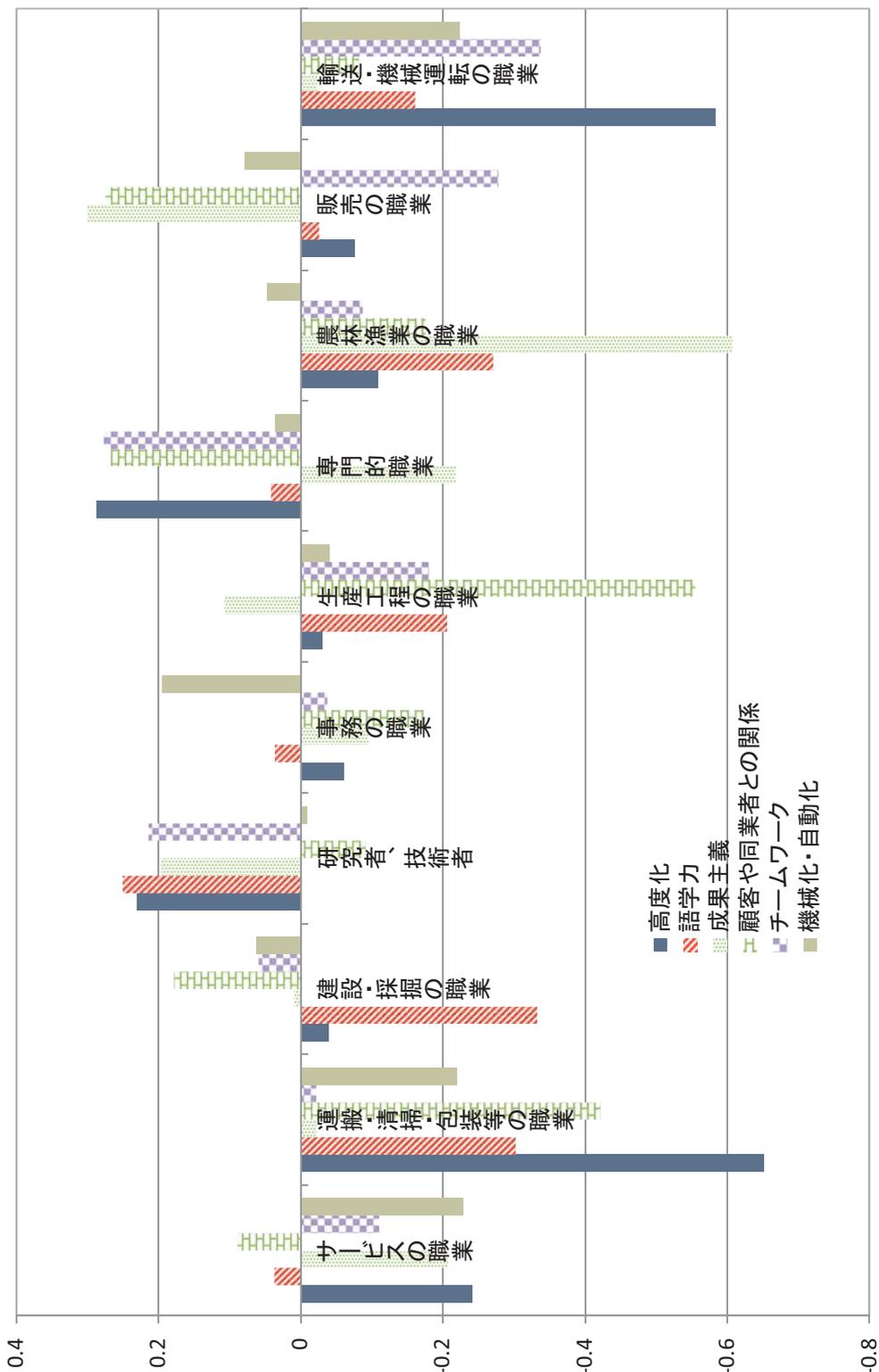
図表 5-46 からは、「専門的職業」で「高度化」の得点が最も高いという妥当な結果が得られた。「語学力」に関しては「研究者、技術者」の得点が高かったが、図表 5-42 より英語以外の言語に関する設問では項目平均値が低下しており、特に英語が必要とされているとわかる。「成果主義」は営業職などを含む「販売の職業」で最も高く、課せられるノルマや責務が重くなっていることが読み取れる。「顧客や同業者との関係」は「生産工程の職業」で最も低くなっていた。この結果は、製造業で「顧客や同業者との関係」の得点が最も低いという結果と一致している。「チームワーク」は「専門的職業」で最も得点が高かった。多くの専門職において、職務内容の専門化や高度化が進むにつれて分業化が進行し、各々の分野において高い専門性を有する複数のスタッフによるチームワークが重視されるようになってきたという現状を考慮すれば、妥当な結果であろう。「機械化・自動化」は「事務の職業」で最も得点が高く、IT 化やマニュアル化が事務職で特に進行しているといえる。また、「運搬・清掃・包装等の職業」と「輸送・機械運転の職業」ではすべての得点が負の値をとっていた。この結果は設問ごとの職種別平均値と同様の傾向である。

また、100 名以上の回答が得られた職業について、各主成分得点の平均値を求めた。平均値が高い上位 5 位までの職業を以下に示す（職業名順）。「高度化」に関しては「看護師」、「経営コンサルタント（中小企業診断士など）」、「小学校教員」、「診療放射線技師」、「保育士」で平均値が高かった。「語学力」に関しては「ホテル・旅館フロント係」、「化学技術者（開発業務）（石油製品、プラスチック製品、化学繊維、医薬品、化粧品、塗料、化学肥料、油脂製品など）」、「観光案内人（旅行・観光ガイド）」、「大学教員」、「貿易事務員」のような職業で平均値が高かった。「成果主義」は「スーパーマーケット店員」、「医薬情報担当者(MR)、医薬品卸販売担当者(MS)」、「銀行等渉外係（銀行、信用金庫、信用協同組合など）」、「情報処理プロジェクトマネージャ」、「保険営業員（生命保険・損害保険の募集）」で高い傾向が見られた。「顧客や同業者との関係」は「医療ソーシャルワーカー（MSW、PSW）」、「介護支援専門員（ケアマネージャー）」、「美容師」、「保険代理人（保険代理店での保険契約などの代理・媒介）」、「理容師」のような職業で高かった。「チームワーク」は「医療ソーシャルワーカー（MSW、PSW）」、「看護師」、「作業療法士」、「診療放射線技師」、「理学療法士」など医療従事者で特に高かった。「機械化・自動化」は「ファイナンシャル・プランナー」、「税理士」、「保険営業員（生命保険・損害保険の募集）」、「保険事務員（物損事故調査、損害査定、保険金支払い、郵便局保険窓口など）」、「保険代理人（保険代理店での保険契約などの代理・媒介）」で高かった。

図表 5-45 主成分得点の業種別平均値 (n=26,586)



図表 5-46 主成分得点の職種別平均値 (n=26,586)



8. 量的変化と内容面の変化のまとめ

本章では、まず、現職の人数等の変化について、全体および業種・職種別に回答の度数分布を求め、調査時点において各職業がどのような変化のもとにあるのかを業種、職種別にみた。全体的傾向としては、例えば、女性の採用が従来と変わらないか増えている傾向にある一方で、正社員数が変わらないか減っており、収入も減少している傾向が示された。ただし、業種別の傾向からは、「建設業」、「製造業」、「運輸業」で女性が少ないという業種に固有の特徴も見られた。職種別の傾向としては、「専門的職業」が拡大傾向にあることが示唆された。

次に、現職の内容面の変化について、業種別、職種別にみるとそれぞれの変化の状況が示された。また、現職の変化を尋ねる質問項目について主成分分析を行うと、6主成分にまとめられ、「高度化」、「語学力」、「成果主義」、「顧客や同業者との関係」、「チームワーク」、「機械化・自動化」と考えられるものであった。この6主成分により業種別、職種別傾向を見たところ、妥当と考えられる結果が得られ、それぞれの特徴的な変化を端的にまとめられるものとなっていた。

第6章 必要な能力等とその変化

1. 趣旨と目的

ここでは現在の職業に必要な能力等とその変化について検討する。設問は、必要な能力等に関しては、「現在の職業ではどのような行動や能力が求められますか。下記に関して、現在の職業に特に必要なものをすべてお選びください。（いくつでも）」として、以下より、選択してもらっている（複数選択）。

意欲・やる気 積極性・主体性 前向きな姿勢 熱心さ 粘り強さ 集中力 責任感 信頼
 できること 観察力 注意深さ ミスがないこと 精神的な安定性 ストレスに強いこと
 先見性 計画性 決断力 実行力 指導力・統率力・リーダーシップ 協調性・チームワーク
 思いやり・感受性（人の気持ちがわかること） 素直さ 柔軟性 気配り 人間的な魅力 人
 に好かれること 人当たりの良さ 社交性 生活規律 団体規律

学習力・成長力（必要な知識やスキルを吸収し経験から成長していけること） 数的処理能
 力 コンピュータスキル 機械に強いこと 対人能力 コミュニケーション能力 交渉力
 管理能力・マネジメント能力（人や組織） 顧客目線・相手の立場から考えられること クリ
 エーティブ・独創性 感性・感覚 情報収集能力 調査研究能力 論理的分析力 企画力 説
 明力 説得力 国際感覚 段取りできること 応用力

販売の知識・経験 産業やビジネスの知識・経験 科学や技術の知識・経験 文化や芸術的
 な知識・経験 社会や経済の知識・経験 健康・医療・ケアの知識・経験 法律の知識・経験
 経理の知識・経験 人事労務の知識・経験 建築・土木の知識・経験 保安警備の知識・経験
 セキュリティの知識・経験

手先の器用さ 体力 健康 スタミナ 第一印象 身だしなみ 清潔感 人脈 資金力
 社会常識 マナー その他（具体的に： ）

さらに、続く設問で、「また、最近（ここ5年程度）、重要になっている行動や能力をすべてお選びください。（いくつでも）」として、上記、意欲・やる気 積極性・主体性 から その他（具体的に： ）までの全く同じ項目と、「特にない」という項目から最近重要になっている能力等を聞いている（複数選択）。

2. 全体としての必要な能力等

図表 6-1 に必要な能力等に対する選択の度数とパーセントを示している。「意欲・やる気」や「責任感」、「ミスがないこと」などが高く、さらに「前向きな姿勢」、「積極性・主体性」、

「集中力」、「注意深さ」、「コミュニケーション能力」と続く。「〇〇の知識・経験」という項目は全体として選択数が少ない。これは、選択したのがそれぞれの知識・経験と関連する特定の職業に偏ったためと思われる。また、図表 6-2 には最近（5年程度）重要になっている能力等の選択の度数とパーセントを示した。必要な能力の中で更に最近重要になっている能力という意味合いが強いため、図表 6-1 で示されているよりも全体的に選択率が低くなっているが、ここでも「ミスがないこと」、「意欲・やる気」といった図表 6-1 で割合が多かったものが全体として多くなっているという傾向が見られる他、「コミュニケーション能力」、「学習力・成長力」、「ストレスに強いこと」、「コンピュータスキル」等の重要性がここ最近で高まっていることが読み取れる。

図表6-1 必要な能力等（複数回答、全体で多いもの順、n=26586）

	n	%		n	%		
1	意欲・やる気	19066	71.7	38	人に好かれること	8379	31.5
2	責任感	17600	66.2	39	人間的な魅力	8086	30.4
3	ミスがないこと	17153	64.5	40	先見性	7987	30.0
4	前向きな姿勢	15508	58.3	41	交渉力	7986	30.0
5	積極性・主体性	15211	57.2	42	素直さ	7879	29.6
6	集中力	15131	56.9	43	指導力・統率力・リーダーシップ	7848	29.5
7	注意深さ	14547	54.7	44	顧客目線・相手の立場から考えられること	7646	28.8
8	コミュニケーション能力	13981	52.6	45	説得力	7475	28.1
9	粘り強さ	13780	51.8	46	団体規律	7190	27.0
10	信頼できること	13652	51.4	47	感性・感覚	6663	25.1
11	熱心さ	13286	50.0	48	管理能力・マネジメント能力	6408	24.1
12	健康	13176	49.6	49	第一印象	6235	23.5
13	学習力・成長力	12920	48.6	50	機械に強いこと	6044	22.7
14	気配り	12865	48.4	51	生活規律	5736	21.6
15	ストレスに強いこと	12341	46.4	52	人脈	5652	21.3
16	観察力	12322	46.3	53	クリエイティブ・独創性	5363	20.2
17	対人能力	11872	44.7	54	論理的分析力	5303	19.9
18	体力	11798	44.4	55	数的処理能力(数学・統計学等)	5236	19.7
19	実行力	11756	44.2	56	企画力	5206	19.6
20	柔軟性	11636	43.8	57	調査研究能力	5188	19.5
21	協調性・チームワーク	11541	43.4	58	手先の器用さ	5097	19.2
22	計画性	11486	43.2	59	販売の知識・経験	5069	19.1
23	思いやり・感受性	11058	41.6	60	健康・医療・ケアの知識・経験	4586	17.2
24	人当たりの良さ	10634	40.0	61	法律の知識・経験	4295	16.2
25	マナー	10350	38.9	62	科学や技術の知識・経験	3692	13.9
26	段取りできること	10147	38.2	63	社会や経済の知識・経験	3665	13.8
27	決断力	10070	37.9	64	産業やビジネスの知識・経験	3619	13.6
28	社交性	9877	37.2	65	セキュリティの知識・経験	3337	12.6
29	身だしなみ	9877	37.2	66	国際感覚	2820	10.6
30	精神的な安定性	9847	37.0	67	文化や芸術的な知識・経験	2609	9.8
31	社会常識	9713	36.5	68	経理の知識・経験	2511	9.4
32	清潔感	9280	34.9	69	建築・土木の知識・経験	2393	9.0
33	説明力	8893	33.4	70	資金力	2158	8.1
34	コンピュータスキル	8854	33.3	71	人事労務の知識・経験	1954	7.3
35	応用力	8791	33.1	72	保安警備の知識・経験	1031	3.9
36	スタミナ	8500	32.0	73	その他(現在特に必要なもの)	649	2.4
37	情報収集能力	8382	31.5				

図表6-2 最近（ここ5年程度）重要になっている能力等

(複数回答、全体で多いもの順、n=26586)

		n	%		n	%	
1	ミスがないこと	7159	26.9	42	説得力	2621	9.9
2	意欲・やる気	6638	25.0	43	人間的な魅力	2428	9.1
3	コミュニケーション能力	6311	23.7	44	清潔感	2416	9.1
4	責任感	5888	22.1	45	人に好かれること	2288	8.6
5	学習力・成長力	5399	20.3	46	機械に強いこと	2286	8.6
6	ストレスに強いこと	5325	20.0	47	健康・医療・ケアの知識・経験	2230	8.4
7	積極性・主体性	5154	19.4	48	団体規律	2168	8.2
8	健康	4986	18.8	49	販売の知識・経験	2142	8.1
9	コンピュータスキル	4839	18.2	50	企画力	2117	8.0
10	前向きな姿勢	4502	16.9	51	人脈	2095	7.9
11	対人能力	4438	16.7	52	クリエイティブ・独創性	2049	7.7
12	体力	4419	16.6	53	法律の知識・経験	1984	7.5
13	協調性・チームワーク	4225	15.9	54	感性・感覚	1923	7.2
14	集中力	4096	15.4	55	数的処理能力(数学・統計等)	1860	7.0
15	注意深さ	4058	15.3	56	素直さ	1789	6.7
16	気配り	3809	14.3	57	論理的分析力	1744	6.6
17	信頼できること	3705	13.9	58	セキュリティの知識・経験	1741	6.5
18	粘り強さ	3658	13.8	59	第一印象	1697	6.4
19	実行力	3640	13.7	60	調査研究能力	1640	6.2
20	計画性	3571	13.4	61	国際感覚	1635	6.1
21	思いやり・感受性	3369	12.7	62	手先の器用さ	1557	5.9
22	マナー	3345	12.6	63	生活規律	1543	5.8
23	説明力	3311	12.5	64	産業やビジネスの知識・経験	1401	5.3
24	指導力・統率力・リーダーシップ	3292	12.4	65	科学や技術の知識・経験	1344	5.1
25	観察力	3280	12.3	66	社会や経済の知識・経験	1334	5.0
26	段取りできること	3264	12.3	67	建築・土木の知識・経験	1241	4.7
27	社会常識	3171	11.9	68	資金力	1145	4.3
28	精神的な安定性	3149	11.8	69	経理の知識・経験	1082	4.1
29	柔軟性	3089	11.6	70	文化や芸術的な知識・経験	936	3.5
30	情報収集能力	3089	11.6	71	人事労務の知識・経験	912	3.4
31	熱心さ	3082	11.6	72	保安警備の知識・経験	597	2.2
32	応用力	3031	11.4	73	その他	468	1.8
33	顧客目線・相手の立場から考えられること	3018	11.4	74	特になし	3559	13.4
34	交渉力	3011	11.3				
35	人当たりの良さ	2942	11.1				
36	決断力	2941	11.1				
37	先見性	2842	10.7				
38	身だしなみ	2836	10.7				
39	管理能力・マネジメント能力(人や組織)	2814	10.6				
40	社交性	2727	10.3				
41	スタミナ	2671	10.0				

3. 業種別と職種別の必要な能力等

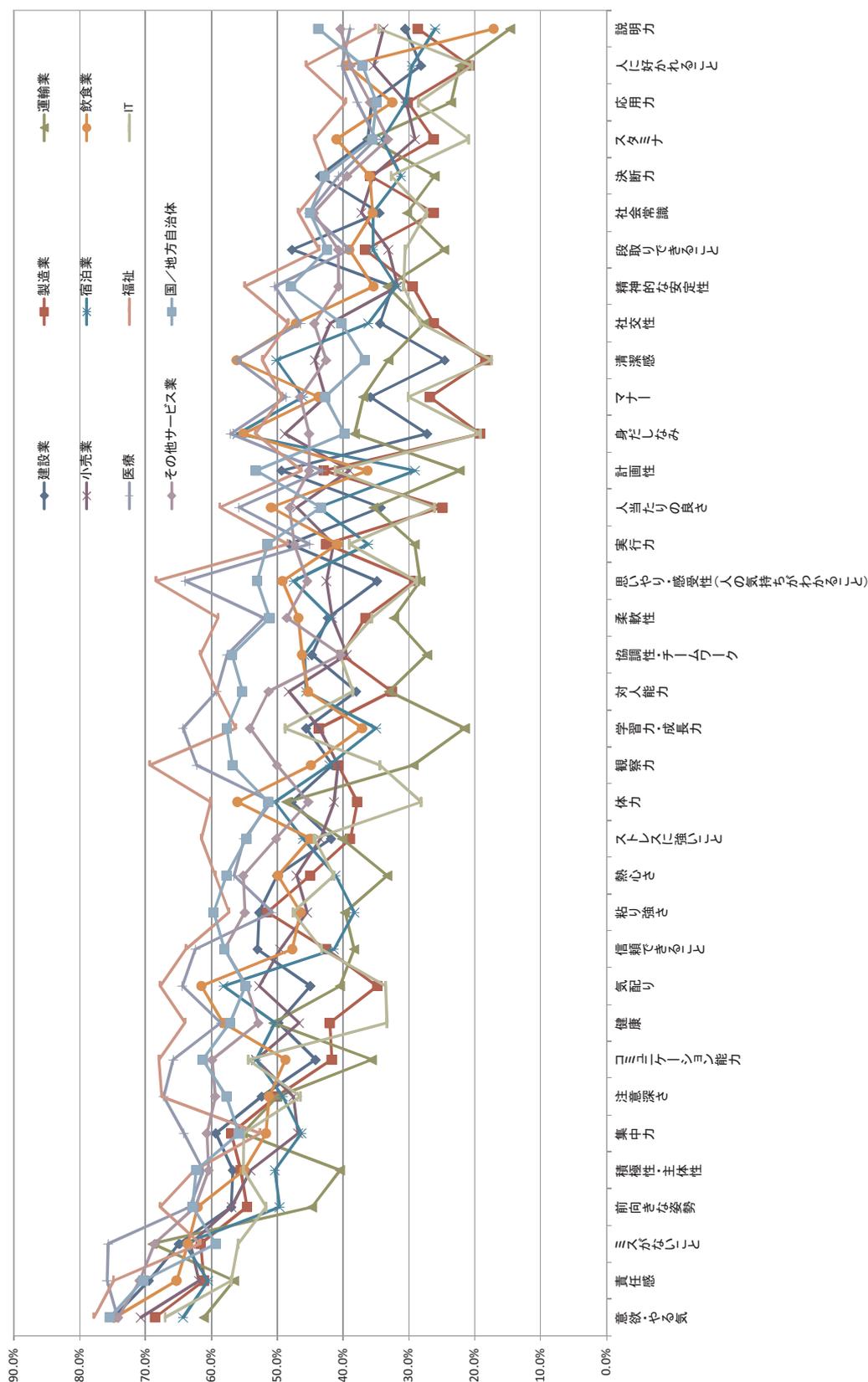
必要な能力等について、業種別に回答を集計し、パーセントを求めたのが図表 6-3、図表 6-4 である。業種によって、項目ごとにかんがりのばらつきがあることがわかる。いくつか特徴のあるところを見ていくと、「注意深さ」や「コミュニケーション能力」、「気配り」、「観察力」、「協調性・チームワーク」、「思いやり・感受性」、「人当たりの良さ」、「精神的な安定性」などは特に福祉や医療で高くなっている。また、「コンピュータスキル」は IT が圧倒的に高い。国や地方自治体では「指導力・統率力・リーダーシップ」のほかに「団体規律」や「生活規律」が高くなっている。当然ではあるが、「健康・医療・ケアの知識・経験」は医療や福祉で、「販売の知識・経験」は小売業で、「セキュリティの知識・経験」は IT で、「建築・土木の知識・経験」は建設業でそれぞれ高くなっている。また、運輸業では全体的に低くなっているのが特徴といえるだろう。

同様にして、最近（ここ 5 年程度）重要になっている能力等を業種別に見ると（図表 6-5、図表 6-6）、運輸業では「ミスがないこと」が高いが、「コミュニケーション能力」や「学習力・成長力」、「協調性・チームワーク」、「計画性」、「指導力・統率力・リーダーシップ」、「情報収集能力」などはほかと比べて特に低くなっている。福祉では「コミュニケーション能力」、「協調性・チームワーク」、「思いやり・感受性」、「観察力」、「精神的な安定性」などが高くなっている。国／地方自治体では「ストレスに強いこと」、「コンピュータスキル」が高く、「集中力」が低い。宿泊業では「気配り」や「顧客目線・相手の立場から考えられること」が高く、飲食業では「身だしなみ」や「社交性」、「清潔感」が高い。知識・経験も上に記したのと同様の傾向が見られる。

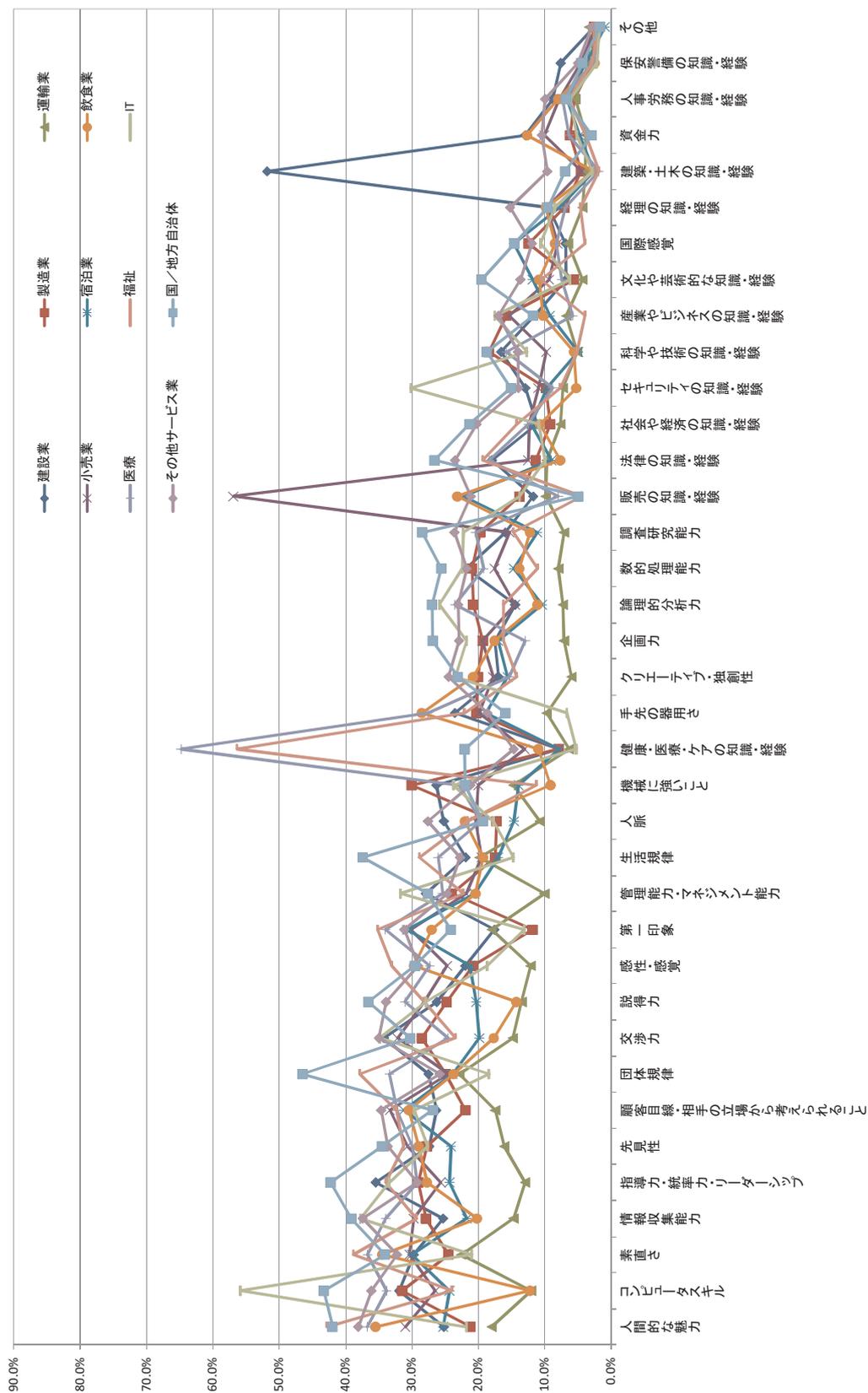
これらを職種（厚生労働省編職業分類の職業大分類）別に集計したものが図表 6-7、図表 6-8 である。専門的職業では全般的に高くなっており、中でも「信頼できること」、「熱心さ」、「コミュニケーション能力」、「観察力」、「ストレスに強いこと」、「学習力・成長力」、「感性・感覚」、「健康・医療・ケアの知識・経験」などが高くなっている。サービスの職業では「身だしなみ」や「清潔感」が高く、研究者、技術者は「コンピュータスキル」が高い。また、図表 6-3 と同じような傾向として、「販売の知識・経験」は販売の職業が、「建築・土木の知識」は建設・採掘の職業が高くなっている。事務の職業では「体力」や「スタミナ」が低くなっているが、農林漁業の職業ではこれらが高くなっており、「コミュニケーション能力」や「身だしなみ」、「清潔感」などは低い。また、「ミスがないこと」は全体的に高いが、農林漁業の職業でのみ 50 パーセントを下回っている。輸送・機械運転の職業や運搬・清掃・包装の職業では全体的に低くなっているといった特徴が見られる。

職種別に最近（ここ 5 年程度）重要になっている能力等をみると（図表 6-9、図表 6-10）、農林漁業の職業で「意欲・やる気」、「決断力」、「先見性」が特に高くなっている。専門的職業で「コンピュータスキル」、サービスの職業で「気配り」、研究者、技術者で「指導力・統率力・リーダーシップ」が高くなっている。

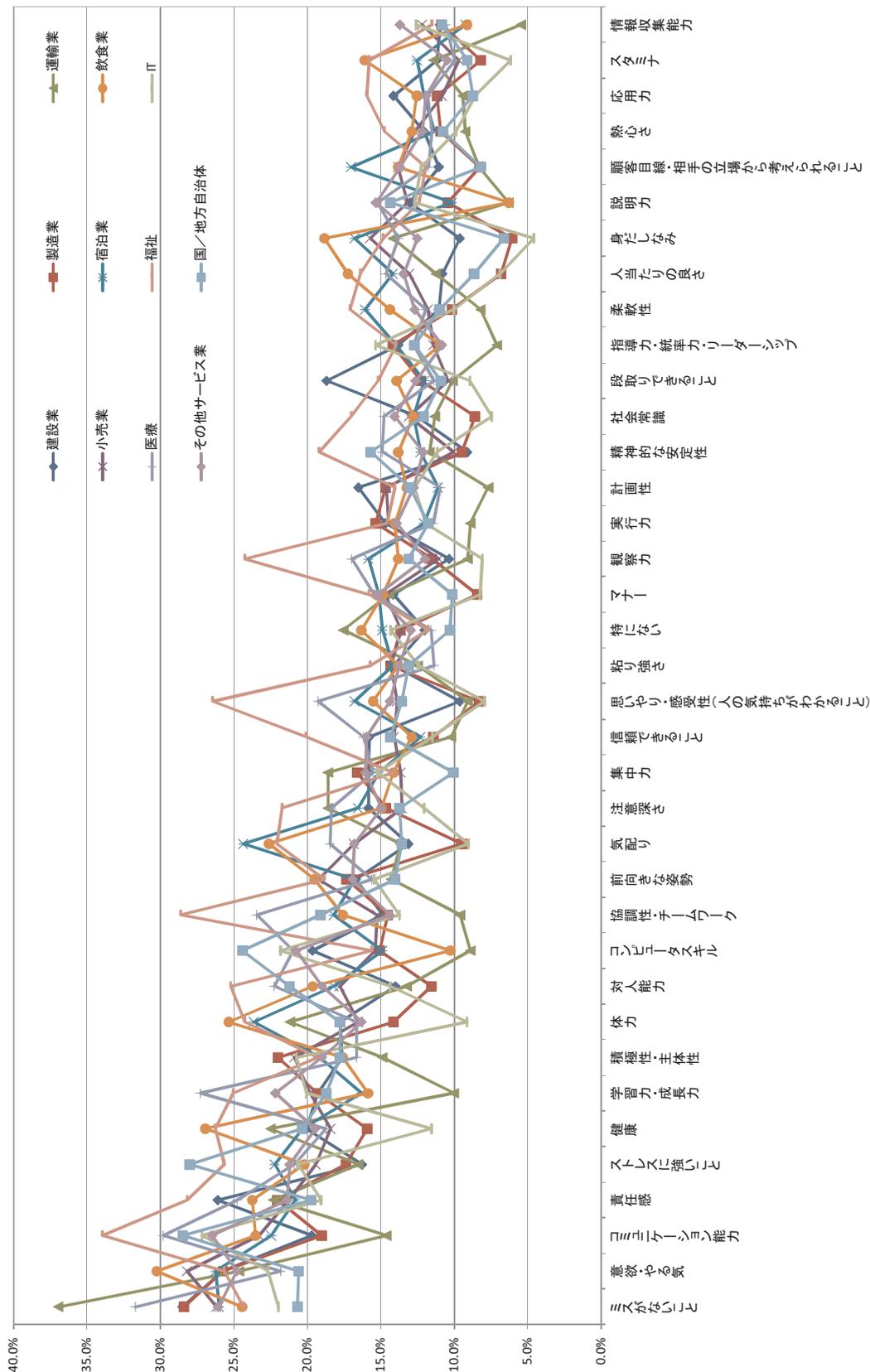
図表6-3 業種別の必要な能力等（パーセントの合計が多いもの順、前半36項目）



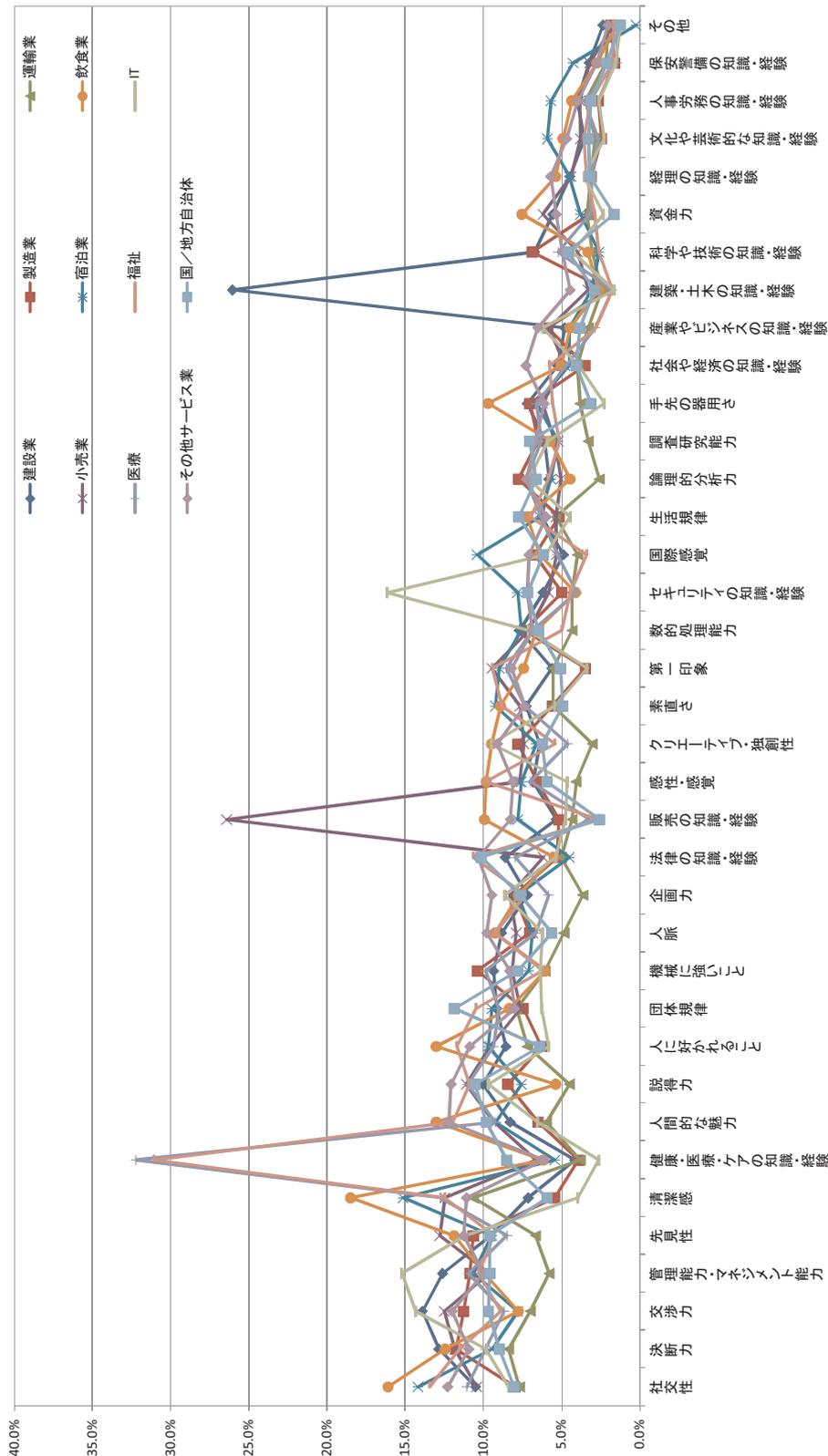
図表6-4 業種別の必要な能力等（パーセントの合計が多いもの順、後半37項目）



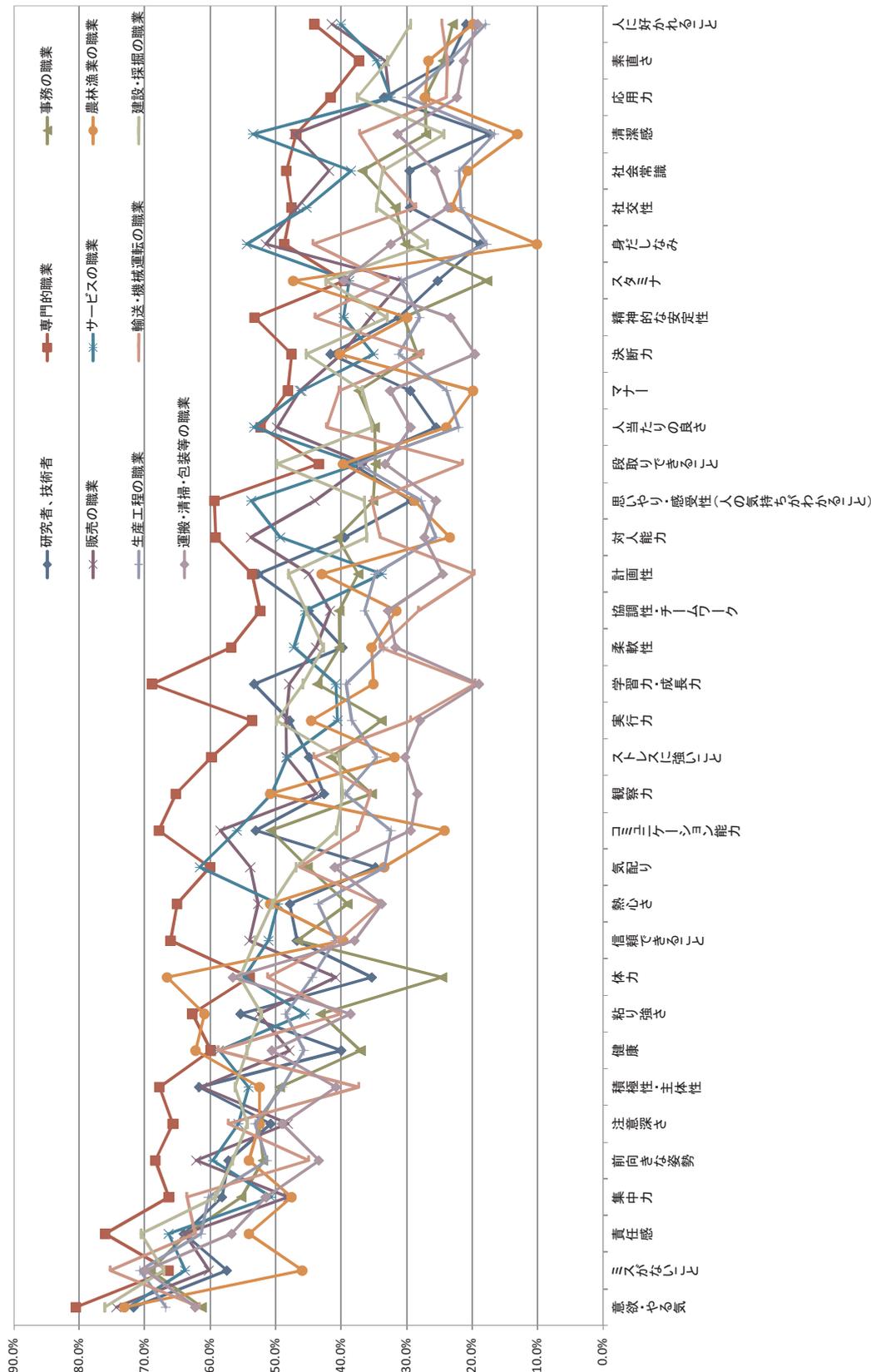
図表6-5 業種別の最近（ここ5年程度）重要になってきている能力等（パーセントの合計が多いもの順、前半37項目）



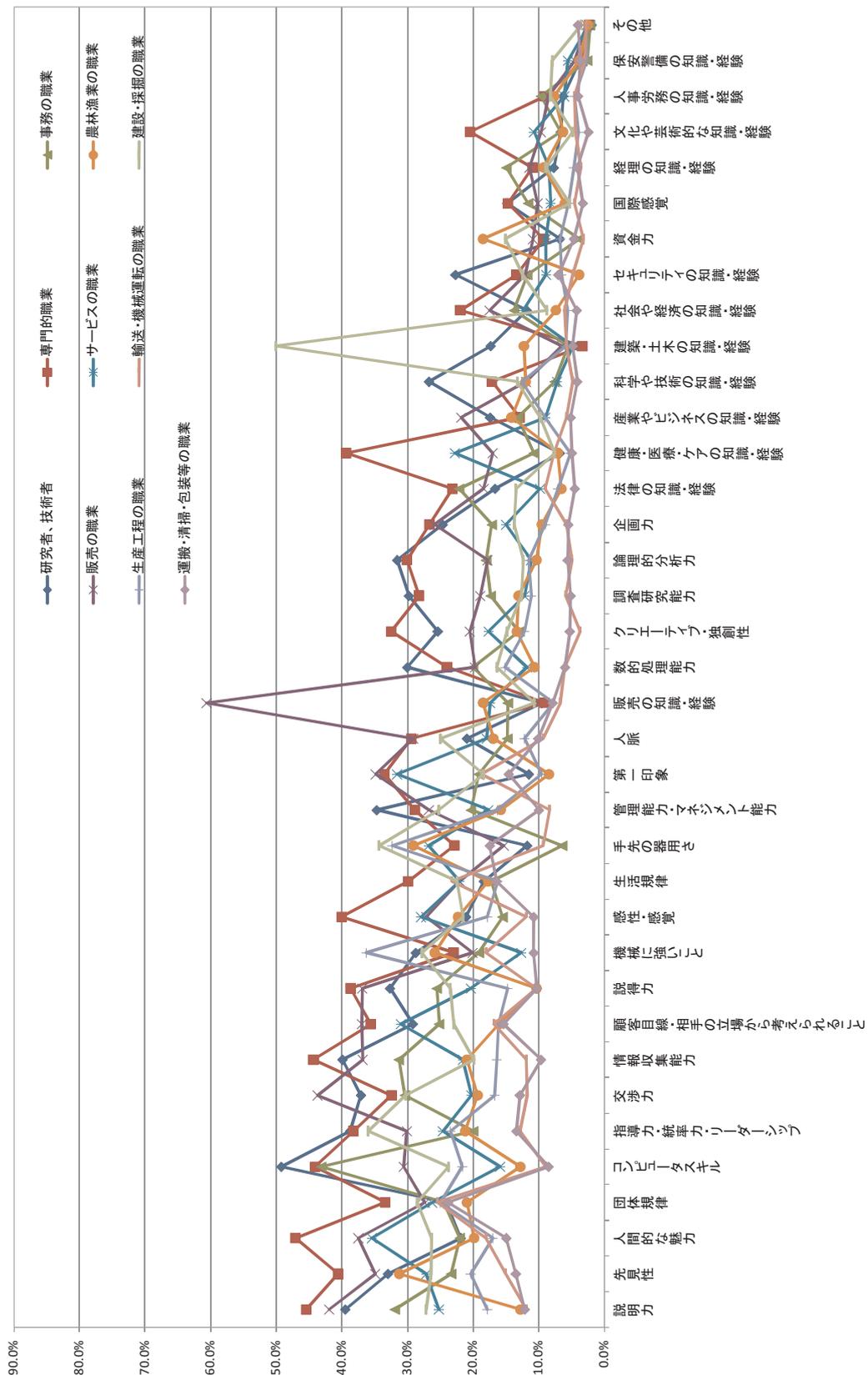
図表6-6 業種別の最近（ここ5年程度）重要になってきている能力等（パーセントの合計が多いもの順、後半37項目）



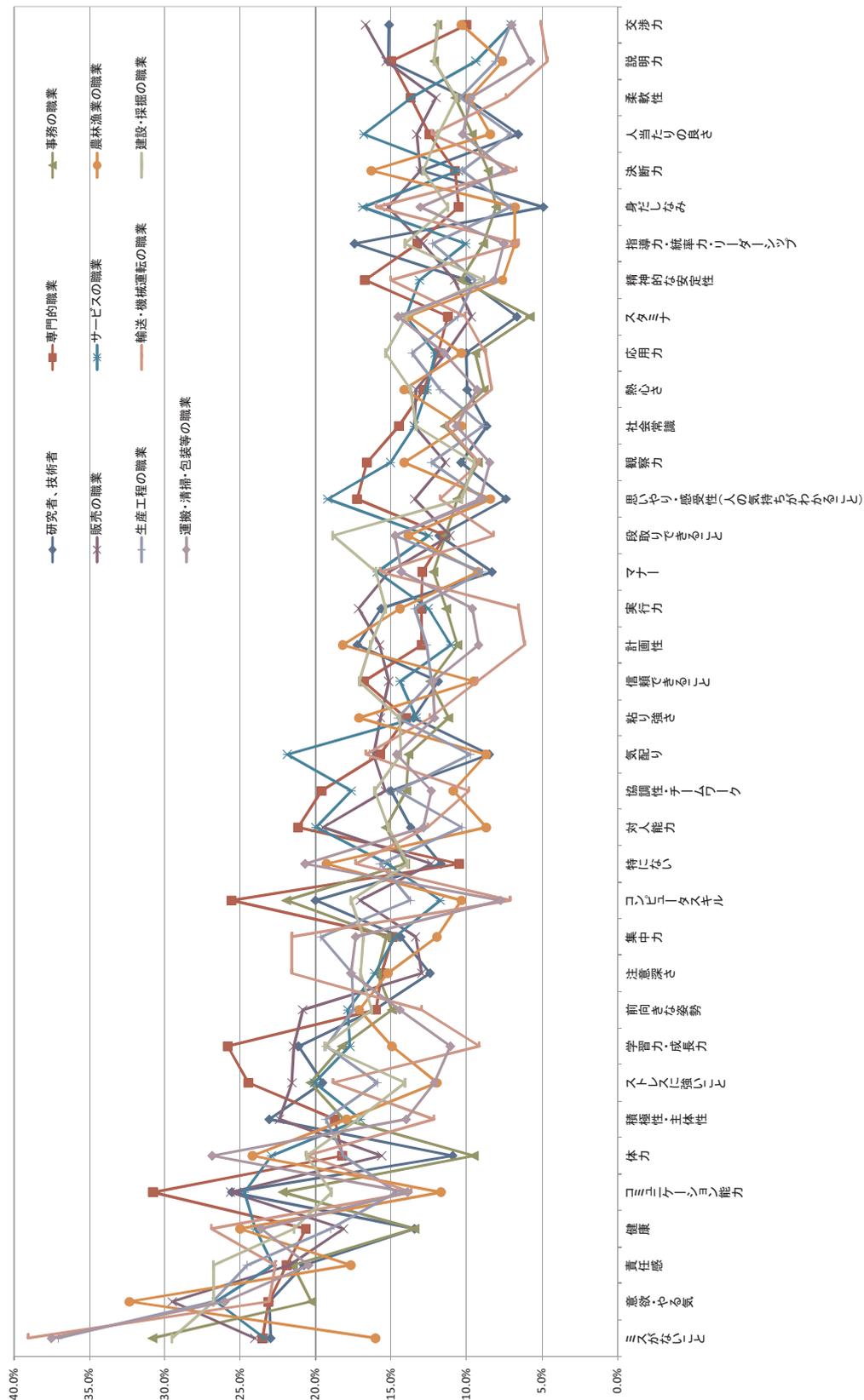
図表6-7 職種別の必要な能力等（パーセントの合計が多いもの順、前半36項目）



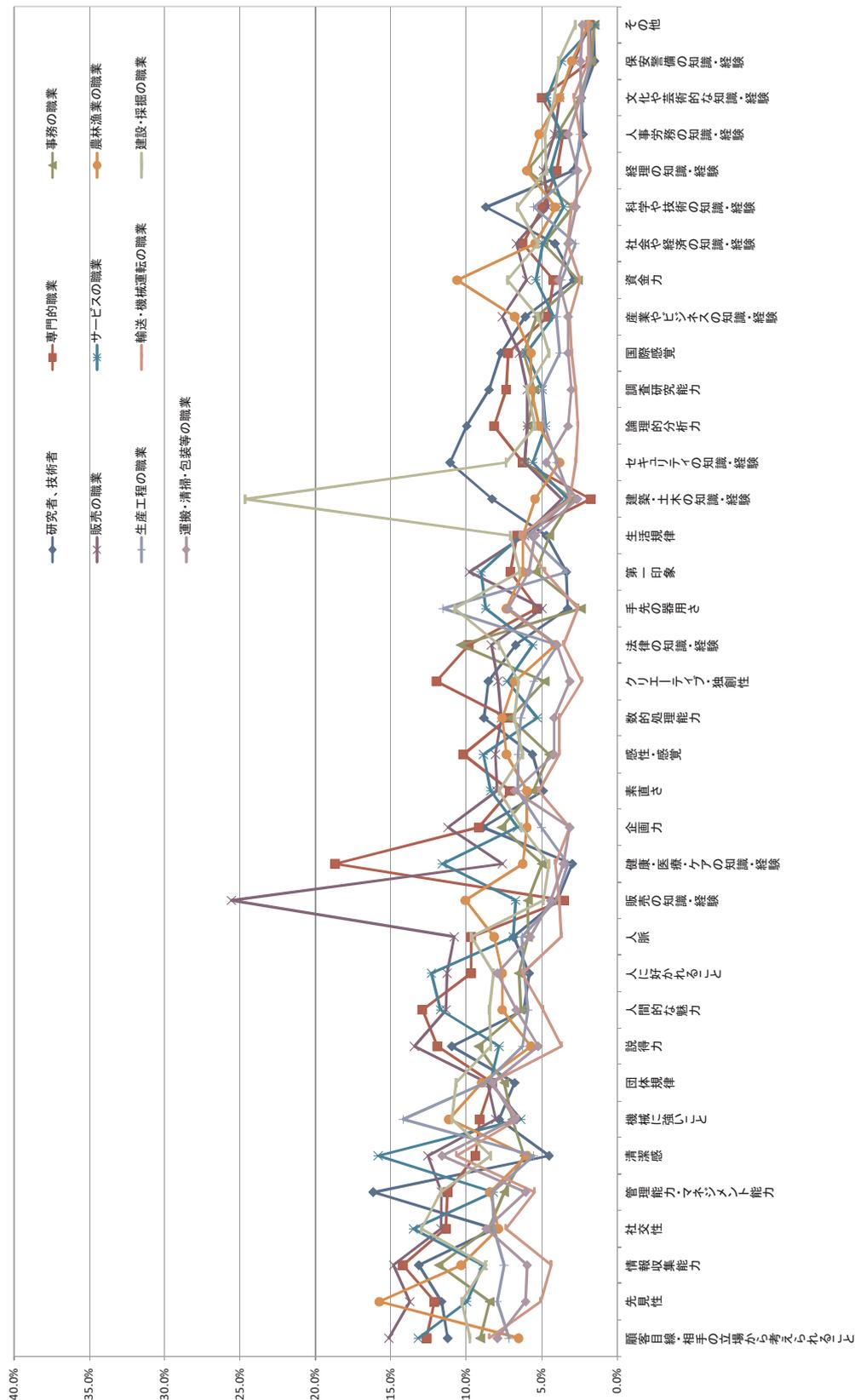
図表6-8 職種別の必要な能力等（パーセントの順、後半 37 項目）



図表6-9 職種別の最近（ここ5年程度）重要になっている能力等（パーセントの合計が多いもの順、前半37項目）



図表6-10 職種別の最近（ここ5年程度）重要になっている能力等（パーセントの合計が多いもの順、後半37項目）



4. 主成分分析、因子分析による必要な能力等の検討

(1) 主成分分析と因子分析による検討

現在の職業に必要な能力等について、多様な項目の中からいくつかのまとまりを見出すために、主成分分析、因子分析を行った。ただし、項目により選択率の差が激しいため、分析の対象としたのは、選択率が30パーセント以上の上位41項目とした。

まず、図表6-11は、現在の職業に必要な行動や能力の上位41項目を主成分分析し、解釈を行いやすくするためにバリマックス回転を行ったものである。通常2件法のようなデータ(2値データ)に対し、主成分分析は用いないのが通説だが、石田(2008)は、主成分分析について「どのような種類の変数にも適用できる、制約のない解析手法」としている。また、主成分分析では回転についても行わないとされることもあるが、成分の解釈を容易にするものとして使われていることを示す文献も多いため(たとえば上田,2003;丸山ら,2009)、そのような場合に最も用いられるバリマックス回転を行った。また、下村(2001)では実際に経済学分野の研究においてこのような分析方法が用いられている。以上により、本調査においても2値データに対し主成分分析、バリマックス回転を用いた。

第1成分としては、「身だしなみ」や「清潔感」、「マナー」などに高い負荷量を示し、「マナー・コミュニケーション」に関する成分とした。第2成分は、「情報収集能力」や「コンピュータスキル」、「交渉力」、「説明力」に対して負荷量が高く、「情報スキル・交渉力・説明力」に関する成分と解釈した。第3成分は「人に好かれること」、「人間的な魅力」等に負荷量が高く、「人間的な魅力」に関する成分とした。第4成分は「意欲・やる気」、「積極性・主体性」、「前向きな姿勢」、「熱心さ」等に負荷量が高く、「意欲・主体性・熱心さ」に関する成分とした。第5成分は、「ミスがないこと」、「注意深さ」、「集中力」等に高い負荷量を示し、「ミスがないこと・集中力」に関する成分とした。第6成分は「体力」、「スタミナ」、「健康」に負荷量が高く、そのまま「体力・スタミナ・健康」に関する成分とした。

なお、参考までに主因子法、プロマックス回転で因子分析を行った結果が図表6-12である。因子分析によっても、主成分分析の成分とほぼ類似の因子が取り出された。具体的には、第1因子が第2成分に、第2因子が第1成分に、第3因子は第4成分に、第4因子は第5成分に、第5因子は第3成分に、第6因子は第6成分にそれぞれ類似している。因子間の相関はそれぞれかなり高い値を示していることがわかる。二つの結果を比べ、主成分分析の方が項目をバランスよく分けていると考えたため、以後は主成分分析の結果を元に見ていくこととする。

図表6-11 必要な能力の主成分分析（主成分抽出、直交回転）

	成分1	成分2	成分3	成分4	成分5	成分6
身だしなみ	0.752	0.106	0.141	0.134	0.132	0.220
清潔感	0.743	0.108	0.164	0.136	0.138	0.240
マナー	0.623	0.283	0.097	0.092	0.149	0.248
人当たりの良さ	0.584	0.099	0.531	0.126	0.168	0.057
社会常識	0.568	0.359	0.095	0.121	0.166	0.250
対人能力	0.548	0.385	0.234	0.196	0.151	0.094
コミュニケーション能力	0.508	0.418	0.180	0.231	0.177	0.067
気配り	0.493	0.147	0.405	0.182	0.350	0.142
情報収集能力	0.178	0.687	0.212	0.133	0.110	0.118
コンピュータスキル	0.100	0.652	-0.030	0.072	0.228	-0.064
交渉力	0.207	0.639	0.253	0.161	0.025	0.085
説明力	0.300	0.616	0.233	0.152	0.102	0.104
応用力	0.243	0.509	0.228	0.112	0.193	0.312
学習力・成長力	0.251	0.500	0.111	0.290	0.251	0.098
計画性	0.047	0.494	0.383	0.306	0.238	0.191
段取りできること	0.245	0.477	0.153	0.100	0.250	0.338
人に好かれること	0.470	0.133	0.644	0.156	0.074	0.067
人間的な魅力	0.400	0.208	0.643	0.197	0.062	0.103
先見性	0.030	0.456	0.543	0.223	0.123	0.181
精神的な安定性	0.195	0.171	0.524	0.190	0.361	0.219
社交性	0.488	0.224	0.510	0.168	0.110	0.067
決断力	0.020	0.425	0.510	0.295	0.198	0.242
思いやり・感受性(人の気持ちがわかること)	0.465	0.146	0.476	0.212	0.298	0.150
ストレスに強いこと	0.177	0.217	0.453	0.147	0.339	0.238
実行力	0.083	0.423	0.434	0.368	0.208	0.252
柔軟性	0.295	0.284	0.429	0.232	0.354	0.199
意欲・やる気	0.157	0.095	0.081	0.767	0.073	0.117
積極性・主体性	0.168	0.250	0.202	0.722	0.160	0.087
前向きな姿勢	0.224	0.175	0.205	0.716	0.232	0.105
熱心さ	0.185	0.192	0.292	0.636	0.286	0.141
粘り強さ	0.050	0.250	0.291	0.485	0.345	0.200
ミスがないこと	0.194	0.128	0.062	0.033	0.735	0.112
注意深さ	0.179	0.197	0.249	0.207	0.674	0.169
集中力	0.043	0.219	0.150	0.335	0.595	0.169
責任感	0.245	0.198	0.103	0.395	0.551	0.106
信頼できること	0.285	0.218	0.312	0.367	0.454	0.067
観察力	0.179	0.246	0.409	0.300	0.443	0.156
協調性・チームワーク	0.280	0.246	0.310	0.216	0.338	0.180
体力	0.248	0.090	0.138	0.153	0.159	0.782
スタミナ	0.220	0.157	0.226	0.123	0.137	0.727
健康	0.344	0.152	0.113	0.189	0.214	0.684
負荷量平方和	5.023	4.677	4.520	3.913	3.707	2.746
分散の%	12.3	11.4	11.0	9.5	9.0	6.7
累積%	12.3	23.7	34.7	44.2	53.3	60.0

図表6-12 必要な能力の因子分析（主因子抽出、斜交回転）

	因子1	因子2	因子3	因子4	因子5	因子6
情報収集能力	0.846	0.053	-0.057	-0.065	-0.051	-0.047
交渉力	0.764	0.068	0.010	-0.192	0.062	-0.054
説明力	0.724	0.160	-0.026	-0.083	0.028	-0.064
コンピュータスキル	0.694	0.034	-0.044	0.119	-0.214	-0.146
応用力	0.533	0.097	-0.094	0.075	-0.006	0.146
計画性	0.510	-0.148	0.110	0.112	0.115	0.031
学習力・成長力	0.481	0.121	0.140	0.134	-0.112	-0.044
段取りできること	0.475	0.117	-0.094	0.157	-0.094	0.174
先見性	0.475	-0.202	0.019	-0.044	0.383	0.043
決断力	0.411	-0.226	0.084	0.050	0.307	0.103
実行力	0.389	-0.148	0.192	0.038	0.206	0.113
コミュニケーション能力	0.381	0.351	0.097	0.010	0.060	-0.076
身だしなみ	-0.079	0.698	0.068	-0.008	0.114	0.074
清潔感	-0.086	0.680	0.060	-0.002	0.137	0.096
マナー	0.217	0.514	-0.044	0.040	-0.005	0.089
社会常識	0.322	0.457	-0.029	0.049	-0.054	0.083
対人能力	0.337	0.380	0.054	-0.027	0.153	-0.053
前向きな姿勢	-0.062	0.086	0.834	0.005	-0.013	-0.020
積極性・主体性	0.091	0.030	0.827	-0.108	-0.024	-0.030
意欲・やる気	-0.084	0.048	0.809	-0.119	-0.060	0.050
熱心さ	-0.039	-0.001	0.638	0.128	0.094	0.006
粘り強さ	0.099	-0.123	0.365	0.270	0.041	0.068
注意深さ	-0.025	-0.007	-0.089	0.918	-0.037	-0.031
ミスがないこと	-0.042	0.078	-0.143	0.823	-0.147	-0.016
集中力	0.051	-0.090	0.155	0.674	-0.159	0.016
責任感	0.003	0.111	0.248	0.603	-0.164	-0.054
観察力	0.076	-0.045	0.067	0.481	0.213	-0.020
信頼できること	0.024	0.087	0.193	0.464	0.137	-0.110
柔軟性	0.137	0.056	-0.003	0.313	0.293	0.034
協調性・チームワーク	0.120	0.093	0.044	0.275	0.158	0.045
人に好かれること	-0.088	0.143	-0.018	-0.181	0.944	-0.036
人間的な魅力	0.040	0.078	0.021	-0.200	0.848	-0.005
人当たりの良さ	-0.147	0.313	-0.058	0.016	0.758	-0.078
社交性	0.089	0.228	0.008	-0.086	0.608	-0.057
思いやり・感受性(人の気持ちがわかること)	-0.083	0.210	0.004	0.238	0.489	-0.003
精神的な安定性	-0.007	-0.053	-0.022	0.318	0.418	0.087
気配り	-0.076	0.262	-0.031	0.327	0.385	-0.020
ストレスに強いこと	0.087	-0.032	-0.040	0.271	0.304	0.114
体力	-0.132	0.069	0.027	-0.053	-0.054	0.924
スタミナ	0.004	0.038	-0.033	-0.049	0.067	0.730
健康	-0.044	0.193	0.055	0.047	-0.109	0.710
負荷量平方和	13.671	8.638	11.919	13.819	14.008	10.419
因子相関行列						
因子2	0.492					
因子3	0.705	0.391				
因子4	0.752	0.507	0.771			
因子5	0.759	0.577	0.707	0.764		
因子6	0.643	0.516	0.570	0.688	0.644	

(2) 抽出された要素からみた業界や職業

検討してきた主要な要素（成分）である「マナー・コミュニケーション」、「情報スキル・交渉力・説明力」、「人間的魅力」、「意欲・主体性・熱心さ」、「ミスがないこと・集中力」、「体力・スタミナ・健康」の成分得点を求め、業種別に平均値を求めたのが図表 6-13 である。成分得点は全体の平均値が 0 になるため、各業種の平均値は他の業種と相対的に比較して得点が高いかどうかを示したものである。

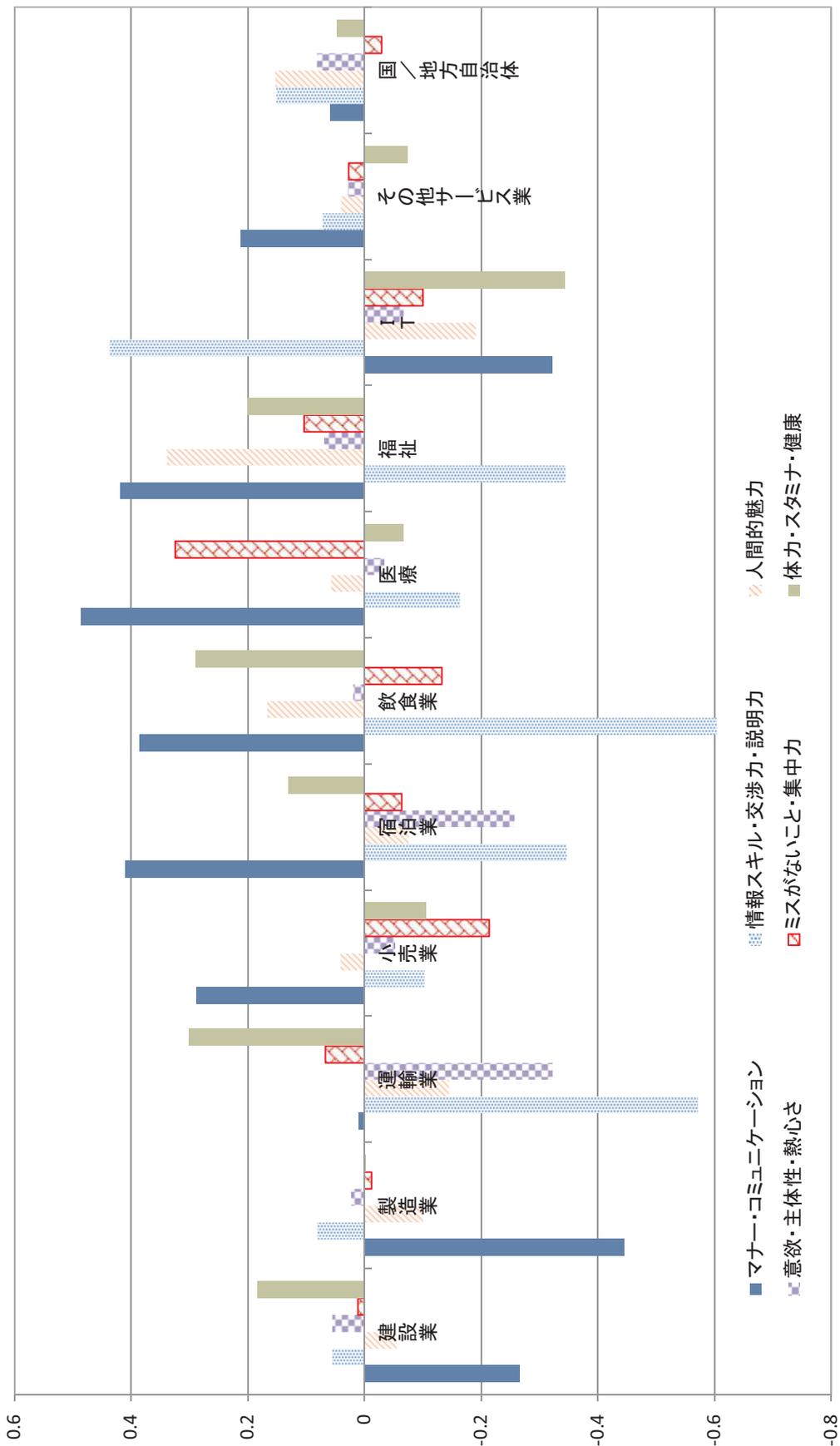
特徴のあるところを見ると、運輸業では「情報スキル・交渉力・説明力」が低く、「体力・スタミナ・健康」が高い。宿泊業、飲食業では「マナー・コミュニケーション」が高く、「情報スキル・交渉力・説明力」が低くなっている。医療では「マナー・コミュニケーション」、「ミスがないこと・集中力」が高い。福祉では「マナー・コミュニケーション」、「人間的魅力」が高く、「情報スキル・交渉力・説明力」が低い。IT では「情報スキル・交渉力・説明力」が高く、「マナー・コミュニケーション」、「体力・スタミナ・健康」が低くなっている。

同様に 6 つの成分得点を職種別に集計し平均値を求めたのが図表 6-14 である。これを見ると、研究者、技術者では「情報スキル・交渉力・説明力」が高く、「マナー・コミュニケーション」は低くなっている。事務の職業は「体力・スタミナ・健康」が低い。販売の職業では「マナー・コミュニケーション」が高く、「ミスがないこと・集中力」が低くなっている。サービスの職業では「マナー・コミュニケーション」が高く、「情報スキル・交渉力・説明力」が低い。農林漁業の職業では「体力・スタミナ・健康」が高いが「マナー・コミュニケーション」は低くなっている。生産工程の職業では「マナー・コミュニケーション」が低い。輸送・機械運転の職業では「ミスがないこと・集中力」、「体力・スタミナ・健康」が高く、「情報スキル・交渉力・説明力」が低い。建設・採掘の職業では「体力・スタミナ・健康」が高く、運搬・清掃・包装等の職業では「体力・スタミナ・健康」が高いが「情報スキル・交渉力・説明力」は低くなっているといった特徴がある。

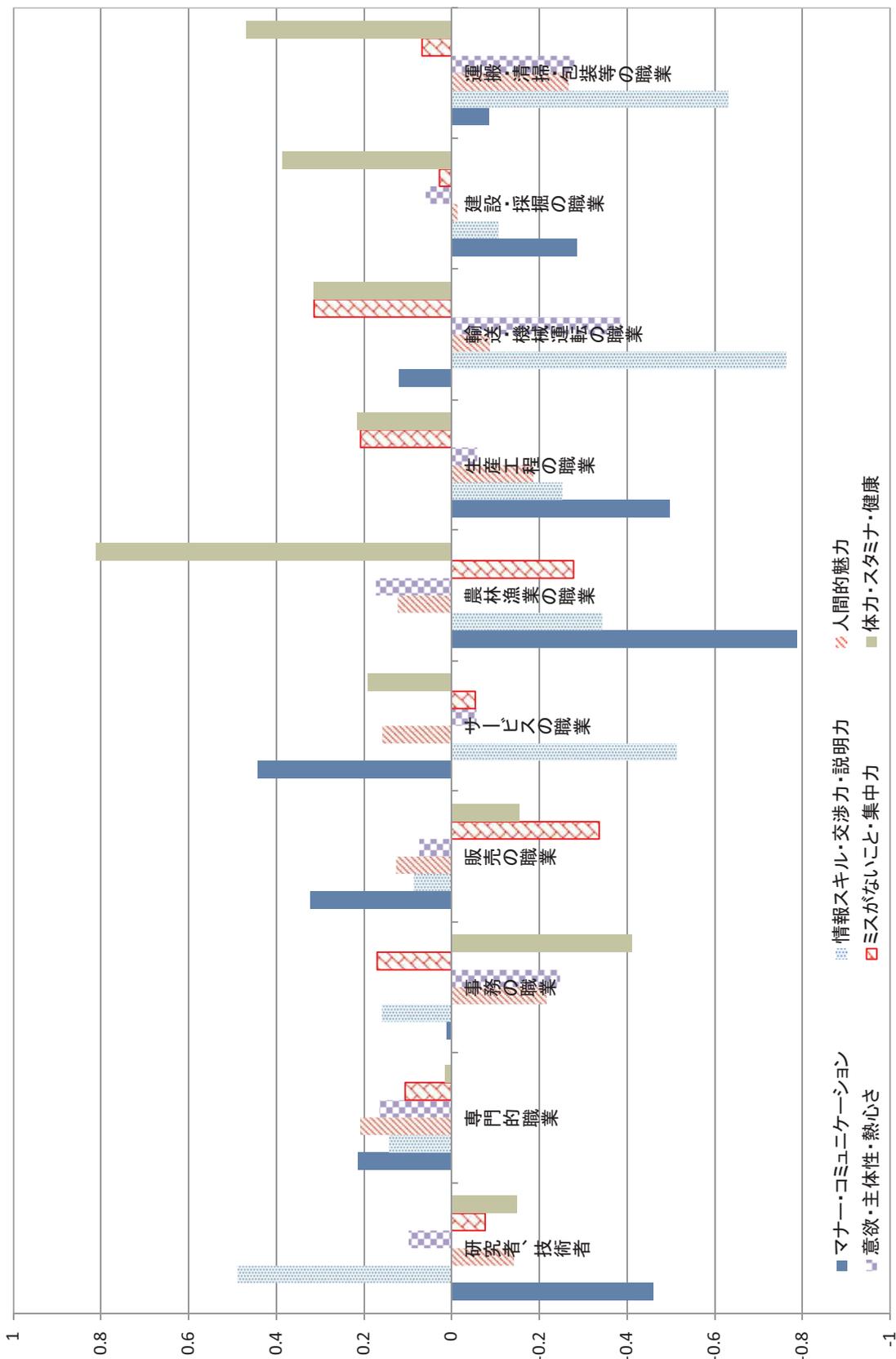
細かい具体的な職業（職業細分類）で見ると、「マナー・コミュニケーション」は「ウェ이터・ウェイトレス（飲食店ホール係）」、「コンビニエンスストア店員」、「医療事務員（医療機関、調剤薬局）」、「受付係（会社・団体受付を除く。図書館カウンター受付、自動車整備工場フロント、ショールーム受付、銀行店頭案内など）」、「秘書」などで高い。「情報スキル・交渉力・説明力」は「経営コンサルタント（中小企業診断士など）」、「土木技術者（設計業務）」、「グラフィックデザイナー（広告、ポスター、包装紙などのデザイン）」、「システム運用管理者（システム・ネットワークの運用・維持・セキュリティ・管理・保守、テクニカルサポートなど）」、「大学教員」などで高くなっている。「人間的魅力」では「幼稚園教員」、「保育士」、「美容師」、「小学校教員」、「医療ソーシャルワーカー（MSW、PSW）」などが高い。「意欲・主体性・熱心さ」では「音楽家（作曲家、指揮者、演奏家、声楽家など）」、「小学校教員」、「住宅・不動産営業員（住宅・不動産

の売買・賃借、住宅リフォーム、用地仕入れなど）」、「大学教員」、「作業療法士」などが高い成分得点である。「ミスがないこと・集中力」では、「データ入力係員」、「薬剤師（調剤業務）」、「臨床検査技師（衛生検査技師を含む）」、「医療事務員（医療機関、調剤薬局）」、「パソコンオペレーター（パソコンによる文書作成、データ処理など）」などが高くなっている。「体力・スタミナ・健康」は「農耕従事者（稲作、畑作、園芸・工芸作物、ハウス野菜、キノコ栽培など）」、「保育士」、「西洋料理調理人」、「トラック運転手」、「荷物配達員（宅配便・バイク便・メール便などの配達業務）」などで高い。

図表6-13 主成分分析の成分からみた必要な能力（業種別）



図表6-14 主成分分析の成分からみた必要な能力（職種別）



5. 必要な能力等のまとめ

ここでは職業における必要な能力等とその変化についてみてきた。現在の職業に特に必要な行動や能力では、全体として、「意欲・やる気」、「責任感」、「ミスがないこと」、「前向きな姿勢」、「積極性・主体性」、「集中力」、「注意深さ」、「コミュニケーション能力」、「粘り強さ」、「信頼できること」がトップ 10 となり、50%を超える選択率である。また、最近（ここ5年程度）重要になっている行動や能力では、「ミスがないこと」が一番多く、「意欲・やる気」や「コミュニケーション能力」など、特に必要な行動や能力で選択率が高かった項目が選択されるのに加え、「学習力・成長力」、「ストレスに強いこと」や「コンピュータスキル」などの選択率が高くなっているという特徴がある。

業種別、職種別で見ると、かなりのばらつきがあり、その業種、職業がどのような行動や能力を必要としているのかという個別の実態が映し出された。

現在の職業に必要な行動、能力等の中で、全体の選択率が30%以上の41項目を主成分分析、因子分析で検討すると、「マナー・コミュニケーション」、「情報スキル・交渉力・説明力」、「人間的魅力」、「意欲・主体性・熱心さ」、「ミスがないこと・集中力」、「体力・スタミナ・健康」という6つの要素が抽出された。この要素（成分得点）から現在の職業に必要な能力等を業種別、職種別に見ると、必要な行動や能力を端的に示すものとなっていた。

文 献

石田秀人（2008）. 考える統計学 工学社

丸山欣哉・佐々木隆之・大橋智樹（2009）. 学生のための心理統計法要点 おうふう

下村直樹（2001）. 企業広告の内容分析によるテーマ類型化—製品広告との境界曖昧化 経済学研究（北海道大学）, 50(4), 69-82.

上田尚一（2003）. 主成分分析 朝倉書店

第7章 職業の生活への影響と余暇

1. 趣旨と目的

ここでは現在の職業と関連する生活や余暇について検討する。設問は、仕事の休日への影響、生活時間、勤務時間、心や体の状況、疲れ、睡眠等を聞いている。具体的な設問としては、「1. 休日は趣味や自分のしたいことをできる」、「2. 土日祭日等、一般的な休日は、自分も休める」、「3. 休日にも急に仕事で呼び出されることが月に何回もある」、「4. 休日にも仕事のことが頭を離れない」、「5. 起床、就寝等は比較的規則正しいといえる」、「6. 最近（ここ1、2年）、生活時間が不規則になっている」、「7. 夜間や深夜の勤務となることがある」、「8. 仕事の都合や交代で、勤務時間が通常と異なる」、「9. 最近（ここ1、2年）、心や気持ちの面で心配が多い」、「10. 最近（ここ1、2年）、体の健康面で心配が多い」、「11. 最近（ここ1、2年）、疲れている」、「12. 最近（ここ1、2年）、睡眠時間が短い」の12問がある。これに対して、「現在のご自分の生活についてお聞きします。以下の項目について Yes やや Yes どちらともいえない やや No No わからない で回答してください。」として、5段階に「わからない」を加え回答を求めている。

この設問の次に「全体として現在の生活面の満足度を0～100（満点）で表すと何点になりますか。だいたい満足しているを50として、点数化してください。」という設問があり（「生活満足」）、生活の現状や状況の12問との関係を見ることにする。

続いて、余暇に関して、「現在の職業で、休日や余暇はどのように過ごしていますか。以下のなかから主なものを全てお選びください。（いくつでも）」として、以下より、選択してもらっている（複数選択）。

「テレビ 新聞・雑誌 インターネット（検索、閲覧、メール、ブログ、等々） ショッピング 食べ歩き 家族と過ごす 友人と過ごす 休養・静養 スポーツ（競技） スポーツ（健康維持） ボランティア活動・社会貢献 旅行・行楽 学習・自己啓発（語学、実務の勉強、等々） 研究（調べごと、収集、等々） 創作・芸能（制作、演奏、等々） その他、趣味・娯楽（気晴らし的な活動、映画、音楽鑑賞、スポーツ観戦、機械いじり、日曜大工、園芸、読書、囲碁、将棋、パズル、TVゲーム、カラオケ、等々） その他（具体的に： ）」

ここで、「その他、趣味・娯楽」に「気晴らし的な活動、映画、音楽鑑賞、スポーツ観戦、機械いじり、日曜大工、園芸、読書、囲碁、将棋、パズル、TVゲーム、カラオケ、等々」の様々なものが含まれていることに注意を要する。様々なものが含まれているため、選択が多くなる傾向がある。

そして、余暇に関しては、続く設問で、「現在の職業で、休日や余暇に「したい」けれどもできていないことを、以下のなかからあてはまるものを全てお選びください。（いくつでも）」として、上記、テレビ 新聞・雑誌 から その他（具体的に： ）までの全く同じ項目から、したいができていないことを聞いている（複数選択）。

2. 生活の現状や状況

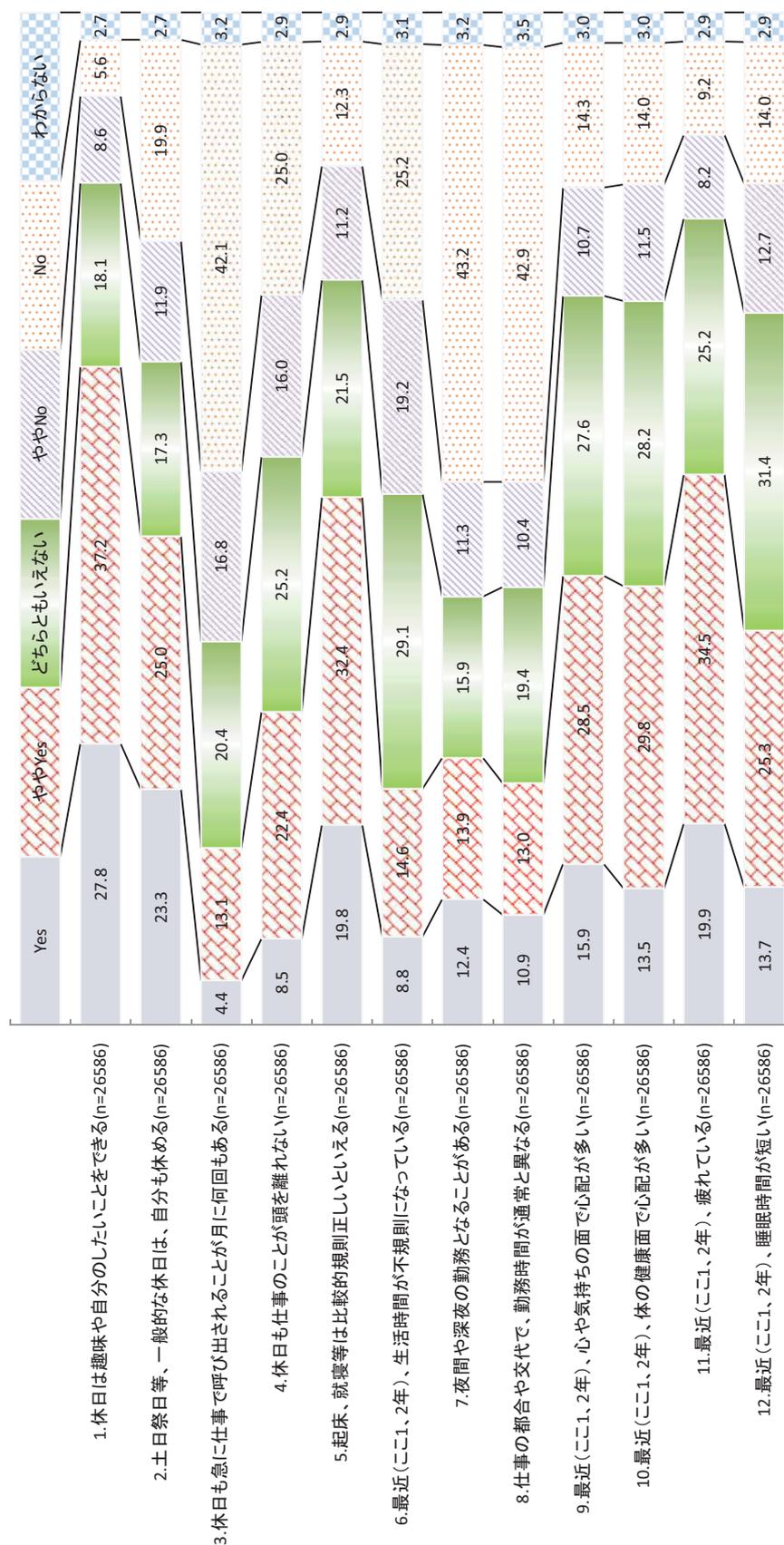
図表 7-1 に 12 問に対する「Yes」、「やや Yes」、「どちらともいえない」、「やや No」、「No」、「わからない」の回答を度数とパーセントで示している。これを図にしたのが図表 7-2 である。「Yes」と「やや Yes」を加えた割合で見ると、これが高く、5割をこえるものが「1. 休日は趣味や自分のしたいことをできる」、「11. 最近（ここ 1、2 年）、疲れている」、「5. 起床、就寝等は比較的規則正しいといえる」である。逆に「No」と「やや No」を加えた割合が高く、5割をこえるものとして、「3. 休日にも急に仕事で呼び出されることが月に何回もある」、「7. 夜間や深夜の勤務となることがある」、「8. 仕事の都合や交代で、勤務時間が通常と異なる」がある。

これらからみて、「11. 最近（ここ 1、2 年）、疲れている」（54.4%）が5割をこえている点を除けば、全体として無理が生じないような生活の現状や状況を示す回答者が多いといえそうである。

図表7-1 生活の現状や状況（全体）

	Y e s	や や Y e s	い ど ち ら と も い え な い と も	や や N o	N o	わ か ら な い	計
1.休日は趣味や自分のしたいことをできる	7,389 27.8	9,891 37.2	4,823 18.1	2,288 8.6	1,480 5.6	715 2.7	26,586 100.0
2.土日祭日等、一般的な休日は、自分も休める	6,190 23.3	6,647 25.0	4,587 17.3	3,151 11.9	5,288 19.9	723 2.7	26,586 100.0
3.休日にも急に仕事で呼び出されることが月に何回もある	1,169 4.4	3,487 13.1	5,422 20.4	4,458 16.8	11,205 42.1	845 3.2	26,586 100.0
4.休日にも仕事のことが頭を離れない	2,268 8.5	5,954 22.4	6,703 25.2	4,244 16.0	6,637 25.0	780 2.9	26,586 100.0
5.起床、就寝等は比較的規則正しいといえる	5,255 19.8	8,613 32.4	5,704 21.5	2,978 11.2	3,275 12.3	761 2.9	26,586 100.0
6.最近(ここ1、2年)、生活時間が不規則になっている	2,329 8.8	3,875 14.6	7,737 29.1	5,104 19.2	6,709 25.2	832 3.1	26,586 100.0
7.夜間や深夜の勤務となることがある	3,308 12.4	3,699 13.9	4,237 15.9	3,012 11.3	11,477 43.2	853 3.2	26,586 100.0
8.仕事の都合や交代で、勤務時間が通常と異なる	2,893 10.9	3,453 13.0	5,153 19.4	2,760 10.4	11,405 42.9	922 3.5	26,586 100.0
9.最近(ここ1、2年)、心や気持ちの面で心配が多い	4,229 15.9	7,569 28.5	7,349 27.6	2,836 10.7	3,805 14.3	798 3.0	26,586 100.0
10.最近(ここ1、2年)、体の健康面で心配が多い	3,595 13.5	7,922 29.8	7,486 28.2	3,067 11.5	3,719 14.0	797 3.0	26,586 100.0
11.最近(ここ1、2年)、疲れている	5,294 19.9	9,164 34.5	6,712 25.2	2,191 8.2	2,459 9.2	766 2.9	26,586 100.0
12.最近(ここ1、2年)、睡眠時間が短い	3,629 13.7	6,733 25.3	8,336 31.4	3,387 12.7	3,727 14.0	774 2.9	26,586 100.0

図表7-2 生活の現状や状況 (全体)



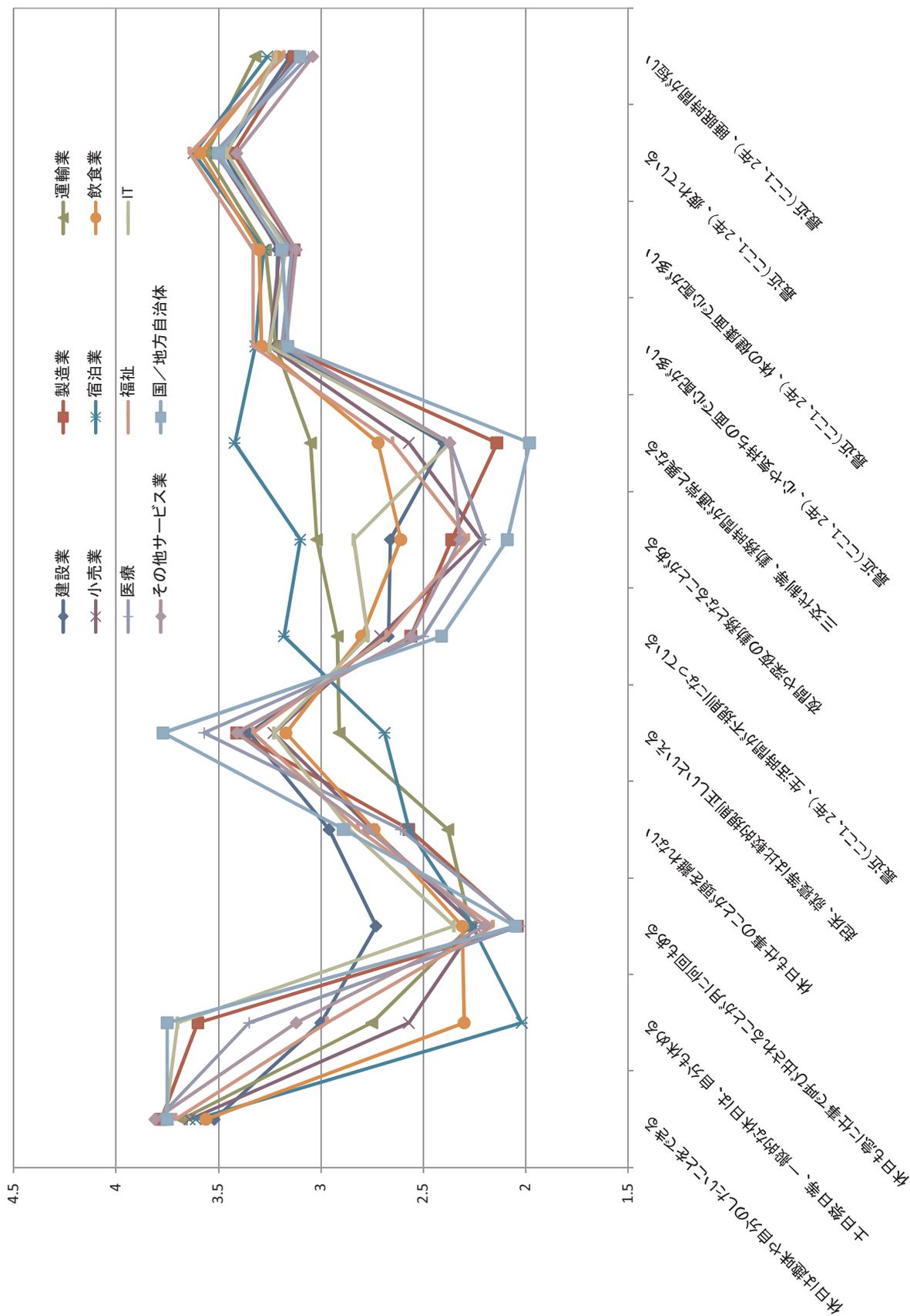
3. 業種別と職種別の現状や状況

生活の現状や状況に関する12問について、業種別に回答を集計し平均を求めたのが図表7-3である。集計では「Yes」を5、「ややYes」を4、「どちらともいえない」と「わからない」を3、「ややNo」を2、「No」を1として、平均を求めている。値が高いほどYesが多く、Noが少ないことになる。ただし、一般的に無理が生じないと考えられる条件と、逆に無理が生じる可能性がある条件とが混在しているので、値が高いほど望ましいとはいえない。「わからない」はいずれの設問も3%程度と少なく、回答の意味としても「どちらともいえない」に加えても問題ないと考え、まとめることとした。

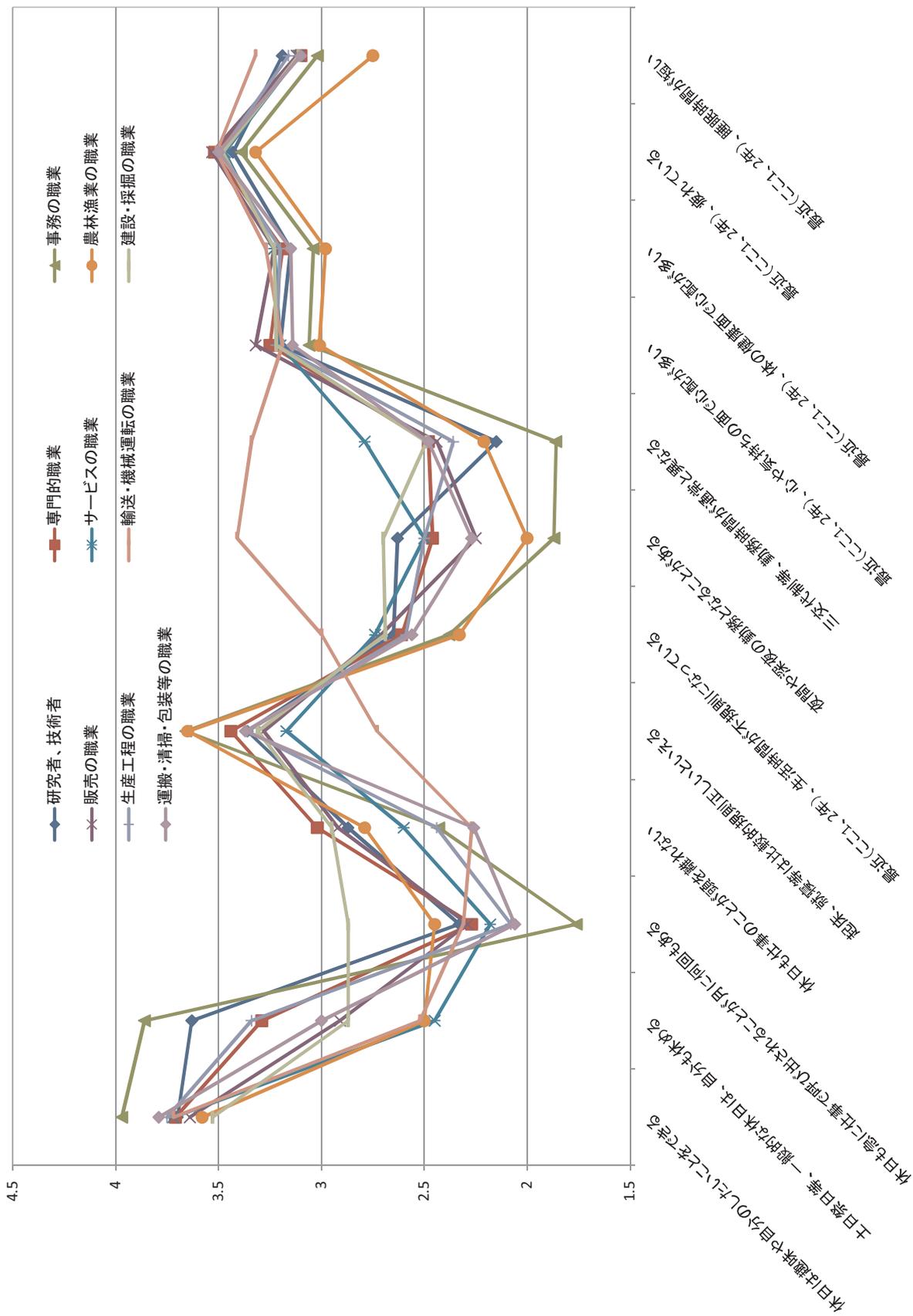
業種による違いが示され、特徴のあるところを設問の順番に見ていくと、「2. 土日祭日等、一般的な休日は、自分も休める」において、国／地方自治体 IT 製造業の値が高く、宿泊業 飲食業 小売業の値が低い。「5. 起床、就寝等は比較的規則正しいといえる」においては、国／地方自治体 医療 製造業 その他サービス業の値が高く、宿泊業 運輸業 飲食業の値が低い。また、「8. 三交代制等、勤務時間が通常と異なる」をみると、宿泊業 運輸業の値が高く、国／地方自治体 製造業の値は低い。

同様に職種（厚生労働省編職業分類の職業大分類）別に集計したものが図表7-4である。職業による違いが示されたところを見ていくと、「2. 土日祭日等、一般的な休日は、自分も休める」において、事務の職業 研究者、技術者の値が高く、サービスの職業 農林漁業の職業の値が低い。「4. 休日も仕事のことが頭を離れない」においては、専門的職業 建設・採掘の職業 販売の職業の値が高く、運搬・清掃・包装等の職業 輸送・機械運転の職業 事務の職業の値が低い。また、「7. 夜間や深夜の勤務となることがある」をみると、輸送・機械運転の職業が他に比べて際立って高く、事務の職業 農林漁業の職業の値は低い。

図表7-3 業種別の現状や状況



図表7-4 職種別の現状や状況



4. 主成分分析、因子分析による生活の現状や状況の検討

(1) 主成分分析と因子分析による検討

図表7-5 現状や状況の主成分分析（主成分抽出、直交回転）

	成分 1	成分 2	成分 3
最近(ここ1、2年)、疲れている	0.868	0.115	0.101
最近(ここ1、2年)、体の健康面で心配が多い	0.838	0.134	0.130
最近(ここ1、2年)、心や気持ちの面で心配が多い	0.822	0.069	0.193
最近(ここ1、2年)、睡眠時間が短い	0.704	0.342	0.068
起床、就寝等は比較的規則正しいといえる	-0.174	-0.777	-0.045
夜間や深夜の勤務となることがある	0.083	0.728	0.265
三交代制等、勤務時間が通常と異なる	0.066	0.715	0.265
最近(ここ1、2年)、生活時間が不規則になっている	0.371	0.705	0.132
休日にも急に仕事で呼び出されることが月に何回もある	0.038	0.224	0.711
休日にも仕事のことが頭を離れない	0.365	0.001	0.675
休日は趣味や自分のしたいことをできる	-0.140	-0.141	-0.667
土日祭日等、一般的な休日は、自分も休める	-0.002	-0.369	-0.525
負荷量平方和	2.961	2.501	1.909
分散の %	24.7	20.8	15.9
累積 %	24.7	45.5	61.4

図表7-6 現状や状況の因子分析（主因子抽出、斜交回転）

	因子 1	因子 2	因子 3
最近(ここ1、2年)、疲れている	0.884	-0.021	-0.044
最近(ここ1、2年)、体の健康面で心配が多い	0.806	-0.017	0.034
最近(ここ1、2年)、心や気持ちの面で心配が多い	0.778	-0.090	0.119
最近(ここ1、2年)、睡眠時間が短い	0.591	0.262	-0.069
起床、就寝等は比較的規則正しいといえる	-0.024	-0.800	0.162
最近(ここ1、2年)、生活時間が不規則になっている	0.200	0.667	-0.032
夜間や深夜の勤務となることがある	-0.084	0.594	0.214
三交代制等、勤務時間が通常と異なる	-0.084	0.571	0.209
土日祭日等、一般的な休日は、自分も休める	0.052	-0.329	-0.252
休日にも急に仕事で呼び出されることが月に何回もある	-0.096	0.092	0.653
休日にも仕事のことが頭を離れない	0.239	-0.114	0.586
休日は趣味や自分のしたいことをできる	-0.070	-0.158	-0.335
負荷量平方和	3.235	3.031	2.249
因子間相関行列			
	因子 2	0.434	
	因子 3	0.386	0.503

生活の現状や状況に関する12問の相互関係や意味合いを検討し、何らかの集約ができないかをみるため、主成分分析、因子分析により検討した。

図表7-5は12問に関して主成分分析を行った結果である。主成分を抽出し、直交回転であるバリマックス回転を行っている。第1成分は「最近（ここ1、2年）、疲れている」、「最近（ここ1、2年）、体の健康面で心配が多い」、「最近（ここ1、2年）、心や気持ちの面で心配が多い」、「最近（ここ1、2年）、睡眠時間が短い」からなっており、「疲れ・心配」を表していると考えられる。第2成分は「起床、就寝等は比較的規則正しいといえる」、「夜間や深夜の勤務となることがある」、「三交代制等、勤務時間が通常と異なる」、「最近（ここ1、2年）、生活時間が不規則になっている」からなるが、「起床、就寝等は比較的規則正しいといえる」については負荷量がマイナスであることから、「不規則・夜間勤務」を表していると考えられよう。第3成分は「休日も急に仕事で呼び出されることが月に何回もある」、「休日も仕事のことが頭を離れない」、「休日は趣味や自分のしたいことをできる」、「土日祭日等、一般的な休日は、自分も休める」からなっており、最後の2項目は負荷量がマイナスであることから、「休日に呼び出し等」ともいうべき傾向を示しているといえる。仕事の要素が職業生活の領域だけにおさまりきらず、日常生活の領域にも食い込んでくるような傾向のことである。

因子分析、主成分分析は設定により結果が異なるため、設定を変え因子分析を行った（図表7-6）。主因子法で因子を抽出し、斜交回転であるプロマックス法で回転している。結果は主成分分析と類似しており、主成分分析では第3成分に含まれていた「土日祭日等、一般的な休日は、自分も休める」が因子分析では第2因子に含まれているだけで、他はすべて主成分分析と同じ結果であった。第1因子は「疲れ・心配」、第2因子は「不規則・夜間勤務」、第3因子は「休日に呼び出し等」を示していると考えられる。「土日祭日等、一般的な休日は、自分も休める」は主成分分析では成分2・3の両方に負荷量が高く、因子分析でも因子2・3両方の負荷量が高い。いずれも負荷量はマイナスであることから、この項目は主成分分析の結果のように、「仕事生活の不規則性」を示す項目であるとともに、因子分析の結果のように、「休日に呼び出し等」を示す項目であるともいえる。

以上のように、主成分分析でも因子分析でも、生活の現状や状況の構造には大きな違いがみられなかった。ここでは、各成分に4項目ずつが含まれる主成分分析の結果を使って、以下の分析を進めることとする。

（2）抽出された要素からみた業界や職業

主成分分析によって検討してきた生活の現状や状況に関する3つの成分「疲れ・心配」、「不規則・夜間勤務」、「休日に呼び出し等」の成分得点を求め、業種別に平均値を求めたのが図表7-7である。成分得点は全体の平均値が0になるため、各業種の平均値は、他の業種と相対的に比較して得点が高いかどうかを示したものである。

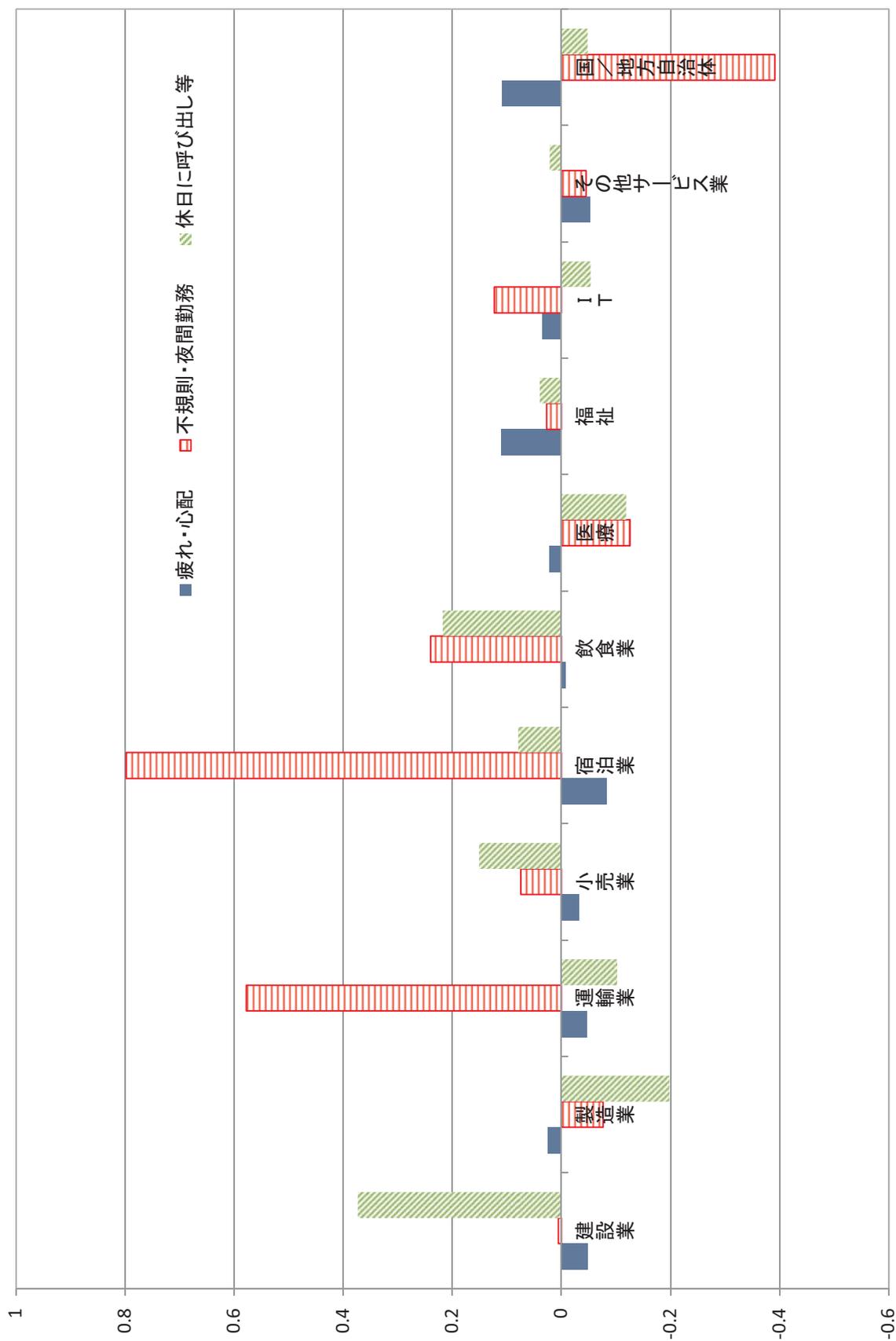
特徴のあるところをみていくと、「疲れ・心配」については、どの業種も平均的であり、この得点が際立って高い業種や低い業種はみあたらない。他の2つの成分得点の平均値から業種の特徴をみると、建設業では「休日に呼び出し等」が最も高い点が特徴的であり、製造業では「休日に呼び出し等」が最も低い点が特徴的である。運輸業は「不規則・夜間勤務」が高い一方で、「休日に呼び出し等」が低い点に特徴がみられる。宿泊業では「不規則・夜間勤務」が際立って高いところが特徴的である。飲食業は「不規則・夜間勤務」と「休日に呼び出し等」がともに高くなっている。これとは逆に、医療の場合は「不規則・夜間勤務」と「休日に呼び出し等」がともに低い。国／地方自治体は「不規則・夜間勤務」が際立って低いところに特徴がみられる。以上は、それぞれの得点の上位・下位から3位以内の得点に基づく特徴である。

同様に3つの成分得点を職種別に集計し、平均値を求めたのが図表7-8である。上位・下位3位以内の得点に基づき、特徴のあるところを見ていく。専門的職業では「疲れ・心配」が高い点が特徴的であり、事務の職業は「疲れ・心配」がやや高いが、「不規則・夜間勤務」と「休日に呼び出し等」がともに最も低い点に特徴がみられる。販売の職業は「休日に呼び出し等」が高く、サービスの職業は「疲れ・心配」が低い一方で、「不規則・夜間勤務」が高い点が特徴となっている。農林漁業の職業は「疲れ・心配」、「不規則・夜間勤務」がともに際立って低いにもかかわらず、「休日に呼び出し等」が非常に高い点が特徴的である。生産工程の職業では「休日に呼び出し等」が低く、輸送・機械運転の職業では「疲れ・心配」が低い一方で、「不規則・夜間勤務」が突出しており、最高点となっている点に特徴がみられる。建設・採掘の職業は「休日に呼び出し等」が最も高い点に特徴がみられる。運搬・清掃・包装等の職業では「不規則・夜間勤務」はやや高いが、「休日に呼び出し等」は低い点が特徴的である。

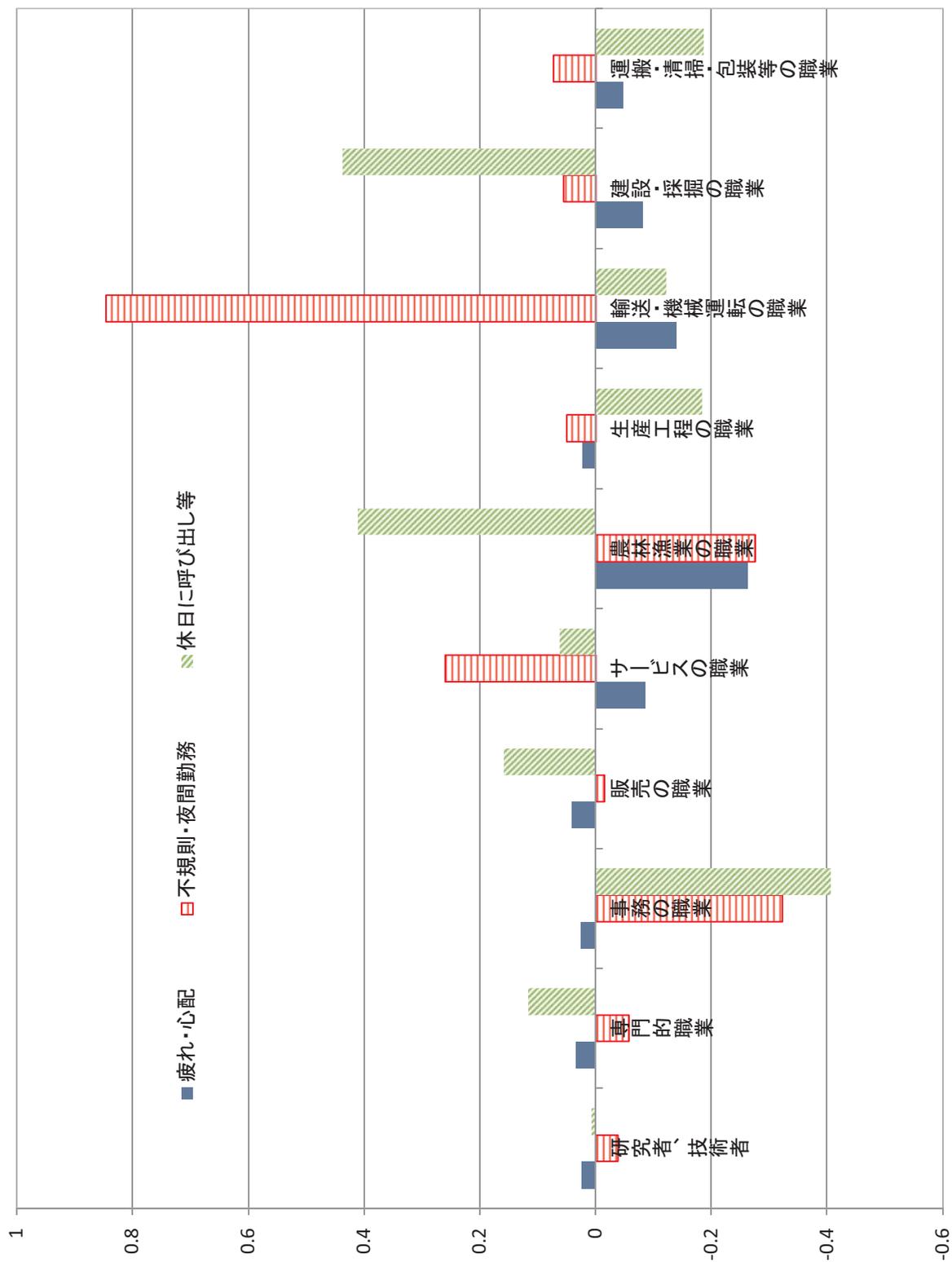
細かい具体的な職業（職業細分類）別に「疲れ・心配」をみると、得点が高い上位5職業には「印刷・製本作業員（製版、オフセット印刷、凸版印刷、グラビア印刷、スクリーン印刷、シール印刷、光沢加工、製本など）」、「銀行等渉外係（銀行、信用金庫、信用協同組合など）」、「小学校教員」、「中学校教員」、「特別支援学校教員」が含まれており（職業名順、以下同様）、得点が低い下位5職業には「マンション・アパート・下宿管理人」、「音楽家（作曲者、指揮者、演奏家、声楽家など）」、「経営コンサルタント（中小企業診断士など）」、「農耕従事者（稲作、畑作、園芸・工芸作物、ハウス野菜、キノコ栽培など）」、「理容師」が含まれていた。教員のメンタルヘルスが問題とされることが多いが、得点が高い上位を教員職業が占めている点が注目される。次に、「不規則・夜間勤務」をみると、上位5職業は「タクシー運転手（タクシー、ハイヤー、介護タクシー）」、「ホテル・旅館フロント係」、「看護師」、「施設介護員（ケアワーカー）」、「路線バス運転手（乗合バス、高速バス、観光路線バス、コミュニティバスなど）」であった。また下位5職業は「作業療法士」、「歯科衛生士」、「小学校教員」、「幼稚園教員」、「理学療法士」であった。下位5職業のうち、教員職業が2つを占めており、教員は仕事や生活が規則的であるにもかかわらず、「疲れ・心配」が高いということになる。最後に、「休日に呼び出し等」をみると、上位5職業は「医師」、「建築施工

管理技術者」、「大工」、「中学校教員」、「農耕従事者（稲作、畑作、園芸・工芸作物、ハウス野菜、キノコ栽培など）」であり、下位5職業は「データ入力係員」、「一般事務員（文書作成、書類整理、帳簿記帳、電話応対、来訪者受付などの各種の事務）」、「法務係事務員（知的財産権の管理、契約の審査など）」、「法律事務所事務員（法律業務に付随する書類作成、文献調査、資料収集・分析など）」、「貿易事務員」であった。下位5職業では、事務の職業が多くを占めている。

図表7-7 主成分分析の成分からみた生活の現状や状況（業種別）



図表7-8 主成分分析の成分からみた生活の現状や状況（職種別）



5. 生活の現状や状況と生活満足との関係

生活の現状と状況の最後に「全体として現在の生活面の満足度を0～100（満点）で表すと何点になりますか。「だいたい満足している」を50として、点数化してください。」という設問がある（「生活満足」）。ここでは仕事の現状や状況と生活満足との関係をみていく。

図表 7-9 は、生活の現状や状況に関する 12 項目と 100 点満点の生活満足度を 10 段階にした「生活満足（10 段階）」、「生活満足度（100 点満点）」との相関係数を示したものである。「生活満足（10 段階）」と「生活満足度（100 点満点）」は 100 点満点を 10 段階にしたものであるため相関は高い（0.996）。

12 項目との関係では、生活満足との相関係数が大きいものから並べており、相関係数が大きい項目から「最近（ここ 1、2 年）、心や気持ちの面で心配が多い」、「最近（ここ 1、2 年）、疲れている」、「最近（ここ 1、2 年）、体の健康面で心配が多い」、「休日は趣味や自分のしたいことをできる」、「最近（ここ 1、2 年）、睡眠時間が短い」、「起床、就寝等は比較的規則正しいといえる」、「最近（ここ 1、2 年）、生活時間が不規則になっている」、「土日祭日等、一般的な休日は、自分も休める」となっており、先の主成分分析、因子分析における「疲れ・心配」に含まれる項目との関係が強いといえる。相関係数はいずれも負の値を示していることから、「疲れ・心配」が低いほど生活満足は高いということになる。また、主成分分析では「休日に呼び出し等」に含まれる項目である「休日は趣味や自分のしたいことをできる」については、比較的高い正の相関を示している。やはり、休日に趣味的活動やしたいことができることによって、生活満足度は高まるようである。

次に、生活満足との関係をみるため回帰分析を行った。ここでは主成分分析によって得られた 3 成分「疲れ・心配」、「不規則・夜間勤務」、「休日に呼び出し等」の成分得点を独立変数とし、生活満足（10 段階）を従属変数として用いた。

図表 7-10 が生活満足に対する 3 成分の回帰分析の結果である。 $R=.440$ （ $R^2=.193$ ）であり、説明率は高いとはいえないが、「疲れ・心配」、「不規則・夜間勤務」、「休日に呼び出し等」のいずれもマイナスの関係があり、これらの得点が低いほど生活満足は高いことが示唆された。また、これらのうち「疲れ・心配」が最も大きな効果を持つことも示された。

なお、生活満足（100 点満点）の平均値を職業細分類別にみると（職業名順）、100 名以上集まった職業に関して、上位 5 職業は「経営コンサルタント（中小企業診断士など）」、「特別支援学校教員」、「法務係事務員（知的財産権の管理、契約の審査など）」、「法律事務所事務員（法律業務に付随する書類作成、文献調査、資料収集・分析など）」、「理学療法士」であった。

図表7-9 生活満足との相関係数

		生活満足 (10段階)	生活満足度 (100点)
1	最近(ここ1、2年)、心や気持ちの面で心配が多い	-0.375	-0.375
2	最近(ここ1、2年)、疲れている	-0.353	-0.353
3	最近(ここ1、2年)、体の健康面で心配が多い	-0.335	-0.336
4	休日は趣味や自分のしたいことをできる	0.314	0.317
5	最近(ここ1、2年)、睡眠時間が短い	-0.313	-0.314
6	起床、就寝等は比較的規則正しいといえる	0.277	0.277
7	最近(ここ1、2年)、生活時間が不規則になっている	-0.269	-0.269
8	土日祭日等、一般的な休日は、自分も休める	0.243	0.244
9	夜間や深夜の勤務となることがある	-0.174	-0.175
10	休日でも仕事のことが頭を離れない	-0.171	-0.171
11	三交代制等、勤務時間が通常と異なる	-0.160	-0.161
12	休日にも急に仕事で呼び出されることが月に何回もある	-0.122	-0.124
	生活満足 10 段階	1.000	0.996
	生活満足度 100 点満点	0.996	1.000

図表7-10 生活満足(10段階)への回帰分析

	回帰係数	標準化係数
(定数)	5.79	
疲れ・心配	-0.778	-0.353
不規則・夜間勤務	-0.414	-0.188
休日に呼び出し等	-0.404	-0.183

6. 余暇の過ごし方

前述のように、余暇の過ごし方については、2通りの設問を用意した。1つは「現在の職業で、休日や余暇はどのように過ごしていますか。以下のなかから主なものを全てお選びください。(いくつでも)」という設問であり、もうひとつは、「現在の職業で、休日や余暇に「したい」けれどもできていないことを、以下のなかからあてはまるものを全てお選びください。

(いくつでも)」という設問で、いずれも複数選択で回答してもらった。これらの結果を示したのが、図表7-11である。

図表 7-11 余暇の過ごし方（度数、比率）

	していること		したいが できていないこと	
	度数	比率	度数	比率
テレビ	14880	56.0%	1178	4.4%
新聞・雑誌	4719	17.7%	505	1.9%
インターネット	17356	65.3%	992	3.7%
ショッピング	11238	42.3%	2096	7.9%
食べ歩き	5214	19.6%	2467	9.3%
家族と過ごす	13156	49.5%	2140	8.0%
友人と過ごす	5477	20.6%	3864	14.5%
休養・静養	9468	35.6%	3008	11.3%
スポーツ(競技)	2094	7.9%	2412	9.1%
スポーツ(健康維持)	4479	16.8%	5343	20.1%
ボランティア活動・社会貢献	865	3.3%	1939	7.3%
旅行・行楽	8470	31.9%	10396	39.1%
学習・自己啓発	2966	11.2%	4603	17.3%
研究	2108	7.9%	2014	7.6%
創作・芸能	1564	5.9%	2232	8.4%
その他、趣味・娯楽	10836	40.8%	5120	19.3%
その他	1135	4.3%	1929	7.3%
合計	116025	436.4%	52238	196.5%

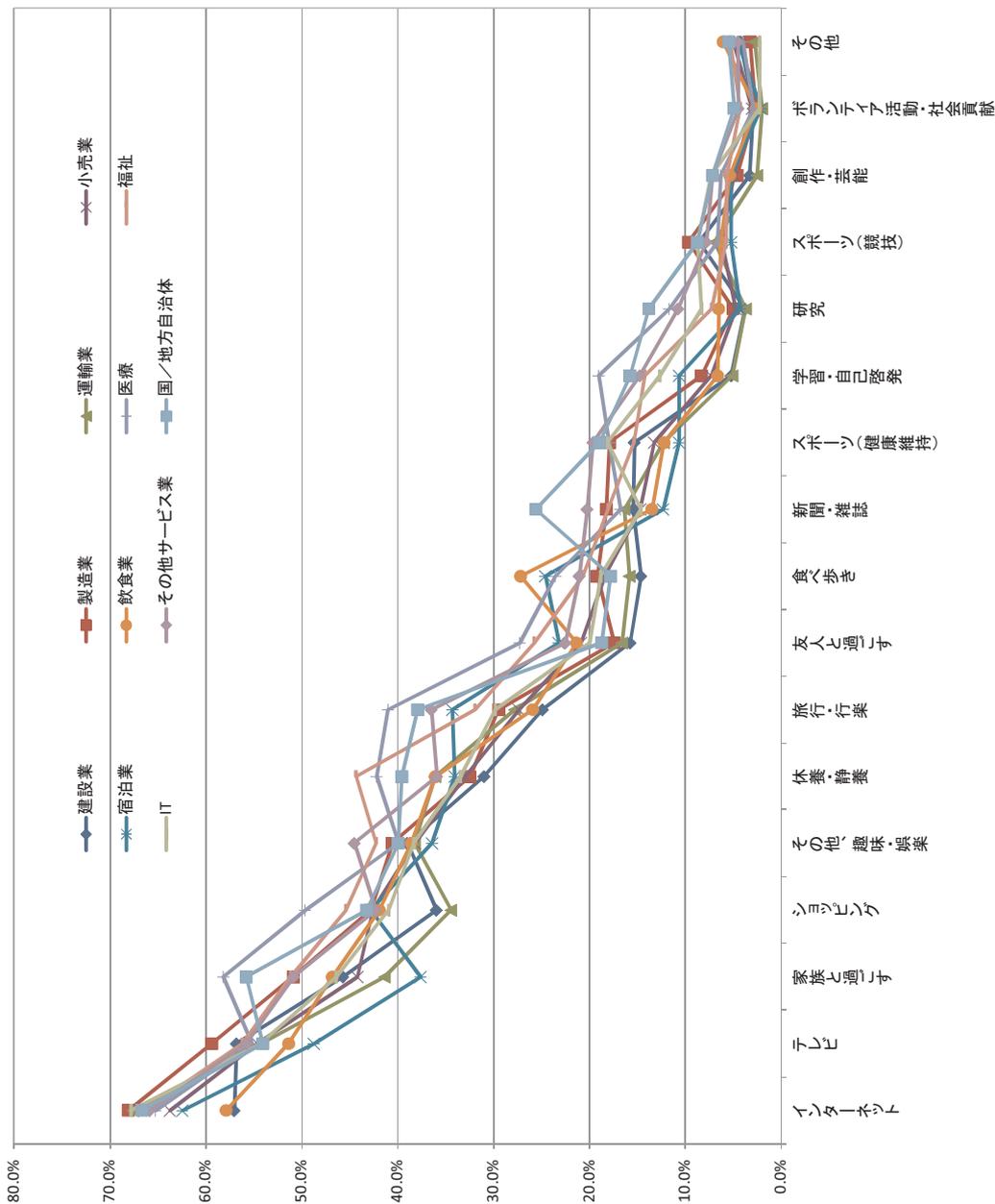
実際に「していること」については、1人平均 4.36 個、「したいができていないこと」については、1人平均 1.97 個に回答していた。それぞれで比率の高いものをあげると、「していること」については、「インターネット」、「テレビ」、「家族と過ごす」、「ショッピング」、「その他、趣味・娯楽」といったように、いわばお手軽に取り組めることが上位を占めているといえそうである。一方、「したいができていないこと」についてはやや傾向が異なり、「旅行・行楽」、「スポーツ(健康維持)」、「その他、趣味・娯楽」、「学習・自己啓発」、「友人と過ごす」といったように、ある程度まで主体的に取り組むことが求められる活動が上位を占めている。なお、前述のように、「その他、趣味・娯楽」には「気晴らし的な活動、映画、音楽鑑賞、スポーツ観戦、機械いじり、日曜大工、園芸、読書、囲碁、将棋、パズル、TVゲーム、カラオケ、等々」の様々なものが含まれているため、選択が多くなる傾向がある。

次に、実際に「していること」を割合の高いものから並べ、業種別(図表 7-12)と職種別(図表 7-13)に示した。業種別に見た場合、比較的バラツキが大きいのが「家族と過ごす」、「旅行・行楽」、「学習・自己啓発」の3つである。「家族と過ごす」については、医療、国/地方自治体などが多くなっており、一方、宿泊業、運輸業などでは比較的割合が少なくなっている。「旅行・行楽」については、医療、国/地方自治体、その他サービス業などが上位を占めており、建設業、飲食業などでは割合が低くなっている。また、「学習・自己啓発」については全体的に割合が低いものの、医療、国/地方自治体、その他サービス業では比較的割合が高

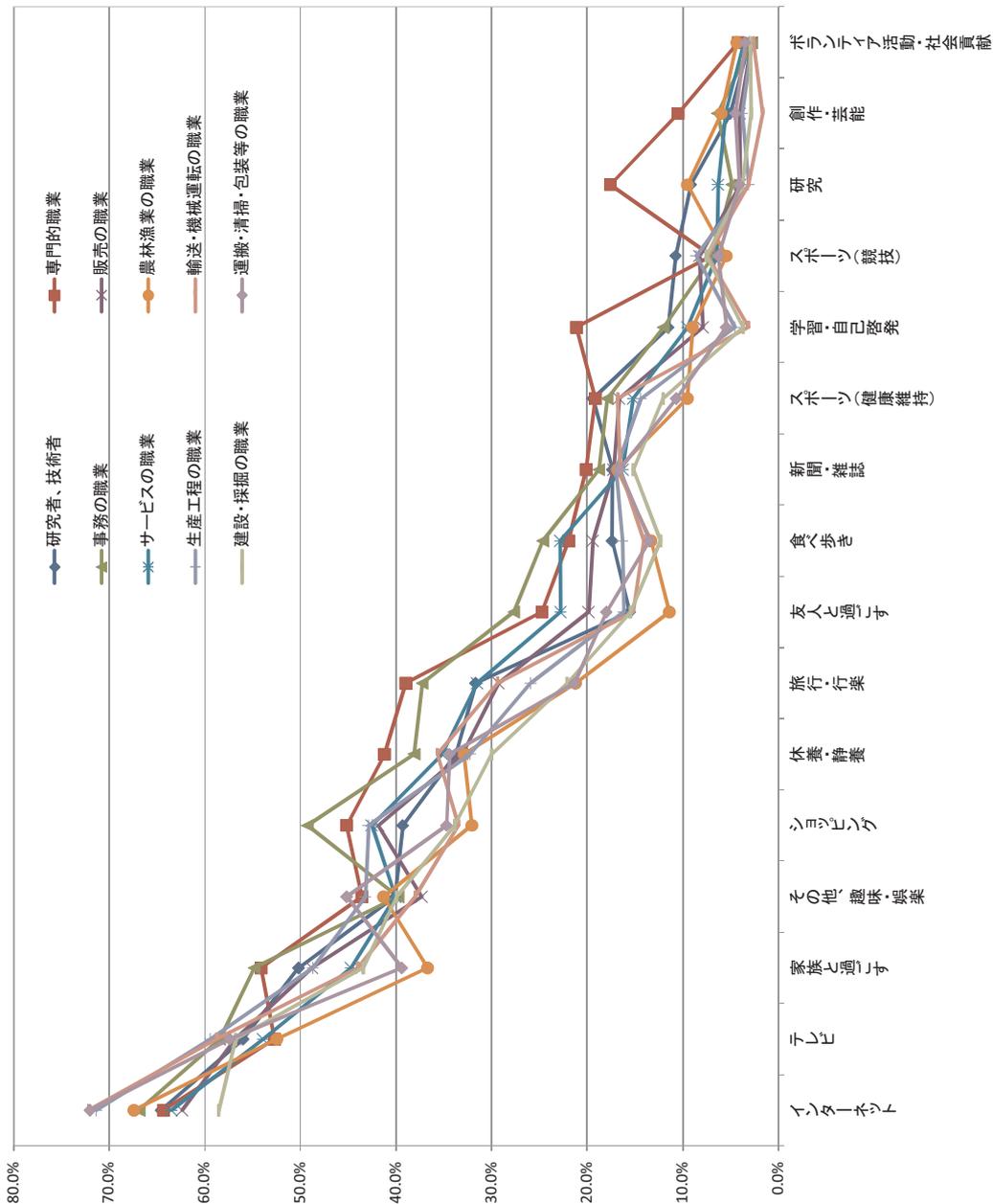
い。これらを職種別にみると、「家族と過ごす」、「旅行・行楽」、「友人と過ごす」の3つで比較的バラツキが大きい。「家族と過ごす」については、事務の職業、専門的職業、研究者、技術者の3職業が上位を占め、いずれも5割を超えている。一方、農林漁業の職業、運輸・清掃・包装等の職業、建設・採掘の職業では割合が低い。「旅行・行楽」については、専門的職業と事務の職業で割合が高く、農林漁業の職業、運輸・清掃・包装等の職業、建設・採掘の職業で割合が低い。「友人と過ごす」については、事務の職業、専門的職業、サービスの職業で割合が高く、農林漁業の職業、輸送・機械運転の職業、建設・採掘の職業で割合が低い。また、「学習・自己啓発」と「研究」、「創作・芸能」は全体的に割合が低い活動であるが、専門的職業においては、これらの割合が他に比べて突出して高い点にも特徴がみられる。

余暇の過ごし方について、「したいができていないこと」を業種別と職種別に示したのが図表 7-14 と図表 7-15 である。「旅行・行楽」が4割程度を占めており、他の活動については、ほぼ2割以下になっており、また業種別、職種別の違いが少ないといえる。

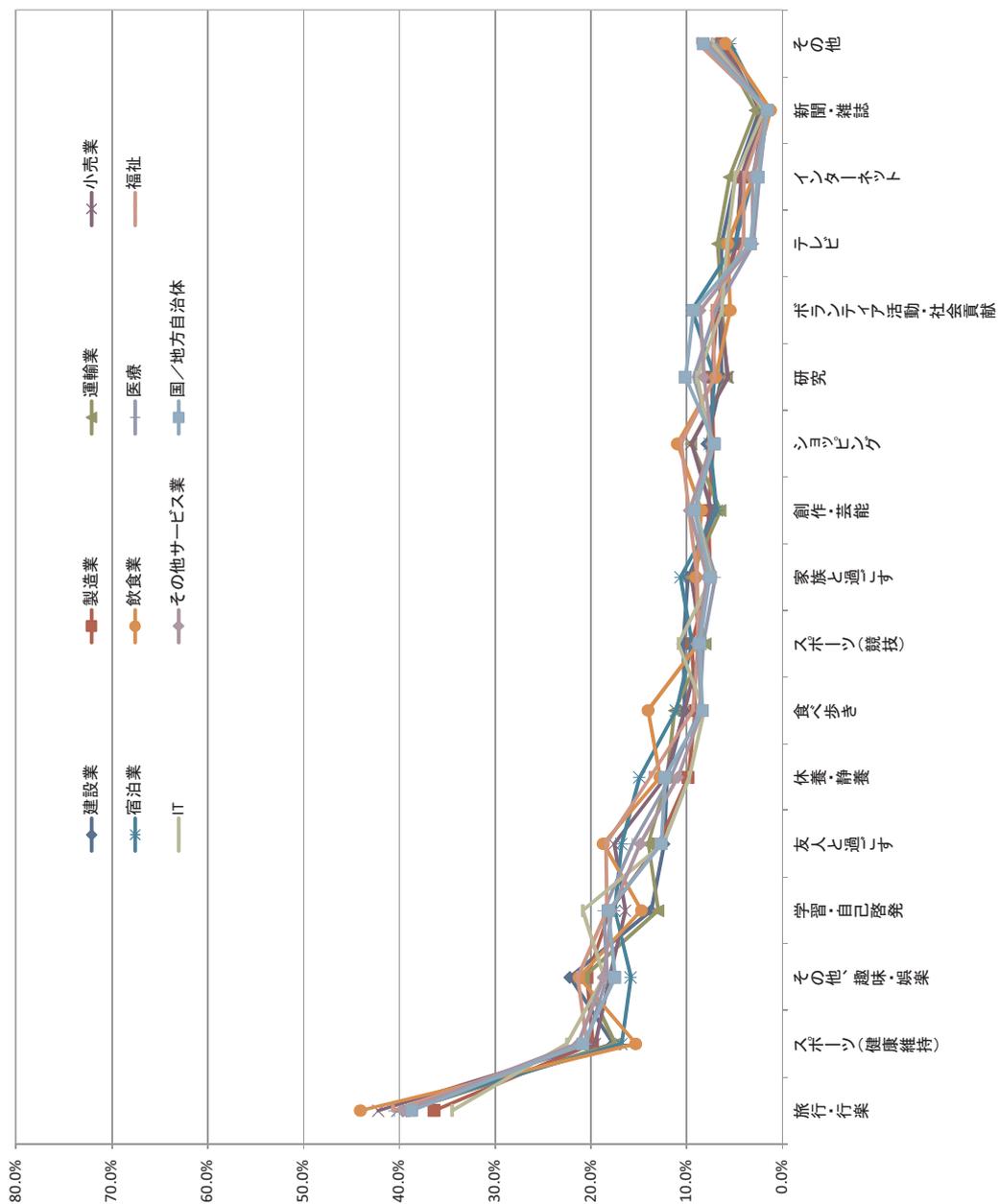
図表 7-12 余暇の過ごし方（業種別、全体で多いもの順）



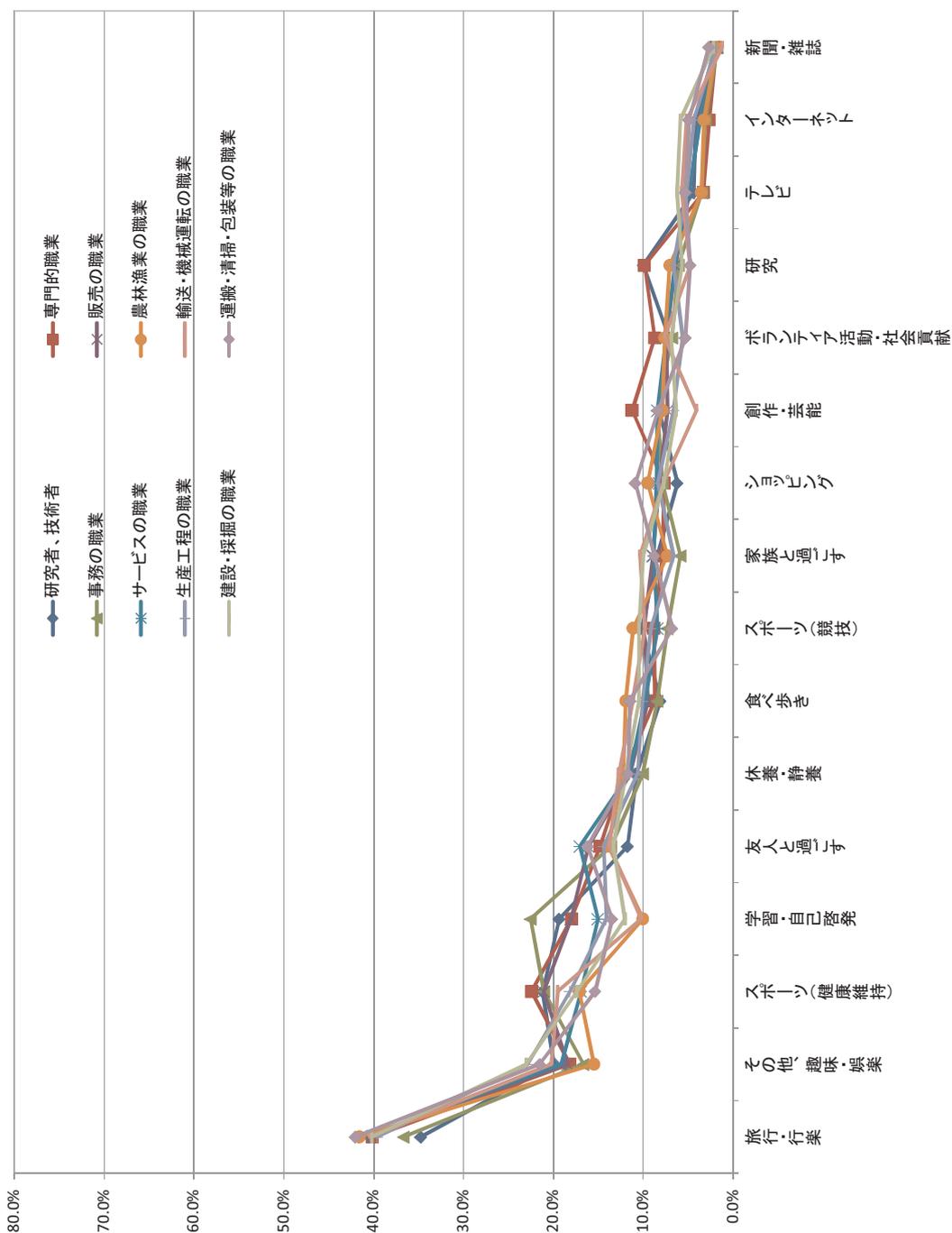
図表 7-13 余暇の過ごし方（職種別、全体で多いもの順）



図表 7-14 余暇にしたいけれどもできていないこと（業種別、全体で多いもの順）



図表 7-15 余暇にしたいけれどもできていないこと（職種別、全体で多いもの順）



7. 余暇の過ごし方の構造

(1) 主成分分析と因子分析による検討

余暇の過ごし方に関する15項目について、主成分分析、因子分析により項目間の関係やどのようにまとめられるかを検討した(図表7-16、図表7-17)。ここでは「している」を1点、「していない」を0点として得点化した変数を用いている。主成分分析では主成分を抽出後、バリマックス回転を行い、因子分析では主因子法で因子を抽出し、プロマックス回転を行った。

主成分分析の結果、第1成分には「食べ歩き」、「旅行・行楽」、「ショッピング」、「友人と過ごす」、「家族と過ごす」が含まれ、第2成分には「テレビ」、「インターネット」、「新聞・雑誌」が含まれた。両者を対比すると、第1成分は「外出」して行う活動、第2成分は「家の中(部屋)」で行う活動と見ることができる。具体的な活動をわかりやすくするため、第1成分は「食べ歩き・旅行・ショッピング」、第2成分は「テレビ・インターネット」と呼ぶことにする。第3成分は「研究」、「学習・自己啓発」、「創作・芸能」、「休養・静養」からなり、第4成分は「スポーツ(競技)」、「スポーツ(健康維持)」、「ボランティア活動・社会貢献」からなっている。これらも両者を対比すると、第3成分は「知的活動」、第4成分は「身体的活動」と考えることができるが、これらについても具体的な活動がわかりやすくなるように、第3成分を「研究・学習」で代表させ、第4成分は「スポーツ」と呼ぶことにする。

因子分析の結果も、ほぼ同様であった。相違点は「休養・静養」が第3因子「研究・学習」ではなく、第1因子「食べ歩き・旅行・ショッピング」に含まれた点のみである。ただし、「休養・静養」の因子負荷量は非常に小さい。主成分分析の結果を使って、以下の分析を進めることとする。

図表 7-16 余暇の過ごし方の主成分分析（主成分抽出、直交回転）

	成分 1	成分 2	成分 3	成分 4
食べ歩き	0.676	0.020	0.055	0.005
旅行・行楽	0.646	0.021	0.121	0.179
ショッピング	0.621	0.302	0.017	-0.051
友人と過ごす	0.607	-0.031	0.132	0.094
家族と過ごす	0.438	0.139	-0.053	-0.001
テレビ	0.131	0.742	-0.127	-0.004
インターネット	0.123	0.683	0.109	-0.077
新聞・雑誌	0.029	0.669	0.101	0.172
研究	-0.007	0.059	0.739	0.061
学習・自己啓発	0.062	0.084	0.682	0.172
創作・芸能	0.111	-0.056	0.577	-0.053
休養・静養	0.287	0.290	0.319	-0.165
スポーツ(競技)	0.053	-0.064	-0.160	0.677
スポーツ(健康維持)	0.134	0.071	0.072	0.632
ボランティア活動・社会貢献	-0.029	0.033	0.241	0.453
負荷量平方和	1.974	1.687	1.610	1.205
分散の %	13.2	11.2	10.7	8.0
累積 %	13.2	24.4	35.1	43.2

図表 7-17 余暇の過ごし方の因子分析（主因子抽出、斜交回転）

	因子 1	因子 2	因子 3	因子 4
食べ歩き	0.569	-0.067	-0.016	-0.013
ショッピング	0.541	0.141	-0.042	-0.090
旅行・行楽	0.522	-0.048	0.029	0.139
友人と過ごす	0.462	-0.062	0.041	0.054
家族と過ごす	0.293	0.064	-0.039	0.000
休養・静養	0.198	0.149	0.186	-0.095
テレビ	-0.010	0.663	-0.138	0.027
インターネット	0.038	0.500	0.071	-0.082
新聞・雑誌	-0.054	0.481	0.072	0.111
研究	-0.064	0.002	0.631	-0.039
学習・自己啓発	-0.011	0.032	0.536	0.073
創作・芸能	0.080	-0.056	0.345	-0.056
スポーツ(健康維持)	0.055	0.072	0.039	0.361
スポーツ(競技)	0.015	-0.008	-0.077	0.307
ボランティア活動・社会貢献	-0.012	0.017	0.144	0.167
負荷量平方和	1.631	1.322	1.122	0.45

因子相関行列

	因子 1	因子 2	因子 3
因子 2	0.474		
因子 3	0.338	0.209	
因子 4	0.223	-0.060	0.237

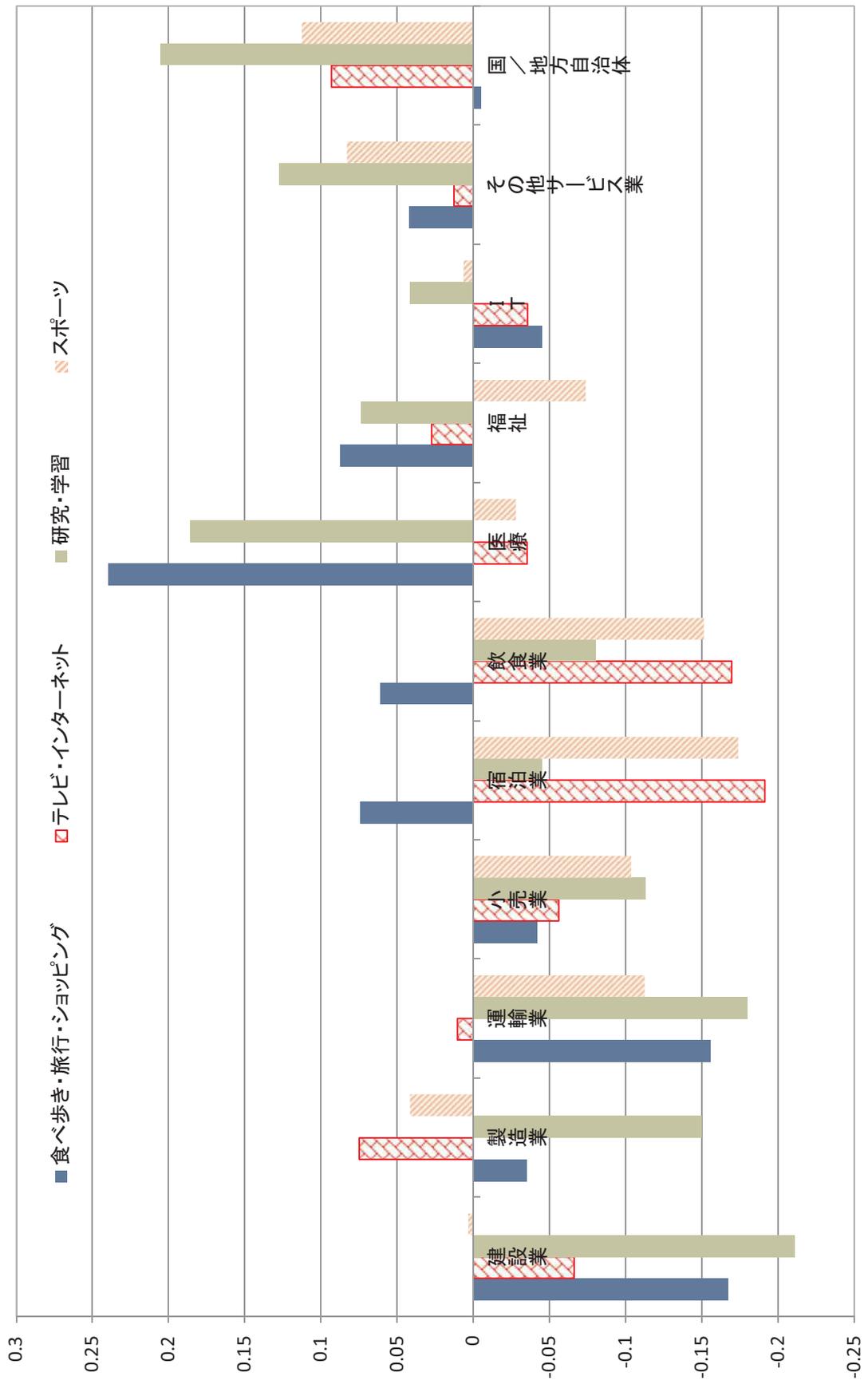
(2) 抽出された要素からみた業界や職業

主成分分析によって検討した余暇の過ごし方に関する4つの成分「食べ歩き・旅行・ショッピング（外出をともなう活動）」、「テレビ・インターネット（家や部屋の中の活動）」、「研究・学習（知的活動）」、「スポーツ（身体的活動）」の成分得点を求め、業種別に平均値を求めて表示したのが図表7-18である。ここでも、成分得点は全体の平均値が0になるため、各業種の平均値は、他の業種と相対的に比較して得点が高いかどうかを示したものである。

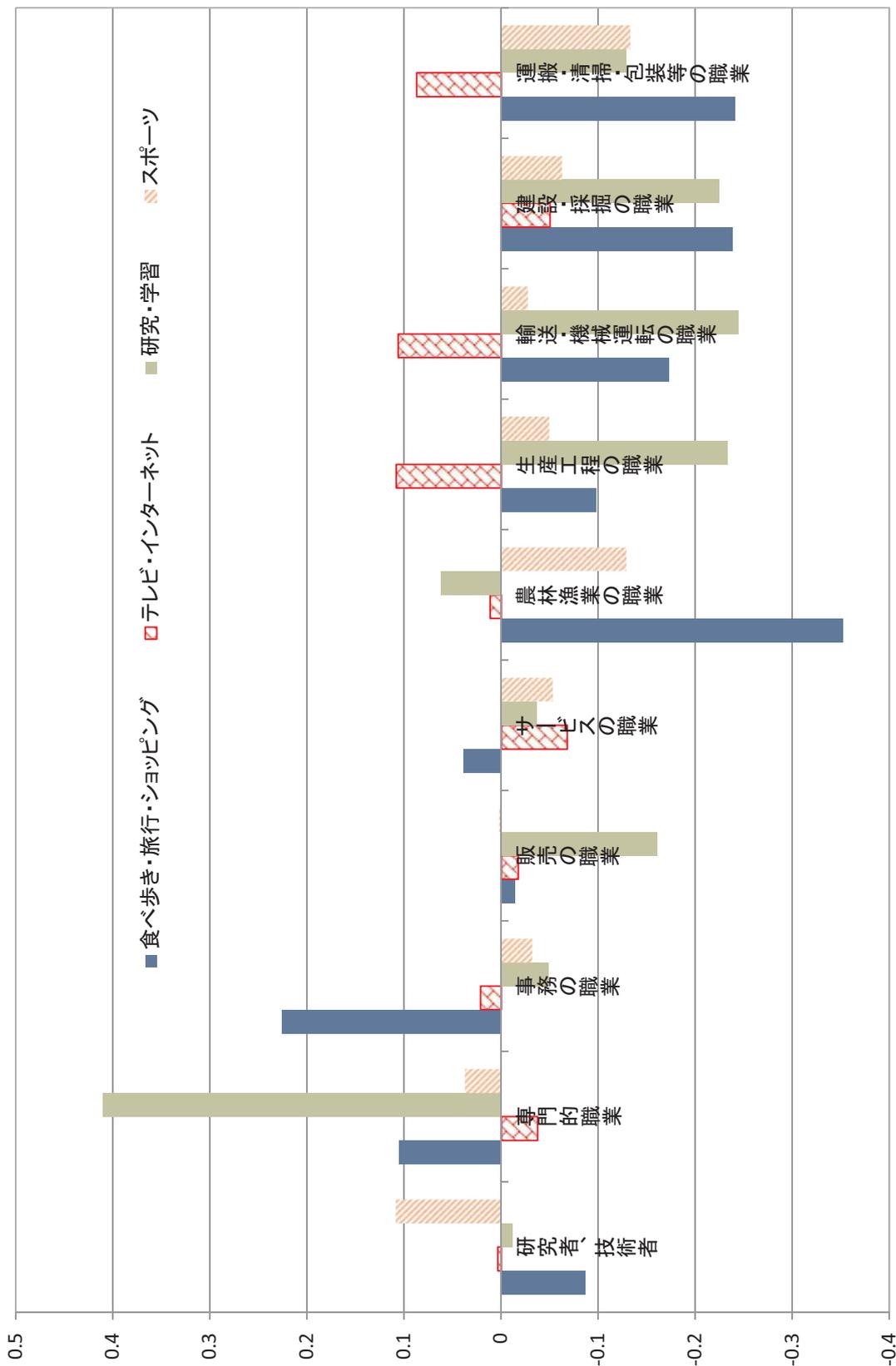
上位・下位3位以内の得点に基づいて、特徴のあるところをみていくと、建設業では「食べ歩き・旅行・ショッピング」、「テレビ・インターネット」、「研究・学習」のいずれも低いが、特に「食べ歩き・旅行・ショッピング」と「研究・学習」が際立って低い点に特徴がみられる。製造業では、他に比べて「テレビ・インターネット」と「スポーツ」が高く、「研究・学習」が低い点の特徴となっている。運輸業では「食べ歩き・旅行・ショッピング」、「研究・学習」、「スポーツ」の3つがいずれも低い点の特徴的である。宿泊業については、「食べ歩き・旅行・ショッピング」が高く、「テレビ・インターネット」と「スポーツ」が低い。飲食業は「テレビ・インターネット」と「スポーツ」が低い点の特徴となっている。医療においては、「食べ歩き・旅行・ショッピング」と「研究・学習」が他に比べて際立っている点の特徴的であり、福祉は「食べ歩き・旅行・ショッピング」と「テレビ・インターネット」が高い。ITは「食べ歩き・旅行・ショッピング」が低い点に特徴がみられ、その他サービス業では「研究・学習」と「スポーツ」が高い。国/地方自治体は、「テレビ・インターネット」、「研究・学習」、「スポーツ」が際立って高く、「その他」の業種を除けばいずれも第1位を占めている点の特徴的である。

同様に3つの成分得点を職種別に集計し、平均値を求めたのが図表7-19である。上位・下位3位以内の得点に基づき、特徴のあるところを見ていく。研究者、技術者では、「スポーツ」が高い点の特徴的であり、また「研究・学習」は平均値が全体平均を下回ってはいるものの、第3位となっている。専門的職業では、「研究・学習」が群を抜いて第1位である点の特徴的であり、また他に比べて「食べ歩き・旅行・ショッピング」と「スポーツ」が高く、「テレビ・インターネット」が低い点にも特徴がみられる。事務の職業は「食べ歩き・旅行・ショッピング」が際立って高く、第1位である点の特徴的であり、販売の職業では、他に比べて「スポーツ」が高い点の特徴となっている。サービスの職業は「食べ歩き・旅行・ショッピング」が高く、「テレビ・インターネット」が低い点に特徴がみられ、農林漁業の職業では「食べ歩き・旅行・ショッピング」が際立って低い点と「研究・学習」が高く、「スポーツ」が低い点の特徴である。生産工程の職業および輸送・機械運転の職業は同様の傾向を示しており、「テレビ・インターネット」が高く、「研究・学習」が低い点の特徴的である。建設・採掘の職業では「食べ歩き・旅行・ショッピング」、「テレビ・インターネット」、「研究・学習」、「スポーツ」のいずれも低い点の特徴的であり、運搬・清掃・包装等の職業では、「食べ歩き・旅行・ショッピング」と「スポーツ」が低く、「テレビ・インターネット」が高い点に特徴がみられる。

図表 7-18 主成分分析の成分からみたら余暇の過ごし方（業種別）



図表 7-19 主成分分析の成分からみた余暇の過ごし方（職種別）



8. 生活の現状や状況、余暇の過ごし方のまとめ

ここでは生活の現状と状況に関する12問と「生活満足」について、また、余暇の過ごし方についてみてきた。生活の現状と状況については、全体としては、それほど無理は生じていないといえる現状や状況を示す回答者が多かった。これを業種別にみると、「土日祭日等、一般的な休日は、自分も休める」、「起床、就寝等は比較的規則正しいといえる」、「三交代制等、勤務時間が通常と異なる」などの項目で違いが大きかった。また、職種別にみた場合は、「土日祭日等、一般的な休日は、自分も休める」、「休日も仕事のことが頭を離れない」、「夜間や深夜の勤務となることがある」などの項目で相違が認められた。

これらを主成分分析と因子分析によって検討した結果、今回扱った12問は「疲れ・心配」、「不規則・夜間勤務」、「休日に呼び出し等」の3つの次元でとらえられることが明らかにされた。これらの3次元からみた場合にも、業種や職業の特徴が明らかとなり、また重回帰分析の結果、生活の現状や状況の3つの次元が生活満足にも関連していることが示された。

次に、余暇の過ごし方について検討を行ったところ、実際に「していること」のうち、「家族と過ごす」、「旅行・行楽」、「学習・自己啓発」で業種による違いが大きいこと、また「家族と過ごす」、「旅行・行楽」、「友人と過ごす」では職種による違いがみられることが示された。余暇の過ごし方は個人の生活意識や価値観などによっても異なると考えられるが、どのような産業分野に所属し、どのような職業に就くかということによっても、一定の違いがみられることが示唆された。

主成分分析と因子分析の結果、余暇の過ごし方に関する15項目からは、4つの次元が抽出された。「食べ歩き・旅行・ショッピング（外出をとまなう活動）」、「テレビ・インターネット（家や部屋の中の活動）」、「研究・学習（知的活動）」、「スポーツ（身体的活動）」の4つである。これらの4次元からみた場合にも、業種や職種の特徴をとらえることが可能であることが示された。

産業や職業に関する情報を収集する際に、なかなか入手しづらいのがライフスタイルやライフキャリアに関する情報である。今回の結果からも明らかのように、産業分野や職業によって、ある程度まで個人のライフスタイルが規定される面がある。ガイダンス場面においては、特定の産業分野や職業に就いた際に、どのようなライフスタイルを取り得るのかという情報も重要である。今回の大規模調査によって、ある程度まで、業界や職業にとまなう生活の現状や状況、余暇の過ごし方の特徴をとらえることができたことは意義深いといえよう。ライフスタイルやライフキャリアに関する情報がどちらかといえばネガティブなものである場合であっても、それは決して業界にとってのマイナスではないと考えられる。むしろ、仕事の特性上避けられない条件である場合には、それを積極的に情報開示し、そのような現実を知った上で、それを上回る魅力を感じる人々がその業界に参入してくるようにつとめるべきではなかろうか。そうすることが、ひいては業界のプラスになるとも考えられよう。

第8章 職業の変化の軸からの検討 —仕事の高度化、対人処理の重要化、成果主義化—

1. 趣旨と目的

ここでは職業の変化の諸相として、仕事の高度化、対人処理の重要化、成果主義化について検討する。職業において、仕事の高度化、対人処理の重要化、成果主義化の傾向が強まっていると言われているが、それがどのように今回の調査に現れているか、職業や産業等のどこに強く現れているか、その中で関連の高い能力は何なのか、3つの変化の内容や影響を探ることを目的とする。

2. 仕事の高度化

(1) 項目の選択と主成分分析・因子分析

まず、今回の調査の中で仕事の高度化が現れていると考えられる設問をピックアップした。第5章の「職業の量的変化と内容面の変化」の中で取り扱った、「現職の変化」の中から関連する10項目である。具体的には、「自分の職業では仕事のテンポ、サイクルが速くなっている(3.42)」、「()内は平均値、以下同様」、「自分の職業では、様々なことをしなくてはならない等仕事の範囲が広がっている(3.74)」、「自分の職業では、仕事が特定の分野に特化、専門化してきている(3.29)」、「自分の職業では以前よりも各人の創意工夫が求められるようになっている(3.44)」、「自分の職業では、より高い専門性や高度なスキルが求められるようになっている(3.61)」、「自分の職業では、仕事をするために、新しいことを学ぶ必要が増えている(3.64)」、「自分の職業では、仕事の変化が早くなりついて行くのが難しくなっている(3.18)」、「自分の職業では経験から得られるカン・コツやノウハウが以前より重要になっている(3.42)」、「自分の職業では後継者不足や技能・ノウハウの伝承が問題になっている(3.25)」、「自分の職業では、IT(PC、情報機器、ネット)の利用活用が重要になっている(3.35)」の10項目である。なお、分析にあたって点数化の方法は第5章と同様である。

この10項目間の相関を図表8-1に示した。これをみると、相関係数の最大は0.727、最小は0.190となり、項目間でも相関のばらつきがかなりあることがわかる。そこで、10項目の中からまとまりを見出すために、主成分分析、因子分析を行った。まず、主成分分析、バリマックス回転を行った結果が図表8-2である。第1成分は「仕事のテンポ・サイクルが速くなっている」や「仕事の範囲が広がっている」といった項目に負荷量が高く、仕事の「テンポ・範囲」に関する成分と解釈した。第2成分は、それに対して仕事の専門性を示す項目に負荷量が高いため、「専門化」に関する成分とした。次に、主因子法、プロマックス回転による因子分析を行うと、こちらでも2つの因子が抽出された(図表8-3)。ただし、「仕事の変化が早くなりついていくのが難しくなっている」や「ITの利用活用が重要になっている」

といった項目が「テンポ・範囲」の因子から外れている点で主成分分析の結果と異なる。なお、因子間の相関は **0.61** と高い。項目数や成分・因子の解釈可能性から、主成分分析の結果を採用し、今後の分析を行う。

図表8-1 仕事の高度化10項目間の相関係数

①自分の職業では仕事のテンポ、サイクルが速くなっている	0.543	0.217	0.302	0.328	0.331	0.358	0.221	0.214	0.289
②自分の職業では、様々なことをしなくてはならない等仕事の範囲が広がっている		0.225	0.378	0.422	0.451	0.371	0.295	0.271	0.318
③自分の職業では、仕事が特定の分野に特化、専門化してきている			0.275	0.416	0.342	0.244	0.265	0.190	0.207
④自分の職業では以前よりも各人の創意工夫が求められるようになってきている				0.567	0.504	0.354	0.373	0.260	0.297
⑤自分の職業では、より高い専門性や高度なスキルが求められるようになってきている					0.727	0.471	0.415	0.317	0.389
⑥自分の職業では、仕事をするために、新しいことを学ぶ必要が増えている						0.536	0.377	0.281	0.436
⑦自分の職業では、仕事の変化が早くなりついて行くのが難しくなっている							0.236	0.287	0.361
⑧自分の職業では経験から得られるカン・コツやノウハウが以前より重要になっている								0.396	0.220
⑨自分の職業では後継者不足や技能・ノウハウの伝承が問題になっている									0.236
⑩自分の職業では、IT(PC、情報機器、ネット)の利用活用が重要になっている									

図表8-2 仕事の高度化の主成分分析（主成分抽出、直交回転）

	成分 1	成分 2
自分の職業では仕事のテンポ・サイクルが速くなっている	0.796	0.022
自分の職業では、様々なことをしなくてはならない等仕事の範囲が広がっている	0.762	0.181
自分の職業では、仕事の変化が早くなりついて行くのが難しくなっている	0.611	0.331
自分の職業では、IT(PC、情報機器、ネット)の利用活用が重要になっている	0.546	0.270
自分の職業では経験から得られるカン・コツやノウハウが以前より重要になっている	0.072	0.747
自分の職業では、より高い専門性や高度なスキルが求められるようになっている	0.471	0.681
自分の職業では後継者不足や技能・ノウハウの伝承が問題になっている	0.114	0.606
自分の職業では、仕事をするために、新しいことを学ぶ必要が増えている	0.557	0.584
自分の職業では以前よりも各人の創意工夫が求められるようになっている	0.397	0.574
自分の職業では、仕事が特定の分野に特化、専門化してきている	0.159	0.557
負荷量平方和	2.62	2.59
分散の%	26.18	25.86
累積%	26.18	52.04

図表8-3 仕事の高度化の因子分析（主因子抽出、斜交回転）

	因子 1	因子 2
自分の職業では、より高い専門性や高度なスキルが求められるようになっている	0.926	-0.104
自分の職業では、仕事をするために、新しいことを学ぶ必要が増えている	0.812	0.006
自分の職業では以前よりも各人の創意工夫が求められるようになっている	0.603	0.056
自分の職業では経験から得られるカン・コツやノウハウが以前より重要になっている	0.501	0.025
自分の職業では、仕事の変化が早くなりついて行くのが難しくなっている	0.453	0.212
自分の職業では、仕事特定の分野に特化、専門化してきている	0.447	0.003
自分の職業では、IT(PC、情報機器、ネット)の利用活用が重要になっている	0.382	0.176
自分の職業では後継者不足や技能・ノウハウの伝承が問題になっている	0.361	0.107
自分の職業では仕事のテンポ・サイクルが速くなっている	-0.059	0.792
自分の職業では、様々なことをしなくてはならない等仕事の範囲が広がっている	0.158	0.619
負荷量平方和	3.51	2.43

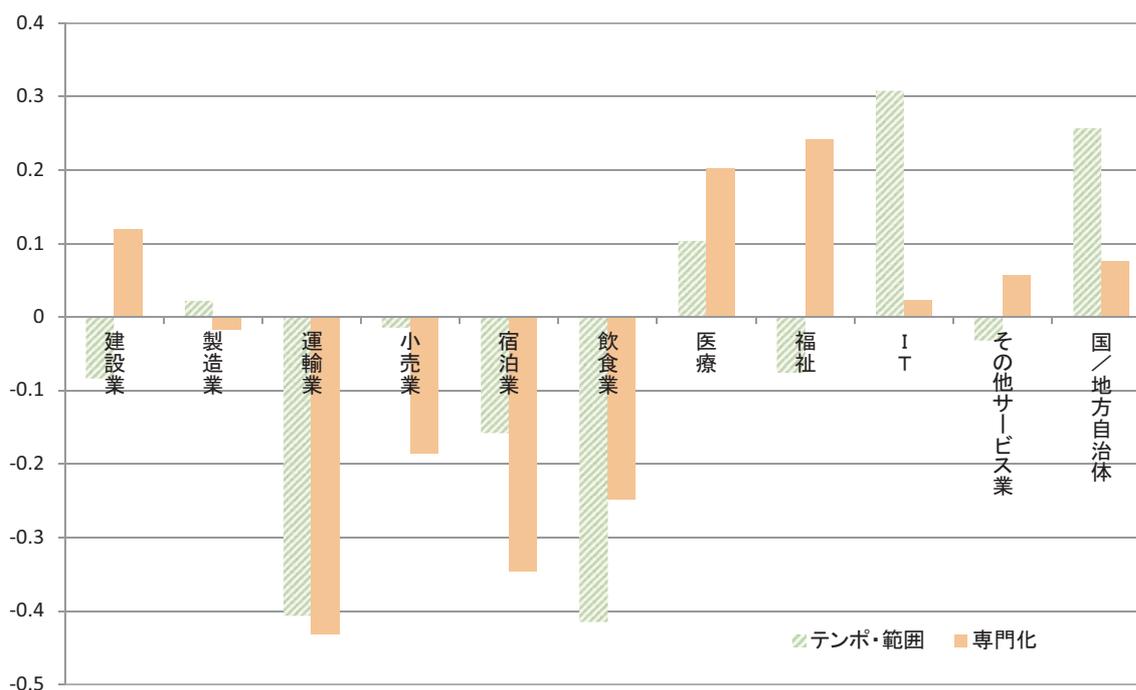
（2）業種別、職種別、職業細分類別にみた仕事の高度化

主成分分析の結果より得られた要素である「テンポ・範囲」、「専門化」の成分得点を求め、業種別に平均値を算出したのが図表 8-4 である。成分得点は全体の平均値が 0 になるため、各業種の平均値は他の業種と相対的に比較して得点が高いかどうかを示したものである。これを見ると、「テンポ・範囲」は IT や国／地方自治体で高く、運輸業や飲食業で低い。「専門化」は、医療や福祉で高くなっており、運輸業や宿泊業で低くなっている。同様にして職種（厚生労働省編職業分類の職業大分類）別に見たのが図表 8-5 である。「テンポ・範囲」は研究者、技術者、専門的職業で高く、農林漁業の職業、輸送・機械運転の職業で低い。「専門化」は専門的職業で高いが、輸送・機械運転の職業、運搬・清掃・包装等の職業で低くなっている。

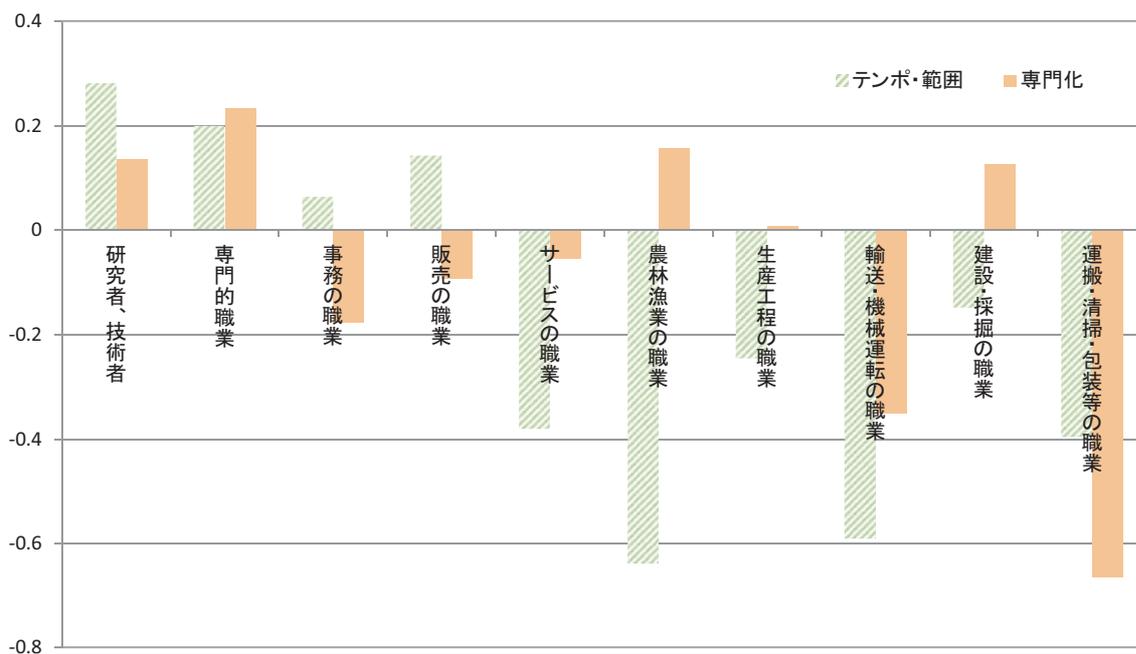
細かい職業（厚生労働省編職業分類の職業細分類）で見ると、上位 5 位は、「テンポ・範囲」では、「医薬情報担当者（MR）、医薬品卸担当者（MS）」、「小学校教員」、「情報

処理プロジェクトマネージャ」、「中学校教員」、「大学教員」であった（職業名順）。「専門化」では、「看護師」、「歯科医師」、「美容師」、「保育士」、「理容師」であった（職業名順）。

図表8-4 主成分分析の成分からみた仕事の高度化（業種別）



図表8-5 主成分分析の成分からみた仕事の高度化（職種別）



(3) 必要な能力等との関連

仕事の高度化と必要な能力等の関係を見るため、主成分分析によって得られた要素である「テンポ・範囲」、「専門化」の成分得点と、第6章で用いた必要な能力等との相関係数を求めた。図表 8-6 にはその上位 20 項目が示してある。「テンポ・範囲」とは「コンピュータスキル」、「情報収集能力」、「学習力・成長力」等との関係が深いことがわかる。近年なお進む情報化が仕事の高度化に影響を与えていると考えることができるだろう。「専門化」とは「学習力・成長力」、「実行力」、「熱心さ」等との相関が高くなっている。同様に最近重要になっている能力等との相関を見たのが図表 8-7 である。「テンポ・範囲」では必要な能力と同じく「コンピュータスキル」ともっとも関係が深く、「ストレスに強いこと」、「管理能力・マネジメント能力」と続く。20 項目のうち 18 項目が必要な能力等と同じ項目であるが、順位は異なっており、「最近重要になっている能力等」の順位の方が、変化の方向を示唆している可能性がある。たとえば、「ストレスに強いこと」の順位が 15 位から 2 位に上がっていることが注目される。「専門化」では同様に「学習力・成長力」との相関が最も高く、「観察力」、「応用力」と続いている。こちらも 20 項目のうち 14 項目が必要な能力等と同じ項目であるが、順位は異なっている。「最近重要になっている能力等」として「観察力」、「応用力」のような客観的能力の順位が高くなっていることが注目される。ただし、最近重要になっている能力等の図表 8-7 は、必要な能力等の図表 8-6 よりも全体に相関係数が低く、変化に関しては回答に幅があることを示している。

図表8-6 主成分分析の成分と必要な能力等の相関係数

テンポ・範囲			専門化		
1	コンピュータスキル	0.284	1	学習力・成長力	0.263
2	情報収集能力	0.256	2	実行力	0.238
3	学習力・成長力	0.251	3	熱心さ	0.231
4	管理能力・マネジメント能力	0.241	4	観察力	0.230
5	交渉力	0.239	5	決断力	0.229
6	説明力	0.238	6	積極性・主体性	0.226
7	計画性	0.231	7	計画性	0.219
8	コミュニケーション能力	0.229	8	前向きな姿勢	0.217
9	積極性・主体性	0.228	9	応用力	0.214
10	指導力・統率力・リーダーシップ	0.227	10	粘り強さ	0.209
11	論理的分析力	0.224	11	先見性	0.209
12	説得力	0.223	12	感性・感覚	0.207
13	企画力	0.217	13	意欲・やる気	0.203
14	実行力	0.216	14	情報収集能力	0.200
15	ストレスに強いこと	0.211	15	信頼できること	0.199
16	決断力	0.198	16	説明力	0.198
17	協調性・チームワーク	0.197	17	人間的な魅力	0.197
18	顧客目線・相手の立場から考えられること	0.197	18	コミュニケーション能力	0.196
19	調査研究能力	0.197	19	説得力	0.196
20	数的処理能力	0.194	20	柔軟性	0.194

図表8-7 主成分分析の成分と最近重要になっている能力等の相関係数

テンポ・範囲			専門化		
1	コンピュータスキル	0.197	1	学習力・成長力	0.163
2	ストレスに強いこと	0.156	2	観察力	0.134
3	管理能力・マネジメント能力	0.156	3	応用力	0.134
4	コミュニケーション能力	0.147	4	コミュニケーション能力	0.133
5	交渉力	0.146	5	説明力	0.129
6	学習力・成長力	0.145	6	説得力	0.129
7	指導力・統率力・リーダーシップ	0.140	7	感性・感覚	0.126
8	情報収集能力	0.138	8	実行力	0.124
9	説明力	0.134	9	積極性・主体性	0.123
10	積極性・主体性	0.129	10	情報収集能力	0.123
11	計画性	0.125	11	健康・医療・ケアの知識・経験	0.119
12	企画力	0.123	12	計画性	0.118
13	説得力	0.120	13	決断力	0.118
14	セキュリティの知識・経験	0.117	14	思いやり・感受性(人の気持ち がわかること)	0.118
15	実行力	0.116	15	対人能力	0.117
16	論理的分析力	0.115	16	指導力・統率力・リーダーシップ	0.116
17	顧客目線・相手の立場から考 えられること	0.114	17	人間的な魅力	0.116
18	協調性・チームワーク	0.113	18	交渉力	0.115
19	法律の知識・経験	0.112	19	熱心さ	0.114
20	数的処理能力	0.107	20	顧客目線・相手の立場から考 えられること	0.113

(4) 生活面との関連

仕事の高度化と生活面の関係を見るため、第7章で用いた生活面の設問の結果と他いくつかの設問の結果を用い、主成分分析で得られた成分得点との相関を求めた(図表8-8)。生活面からは、Q6S1の現在の生活についての12問と、第7章にて主成分分析で得られた「疲れ・心配」、「不規則・夜間勤務」、「休日に呼び出し等」の要素の成分得点、Q6S3にて生活満足度として得られた数値を10段階にした「生活満足(10段階)」を用いた。その他に、Q9の「就業時間」とQ10の「残業」を用いた。生活面の点数化の仕方は第7章と同様である。「就業時間」については、「朝始まり夕刻まででほぼ毎日同じ」を1点、「三交代等いくつかのパターンがある」を2点、「不定期に夜勤がある等日々変化」を3点とし、不規則であるほど点数が高くなるようにした。「残業」については、「ほぼ定時に帰れる」を1点、「たまに残業等がある」を2点、「毎日のように残業等がある」を3点とし、残業があるほど高い点数となるようにした。

「テンポ・範囲」では「休日も仕事のことが頭を離れない」、「最近(ここ1、2年)、疲れている」、「疲れ・心配」、「残業」との関係が見られる。これに対し、「専門化」ではあまり関連が見られないといった特徴がある。図表では目安として0.2以上の相関に網掛けをしている。

図表8-8 仕事の高度化と生活面の関係(相関係数)

	テンポ・範囲	専門化
休日は趣味や自分のしたいことができる	-0.056	0.018
土日祭日等、一般的な休日は、自分も休める	0.036	0.025
休日も急に仕事で呼び出されることが月に何回もある	0.084	0.086
休日も仕事のことが頭を離れない	0.245	0.181
起床、就寝等は比較的規則正しいといえる	-0.028	0.045
最近(ここ1、2年)、生活時間が不規則になっている	0.105	0.052
夜間や深夜の勤務となることがある	0.097	0.030
三交代制等、勤務時間が通常と異なる	0.034	0.015
最近(ここ1、2年)、心や気持ちの面で心配が多い	0.194	0.099
最近(ここ1、2年)、体の健康面で心配が多い	0.166	0.100
最近(ここ1、2年)、疲れている	0.216	0.108
最近(ここ1、2年)、睡眠時間が短い	0.180	0.075
疲れ・心配	0.232	0.125
不規則・夜間勤務	-0.008	-0.047
休日に呼び出し等	0.101	0.085
生活満足(10段階)	-0.021	0.065
就業時間	-0.005	-0.022
残業	0.276	0.080

3. 対人処理の重要化

(1) 項目の選択と主成分分析・因子分析

まず、今回の調査の中で対人処理の重要化が現れていると考えられる設問をピックアップした。具体的には、第5章の「職業の量的変化と内容面の変化」の中で取り扱った、「現職の変化」の中から関連する「自分の職業では、関係者とチームで働くことが多くなっている(2.98)」、「()内は平均値、以下同様」、「自分の職業では、関係者とチームで働くことが重要になっている(3.06)」、「自分の職業では、同業他社や関係者との情報交換が重要になっている(3.23)」、「自分の職業では、人脈を広げることが仕事をする上で重要になっている(3.27)」、「自分の職業では、顧客との関係で神経を使うことが多くなっている(3.49)」、「自分の職業では、顧客との間でトラブル処理が重要になっている(3.31)」の6項目と、第4章の「仕事の現状や状況」の中で取り扱った「顧客との関係で気を使うことが多い(3.54)」という項目の計7項目である。分析にあたっての点数化はそれぞれの章と同様である。

この7項目間の相関を図表 8-9 に示した。相関係数の最大は 0.903、最小は 0.136 となっており、仕事の高度化と同様かなりのばらつきがある。これらの項目で行った主成分分析、バリマックス回転の結果を図表 8-10 に示した。第1成分は、顧客との関係やトラブルに関わる項目の負荷量が高く、「対顧客」に関する成分と解釈できる。第2成分は、チームで働くことに関わる項目の負荷量が高く、「チーム」に関する成分であると解釈できる。次に、主因子法、プロマックス回転による因子分析の結果を図表 8-11 に示す。結果は主成分分析の時とほぼ変わらないが、「自分の職業では、同業他社や関係者との情報交換が重要になっている」の項目が「チーム」よりも「対顧客」の因子で負荷量が高くなっている点が異なる。因子間の相関は 0.36 となり、さほど高くはない。項目数や成分・因子の解釈可能性から、主成分分析の結果を元に、今後の分析を行う。

図表8-9 対人処理の重要化7項目間の相関係数

①自分の職業では、関係者とチームで働くことが多くなっている	0.903	0.400	0.315	0.236	0.227	0.136
②自分の職業では、関係者とチームで働くことが重要になっている		0.425	0.336	0.259	0.248	0.153
③自分の職業では、同業他社や関係者との情報交換が重要になっている			0.643	0.410	0.358	0.258
④自分の職業では、同業他社や関係者との情報交換が重要になっている				0.482	0.400	0.315
⑤自分の職業では、人脈を広げることが仕事をする上で重要になっている					0.739	0.661
⑥自分の職業では、顧客との関係で神経を使うことが多くなっている						0.578
⑦顧客との関係で気を使うことが多い						

図表8-10 対人処理の重要化の主成分分析結果（主成分抽出、直交回転）

	成分 1	成分 2
自分の職業では、顧客との関係で神経を使うが多くなっている	0.888	0.167
自分の職業では、顧客との間でトラブル処理が重要になっている	0.839	0.146
顧客との関係で気を使うことが多い	0.817	0.009
自分の職業では、人脈を広げることが仕事をする上で重要になっている	0.555	0.459
自分の職業では、関係者とチームで働くことが重要になっている	0.078	0.935
自分の職業では、関係者とチームで働くが多くなっている	0.050	0.932
自分の職業では、同業他社や関係者との情報交換が重要になっている	0.449	0.581
負荷量平方和	2.68	2.34
分散の%	38.28	33.42
累積%	38.28	71.70

図表8-11 対人処理の重要化の因子分析結果（主因子抽出、斜交回転）

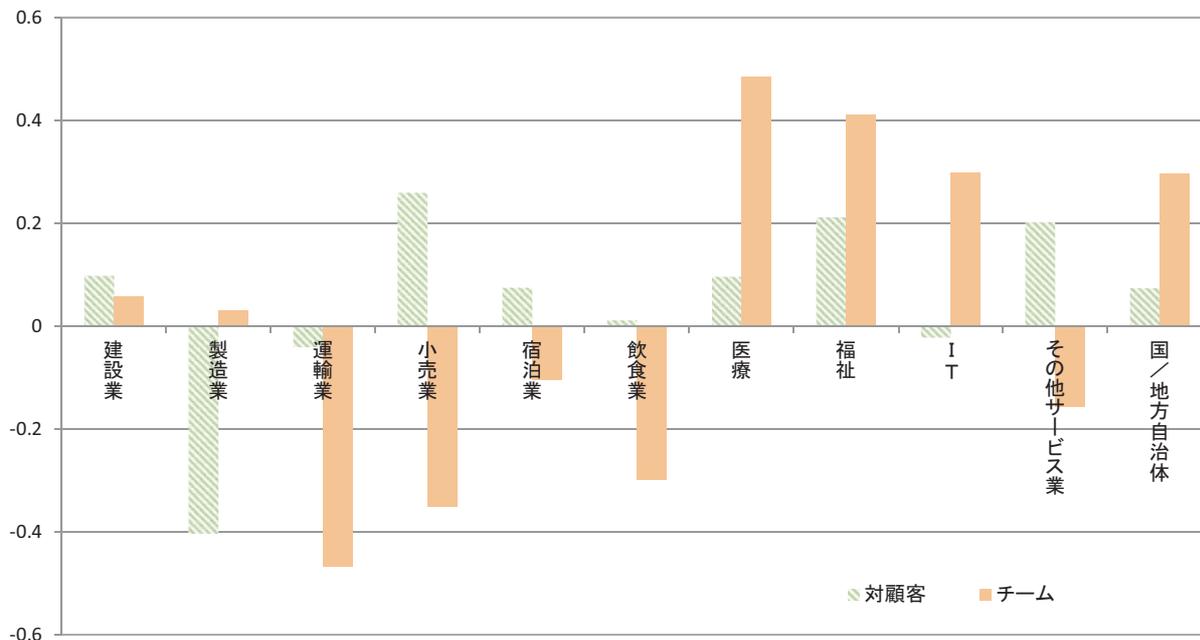
	因子 1	因子 2
自分の職業では、顧客との関係で神経を使うが多くなっている	0.930	-0.046
自分の職業では、顧客との間でトラブル処理が重要になっている	0.794	-0.016
顧客との関係で気を使うことが多い	0.721	-0.096
自分の職業では、人脈を広げることが仕事をする上で重要になっている	0.481	0.256
自分の職業では、同業他社や関係者との情報交換が重要になっている	0.388	0.364
自分の職業では、関係者とチームで働くことが重要になっている	-0.034	0.957
自分の職業では、関係者とチームで働くが多くなっている	-0.054	0.937
負荷量平方和	2.70	2.35

（2）業種別、職種別、職業細分類別にみた対人処理の重要化

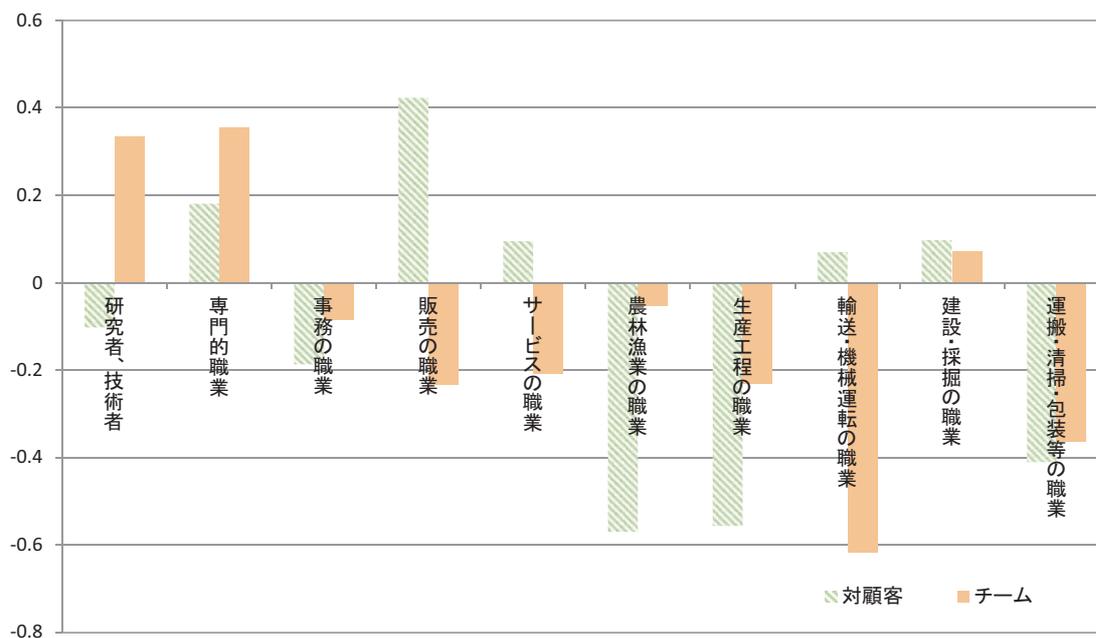
主成分分析で得られた要素である「対顧客」、「チーム」の成分得点を求め、業種別に平均値を求めたのが図表 8-12 である。図表を見る上での留意点は、図表 8-4、図表 8-5 と同様である。「対顧客」は小売業、福祉、その他サービス業で高くなっているのに比べて、製造業では低い。「チーム」では、医療や福祉、IT、国／地方自治体で高く、運輸、小売、飲食業で低くなっている。同様にして職種別に平均値を求めたのが図表 8-13 である。「対顧客」は販売の職業で高く、農林漁業の職業、生産工程の職業で低い。「チーム」は研究者、技術者、専門的職業で高く、輸送・機械運転の職業で低くなっている。

職業細分類で見ると、上位 5 位は、「対顧客」では「医薬情報担当者（MR）、医薬品卸販売担当者（MS）」、「介護支援専門員（ケアマネージャー）」、「中学校教員」、「保険営業員」、「保険代理人」となっている（職業名順）。「チーム」では、「医療ソーシャルワーカー（MSW、PSW）」、「管理栄養士」、「作業療法士」、「特別支援学校教員」、「理学療法士」となっており（職業名順）、医療や福祉関連の職業が上位を占めている。

図表8-12 主成分分析の成分からみた対人処理の重要化（業種別）



図表8-13 主成分分析の成分からみた対人処理の重要化（職種別）



(3) 必要な能力等との関連

対人処理の重要化と必要な能力等の関係を見るため、主成分分析によって得られた「対顧客」、「チーム」の成分得点と、第6章で用いた必要な能力等との相関係数を求め、上位20位までを示したのが図表8-14である。「対顧客」では、「対人能力」や「コミュニケーション能力」、「顧客目線・相手の立場から考えられること」等、対人関係に関連する能力との相関が高い。「チーム」では、「協調性・チームワーク」との相関が最も高く、次いで「指導力・統率力・リーダーシップ」、「管理能力・マネジメント能力」となっている。同様にして最近重要になっている能力等との相関を見たのが図表8-15である。「対顧客」では、計17項目が必要な能力等と同じ項目であり、「コミュニケーション能力」、「顧客目線・相手の立場から考えられること」、「対人能力」が上位3つを占めている点も同じであるが、「ストレスに強いこと」の順位が上がっていることが注目される。「チーム」は、「協調性・チームワーク」が最も相関が高く、「コミュニケーション能力」、「指導力・統率力・リーダーシップ」と続き、計17項目が必要な能力等と同じ項目となっている。ただし、最近重要になっている能力等の図表8-15は、必要な能力等の図表8-14よりも全体に相関係数が低く、変化に関しては回答に幅があることを示している。

図表8-14 主成分分析の成分と必要な能力等の相関係数

対顧客			チーム		
1	対人能力	0.321	1	協調性・チームワーク	0.270
2	コミュニケーション能力	0.302	2	指導力・統率力・リーダーシップ	0.218
3	顧客目線・相手の立場から考えられること	0.301	3	管理能力・マネジメント能力	0.205
4	交渉力	0.294	4	論理的分析力	0.204
5	身だしなみ	0.292	5	計画性	0.191
6	人当たりの良さ	0.291	6	学習力・成長力	0.191
7	第一印象	0.289	7	情報収集能力	0.186
8	社交性	0.288	8	調査研究能力	0.174
9	清潔感	0.284	9	団体規律	0.173
10	説明力	0.277	10	実行力	0.172
11	ストレスに強いこと	0.276	11	健康・医療・ケアの知識・経験	0.172
12	説得力	0.271	12	積極性・主体性	0.171
13	人に好かれること	0.269	13	説明力	0.170
14	人脈	0.268	14	コミュニケーション能力	0.169
15	マナー	0.264	15	決断力	0.165
16	気配り	0.263	16	説得力	0.165
17	販売の知識・経験	0.261	17	企画力	0.162
18	人間的な魅力	0.260	18	先見性	0.156
19	社会常識	0.252	19	交渉力	0.150
20	思いやり・感受性(人の気持ちがわかること)	0.248	20	コンピュータスキル	0.149

図表8-15 主成分分析の成分と最近重要になっている能力等の相関係数

対顧客			チーム		
1	コミュニケーション能力	0.187	1	協調性・チームワーク	0.170
2	顧客目線・相手の立場から考えられること	0.183	2	コミュニケーション能力	0.133
3	対人能力	0.182	3	指導力・統率力・リーダーシップ	0.132
4	ストレスに強いこと	0.181	4	管理能力・マネジメント能力	0.130
5	交渉力	0.171	5	健康・医療・ケアの知識・経験	0.119
6	説明力	0.158	6	論理的分析力	0.101
7	販売の知識・経験	0.157	7	積極性・主体性	0.096
8	説得力	0.152	8	説明力	0.094
9	マナー	0.149	9	国際感覚	0.092
10	人脈	0.141	10	計画性	0.090
11	人当たりの良さ	0.138	11	交渉力	0.088
12	身だしなみ	0.136	12	説得力	0.087
13	気配り	0.134	13	学習力・成長力	0.085
14	思いやり・感受性(人の気持ちがわかること)	0.133	14	実行力	0.084
15	人間的な魅力	0.133	15	情報収集能力	0.083
16	社交性	0.133	16	企画力	0.083
17	コンピュータスキル	0.132	17	法律の知識・経験	0.080
18	情報収集能力	0.132	18	対人能力	0.079
19	法律の知識・経験	0.132	19	調査研究能力	0.078
20	第一印象	0.132	20	コンピュータスキル	0.076

(4) 生活面との関連

仕事の高度化と同様に、対人処理の重要化と生活面の相関を求めたのが図表 8-16 である。用いた項目、点数化の方法は仕事の高度化の時と同様である。「対顧客」では、「休日も仕事のことが頭を離れない」、「最近(ここ1、2年)、心や気持ちの面で心配が多い」、「最近(ここ1、2年)、疲れている」、「疲れ・心配」との相関が比較的が高い。一方「チーム」ではあまり高い相関が見られないといった特徴が表れている。図表では目安として 0.2 以上の相関に網掛けをしている。

図表8-16 対人処理の重要化と生活面の関係（相関係数）

	対顧客	チーム
休日は趣味や自分のしたいことができる	-0.058	-0.002
土日祭日等、一般的な休日は、自分も休める	-0.117	0.093
休日にも急に仕事で呼び出されることが月に何回もある	0.177	0.068
休日にも仕事のことが頭を離れない	0.273	0.131
起床、就寝等は比較的規則正しいといえる	-0.037	0.018
最近(ここ1、2年)、生活時間が不規則になっている	0.127	0.062
夜間や深夜の勤務となることがある	0.077	0.079
三交代制等、勤務時間が通常と異なる	0.100	0.033
最近(ここ1、2年)、心や気持ちの面で心配が多い	0.226	0.048
最近(ここ1、2年)、体の健康面で心配が多い	0.195	0.042
最近(ここ1、2年)、疲れている	0.212	0.055
最近(ここ1、2年)、睡眠時間が短い	0.152	0.063
疲れ・心配	0.216	0.068
不規則・夜間勤務	0.011	0.005
休日に呼び出し等	0.198	0.046
生活満足(10段階)	-0.058	0.085
就業時間	0.053	-0.030
残業	0.139	0.147

4. 成果主義化

(1) 項目の選択と主成分分析・因子分析

今回の調査の中から成果主義化が表れていると考えられる設問をピックアップした。第5章の「職業の量的変化と内容面の変化」で扱った、「現職の変化」の中から関連する4項目である。具体的には、「自分の職業では、評価が行われ、それが給与や報酬に反映されるようになった(2.85)」、「()内は平均値、以下同様」、「自分の職業では、評価が以前よりも厳しくなっている(3.24)」、「自分の職業では、成果を数字で求められるようになった(3.14)」、「自分の職業では、より短期間で成果を求められるようになった(3.19)」の4項目である。分析にあたっての得点化の方法は他のものと同様である。

これら4項目間の相関を図表8-17に示した。相関係数の最大は0.724、最小は0.370である。仕事の高度化や対人処理の重要化と同じように、主成分分析や因子分析を行った結果が図表8-18、図表8-19である。主成分分析においても主因子法の因子分析においても、成果主義化の4項目は一つの成分・因子となった。これまでと同様に主成分分析の結果を用いて今後の分析を行う。

図表8-17 成果主義化4項目間の相関係数

	② ①よりも 自分の職業では、 評価が以前より 厳しくなっている	③ ①よりも 自分の職業では、 成果を数字で 求められるようになった	④ ①よりも 自分の職業では、 より短期間で 成果を求められるようになった
① ① ① ① 自分の職業では、 評価が行われ、 それが給与や報酬に 反映されるようになった	0.431	0.444	0.370
② ② ② ② 自分の職業では、 評価が以前より 厳しくなっている		0.593	0.580
③ ③ ③ ③ 自分の職業では、 成果を数字で 求められるようになった			0.724

図表8-18 成果主義化の主成分分析結果（主成分抽出）

	成分 1
自分の職業では、成果を数字で求められるようになった	0.875
自分の職業では、より短期間で成果を求められるようになった	0.849
自分の職業では、評価が以前よりも厳しくなっている	0.815
自分の職業では、評価が行われ、それが給与や報酬に反映されるようになった	0.663
負荷量平方和	2.59
分散の%	64.79

図表8-19 成果主義化の因子分析結果（主因子抽出）

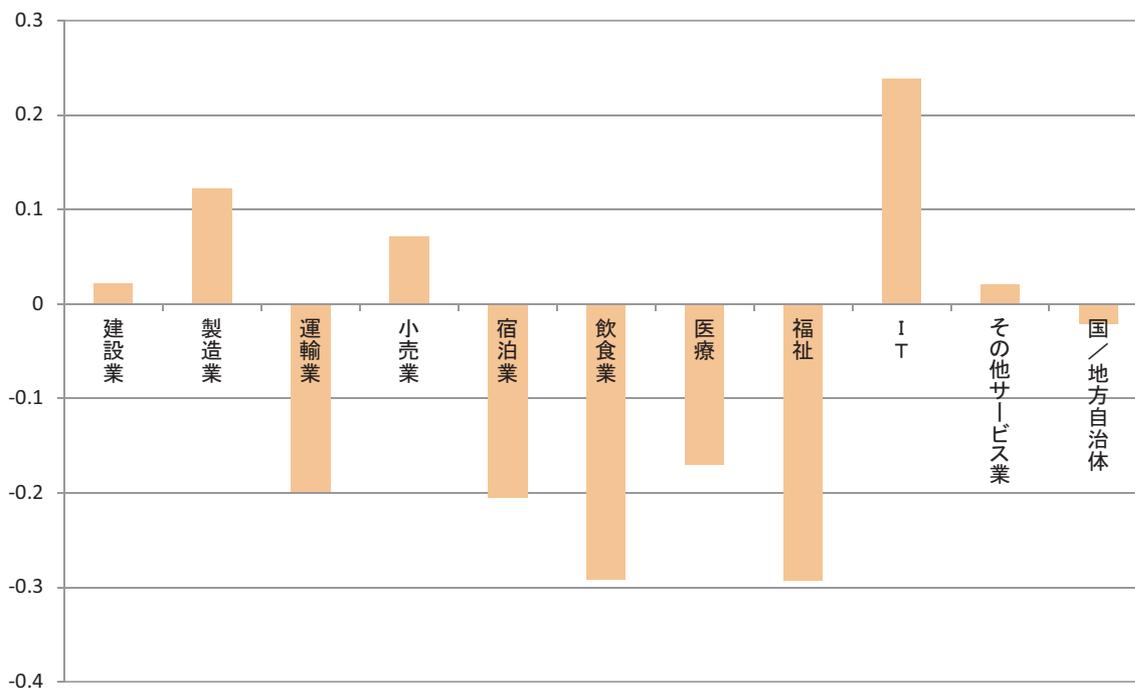
	因子 1
自分の職業では、成果を数字で求められるようになった	0.861
自分の職業では、より短期間で成果を求められるようになった	0.805
自分の職業では、評価が以前よりも厳しくなっている	0.725
自分の職業では、評価が行われ、それが給与や報酬に反映されるようになった	0.519
負荷量平方和	2.18

（２）業種別、職種別、職業細分類別にみた成果主義化

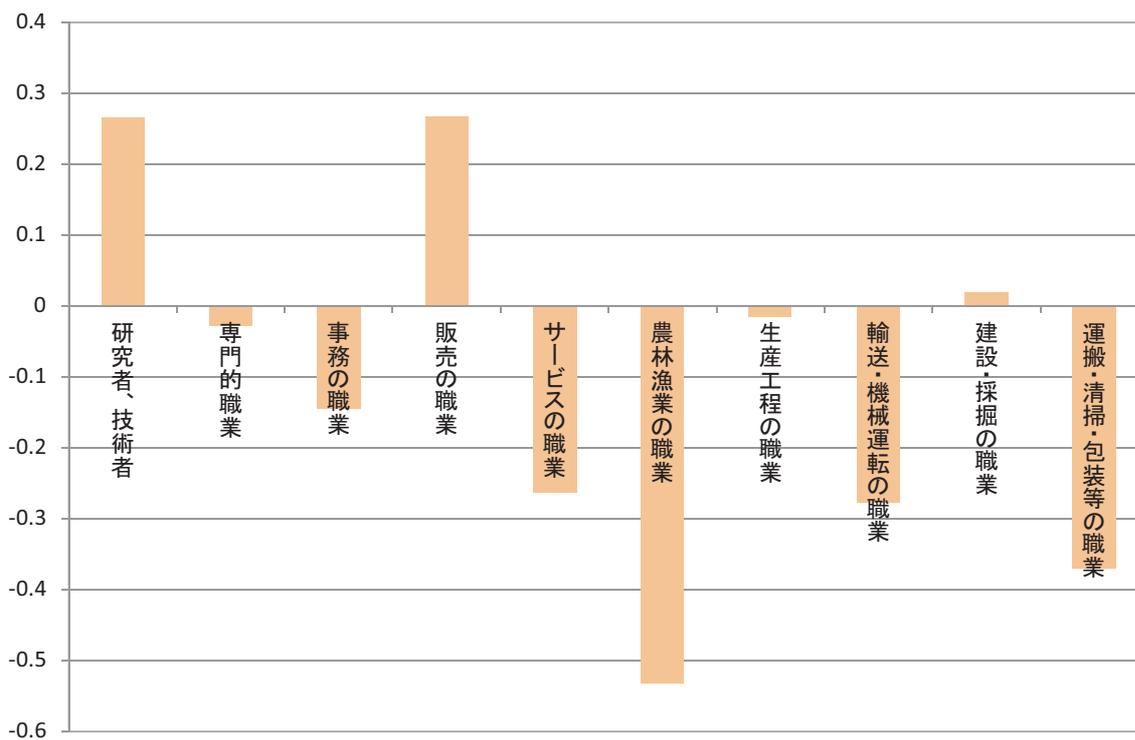
成果主義化の成分得点を業種別に平均して求めたのが図表 8-20 である。図表を見る上での留意点は図表 8-4、図表 8-5 と同様である。成果主義化は IT や製造業で高く、飲食業や福祉で低くなっていることがわかる。同様にして、職種別に平均を求めたのが図表 8-21 である。研究者、技術者や販売の職業で高くなっており、農林漁業の職業や運搬・清掃・包装等の職業では低くなっている。

職業細分類別に成分得点を平均し、上位 5 位までを見ると、「医薬情報担当者（MR）」、「医薬品卸販売担当者（MS）」、「医療機器販売業営業員」、「銀行等渉外係」、「情報プロジェクトマネージャ」、「保険営業員」となっている（職業名順）。

図表8-20 主成分分析の成分からみた成果主義化（業種別）



図表8-21 主成分分析の成分からみた成果主義化（職種別）



(3) 必要な能力等との関連

成果主義化と必要な能力等、最近重要になっている能力等の相関を示したのが図表 8-22 である。必要な能力等では、「交渉力」、「管理能力・マネジメント能力」、「指導力・統率力・リーダーシップ」の順にやや高い相関となっている。その後は「説得力」、「説明力」と続く。最近重要になっている能力等でも、必要な能力等で上位を占めた3つが上位になっているが、その後は「積極性・主体性」、「ストレスに強いこと」のようなメンタル面の順位が上がっていることが注目される。順位は違うが 20 項目中 16 項目が共通している。

図表8-22 成果主義化と必要な能力等（左）、
最近重要になっている能力等（右）との相関係数

成果主義化			成果主義化		
1	交渉力	0.242	1	管理能力・マネジメント能力	0.160
2	管理能力・マネジメント能力	0.230	2	交渉力	0.152
3	指導力・統率力・リーダーシップ	0.222	3	指導力・統率力・リーダーシップ	0.148
4	説得力	0.216	4	積極性・主体性	0.144
5	説明力	0.208	5	ストレスに強いこと	0.137
6	実行力	0.199	6	実行力	0.130
7	積極性・主体性	0.197	7	計画性	0.128
8	計画性	0.197	8	説得力	0.126
9	情報収集能力	0.197	9	説明力	0.117
10	企画力	0.193	10	学習力・成長力	0.116
11	論理的分析力	0.192	11	企画力	0.110
12	決断力	0.184	12	コミュニケーション能力	0.108
13	ストレスに強いこと	0.181	13	顧客目線・相手の立場から考えられること	0.106
14	先見性	0.178	14	コンピュータスキル	0.105
15	学習力・成長力	0.178	15	販売の知識・経験	0.105
16	数的処理能力	0.176	16	先見性	0.103
17	人脈	0.175	17	決断力	0.103
18	顧客目線・相手の立場から考えられること	0.174	18	前向きな姿勢	0.102
19	産業やビジネスの知識・経験	0.172	19	情報収集能力	0.102
20	調査研究能力	0.170	20	論理的分析力	0.101

(4) 生活面との関連

仕事の高度化や対人処理の重要化と同様に、成果主義化と生活面の相関を求めたのが図表 8-23 である。これを見ると、成果主義化とある程度の相関（0.2 以上）を持つ項目は多く、「休日も仕事のことが頭を離れない」、「最近（ここ 1、2 年）、心や気持ちの面で心配が多い」、「最近（ここ 1、2 年）、体の健康面で心配が多い」、「最近（ここ 1、2 年）、

「疲れている」、「最近（ここ1、2年）、睡眠時間が短い」、「疲れ・心配」、「残業」の7項目である。成果主義化は特に心身の健康など生活面と関連が深いことがうかがえる。図表では目安として0.2以上の相関に網掛けをしている。

図表8-23 成果主義化と生活面との関係（相関係数）

	成果主義化
休日は趣味や自分のしたいことができる	-0.092
土日祭日等、一般的な休日は、自分も休める	-0.013
休日にも急に仕事で呼び出されることが月に何回もある	0.164
休日にも仕事のことが頭を離れない	0.277
起床、就寝等は比較的規則正しいといえる	-0.066
最近（ここ1、2年）、生活時間が不規則になっている	0.171
夜間や深夜の勤務となることがある	0.144
三交代制等、勤務時間が通常と異なる	0.093
最近（ここ1、2年）、心や気持ちの面で心配が多い	0.239
最近（ここ1、2年）、体の健康面で心配が多い	0.208
最近（ここ1、2年）、疲れている	0.223
最近（ここ1、2年）、睡眠時間が短い	0.214
疲れ・心配	0.250
不規則・夜間勤務	0.046
休日に呼び出し等	0.160
生活満足(10段階)	-0.069
就業時間	0.000
残業	0.252

5. 職業の変化のまとめ

ここでは職業の変化の諸相として、仕事の高度化、対人処理の重要化、成果主義化についてみてきた。

仕事の高度化では、主成分分析の結果から「テンポ・範囲」、「専門化」という要素が抽出された。成分得点を業種別に見ると、「テンポ・範囲」ではITや国／地方自治体が高く、「専門化」では医療や福祉で高いことがわかった。職業細分類では「テンポ・範囲」は教員が高く、「専門化」は理容師、美容師や医療関係で高くなっていた。必要な能力等との関連では、「テンポ・範囲」はコンピュータスキルや情報収集能力と相関が高く、情報化に伴うコンピュータスキル等の重要性と仕事の高度化との関係がうかがえる。「専門化」は学習力・成長力との相関が高い。生活面との関連では、疲れや心配等に関連する項目や残業との相関が見られることがわかった。

対人処理の重要化では、主成分分析の結果から「対顧客」、「チーム」という要素が抽出された。成分得点を業種別に見ると、「対顧客」は小売業で高く、「チーム」は医療や福祉、ITや国／地方自治体で高いことがわかった。職種別では、販売の職業で「対顧客」が高く、研究者、技術者や専門的職業で「チーム」が高くなっている。職業細分類では、「対顧客」は保険や医療関係で高くなっており、「チーム」は医療や福祉関係の職業で高いことがわかった。必要な能力等との関連では、「対顧客」は対人能力やコミュニケーション能力、顧客目線・相手の立場から考えられることとの相関が高く、「チーム」は協調性・チームワーク、指導力・統率力・リーダーシップ、管理能力・マネジメント能力等との相関が高い。生活面との関連では、疲れや心配に関する項目との相関が見られることがわかった。

成果主義化では、主成分分析の結果から一つの要素としてまとまった。成分得点を業種別に見ると、ITや製造業で高くなっていた。職種別に見ると、販売の職業や研究者、技術者で高い。職業細分類では、営業関係の職業が上位に多かった。必要な能力等との関連では、交渉力や管理能力・マネジメント能力との相関が高い。生活面との関連では、疲れや心配に関する多くの項目と、残業との相関が見られた。

全体としてみると、それぞれの変化ごとに変化の程度の大きな職業が抽出できた。また、これらの変化にしたがって必要とされる能力等も抽出できた。このとき、特に注目されるのは、仕事の高度化のうち「テンポ・範囲」、対人処理の重要化のうち「対顧客」、および成果主義化において、「最近重要になっている能力等」で「ストレスに強いこと」の順位が大きく上がり、上位となることである。これらの変化と生活面で疲れや心配に関する項目との相関も見られ、「テンポ・範囲」、「対顧客」、成果主義化が生活面にも影響していると考えられる結果であった。

第9章 職業相談・職業紹介における活用のための一定条件の下での職業の抽出と職業プロフィールの記述（予備的作業）

1. 趣旨と目的

これまでの章では、調査対象とした全職業について、現状や変化、能力、生活と余暇等の傾向等を分析してきた。本章では、職業相談・職業紹介での活用を想定して、個別の職業に焦点を当ててそのプロフィールを描くことを目的とする。ただし、あくまで本調査の結果に基づくものであるため、一般的なプロフィール作成のための予備的作業という位置づけである。

厚生労働省と当機構における職業研究及び職業ガイダンスツール開発では、キャリアマトリックス（2011年廃止）において Web を用いた調査結果を数値データとして提供していた。職業興味、ワークスタイル、スキルから、自分に向けた職業を探索する機能もあった。キャリアマトリックスは現在廃止されているが、本章では数値データを用いると、様々な角度から職業を分析でき、適職探索にも結びつくことの一例を示したい。

本章では、実際の職業相談・職業紹介でのニーズが高そうなケースとして、昨今社会的議論となっている若年者雇用問題に着目し、「20代半ば位の男性で、学校卒業時に就職活動に苦戦しアルバイト就業を継続しているが、将来の結婚も見据えて職業を変えたい」という大まかな求職者の一類型を想定し、当該類型の求職者に提供するための職業情報を抽出することを試みる。

2. 分析の視点

本調査では、職業の従事者に職業の満足度や継続希望（具体的には「現在の職業面の満足度（0～100点）」、「現在の職業をずっと続けていきたいと思う（Yes～Noの5段階評価）」）を尋ねており、職業相談・職業紹介に際して提供する情報としても重要な指標であると考えられる。2つの設問について、評価の高い方から20職業を取り出すと、図表9-1のようになる（職業の単位には、第2章の2で説明した集約200職業を用い、回収数が50名以上の192職業を分析対象とした）。

また、職業満足度や継続希望に影響を与える指標として、職業の充実感・達成感、社会貢献意識、年収の安定感に注目する。具体的には「仕事に充実感や達成感を感じられる（Yes～Noの5段階評価）」、「仕事は社会に役立っていると感じる（Yes～Noの5段階評価）」、「自分の職業では年収はおおよそ安定している（Yes～Noの5段階評価）」の設問を用いる。3つの設問について、評価の高い方から20職業を取り出すと、図表9-2のようになる。

図表 9-1 職業満足度、継続希望の上位 20 職業

職業満足度	継続希望
医師	音楽家
大学教員	イラストレーター
経営コンサルタント	医師
理学療法士	大学教員
カウンセラー（学校・職場）	理学療法士
作業療法士	美容師（見習い含む）
特別支援学校教員	特別支援学校教員
音楽家	写真家（助手含む）
幼稚園教員	高等学校教員
高等学校教員	臨床心理士（病院）
文系研究者	美容師（見習い含む）
税理士	カウンセラー（学校・職場）
医薬情報担当者（MR）・医薬品卸販売担当者（MS）	診療放射線技師
臨床心理士（病院）	税理士
映像編集者	小学校教員
カイロプラクター、整体師、リラクゼーション・スタッフ	中学校教員
理系研究者	歯科医師
小学校教員	作業療法士
発電員、送電員、変電員、配電員	幼稚園教員
中学校教員	発電員、送電員、変電員、配電員

図表 9-2 職業の充実感・達成感、社会貢献意識、年収の安定感の上位 20 職業

充実感・達成感	社会貢献意識	年収安定感
音楽家	保育士	小学校教員
イラストレーター	幼稚園教員	中学校教員
幼稚園教員	理学療法士	高等学校教員
経営コンサルタント	カウンセラー（学校・職場）	特別支援学校教員
美容師（見習い含む）	経営コンサルタント	診療放射線技師
カウンセラー（学校・職場）	歯科医師	医師

臨床心理士（病院）	小学校教員	作業療法士
作業療法士	作業療法士	看護師・准看護師
カイロプラクター、整体師、リラクゼーション・スタッフ	診療放射線技師	薬剤師（調剤業務）
理学療法士	臨床検査技師（衛生検査技師を含む）	理学療法士
保育士	特別支援学校教員	幼稚園教員
学習塾教師	中学校教員	歯科衛生士
写真家（助手含む）	土木施工管理技術者	臨床検査技師（衛生検査技師を含む）
グラフィックデザイナー	高等学校教員	銀行等渉外係
理容師（見習い含む）	医師	医薬情報担当者（MR）・医薬品卸販売担当者（MS）
大学教員	訪問介護員（ホームヘルパー）	大学教員
ファイナンシャル・プランナー	税理士	保険事務員
税理士	看護師・准看護師	化学技術者（開発業務）
特別支援学校教員	美容師（見習い含む）	自動車技術者（開発業務）
臨床心理士（病院）	発電員、送電員、変電員、配電員	法務係事務員

図表 9-1, 9-2 を見ると、職業満足度が最も高い「医師」や社会貢献意識が最も高い「保育士」、年収安定感が最も高い「小学校教員」はいずれも国家資格が必要で、取得するのに長期間の準備が必要な職業であり、継続希望と充実感・達成感が最も高い「音楽家」はある程度以上の収入を得るには音楽の秀でた能力が必要な職業であるといったように、入職へのハードルが高い職業が多く含まれている印象を受ける。そこで、従事者による職業の評価については、いずれかの指標が全体の平均値以上程度であれば十分に薦められる職業といえると考え、他の指標についても検討することとする。

本章で想定するケースでは、求職者は長期間かけて勉強したり学校に行き直したりする余裕はないので、準備に時間がかかる職業は除外することになる。また、結婚して家族を養いたいと考えているので、総じてある程度以上の年収が見込める職業の方が良いだろう。

まずは「入職しやすさ」であるが、ここでは比較的多くの人にとって、入職にあたって高すぎるハードルがないという観点で、以下の基準を適用することとした。

①入職のために、1年以上の通学・訓練受講や実務経験を必須とする資格が必要な職業ではないこと。

②大学院修了者が多く就き、かつ教育課程（高校・専門学校・大学等）での専攻分野が入職に強く結びつく職業ではないこと。

①については、「Web 免許資格調査」（労働政策研究・研修機構，2010）の結果から、最頻の「資格取得必要期間」が1年以上で、「入職有効度得点」の平均（必須2、有利1、関係なかった0）がおおむね1.3以上の資格がある職業であるか否かを検討した。

②については、本調査の各職業の学歴構成と、「職務の類似性と職業編成」（労働政策研究・研修機構，2013）における職業自立準備区分を参考に検討した。①及び②を満たさない職業は抽出しなかった。

次に、年収であるが、ここでは本調査で回答された年収の中央値が300万円以上の職業を選ぶことにする。分析対象とした全192職業の年収の中央値の平均は388.38万円である。（株）明治安田生活福祉研究所の第7回「結婚・出産に関する調査」結果概要（2013年3月）によれば、未婚女性が結婚相手に求める最低年収は、400万円～500万円未満が20代31.1%、30代34.8%と最も多く、300万円～400万円未満が20代25.9%、30代22.5%と2番目に多い。一方、男性サラリーマンの平均年収は20代前半262万円、同後半367万円、30代前半434万円、同後半498万円（国税庁「平成23年分民間給与実態統計調査」）である。近年は女性の就業が増え共働き世帯が増加していることも勘案し、年収300万円を基準とすることにした。

更に、労働需要の多い職業であるか否かも考慮する。ある職業に就きたいと考えても、労働需要が少なければ就職できる可能性は低い。労働需要については、情報が得られる手段として、本調査での「同じ職業の人数が全体として増えているか（増加傾向～減少傾向の5段階評価）」の設問への回答と、厚生労働省の求人情報等提供サイトであるハローワークインターネットサービスの求人検索での求人件数を用いた。具体的には、職業の人数増の質問に対する回答の平均値が3以上（3が「どちらともいえない」）の職業と、ハローワークインターネットサービスにおいて該当すると思われる求人件数が検索時に全国で100以上ある職業を抽出対象とした。

以上から、今回抽出する職業は、以下の条件を満たすものとした。ただし、これはあくまで本調査のデータを用いての結果であることに留意しなければならない。また、本調査はWeb モニター登録をしている各職業在職者を対象としているので、他の在職者調査と同様、一旦当該職業に入職したものの早期に離職した者については対象となっている割合が低いことも想定する必要がある。

- ①本調査で「職業満足度」又は「継続希望」が全体の平均以上であり、かつ「充実感・達成感」、「社会貢献意識」、「年収の安定感」のいずれかが全体の平均以上である。
- ②「入職しやすさ」について以下の a,b を満たしている。
- a. 入職のために、1年以上の通学・訓練受講や実務経験を必須とする資格が必要でない。
 - b. 大学院修了者が多く就き、かつ教育課程（高校・専門学校・大学等）での専攻分野が入職に強く結びつく職業でない。
- ③本調査で回答された年収の中央値が 300 万円以上である。
- ④ハローワークインターネットサービスで求人件数が全国で 100 以上又は本調査で「同じ職業の人数が全体として増えている」の回答の平均値が 3 以上である。

3. 抽出された職業とプロフィール記述

抽出された職業は、以下の 47 職業である。職業分類の並び順に記載する。

電気・電子・電気通信技術者（製造業務）、機械技術者（製造業務）、IT アーキテクト、プロジェクトマネージャー、Web ディレクター、システム運用管理者、セキュリティエンジニア、セールスエンジニア（ハード、ソフト）、老人福祉施設専門員、経営コンサルタント、ファイナンシャル・プランナー、新聞・雑誌・放送記者・ライター、グラフィックデザイナー、Web デザイナー、写真家（助手含む）、カウンセラー（学校・職場）、総務事務員、広報事務員、人事係・教育・研修係事務員、企画係事務員（商品企画を除く）、商品企画・商品開発事務員、秘書、会計・経理事務員、商品仕入係事務員（内勤のもの）、営業事務員、貿易事務員、金融事務員、保険事務員、商品訪問販売員、不動産仲介・売買人・営業員、化学品営業員（医薬品を除く）、医薬情報担当者（MR）・医薬品卸販売担当者（MS）、医療機器販売業営業員、情報システム営業員、損害保険会社営業社員（代理店担当）、日本料理調理人・すし職人、西洋料理調理人（見習い含む）、中華料理調理人（見習い含む）、レストラン等飲食店の店長（主に調理をする人を除く）、機械修理、バス運転士（路線バス）、建設重機オペレーター（ブルドーザー・クレーン等）、大工、内装作業員、送電線・配電線・通信線架線作業員、電話線・通信線配線作業員（建物内）、電気配線工事作業員（建物内）

ここからは、個々の職業についてのプロフィールを記述していく。ただし、職業についての一般的なプロフィール情報にまでは至っておらず、あくまで本調査の結果のデータである。比較のため、厚生労働省「平成 24 年賃金構造基本調査」結果で該当する職種の情報があるものについては参考に平均年齢、勤続年数、年収を併記した。

プロフィールには、以下の情報を記載する。また、職業ごとの収集数を職業名の横に記載する。

- ①学歴：従事者の学歴の多い方から2～3つ程度。
- ②男女比
- ③平均年齢
- ④職業継続年数
- ⑤現在の組織での就業期間（企業や団体、または自営やフリーランスとしての就業期間）
- ⑥年収（中央値）
- ⑦雇用形態
- ⑧違う職業に就いたことがある割合
- ⑨主な前職（複数回答があったもの）：職業細分類単位
- ⑩長所：仕事の「充実感・達成感」、「社会貢献」、「年収安定」について、全体の平均以上の項目を記載。また、職業継続年数を平均年齢で除した数値が全体の平均以上のものは「長期継続」と記載。
- ⑪必要度が高い態度・能力：第6章で取り上げた「必要な能力等」の項目について、従事者の選択数が多い順に上位20項目を記載。
- ⑫HW 求人件数：ハローワークインターネットサービスにおける求人件数。

<電気・電子・電気通信技術者（製造業務）> 収集数 153

指標	データ
学歴	大卒中心+高卒、大学院卒
男女比	男性 95.4% 女性 4.6%
平均年齢	46 歳
職業継続年数	16.61 年
現在の組織での就業期間	17.99 年
年収（中央値）	550 万円
雇用形態	正社員 88.2%、非正規社員 7.2%、経営層・自営・フリーランス 4.6%
違う職業に就いたことがある割合	43.8%
主な前職（複数回答があったもの）	電気・電子・電気通信技術者（開発業務：設計）、機械技術者（生産技術業務）、化学技術者（製造業務）
長所	年収安定、長期継続
必要度が高い態度・能力	意欲・やる気、責任感、積極性・主体性、前向きな姿勢、集中力、ミスがないこと、学習力・成長力、粘り強さ、コミュニケーション能力、実行力、計画性、注意深さ、協調性・チームワーク、熱心さ、コンピュータスキル、観察力、決断力、信頼できること、ストレスに強いこと、段取りできること

HW 求人件数	中程度 (100~999)
---------	---------------

<機械技術者（製造業務）> 収集数 151

指標	データ
学歴	大卒中心+高卒、大学院卒
男女比	男性 96.7% 女性 3.3%
平均年齢	44 歳
職業継続年数	15.05 年
現在の組織での就業期間	15.89 年
年収（中央値）	500 万円
雇用形態	正社員 87.4%、非正規社員 6.0%、経営層・自営・フリーランス 6.6%
違う職業に就いたことがある割合	51.0%
主な前職（複数回答があったもの）	プログラマー、生産工程管理事務員、機械技術者（開発業務：設計）、電子・電気・電気通信技術者（製造業務）、化学技術者（製造業務）、システム運用管理者、社内 SE、飲食店長（レストラン）、窯業製品製造工
長所	年収安定、長期継続
必要度が高い態度・能力	意欲・やる気、責任感、積極性・主体性、前向きな姿勢、ミスがないこと、集中力、計画性、粘り強さ、注意深さ、機械に強いこと、熱心さ、実行力、学習力・成長力、観察力、信頼できること、ストレスに強いこと、決断力、コミュニケーション能力、コンピュータスキル、柔軟性、協調性・チームワーク
HW 求人件数	中程度 (100~999)

<IT アーキテクト> 収集数 151

指標	データ
学歴	大卒中心+大学院卒、高卒、専門卒
男女比	男性 90.7% 女性 9.3%
平均年齢	43 歳
職業継続年数	14.09 年
現在の組織での就業期間	15.76 年
年収（中央値）	700 万円
雇用形態	正社員 94.7%、非正規社員 4.6%、経営層・自営・フリーランス 0.7%
違う職業に就いたことがある割合	30.5%

主な前職（複数回答があったもの）	情報処理プロジェクトマネージャー、通信ネットワーク技術者、電子・電気・電気通信技術者（開発業務：設計）、プログラマー、機械技術者（開発業務・設計）、ソフトウェア開発技術者（Web・オープン系）、学習塾教師
長所	年収安定、長期継続
必要度が高い態度・能力	意欲・やる気、コミュニケーション能力、積極性・主体性、責任感、前向きな姿勢、コンピュータスキル、集中力、粘り強さ、学習力・成長力、指導力・統率力・リーダーシップ、計画性、ミスがないこと、ストレスに強いこと、協調性・チームワーク、実行力、注意深さ、信頼できること、交渉力、管理能力・マネジメント能力、熱心さ
HW 求人件数	少ない（100 未満）

<プロジェクトマネージャー> 収集数 152

指標	データ
学歴	大卒中心+専門卒、大学院卒、高卒
男女比	男性 92.1% 女性 7.9%
平均年齢	45 歳
職業継続年数	14.93 年
現在の組織での就業期間	16.52 年
年収（中央値）	700 万円
雇用形態	正社員 94.7%、非正規社員 3.3%、経営層・自営・フリーランス 2.0%
違う職業に就いたことがある割合	23.0%
主な前職（複数回答があったもの）	ソフトウェア開発技術者（汎用機系）、ソフトウェア開発技術者（Web・オープン系）、ソフトウェア開発技術者（組込・制御系）
長所	年収安定、長期継続
必要度が高い態度・能力	意欲・やる気、積極性・主体性、責任感、コミュニケーション能力、前向きな姿勢、指導力・統率力・リーダーシップ、管理能力・マネジメント能力、粘り強さ、ストレスに強いこと、信頼できること、協調性・チームワーク、実行力、集中力、注意深さ、計画性、交渉力、ミスがないこと、決断力、対人能力、説明力
HW 求人件数	中程度（100～999）

＜Web ディレクター＞ 収集数 81

指標	データ
学歴	大卒中心＋専門卒、高卒
男女比	男性 77.8% 女性 22.2%
平均年齢	40 歳
職業継続年数	7.48 年
現在の組織での就業期間	6.83 年
年収（中央値）	360 万円
雇用形態	正社員 51.9%、非正規社員 7.4%、経営層・自営・フリーランス 40.7%
違う職業に就いたことがある割合	77.8%
主な前職（複数回答があったもの）	ソフトウェア開発技術者（Web・オープン系）、ソフトウェア開発技術者（組込・制御系）、システム運用管理者、プログラマー、雑誌編集者、Web デザイナー、ネットショップ責任者（ネットショップ店長）、広告会社営業員、日本料理調理人
長所	充実感・達成感、社会貢献
必要度が高い態度・能力	意欲・やる気、責任感、前向きな姿勢、コミュニケーション能力、注意深さ、コンピュータスキル、情報収集能力、クリエイティブ・独創性、集中力、学習力・成長力、積極性・主体性、ミスがないこと、粘り強さ、計画性、熱心さ、信頼できること、ストレスに強いこと、企画力、説明力、管理能力・マネジメント能力、顧客目線・相手の立場から考えられること、対人能力、先見性
HW 求人件数	少ない（100 未満）

＜システム運用管理者＞ 収集数 148

指標	データ
学歴	大卒中心＋高卒、専門卒
男女比	男性 91.2% 女性 8.8%
平均年齢	44 歳
職業継続年数	11.39 年
現在の組織での就業期間	14.13 年
年収（中央値）	500 万円
雇用形態	正社員 85.8%、非正規社員 8.8%、経営層・自営・フリーランス 5.4%
違う職業に就いたことがある割合	54.7%
主な前職（複数回答があったもの）	ソフトウェア開発技術者（Web・オープン系）、社内 SE、ソフトウェ

	ア開発技術者（組込・制御系）、ソフトウェア開発技術者（汎用機系）、プログラマー、商社営業部員、セールスエンジニア（ハード、ソフト）、通信ネットワーク技術者、情報処理プロジェクトマネージャ、一般事務員
長所	年収安定
必要度が高い態度・能力	コンピュータスキル、責任感、ミスがないこと、意欲・やる気、積極性・主体性、コミュニケーション能力、集中力、注意深さ、学習力・成長力、前向きな姿勢、協調性・チームワーク、計画性、信頼できること、粘り強さ、ストレスに強いこと、セキュリティの知識・経験、情報収集能力、熱心さ、実行力、対人能力
HW 求人件数	多い（1,000 以上）

<セキュリティエンジニア> 収集数 52

指標	データ
学歴	大卒中心＋大学院卒、高卒
男女比	男性 92.3% 女性 7.7%
平均年齢	43 歳
職業継続年数	7.77 年
現在の組織での就業期間	13.65 年
年収（中央値）	600 万円
雇用形態	正社員 86.5%、非正規社員 5.8%、経営層・自営・フリーランス 7.7%
違う職業に就いたことがある割合	59.6%
主な前職（複数回答があったもの）	ソフトウェア開発技術者（Web・オープン系）、通信ネットワーク技術者、ソフトウェア開発技術者（汎用機系）、システム運用管理者
長所	社会貢献、年収安定
必要度が高い態度・能力	コミュニケーション能力、集中力、注意深さ、セキュリティの知識・経験、意欲・やる気、コンピュータスキル、粘り強さ、責任感、積極性・主体性、ミスがないこと、学習力・成長力、信頼できること、前向きな姿勢、情報収集能力、交渉力、説明力、論理的分析力、熱心さ、対人能力、計画性
HW 求人件数	中程度（100～999）

＜セールスエンジニア（ハード、ソフト）＞ 収集数 147

指標	データ
学歴	大卒中心＋高卒
男女比	男性 93.2% 女性 6.8%
平均年齢	43 歳
職業継続年数	15.14 年
現在の組織での就業期間	14.93 年
年収（中央値）	540 万円
雇用形態	正社員 88.4%、非正規社員 4.8%、経営層・自営・フリーランス 6.8%
違う職業に就いたことがある割合	51.0%
主な前職（複数回答があったもの）	システム運用管理者、プログラマー、機械技術者（生産技術業務）、一般機械器具営業員、ソフトウェア開発技術者（Web・オープン系）、電気・電子・電気通信技術者、通信ネットワーク技術者、各種学校教員、一般事務員、家庭用電気機器販売員
長所	充実感・達成感、社会貢献、年収安定、長期継続
必要度が高い態度・能力	意欲・やる気、ミスがないこと、責任感、コミュニケーション能力、コンピュータスキル、学習力・成長力、積極性・主体性、注意深さ、前向きな姿勢、集中力、粘り強さ、対人能力、信頼できること、実行力、協調性・チームワーク、ストレスに強いこと、交渉力、熱心さ、機械に強いこと、説明力
HW 求人件数	中程度（100～999）

＜老人福祉施設専門員＞ 収集数 147

指標	データ
学歴	大卒中心＋専門卒、高卒
男女比	男性 52.4% 女性 47.6%
平均年齢	43 歳
職業継続年数	6.98 年
現在の組織での就業期間	6.10 年
年収（中央値）	300 万円
雇用形態	正社員 72.8%、非正規社員 25.2%、経営層・自営・フリーランス 2.0%
違う職業に就いたことがある割合	78.9%
主な前職（複数回答があったもの）	一般事務員、ウエイター・ウエイトレス、施設介護員、保育士、介護サービス提供責任者、総務事務員、ソフトウェア開発技術者（Web・

	オープン系)、パソコンオペレーター、介護事務員、経理事務員、営業事務員、デパート店員、商社営業部員、商品仕入営業員、添乗員、化学製品検査工
長所	充実感・達成感、社会貢献、年収安定
必要度が高い態度・能力	意欲・やる気、責任感、観察力、思いやり・感受性（人の気持ちが変わること）、気配り、注意深さ、協調性・チームワーク、コミュニケーション能力、前向きな姿勢、ストレスに強いこと、ミスがないこと、健康、信頼できること、熱心さ、人当たりの良さ、精神的な安定性、積極性・主体性、学習力・成長力、柔軟性、体力
HW 求人件数	多い（1,000 以上）

<経営コンサルタント> 収集数 147

指標	データ
学歴	大卒中心+大学院卒、高卒
男女比	男性 84.4% 女性 15.6%
平均年齢	50 歳
職業継続年数	10.33 年
現在の組織での就業期間	7.99 年
年収（中央値）	600 万円
雇用形態	正社員 39.5%、非正規社員 5.4%、経営層・自営・フリーランス 55.1%
違う職業に就いたことがある割合	83.0%
主な前職（複数回答があったもの）	会社の管理職、会社役員、金融専門職、システムコンサルタント、商社営業部員、プロデューサー・ディレクター（広告、Web、ゲーム、音楽 CD、出版、イベントなど）、一般事務員、営業事務員、企画係事務員、公認会計士、各種学校教員、商品企画・商品開発事務員、証券外務員、広告会社営業員、情報システム営業員、小売店長
長所	充実感・達成感、社会貢献
必要度が高い態度・能力	コミュニケーション能力、責任感、意欲・やる気、集中力、積極性・主体性、信頼できること、前向きな姿勢、学習力・成長力、粘り強さ、観察力、情報収集能力、計画性、熱心さ、先見性、説明力、対人能力、注意深さ、柔軟性、ストレスに強いこと、人間的な魅力、論理的な分析力、指導力・統率力・リーダーシップ
HW 求人件数	少ない（100 未満）

＜ファイナンシャル・プランナー＞ 収集数 134

指標	データ
学歴	大卒中心＋高卒、短大卒
男女比	男性 77.6% 女性 22.4%
平均年齢	45 歳
職業継続年数	8.20 年
現在の組織での就業期間	7.60 年
年収（中央値）	500 万円
雇用形態	正社員 39.5%、非正規社員 5.4%、経営層・自営・フリーランス 55.1%
違う職業に就いたことがある割合	77.6%
主な前職（複数回答があったもの）	会社の管理職、経理事務員、総務事務員、保険営業員、会社役員、一般事務員、飲食店長、飲食料品営業員、建築技術者（設計）、証券外務員、娯楽場接客係、その他の製品製造工（革製品、かばん、袋物、玩具、運動具、筆記用具、漆器、かつら、建築・食品模型、楽器、印判、ブラシなど）、トラック運転手
長所	充実感・達成感、社会貢献
必要度が高い態度・能力	意欲・やる気、責任感、積極性・主体性、学習力・成長力、熱心さ、前向きな姿勢、コミュニケーション能力、粘り強さ、信頼できること、人間的な魅力、情報収集能力、ミスがないこと、社交性、社会常識、観察力、注意深さ、人当たりの良さ、計画性、身だしなみ、対人能力、集中力、柔軟性
HW 求人件数	少ない（100 未満）

＜新聞・雑誌・放送記者・ライター＞ 収集数 151

指標	データ
学歴	大卒中心＋高卒
男女比	男性 74.2% 女性 25.8%
平均年齢	45 歳（参考：「記者」 37.3 歳）
職業継続年数	15.88 年
現在の組織での就業期間	14.20 年（参考：「記者」 12.0 年）
年収（中央値）	500 万円（参考：「記者」 695 万円）
雇用形態	正社員 45.7%、非正規社員 7.3%、経営層・自営・フリーランス 47.0%
違う職業に就いたことがある割合	54.3%
主な前職（複数回答があったもの）	雑誌編集者、プログラマー、営業事務員、広告会社営業員、一般事

	務員、グラフィックデザイナー、プロデューサー・ディレクター（広告、Web、ゲーム、音楽CD、出版、イベントなど）、社内SE、自動車営業員、生産・工程管理事務員
長所	充実感・達成感、社会貢献、長期継続
必要度が高い態度・能力	意欲・やる気、ミスがないこと、責任感、集中力、積極性・主体性、情報収集能力、粘り強さ、注意深さ、前向きな姿勢、学習力・成長力、観察力、信頼できること、コミュニケーション能力、ストレスに強いこと、熱心さ、クリエイティブ・独創性、健康、柔軟性、実行力、対人能力
HW 求人件数	中程度（100～999）

<グラフィックデザイナー> 収集数 149

指標	データ
学歴	専門学校卒中心＋大卒、高卒
男女比	男性 58.4% 女性 41.6%
平均年齢	46 歳
職業継続年数	18.90 年
現在の組織での就業期間	12.72 年
年収（中央値）	300 万円
雇用形態	正社員 33.6%、非正規社員 8.1%、経営層・自営・フリーランス 58.4%
違う職業に就いたことがある割合	60.4%
主な前職（複数回答があったもの）	CG デザイナー、ウエイター・ウエイトレス、インテリアデザイナー、服飾デザイナー、建築技術者（設計）、プログラマー、プロデューサー（映画・演劇・テレビ番組などの企画・制作）、図書編集者、雑誌編集者、印刷営業員、小売店長、総務事務員、その他の加工処理工（貴金属・宝石の細工、自動車座席の内張、いす・ソファ・マットレスの内張、掛軸の表装、襖の紙貼りなど）
長所	充実感・達成感、社会貢献、長期継続
必要度が高い態度・能力	集中力、クリエイティブ・独創性、ミスがないこと、意欲・やる気、責任感、コンピュータスキル、感性・感覚、柔軟性、粘り強さ、学習力・成長力、信頼できること、積極性・主体性、注意深さ、コミュニケーション能力、前向きな姿勢、健康、熱心さ、観察力、情報収集能力、体力、企画力、ストレスに強いこと
HW 求人件数	中程度（100～999）

<Web デザイナー> 収集数 145

指標	データ
学歴	大卒中心+専門卒、高卒
男女比	男性 51.0% 女性 49.0%
平均年齢	39 歳
職業継続年数	7.25 年
現在の組織での就業期間	6.10 年
年収（中央値）	300 万円
雇用形態	正社員 40.0%、非正規社員 17.9%、経営層・自営・フリーランス 42.1%
違う職業に就いたことがある割合	83.4%
主な前職（複数回答があったもの）	グラフィックデザイナー、一般事務員、CG デザイナー、コピーライター、営業事務員、コールセンターオペレーター、デパート店員、商社営業部員、プログラマー、プロデューサー・ディレクター（広告、Web、ゲーム、音楽 CD、出版、イベントなど）、インテリアデザイナー、服飾デザイナー、総務事務員、貿易事務員、日本料理調理人
長所	充実感・達成感
必要度が高い態度・能力	コンピュータスキル、意欲・やる気、クリエイティブ・独創性、集中力、ミスがないこと、学習力・成長力、責任感、積極性・主体性、前向きな姿勢、コミュニケーション能力、粘り強さ、柔軟性、情報収集能力、信頼できること、注意深さ、計画性、熱心さ、感性・感覚、企画力、観察力、ストレスに強いこと
HW 求人件数	中程度（100～999）

<写真家（助手を含む）> 収集数 147

指標	データ
学歴	大卒中心+専門卒、高卒
男女比	男性 85.7% 女性 14.3%
平均年齢	50 歳
職業継続年数	21.51 年
現在の組織での就業期間	17.96 年
年収（中央値）	300 万円
雇用形態	正社員 19.7%、非正規社員 4.1%、経営層・自営・フリーランス 76.2%

違う職業に就いたことがある割合	55.8%
主な前職（複数回答があったもの）	高等学校教員、雑誌編集者、総務事務員、グラフィックデザイナー、一般事務員、印刷・製本作業員
長所	充実感・達成感、社会貢献、長期継続
必要度が高い態度・能力	集中力、意欲・やる気、クリエイティブ・独創性、積極性・主体性、前向きな姿勢、感性・感覚、熱心さ、ミスがないこと、責任感、体力、コンピュータスキル、注意深さ、観察力、粘り強さ、健康、信頼できること、コミュニケーション能力、気配り、実行力、学習力・成長力
HW 求人件数	中程度（100～999）

<カウンセラー（学校・職場）> 収集数 105

指標	データ
学歴	大卒中心＋大学院卒
男女比	男性 29.8% 女性 70.2%
平均年齢	48 歳
職業継続年数	9.17 年
現在の組織での就業期間	8.12 年
年収（中央値）	350 万円
雇用形態	正社員 27.6%、非正規社員 38.1%、経営層・自営・フリーランス 34.3%
違う職業に就いたことがある割合	78.1%
主な前職（複数回答があったもの）	会社の管理職、福祉相談員、小学校教員、中学校教員、建築技術者（設計）、プログラマー、臨床心理士（病院）、一般事務員、航空客室乗務員、広告宣伝員
長所	充実感・達成感、社会貢献
必要度が高い態度・能力	信頼できること、責任感、コミュニケーション能力、観察力、意欲・やる気、対人能力、思いやり・感受性（人の気持ちがわかること）、精神的な安定性、学習力・成長力、粘り強さ、積極性・主体性、前向きな姿勢、注意深さ、柔軟性、気配り、ストレスに強いこと、熱心さ、集中力、人当たりの良さ、人間的な魅力
HW 求人件数	少ない（100 未満）

＜総務事務員＞ 収集数 157

指標	データ
学歴	大卒中心＋高卒、短大卒
男女比	男性 53.5% 女性 46.5%
平均年齢	42 歳
職業継続年数	9.89 年
現在の組織での就業期間	11.85 年
年収（中央値）	400 万円
雇用形態	正社員 77.7%、非正規社員 21.0%、経営層・自営・フリーランス 1.3%
違う職業に就いたことがある割合	56.1%
主な前職（複数回答があったもの）	一般事務員、経理事務員、医療事務員、現金出納事務員、予算係事務員、受付係、小売店長、卸売販売店員、ホテル・旅館フロント係、レジ係（小売店）、日本料理調理人
長所	年収安定
必要度が高い態度・能力	ミスがないこと、責任感、意欲・やる気、前向きな姿勢、信頼できること、積極性・主体性、注意深さ、粘り強さ、気配り、コンピュータスキル、コミュニケーション能力、集中力、社会常識、対人能力、マナー、計画性、協調性・チームワーク、熱心さ、柔軟性、健康、ストレスに強いこと
HW 求人件数	多い（1,000 以上）

＜広報事務員＞ 収集数 147

指標	データ
学歴	大卒中心＋高卒、短大卒
男女比	男性 44.9% 女性 55.1%
平均年齢	40 歳
職業継続年数	6.01 年
現在の組織での就業期間	10.16 年
年収（中央値）	400 万円
雇用形態	正社員 73.5%、非正規社員 25.9%、経営層・自営・フリーランス 0.7%
違う職業に就いたことがある割合	73.5%
主な前職（複数回答があったもの）	一般事務員、人事係事務員、秘書、総務事務員、経理事務員、営業事務員、教育・研修係事務員、社内 SE、企画係事務員、新聞編集者、医療事務員、現金出納事務員、身の回り品販売店員

長所	年収安定
必要度が高い態度・能力	積極性・主体性、意欲・やる気、責任感、ミスがないこと、集中力、前向きな姿勢、コミュニケーション能力、コンピュータスキル、注意深さ、対人能力、柔軟性、熱心さ、信頼できること、協調性・チームワーク、気配り、社交性、計画性、ストレスに強いこと、情報収集能力、説明力
HW 求人件数	中程度 (100~999)

<人事係・教育・研修係事務員> 収集数 143

指標	データ
学歴	大卒中心+高卒、短大卒
男女比	男性 55.2% 女性 44.8%
平均年齢	42 歳
職業継続年数	8.82 年
現在の組織での就業期間	11.98 年
年収 (中央値)	400 万円
雇用形態	正社員 79.7%、非正規社員 17.5%、経営層・自営・フリーランス 2.8%
違う職業に就いたことがある割合	61.5%
主な前職 (複数回答があったもの)	総務事務員、一般事務員、営業事務員、企画係事務員、経理事務員、証券外務員、娯楽場支配人、機械技術者、学習塾教師、法務係事務員、受付係、情報システム営業員、飲食店長
長所	年収安定
必要度が高い態度・能力	ミスがないこと、責任感、意欲・やる気、集中力、積極性・主体性、注意深さ、コミュニケーション能力、信頼できること、前向きな姿勢、気配り、粘り強さ、協調性・チームワーク、コンピュータスキル、実行力、社会常識、対人能力、思いやり・感受性 (人の気持ちがわかること)、学習力・成長力、柔軟性、観察力、熱心さ
HW 求人件数	多い (1,000 以上)

<企画係事務員 (商品企画を除く)> 収集数 150

指標	データ
学歴	大卒中心+高卒、大学院卒
男女比	男性 75.3% 女性 24.7%
平均年齢	44 歳

職業継続年数	10.57年
現在の組織での就業期間	13.90年
年収（中央値）	600万円
雇用形態	正社員 88.0%、非正規社員 9.3%、経営層・自営・フリーランス 2.7%
違う職業に就いたことがある割合	51.3%
主な前職（複数回答があったもの）	総務事務員、営業事務員、会社の管理職、一般事務員、経理事務員、社会科学研究者、生産・工程管理事務員、コールセンターオペレーター、レジ係（小売店）
長所	年収安定
必要度が高い態度・能力	意欲・やる気、責任感、積極性・主体性、コミュニケーション能力、ミスがないこと、集中力、前向きな姿勢、注意深さ、計画性、実行力、粘り強さ、協調性・チームワーク、学習力・成長力、企画力、熱心さ、ストレスに強いこと、説明力、信頼できること、対人能力、柔軟性、観察力
HW 求人件数	中程度（100～999）

<商品企画・商品開発事務員> 収集数 152

指標	データ
学歴	大卒中心+大学院卒、高卒
男女比	男性 57.2% 女性 42.8%
平均年齢	41歳
職業継続年数	8.66年
現在の組織での就業期間	12.14年
年収（中央値）	550万円
雇用形態	正社員 86.8%、非正規社員 12.5%、経営層・自営・フリーランス 0.7%
違う職業に就いたことがある割合	53.3%
主な前職（複数回答があったもの）	営業事務員、身の回り品販売店員、飲食料品営業員、一般事務員、企画係事務員（商品企画を除く）、理学研究者、化学技術者（開発業務）、電気・電子・電気通信技術者（開発業務：設計）、電気・電子・電気通信技術者（生産技術業務）、生産・工程管理事務員（工場）、広報事務員、マーケティングリサーチャー、一般機械器具営業員、電気機械器具営業員、身の回り品販売店員、飲食料品営業員、一般事務員、企画係事務員（商品企画を除く）、理学研究者、化学技術者（開発業務）、電気・電子・電気通信技術者（開発業務：設計）、電

	気・電子・電気通信技術者（生産技術業務）、生産・工程管理事務員（工場）、広報事務員、マーケティングリサーチャー、一般機械器具営業員、電気機械器具営業員
長所	年収安定
必要度が高い態度・能力	意欲・やる気、積極性・主体性、前向きな姿勢、責任感、粘り強さ、コミュニケーション能力、計画性、ストレスに強いこと、熱心さ、企画力、ミスがないこと、集中力、情報収集能力、学習力・成長力、決断力、柔軟性、注意深さ、実行力、交渉力、説明力、協調性・チームワーク、信頼できること
HW 求人件数	中程度（100～999）

<秘書> 収集数 148

指標	データ
学歴	大卒中心＋短大卒、高卒
男女比	男性 7.4% 女性 92.6%
平均年齢	43 歳
職業継続年数	6.98 年
現在の組織での就業期間	6.10 年
年収（中央値）	300 万円
雇用形態	正社員 59.5%、非正規社員 39.2%、経営層・自営・フリーランス 1.4%
違う職業に就いたことがある割合	73.6%
主な前職（複数回答があったもの）	一般事務員、総務事務員、営業事務員、医療事務員、企画係事務員、プログラマー、WEB デザイナー、各種学校教員、経理事務員、人事係事務員、商社営業部員、添乗員、ウエイター・ウエイトレス、コールセンターオペレーター
長所	充実感・達成感、年収安定
必要度が高い態度・能力	責任感、ミスがないこと、気配り、信頼できること、注意深さ、意欲・やる気、前向きな姿勢、思いやり・感受性（人の気持ちがわかること）、身だしなみ、コミュニケーション能力、人当たりの良さ、マナー、清潔感、柔軟性、対人能力、集中力、社会常識、社交性、積極性・主体性、観察力
HW 求人件数	中程度（100～999）

＜会計・経理事務員＞ 収集数 150

指標	データ
学歴	大卒中心＋高卒、専門卒
男女比	男性 49.3% 女性 50.7%
平均年齢	44 歳
職業継続年数	11.17 年
現在の組織での就業期間	12.87 年
年収（中央値）	360 万円
雇用形態	正社員 80.0%、非正規社員 16.0%、経営層・自営・フリーランス 4.0%
違う職業に就いたことがある割合	68.7%
主な前職（複数回答があったもの）	一般事務員、総務事務員、営業事務員、秘書、情報システム営業員、保険営業員、飲食店長
長所	年収安定
必要度が高い態度・能力	ミスがないこと、責任感、集中力、意欲・やる気、経理の知識・経験、注意深さ、信頼できること、粘り強さ、コンピュータスキル、前向きな姿勢、学習力・成長力、計画性、積極性・主体性、健康、社会常識、コミュニケーション能力、数的処理能力、段取りできること、気配り、ストレスに強いこと
HW 求人件数	多い（1,000 以上）

＜商品仕入係事務員＞ 収集数 147

指標	データ
学歴	大卒中心＋高卒、短大卒
男女比	男性 55.1% 女性 44.9%
平均年齢	44 歳
職業継続年数	10.23 年
現在の組織での就業期間	12.05 年
年収（中央値）	360 万円
雇用形態	正社員 70.1%、非正規社員 26.5%、経営層・自営・フリーランス 3.4%
違う職業に就いたことがある割合	72.8%
主な前職（複数回答があったもの）	一般事務員、営業事務員、総務事務員、デパート店員、卸売販売店員、経理事務員、商社営業部員、生産工程管理事務員、建築技術者（設計業務）、システム運用管理者、介護支援専門員、企画係事務員（商品企画を除く）、コンビニエンスストア店長、家庭用電気機器販

	売店員、自動車営業員、通信回線・通信機器営業員、小売店長、カウンタ係、ウエイター・ウエイトレス、建設・土木作業員
長所	年収安定
必要度が高い態度・能力	ミスがないこと、責任感、意欲・やる気、集中力、前向きな姿勢、積極性・主体性、コミュニケーション能力、コンピュータスキル、注意深さ、計画性、学習力・成長力、信頼できること、対人能力、熱心さ、気配り、実行力、ストレスに強いこと、販売の知識・経験、柔軟性、粘り強さ
HW 求人件数	中程度 (100~999)

<営業事務員> 収集数 158

指標	データ
学歴	大卒中心+高卒、専門卒
男女比	男性 51.3% 女性 48.7%
平均年齢	41 歳
職業継続年数	9.00 年
現在の組織での就業期間	10.95 年
年収 (中央値)	400 万円
雇用形態	正社員 78.5%、非正規社員 19.0%、経営層・自営・フリーランス 2.5%
違う職業に就いたことがある割合	64.6%
主な前職 (複数回答があったもの)	一般事務員、小売店長、総務事務員、プログラマー、雑誌編集者、経理事務員、金融事務員、データ入力係員、ウエイター・ウエイトレス、コールセンターオペレーター、広告会社営業員、デパート店員、一般機械器具営業員、飲食店長、卸売販売店員、銀行等渉外係、携帯電話販売員、証券外務員、陸上自衛官
長所	年収安定
必要度が高い態度・能力	意欲・やる気、ミスがないこと、責任感、積極性・主体性、前向きな姿勢、集中力、信頼できること、コミュニケーション能力、気配り、計画性、注意深さ、柔軟性、粘り強さ、人当たりの良さ、協調性・チームワーク、交渉力、段取りできること、マナー、コンピュータスキル、対人能力
HW 求人件数	多い (1,000 以上)

＜貿易事務員＞ 収集数 150

指標	データ
学歴	大卒中心＋短大卒
男女比	男性 26.7% 女性 73.3%
平均年齢	40 歳
職業継続年数	8.79 年
現在の組織での就業期間	7.13 年
年収（中央値）	350 万円
雇用形態	正社員 74.7%、非正規社員 24.7%、経営層・自営・フリーランス 0.7%
違う職業に就いたことがある割合	74.0%
主な前職（複数回答があったもの）	営業事務員、一般事務員、総務事務員、一般機械器具営業員、デパート店員、ウエイター・ウエイトレス、コールセンターオペレーター、企画係事務員、金融事務員、医療事務員、情報システム営業員、ホテル・旅館フロント係
長所	充実感・達成感、年収安定
必要度が高い態度・能力	ミスがないこと、責任感、意欲・やる気、集中力、積極性・主体性、注意深さ、コミュニケーション能力、学習力・成長力、前向きな姿勢、計画性、交渉力、気配り、国際感覚、コンピュータスキル、信頼できること、粘り強さ、協調性・チームワーク、柔軟性、ストレスに強いこと、実行力、段取りできること
HW 求人件数	中程度（100～999）

＜金融事務員＞ 収集数 147

指標	データ
学歴	大卒中心＋高卒
男女比	男性 66.0% 女性 34.0%
平均年齢	43 歳
職業継続年数	12.12 年
現在の組織での就業期間	13.21 年
年収（中央値）	500 万円
雇用形態	正社員 74.1%、非正規社員 25.2%、経営層・自営・フリーランス 0.7%
違う職業に就いたことがある割合	40.1%
主な前職（複数回答があったもの）	総務事務員、一般事務員、営業事務員、デパート店員、企画係事務員、ウエイター・ウエイトレス

長所	社会貢献、年収安定
必要度が高い態度・能力	意欲・やる気、ミスがないこと、責任感、積極性・主体性、集中力、前向きな姿勢、学習力・成長力、信頼できること、コミュニケーション能力、注意深さ、粘り強さ、ストレスに強いこと、協調性・チームワーク、マナー、熱心さ、計画性、社会常識、交渉力、対人能力、実行力
HW 求人件数	中程度 (100~999)

<保険事務員> 収集数 150

指標	データ
学歴	大卒中心+高卒、短大卒
男女比	男性 40.0% 女性 60.0%
平均年齢	43 歳
職業継続年数	9.73 年
現在の組織での就業期間	10.48 年
年収 (中央値)	350 万円
雇用形態	正社員 62.7%、非正規社員 35.3%、経営層・自営・フリーランス 2.0%
違う職業に就いたことがある割合	72.0%
主な前職 (複数回答があったもの)	一般事務員、営業事務員、総務事務員、自動車整備工、デパート店員、学校事務員、金融事務員、自動車営業員、身の回り品販売店員、医療事務員、コンビニエンスストア店員、銀行等渉外係、保険営業員、訪問調査員、警備員
長所	年収安定
必要度が高い態度・能力	ミスがないこと、責任感、意欲・やる気、注意深さ、コミュニケーション能力、集中力、学習力・成長力、前向きな姿勢、積極性・主体性、信頼できること、マナー、ストレスに強いこと、対人能力、気配り、粘り強さ、社会常識、協調性・チームワーク、熱心さ、コンピュータスキル、人当たりの良さ
HW 求人件数	中程度 (100~999)

<商品訪問販売員> 収集数 65

指標	データ
学歴	大卒中心+高卒、専門卒
男女比	男性 66.2% 女性 33.8%

平均年齢	49 歳
職業継続年数	13.52 年
現在の組織での就業期間	13.43 年
年収（中央値）	300 万円
雇用形態	正社員 32.3%、非正規社員 15.4%、経営層・自営・フリーランス 52.3%
違う職業に就いたことがある割合	84.6%
主な前職（複数回答があったもの）	一般事務員、総務事務員、建築技術者（設計）、小売店長、飲食料品販売店員、商社営業部員、中華料理人、パン・菓子製造工、建築・土木作業員
長所	充実感・達成感、社会貢献
必要度が高い態度・能力	意欲・やる気、コミュニケーション能力、信頼できること、販売の知識・経験、対人能力、責任感、前向きな姿勢、気配り、清潔感、思いやり・感受性（人の気持ちがわかること）、積極性・主体性、実行力、人当たりの良さ、粘り強さ、社交性、身だしなみ、説明力、熱心さ、交渉力、健康、柔軟性
HW 求人件数	中程度（100～999）

<不動産仲介・売買人・営業員> 収集数 150

指標	データ
学歴	大卒中心＋高卒、専門卒
男女比	男性 85.3% 女性 14.7%
平均年齢	46 歳
職業継続年数	11.75 年
現在の組織での就業期間	10.69 年
年収（中央値）	500 万円
雇用形態	正社員 68.0%、非正規社員 10.0%、経営層・自営・フリーランス 22.0%
違う職業に就いたことがある割合	64.0%
主な前職（複数回答があったもの）	一般事務員、営業事務員、建築施工管理技術者、小売店長、コンビニエンスストア店長、デパート店員、商社営業部員、一般機械器具営業員、通信回線・通信機器営業員、証券外務員、ホテル・旅館支配人・ペンション経営者、航空客室乗務員、娯楽場接客係、配せん人、訪問介護員、トラック運転手
長所	充実感・達成感、社会貢献
必要度が高い態度・能力	意欲・やる気、積極性・主体性、前向きな姿勢、責任感、粘り強さ、

	熱心さ、コミュニケーション能力、信頼できること、交渉力、実行力、ミスがないこと、集中力、社会常識、販売の知識・経験、対人能力、説明力、気配り、身だしなみ、人当たりの良さ、清潔感
HW 求人件数	多い（1,000 以上）

<化学品営業員> 収集数 149

指標	データ
学歴	大卒中心＋高卒
男女比	男性 93.3% 女性 6.7%
平均年齢	43 歳
職業継続年数	13.11 年
現在の組織での就業期間	13.38 年
年収（中央値）	530 万円
雇用形態	正社員 87.9%、非正規社員 4.7%、経営層・自営・フリーランス 7.4%
違う職業に就いたことがある割合	55.7%
主な前職（複数回答があったもの）	一般機械器具営業員、印刷営業員、飲食料品営業員、商社営業部員、住宅・不動産営業員、工学研究者、化学技術者（開発業務）、食品技術者（開発業務）、貿易事務員、スーパーマーケット店員、小売店長
長所	年収安定、長期継続
必要度が高い態度・能力	意欲・やる気、積極性・主体性、前向きな姿勢、責任感、粘り強さ、コミュニケーション能力、交渉力、計画性、熱心さ、実行力、販売の知識・経験、信頼できること、対人能力、社交性、協調性・チームワーク、気配り、ストレスに強いこと、説明力、先見性、情報収集能力、集中力、決断力
HW 求人件数	多い（1,000 以上）

<医薬情報担当者（MR）、医薬品卸販売担当者（MS）> 収集数 147

指標	データ
学歴	大卒中心（90%以上）
男女比	男性 90.5% 女性 9.5%
平均年齢	42 歳
職業継続年数	16.71 年
現在の組織での就業期間	14.01 年
年収（中央値）	800 万円

雇用形態	正社員 95.9%、非正規社員 2.7%、経営層・自営・フリーランス 1.4%
違う職業に就いたことがある割合	29.3%
主な前職（複数回答があったもの）	飲食料品営業員、化学品営業員、小売店長、コンビニエンスストア店長、商社営業部員、労働者派遣コーディネーター
長所	充実感・達成感、社会貢献、年収安定
必要度が高い態度・能力	意欲・やる気、積極性・主体性、コミュニケーション能力、前向きな姿勢、責任感、粘り強さ、実行力、対人能力、信頼できること、気配り、学習力・成長力、ストレスに強いこと、熱心さ、身だしなみ、人に好かれること、計画性、説明力、情報収集能力、交渉力、人間的な魅力
HW 求人件数	少ない（100 未満）

<医療機器販売業営業員> 収集数 148

指標	データ
学歴	大卒中心＋高卒
男女比	男性 91.2% 女性 8.8%
平均年齢	43 歳
職業継続年数	13.21 年
現在の組織での就業期間	11.69 年
年収（中央値）	550 万円
雇用形態	正社員 89.9%、非正規社員 6.8%、経営層・自営・フリーランス 3.4%
違う職業に就いたことがある割合	63.5%
主な前職（複数回答があったもの）	MR・MS、商社営業部員、飲食料品営業員、保険営業員、広告会社営業員、住宅・不動産営業員、証券外務員、生産・工程管理事務員、一般事務員、建設・土木作業員、配管工
長所	充実感・達成感、社会貢献、年収安定、長期継続
必要度が高い態度・能力	意欲・やる気、積極性・主体性、前向きな姿勢、責任感、コミュニケーション能力、粘り強さ、対人能力、熱心さ、学習力・成長力、信頼できること、交渉力、ストレスに強いこと、販売の知識・経験、ミスがないこと、集中力、注意深さ、説明力、計画性、社交性、気配り、情報収集能力
HW 求人件数	中程度（100～999）

＜情報システム営業員＞ 収集数 150

指標	データ
学歴	大卒中心＋高卒
男女比	男性 90.7% 女性 9.3%
平均年齢	45 歳
職業継続年数	13.34 年
現在の組織での就業期間	14.15 年
年収（中央値）	625 万円
雇用形態	正社員 89.3%、非正規社員 5.3%、経営層・自営・フリーランス 5.3%
違う職業に就いたことがある割合	53.3%
主な前職（複数回答があったもの）	広告会社営業員、商社営業部員、情報処理プロジェクトマネージャー、通信機器・通信回線営業員、ソフトウェア開発技術者（汎用機系）
長所	充実感・達成感、年収安定、長期継続
必要度が高い態度・能力	意欲・やる気、積極性・主体性、前向きな姿勢、責任感、コミュニケーション能力、粘り強さ、交渉力、対人能力、集中力、熱心さ、信頼できること、コンピュータスキル、説明力、ストレスに強いこと、実行力、学習力・成長力、計画性、説得力、情報収集能力、観察力、注意深さ
HW 求人件数	中程度（100～999）

＜保険営業員（生保・損保）＞ 収集数 148

指標	データ
学歴	大卒中心＋高卒
男女比	男性 68.9% 女性 31.1%
平均年齢	46 歳（参考：「保険外交員」47.0 歳）
職業継続年数	11.72 年
現在の組織での就業期間	10.20 年（参考：「保険外交員」10.4 年）
年収（中央値）	400 万円（参考：「保険外交員」391 万円）
雇用形態	正社員 71.6%、非正規社員 7.4%、経営層・自営・フリーランス 20.9%
違う職業に就いたことがある割合	82.4%
主な前職（複数回答があったもの）	一般事務員、商社営業部員、自動車営業員、銀行等渉外係、総務事務員、飲食料品営業員、営業事務員、住宅・不動産営業員、中古車販売員、建築技術者（設計業務）、ソフトウェア開発技術者（組込・

	制御系)、金融専門職、金融事務員、銀行窓口事務員、情報システム 営業員、旅行会社営業員、飲食店長、飲食料品販売店員、建設・土 木作業員
長所	充実感・達成感、社会貢献
必要度が高い態度・能力	意欲・やる気、前向きな姿勢、積極性・主体性、責任感、粘り強さ、 熱心さ、ミスがないこと、販売の知識・経験、信頼できること、実 行力、学習力・成長力、コミュニケーション能力、人当たりの良さ、 対人能力、気配り、ストレスに強いこと、マナー、身だしなみ、人 に好かれること、説明力、人間的な魅力
HW 求人件数	多い (1,000 以上)

<日本料理調理人・すし職人> 収集数 149

指標	データ
学歴	高卒中心+専門卒、大卒
男女比	男性 83.2% 女性 16.8%
平均年齢	45 歳 (参考:「調理士」43.1 歳)
職業継続年数	17.32 年
現在の組織での就業期間	14.28 年 (参考:「調理士」8.5 年)
年収 (中央値)	300 万円 (参考:「調理士」329 万円)
雇用形態	正社員 32.9%、非正規社員 12.1%、経営層・自営・フリーランス 55.0%
違う職業に就いたことがある割合	53.7%
主な前職 (複数回答があったもの)	総務事務員、一般事務員、音楽家、経理事務員、小売店長、飲食店 長、書店員・古書店員・文房具小売店員、中華料理調理人、居酒屋 調理人、農耕従事者、金属加工・溶接検査工
長所	充実感・達成感、長期継続
必要度が高い態度・能力	意欲・やる気、責任感、ミスがないこと、前向きな姿勢、気配り、 健康、熱心さ、積極性・主体性、集中力、体力、清潔感、粘り強さ、 身だしなみ、注意深さ、思いやり・感受性 (人の気持ちがわかるこ と)、実行力、スタミナ、信頼できること、ストレスに強いこと、決 断力、学習力・成長力、人当たりの良さ
HW 求人件数	多い (1,000 以上)

＜西洋料理調理人＞ 収集数 146

指標	データ
学歴	専門学校卒中心＋高卒、大卒
男女比	男性 77.4% 女性 22.6%
平均年齢	44 歳 （参考：「調理士」 43.1 歳）
職業継続年数	16.98 年
現在の組織での就業期間	10.11 年 （参考：「調理士」 8.5 年）
年収（中央値）	300 万円 （参考：「調理士」 329 万円）
雇用形態	正社員 40.4%、非正規社員 16.4%、経営層・自営・フリーランス 43.2%
違う職業に就いたことがある割合	63.7%
主な前職（複数回答があったもの）	ウェ이터ー・ウェイトレス、一般事務員、財務事務員、スーパーマーケット店員、デパート店員、身の回り品販売員、飲食料品販売店員、警備員、ルート集配員
長所	充実感・達成感、社会貢献、長期継続
必要度が高い態度・能力	意欲・やる気、責任感、健康、集中力、ミスがないこと、前向きな姿勢、積極性・主体性、粘り強さ、体力、熱心さ、注意深さ、気配り、実行力、清潔感、身だしなみ、コミュニケーション能力、観察力、柔軟性、協調性・チームワーク、信頼できること
HW 求人件数	多い（1,000 以上）

＜中華料理調理人＞ 収集数 61

指標	データ
学歴	高卒中心＋専門卒、大卒
男女比	男性 86.9% 女性 13.1%
平均年齢	45 歳 （参考：「調理士」 43.1 歳）
職業継続年数	17.85 年
現在の組織での就業期間	13.80 年 （参考：「調理士」 8.5 年）
年収（中央値）	300 万円 （参考：「調理士」 329 万円）
雇用形態	正社員 31.1%、非正規社員 19.7%、経営層・自営・フリーランス 49.2%
違う職業に就いたことがある割合	60.7%
主な前職（複数回答があったもの）	西洋料理調理人、トラック運転手
長所	充実感・達成感、長期継続
必要度が高い態度・能力	意欲・やる気、責任感、ミスがないこと、集中力、前向きな姿勢、熱心さ、清潔感、粘り強さ、信頼できること、健康、体力、気配り、

	積極性・主体性、学習力・成長力、実行力、観察力、段取りできること、協調性・チームワーク、注意深さ、身だしなみ
HW 求人件数	多い（1,000 以上）

< レストラン等飲食店の店長（主に調理をする人を除く） > 収集数 148

指標	データ
学歴	高卒中心＋大卒、専門卒
男女比	男性 49.3% 女性 50.7%
平均年齢	44 歳
職業継続年数	11.64 年
現在の組織での就業期間	10.91 年
年収（中央値）	300 万円
雇用形態	正社員 27.7%、非正規社員 18.9%、経営層・自営・フリーランス 53.4%
違う職業に就いたことがある割合	81.1%
主な前職（複数回答があったもの）	一般事務員、経理事務員、ウエイター・ウエイトレス、小売店長、デパート店員、化粧品販売員、スーパーマーケット店員、広告会社営業員、配せん人、医療事務員、通信回線・通信機器営業員、娯楽場接客係、レジ係、西洋料理調理人、調理補助、製品包装作業員
長所	充実感・達成感
必要度が高い態度・能力	意欲・やる気、前向きな姿勢、気配り、責任感、人当たりの良さ、積極性・主体性、ミスがないこと、身だしなみ、思いやり・感受性（人の気持ちがわかること）、社交性、人に好かれること、清潔感、コミュニケーション能力、信頼できること、健康、観察力、マナー、柔軟性、熱心さ、体力
HW 求人件数	多い（1,000 以上）

< 機械修理 > 収集数 147

指標	データ
学歴	高卒中心＋大卒
男女比	男性 95.2% 女性 4.8%
平均年齢	45 歳（参考：「機械修理工」38.9 歳）
職業継続年数	15.37 年
現在の組織での就業期間	16.54 年（参考：「機械修理工」11.7 年）
年収（中央値）	500 万円（参考：「機械修理工」449 万円）

雇用形態	正社員 83.0%、非正規社員 10.2%、経営層・自営・フリーランス 6.8%
違う職業に就いたことがある割合	58.5%
主な前職（複数回答があったもの）	電子・電気・電気通信技術者（製造業務）、化学製品製造工、自動車整備工、機械技術者（開発業務：設計）、電気・電子・電気通信技術者（開発業務：設計）、セールスエンジニア（ハード、ソフト）、商社営業部員、精密機器・光学機器営業員、ガソリンスタンドスタッフ、はん用・生産用・業務用機械器具組立工、電気機械組立工、警備員
長所	年収安定、長期継続
必要度が高い態度・能力	責任感、意欲・やる気、ミスがないこと、機械に強いこと、積極性・主体性、集中力、前向きな姿勢、注意深さ、粘り強さ、熱心さ、観察力、学習力・成長力、実行力、健康、信頼できること、コミュニケーション能力、体力、手先の器用さ、柔軟性、決断力
HW 求人件数	多い（1,000 以上）

<バス運転士（路線バス）> 収集数 145

指標	データ
学歴	高卒中心＋専門卒、大卒
男女比	男性 98.6% 女性 1.4%
平均年齢	45 歳（参考：「営業用バス運転者」48.4 歳）
職業継続年数	12.18 年
現在の組織での就業期間	11.97 年（参考：「営業用バス運転者」11.5 年）
年収（中央値）	450 万円（参考：「営業用バス運転者」430 万円）
雇用形態	正社員 93.1%、非正規社員 6.9%、経営層・自営・フリーランス 0.0%
違う職業に就いたことがある割合	91.7%
主な前職（複数回答があったもの）	トラック運転手、タクシー運転手、自動車営業員、自動車整備工、一般事務員、飲食料品営業員、ルート集配員、ホテル・旅館フロント係、飲食店長、物品賃貸人、自動車組立工、生産・工程管理事務員（工場）、商社営業部員、ガソリンスタンド・スタッフ、警備員、西洋料理調理人、プラスチック製品製造工、数値制御金属工作機械工、ダンプカー運転手、トレーラートラック運転手
長所	社会貢献、年収安定
必要度が高い態度・能力	ミスがないこと、集中力、注意深さ、責任感、健康、ストレスに強いこと、意欲・やる気、精神的な安定性、身だしなみ、気配り、体

	力、マナー、清潔感、人当たりの良さ、信頼できること、対人能力、前向きな姿勢、観察力、思いやり・感受性（人の気持ちがわかること）、社会常識
HW 求人件数	多い（1,000 以上）

<建設重機オペレーター> 収集数 63

指標	データ
学歴	高卒中心+専門卒、大卒
男女比	男性 96.8% 女性 3.2%
平均年齢	47 歳（参考：「建設機械運転工」46.3 歳）
職業継続年数	13.90 年
現在の組織での就業期間	15.21 年（参考：「建設機械運転工」11.9 年）
年収（中央値）	400 万円（参考：「建設機械運転工」382 万円）
雇用形態	正社員 82.5%、非正規社員 7.9%、経営層・自営・フリーランス 9.5%
違う職業に就いたことがある割合	82.5%
主な前職（複数回答があったもの）	ダンプカー運転手、家庭用電気機器販売店員、トラック運転手、トレーラートラック運転手、建設・土木作業員
長所	社会貢献、長期継続
必要度が高い態度・能力	ミスがないこと、集中力、注意深さ、意欲・やる気、責任感、観察力、積極性・主体性、機械に強いこと、前向きな姿勢、協調性・チームワーク、精神的な安定性、段取りできること、粘り強さ、健康、体力、熱心さ、学習力・成長力、コミュニケーション能力、信頼できること、応用力、ストレスに強いこと
HW 求人件数	多い（1,000 以上）

<大工> 収集数 146

指標	データ
学歴	高卒中心+大卒、専門卒
男女比	男性 95.2% 女性 4.8%
平均年齢	48 歳（参考：「大工」46.3 歳）
職業継続年数	21.62 年
現在の組織での就業期間	18.30 年（参考：「大工」8.7 年）
年収（中央値）	350 万円（参考：「大工」384 万円）
雇用形態	正社員 33.6%、非正規社員 6.8%、経営層・自営・フリーランス 59.6%

違う職業に就いたことがある割合	58.2%
主な前職（複数回答があったもの）	建築施工管理技術者、トラック運転手、営業事務員、一般事務員、総務事務員、不動産仲介・売買人、印刷・製本作業員、屋根ふき工、建設・土木作業員、建築技術者（設計）、自動車技術者、送電線・配電線・通信架線（敷設）作業員、防水工
長所	充実感・達成感、社会貢献、長期継続
必要度が高い態度・能力	意欲・やる気、責任感、ミスがないこと、集中力、建築・土木の知識・経験、健康、粘り強さ、体力、段取りできること、信頼できること、熱心さ、気配り、実行力、注意深さ、前向きな姿勢、計画性、積極性・主体性、決断力、学習力・成長力、協調性・チームワーク
HW 求人件数	多い（1,000 以上）

<内装作業員> 収集数 147

指標	データ
学歴	高卒中心＋大卒、専門卒
男女比	男性 94.6% 女性 5.4%
平均年齢	47 歳
職業継続年数	18.61 年
現在の組織での就業期間	16.28 年
年収（中央値）	360 万円
雇用形態	正社員 40.8%、非正規社員 4.8%、経営層・自営・フリーランス 54.4%
違う職業に就いたことがある割合	64.6%
主な前職（複数回答があったもの）	建築施工管理技術者、一般機械器具営業員、保険営業員、一般事務員、防水工、トラック運転手、チラシ配布員、家庭用電気機器販売店員、眼鏡販売店員、商社営業部員、住宅・不動産営業員、ガソリンスタンドスタッフ、衣服・繊維製品製造工、窯業製品製造工、自動車整備工、自動車組立工、型枠大工、電気配線工事作業員、荷物配達員
長所	充実感・達成感、社会貢献、長期継続
必要度が高い態度・能力	意欲・やる気、責任感、ミスがないこと、集中力、体力、前向きな姿勢、注意深さ、段取りできること、信頼できること、積極性・主体性、実行力、熱心さ、健康、粘り強さ、気配り、建築・土木の知識・経験、柔軟性、計画性、スタミナ、学習力・成長力、決断力
HW 求人件数	多い（1,000 以上）

＜送電線・配電線・通信線架線作業員＞ 収集数 72

指標	データ
学歴	高卒中心＋大卒、専門卒
男女比	男性 97.2% 女性 2.8%
平均年齢	43 歳
職業継続年数	17.83 年
現在の組織での就業期間	16.24 年
年収（中央値）	500 万円
雇用形態	正社員 87.5%、非正規社員 1.4%、経営層・自営・フリーランス 11.1%
違う職業に就いたことがある割合	48.6%
主な前職（複数回答があったもの）	電気配線工事作業員、トラック運転手、小売店長
長所	社会貢献、年収安定、長期継続
必要度が高い態度・能力	責任感、意欲・やる気、ミスがないこと、積極性・主体性、協調性・チームワーク、集中力、体力、前向きな姿勢、計画性、信頼できること、コミュニケーション能力、注意深さ、実行力、熱心さ、粘り強さ、決断力、健康、対人能力、学習力・成長力、気配り
HW 求人件数	中程度（100～999）

＜電話線・通信線配線作業員（建物内）＞ 収集数 131

指標	データ
学歴	高卒中心＋大卒
男女比	男性 95.4% 女性 4.6%
平均年齢	44 歳
職業継続年数	16.33 年
現在の組織での就業期間	14.53 年
年収（中央値）	420 万円
雇用形態	正社員 66.4%、非正規社員 13.7%、経営層・自営・フリーランス 19.8%
違う職業に就いたことがある割合	55.7%
主な前職（複数回答があったもの）	電気機械器具営業員、電気・電子・電気通信技術者（開発業務）、一般事務員、営業事務員、企画係事務員、卸売店長、商社営業部員、ホテル・旅館支配人・ペンション経営者、西洋料理調理人、送電線・配電線・通信線架線（敷設）作業員、電気配線工事作業員、配管工
長所	社会貢献、長期継続

必要度が高い態度・能力	責任感、意欲・やる気、ミスがないこと、学習力・成長力、前向きな姿勢、積極性・主体性、注意深さ、集中力、信頼できること、段取りできること、健康、コミュニケーション能力、実行力、粘り強さ、ストレスに強いこと、気配り、機械に強いこと、体力、対人能力、熱心さ、コンピュータスキル、協調性・チームワーク、指導力・統率力・リーダーシップ
HW 求人件数	中程度 (100~999)

<電気配線工事作業員（建物内）> 収集数 148

指標	データ
学歴	高卒中心+専門卒、大卒
男女比	男性 99.3% 女性 0.7%
平均年齢	46 歳
職業継続年数	19.11 年
現在の組織での就業期間	15.62 年
年収（中央値）	400 万円
雇用形態	正社員 68.9%、非正規社員 4.1%、経営層・自営・フリーランス 27.0%
違う職業に就いたことがある割合	54.7%
主な前職（複数回答があったもの）	家庭用電気機器販売店員、機械技術者（開発業務）、電気通信装置据付・保守作業員、配管工、電気・電子・電気通信技術者（開発業務：設計）、建築施工管理技術者、小売店長、身の回り品販売店員、飲食料品営業員、海上自衛官、ルート集配員
長所	充実感・達成感、社会貢献、長期継続
必要度が高い態度・能力	意欲・やる気、ミスがないこと、責任感、積極性・主体性、前向きな姿勢、体力、集中力、健康、計画性、信頼できること、注意深さ、段取りできること、実行力、熱心さ、粘り強さ、決断力、建築・土木の知識・経験、スタミナ、気配り、学習力・成長力
HW 求人件数	中程度 (100~999)

4. 考察

本章では、実際の職業相談・職業紹介での対応が必要な1つの求職者パターンを想定し、そのニーズに合致しつつ、長期の準備や実務経験なしで現実的に就職可能と考えられる職業を抽出し、当該職業のプロフィール記述を試みた。記述したプロフィールを見ると、第2章で示した収集データの特性と同様、政府統計と比較した場合、平均年齢は

高めで、年収は低めの傾向があるようである。

主な前職については、職業により特定の分野に偏っているものと、多岐に渡る職業から移動してきているものがあった。「入職しやすさ」を一つの指標に取り入れたるが、プロフィール情報を活用する際には更に詳細に求職者の経験等を考慮する必要があると考えられる。

必要度が高い態度・能力については、全体の傾向と同様、各職業の単位でも「意欲・やる気」、「責任感」、「ミスがないこと」、「積極性・主体性」等の基本的な態度というべき項目が多く選択されている。職業特有の知識等についての選択肢が大まかであった面もあるが、職業に従事するのに基本的な態度が重要であることが示されている。

今回のプロフィール記述作業では取り上げなかった、本調査で得られた他の様々な項目についての数値情報を、職業ごとの特徴として分析して記述すると、より情報に厚みが出ると考えられる。また、今後もデータを積み上げていけば、結果の信頼性・妥当性が高まり、一般的なイメージだけでない職業の実像を比較、記述することが可能であり、職業相談・職業紹介の実践に役立つ職業情報を提供していくことができると考えられる。

文 献

労働政策研究・研修機構（2010）. 我が国における職業に関する資格の分析－Web 免許資格調査から－ 労働政策研究報告書 No.121

労働政策研究・研修機構（2013）. 職務の類似性と職業編成－新たな職業編成に向けた予備的検討－ JILPT 資料シリーズ No.116

明治安田生活福祉研究所（2013）. 第7回「結婚・出産に関する調査」結果概要
http://www.myilw.co.jp/life/enquete/07_marriage.html

(参考1)200職業一覧

200職業名	職業細分類等
1 理系研究者	理学研究者、工学研究者、農学・林学・水産学研究者、医学研究者
2 文系研究者	人文科学研究者、社会科学研究者
3 農林水産技術者	農林水産技術者（農業・畜産・林業・水産業の普及指導員など）
4 食品技術者（開発・製造業務）	食品技術者（開発業務）、食品技術者（製造業務）
5 電気・電子・電気通信技術者（開発業務）	電気・電子・電気通信技術者（開発業務：設計）、電気・電子・電気通信技術者（開発業務：設計を除く）
6 機械技術者（開発業務）	機械技術者（開発業務：設計）、機械技術者（開発業務：設計を除く）
7 自動車技術者（開発業務）	自動車技術者（開発業務：設計）、自動車技術者（開発業務：設計を除く）
8 金属技術者（開発・製造業務）	金属製錬・金属材料技術者（開発業務）
9 化学技術者（開発業務）	化学技術者（開発業務）
10 電気・電子・電気通信技術者（製造業務）	電気・電子・電気通信技術者（生産技術業務）、電子・電気・電気通信技術者（製造業務：生産技術を除く）
11 機械技術者（製造業務）	機械技術者（生産技術業務）、機械技術者（製造業務：生産技術を除く）
12 自動車技術者（製造業務）	自動車技術者（生産技術業務）、自動車技術者（製造業務：生産技術を除く）
13 化学技術者（製造業務）	化学技術者（製造業務）、分析化学技術者
14 建築技術者（設計業務）	建築技術者（設計業務）
15 建築施工管理技術者	建築施工管理技術者
16 土木技術者（設計業務）	土木技術者（設計業務）
17 土木施工管理技術者	土木施工管理技術者
18 測量士・測量士補	測量士、測量士補
19 ITアーキテクト	ITアーキテクト
20 プロジェクトマネージャー	情報処理プロジェクトマネージャー
21 Webディレクター	Webディレクター
22 ソフトウェア開発技術者（Web・オープン系）	ソフトウェア開発技術者（Web・オープン系）
23 ソフトウェア開発技術者（組込・制御系）	ソフトウェア開発技術者（組込・制御系）
24 ソフトウェア開発技術者（汎用機系）	ソフトウェア開発技術者（汎用機系）
25 プログラマー	プログラマー
26 システム運用管理者	システム運用管理者（システム・ネットワークの運用・維持・セキュリティ・管理・保守、テクニカルサポートなど）
27 ネットワークエンジニア	通信ネットワーク技術者（サーバ技術者を含む）（ネットワークシステムの設計・構築など）
28 セキュリティエンジニア	セキュリティエンジニア
29 データサイエンティスト	データサイエンティスト
30 セールスエンジニア（ハード、ソフト）	セールスエンジニア（ハード、ソフト）
31 社内SE	社内SE（自社の情報システムの企画、システムの運用など）
32 医師	医師
33 歯科医師	歯科医師
34 薬剤師（調剤業務）	薬剤師（調剤業務）（処方せんにもとづく医薬品の調剤・服薬指導・管理など）
35 看護師・准看護師	看護師、准看護師
36 診療放射線技師	診療放射線技師
37 臨床検査技師（衛生検査技師を含む）	臨床検査技師（衛生検査技師を含む）
38 理学療法士	理学療法士
39 作業療法士	作業療法士
40 歯科衛生士	歯科衛生士
41 栄養士・管理栄養士	栄養士、管理栄養士
42 臨床心理士（病院）	臨床心理士（病院）
43 治験コーディネーター	治験コーディネーター
44 老人福祉施設専門員	老人福祉施設専門員（生活相談員など）
45 障害者福祉施設専門員	障害者福祉施設専門員（職業指導員、生活支援員など）
46 保育士	保育士
47 介護支援専門員（ケアマネージャー）	介護支援専門員（ケアマネージャー）
48 医療ソーシャルワーカー（MSW、PSW）	医療ソーシャルワーカー（MSW、PSW）
49 税理士	税理士
50 金融専門職	金融専門職（証券アナリスト、ファンドマネージャ、クオンツ、金融商品開発業務など）
51 経営コンサルタント	経営コンサルタント（中小企業診断士など）
52 ファイナンシャル・プランナー	ファイナンシャル・プランナー
53 幼稚園教員	幼稚園教員
54 小学校教員	小学校教員
55 中学校教員	中学校教員
56 高等学校教員	高等学校教員
57 特別支援学校教員	特別支援学校教員
58 大学教員	大学教員
59 専門学校（専修学校・各種学校）教員	専修学校教員、各種学校教員（予備校、服飾、料理、語学、自動車教習所、サポート校など）

200職業名	職業細分類等
60 新聞・雑誌・放送記者・ライター	新聞記者、雑誌記者、テクニカルライター、マニユアルライター、放送記者、スポーツライター、トラベルライター
61 新聞・雑誌・図書編集者	新聞編集者、雑誌編集者、図書編集者
62 映像編集者	映像編集者
63 イラストレーター	イラストレーター
64 グラフィックデザイナー	グラフィックデザイナー（広告、ポスター、包装紙などのデザイン）
65 WEBデザイナー	WEBデザイナー（インターネット上のウェブサイトの制作）
66 写真家（助手含む）	写真家（営業写真家、商業カメラマン、報道カメラマンなど）、写真家助手、カメラマン助手
67 音楽家	音楽家（作曲者、指揮者、演奏家、声楽家など）
68 カウンセラー（学校・職場）	学生カウンセラー、職場カウンセラー
69 学習塾教師	学習塾教師（フランチイズ教室の運営・学習指導を含む）
70 パソコン教室教師	パソコン教室教師
71 リサーチアドミニストレーター	リサーチアドミニストレーター
72 総務事務員	総務事務員（庶務、文書、資産管理、株式関連など）
73 広報事務員	広報事務員
74 人事係・教育・研修係事務員	人事係事務員（採用、評価、給与、福利厚生、労務など）、教育・研修係事務員
75 企画係事務員（商品企画を除く）	企画係事務員（商品企画を除く）（販売促進、販売企画、店舗開発、経営企画、営業企画、イベント企画など）
76 商品企画・商品開発事務員	商品企画・商品開発事務員（新商品の企画・開発）
77 受付係	会社・団体受付係、受付係（会社・団体受付を除く）
78 秘書	秘書
79 コールセンターオペレーター・テレフォンアポインター	コールセンターオペレーター、テレフォンアポインター
80 一般事務員	一般事務員（文書作成、書類整理、帳簿記帳、電話対応、来訪者受付などの各種の事務）
81 医療事務員	医療事務員（医療機関、調剤薬局）
82 法務係事務員	法務係事務員（知的財産権の管理、契約の審査など）
83 法律事務所事務員	法律事務所事務員（法律業務に付随する書類作成、文献調査、資料収集・分析など）
84 学校事務員	学校事務員（総務・人事・財務・福利厚生など学校経営資源の管理）
85 会計・経理事務員	現金出納事務員、銀行窓口事務員、経理事務員、予算係事務員、物品購買事務員、原価計算事務員、見積係員、財務事務員
86 生産・工程管理事務員	生産・工程管理事務員（工場）（原材料・部品の調達、原価管理、工程管理、在庫管理など）
87 商品仕入係事務員（内勤のもの）	商品仕入係事務員（内勤）（販売用商品の仕入れ業務）
88 カウンター係（旅行・宴会・結婚式などの紹介・相談）	カウンター係（旅行・宴会・結婚式などの紹介・相談）（旅行会社カウンター係、ブライダルアドバイザー・ブライダルコーディネーター、ホテル宴会等予約・相談係など）
89 営業事務員	営業事務員
90 貿易事務員	貿易事務員
91 金融事務員	金融事務員（貸付調査、融資、有価証券売買事務など）
92 保険事務員	保険事務員（物損事故調査、損害査定、保険金支払い、郵便局保険窓口など）
93 パソコンオペレーター	パソコンオペレーター（パソコンによる文書作成、データ処理など）
94 データ入力係員	データ入力係員
95 コンビニエンスストア店長（主に販売の仕事に従事するもの）	コンビニエンスストア店長（主に販売の仕事に従事するもの）
96 小売店長（コンビニ以外。主に販売の仕事に従事するもの）	小売店長（主に販売の仕事に従事するもの）（スーパー、家電量販店、ドラッグストア、ホームセンター、衣料品小売店など）
97 ネットショップ責任者（ネットショップ店長）	ネットショップ責任者（ネットショップ店長）
98 レジ係（小売店）	レジ係（小売店）
99 デパート店員	デパート店員
100 コンビニエンスストア店員	コンビニエンスストア店員
101 家庭用電気機器販売店員	家庭用電気機器販売店員（家電量販店、電器店）
102 医薬品登録販売者	医薬品登録販売者
103 ガソリンスタンド販売員	ガソリンスタンド・スタッフ（ガソリン・軽油・灯油の販売、車の点検、洗車など）
104 スーパーマーケット店員	スーパーマーケット店員
105 化粧品販売員	化粧品販売員
106 携帯電話販売員	携帯電話販売員
107 眼鏡販売店員	眼鏡販売店員
108 フラワーショップ店員	フラワーショップ店員
109 ホームセンター店員	ホームセンター店員
110 卸売販売店員	卸売販売店員（飲食料品、魚介・野菜・果物、花き、建築資材、繊維製品、雑貨、書籍、出版など）
111 商品訪問販売員	商品訪問販売員（化粧品、家庭配置薬、布団など）
112 商品仕入営業員（バイヤー）	商品仕入営業員（バイヤー）（外勤：販売用商品の仕入れ）
113 不動産仲介・売買人・営業員	不動産仲介・売買人（店舗での住宅・不動産の仲介・売買）、住宅・不動産営業員
114 保険代理人	保険代理人（保険代理店での保険契約などの代理・媒介）
115 飲食料品営業員	飲食料品営業員
116 化学品営業員（医薬品を除く）	化学品営業員（医薬品を除く）（化粧品、石けん・洗剤、油脂製品、塗料、化学肥料、農業など）
117 医薬情報担当者（MR）、医薬品卸販売担当者（MS）	医薬情報担当者（MR）、医薬品卸販売担当者（MS）
118 一般機械器具営業員	一般機械器具営業員（汎用・生産用・業務用機械器具）
119 電気機械器具営業員	電気機械器具営業員（発送電用電気機器、民生用電気機器、電子応用装置、電気計測器など）
120 自動車営業員	自動車営業員

200職業名	職業細分類等
121 医療機器販売業営業員	医療機器販売業営業員
122 情報システム営業員	情報システム営業員
123 商社営業部員	商社営業部員
124 銀行等渉外係	銀行等渉外係（銀行、信用金庫、信用協同組合など）
125 保険営業員	保険営業員（生命保険・損害保険の募集）
126 印刷営業員	印刷営業員
127 施設介護員（ケアワーカー）	施設介護員（ケアワーカー）
128 訪問介護員（ホームヘルパー）	訪問介護員（ホームヘルパー）
129 看護助手	看護助手
130 歯科助手	歯科助手
131 理容師（見習い含む）	理容師
132 美容師（見習い含む）	美容師
133 日本料理調理人・すし職人	日本料理調理人、すし職人
134 西洋料理調理人（見習い含む）	西洋料理調理人
135 中華料理調理人（見習い含む）	中華料理調理人
136 給食調理人	給食調理人（会社、工場、学校、病院、福祉施設など）
137 調理補助	調理補助
138 レストラン等飲食店の店長（主に調理をする人を除く）	飲食店長（主に接客の仕事に従事するもの）（レストラン）、飲食店長（主に接客の仕事に従事するもの）（ファストフード店（ハンバーガー、丼物、麺、ピザ、ドーナツ等）、居酒屋など）
139 配せん人	配せん人（ホテル・旅館・会館・斎場等での配せん、給仕）
140 ウェイター・ウェイトレス（飲食店ホール係）	ウェイター・ウェイトレス（飲食店ホール係）
141 ホテル・旅館フロント係	ホテル・旅館フロント係
142 ホテル・旅館接客・客室係	ホテル・旅館接客係、ホテル・旅館客室係
143 娯楽場接客係	娯楽場接客係（映画館、劇場、遊園地、ゴルフ場、パチンコ店、ゲームセンターなど）（入場券の販売・改札、座席案内、案内放送など）
144 娯楽場遊戯施設係	娯楽場遊戯施設係（施設・機械の操作、点検、調整、修理など）
145 マンション・アパート・下宿管理人	マンション・アパート・下宿管理人
146 ビル管理人	ビル管理人（受付・清掃・警備・設備管理などのビル全般の管理業務）
147 添乗員・観光案内人（ツアーコンダクター・ガイド）	添乗員（ツアーコンダクター）、観光案内人（旅行・観光ガイド）
148 レンタルショップ店員	物品賃貸人（レンタルショップ、レンタカー営業所、貸衣装店など）
149 学童保育指導員	学童保育指導員（児童館の児童指導員、児童の遊びを指導する者（児童厚生員）を含む）
150 カイロプラクター、整体師、リラクゼーション・スタッフ	カイロプラクター、整体師、リラクゼーション・スタッフ
151 農耕従事者	農耕従事者（稲作、畑作、園芸・工芸作物、ハウス野菜、キノコ栽培など）
152 畜産従事者	畜産従事者（肉牛・乳牛飼育、養豚、養鶏、養蜂など）
153 植木職・造園師	植木職、造園師
154 林業従事者	林業従事者
155 漁労従事者（海藻・貝類採取を含む）	漁労従事者（海藻・貝類採取を含む）（漁労船の船長・航海士・機関士・甲板員を含む）
156 金属材料製造（鉄鋼・非鉄金属）	製鉄工、製鋼工、非鉄金属製錬工
157 鋳物・鍛造・圧延	鋳物製造工、鍛造工、金属熱処理工、圧延工
158 機械加工	汎用金属工作機械工（旋盤、フライス盤、ボール盤、研削盤など）、数値制御金属工作機械工（NC旋盤、NCフライス盤、マシニングセンタ、NC研削盤、NC放電加工機など）
159 金属プレス・鉄工・製缶	金属プレス工、鉄工（建築用鉄骨、船舶鋼板、橋梁などの製作）、製缶工（ボイラー、圧力容器、タンクなどの製作）
160 建築板金・工場板金・自動車板金	建築板金工（金属製の、屋根材・樋・ダクト・外壁材の製作、加工、接合、仕上げ）、工場板金工（金属薄板製の部品・筐体などの製造）、自動車板金工
161 めっき・金属研磨	めっき工（電気めっき、化学めっき、溶融めっき、容射めっき、陽極処理、防せい処理など）、金属研磨工（金属材料・製品のきず取り、研磨、研削）
162 金属製品製造・溶接	くぎ・ばね・金属線製品製造工（くぎ類、ばね、金属製の網、ワイヤーロープ、クリップ、針など）、金属製品製造工（金属製の家具・建具・治工具・金型・刃物・金具など）、金属溶接工（アーク溶接、抵抗溶接、ガス溶接・切断、自動溶接機の運転、レーザー溶接・切断など）
163 化学製品製造	化学製品製造工（化学薬品、合成樹脂、化学繊維、石けん・洗剤、医薬品、化粧品、塗料、塩など）
164 食料品製造	精穀・製粉・調味食品製造工、めん類製造工、パン・菓子製造工、豆腐・こんにやく・ふ製造工、かん詰・びん詰・レトルト食品製造工、乳・乳製品製造工、食肉加工品製造工、水産物加工工、保存食品・冷凍加工食品製造工、弁当・惣菜類製造工、野菜つけ物工、飲料・たばこ製造工
165 繊維製品製造（アパレル等）	紡織工、衣服・繊維製品製造工
166 木製品・紙・紙製品製造	木製品製造工、パルプ・紙・紙製品製造工
167 印刷・製本・DTP作業	印刷・製本作業員、DTPオペレーター
168 プラスチック製品製造	プラスチック製品製造工（原料プラスチックの処理、プラスチックの成形・切削・接合・裁断・塗布など）
169 機械組立（電気機械含む）	はん用・生産用・業務用機械器具組立工（原動機、金属加工機、建設機械、半導体製造装置、業務用冷凍機、機械部品など）、電気機械組立工（発電機、電動機、配電盤・開閉制御機器、電力回路用コンデンサ、変圧器など）、電気通信機械器具組立工（携帯電話、カーナビ、テレビ、ラジオ、交通信号機など）、電子応用機械器具組立工（汎用コンピュータ、パソコン、複合複写機、医療用電子機器など）、民生用電子・電気機械器具組立工（エアコン、洗濯機、冷蔵庫、照明器具、音響機器など）
170 電子機器部品組立	電子機器部品組立工（電子回路用コンデンサ、プリント基板、液晶表示部品、振動子、抵抗器、コイルなど）
171 自動車組立	自動車組立工（フォークリフト・ロードローラー・農耕トラクタなどの特殊自動車、二輪自動車を含む）

200職業名	職業細分類等
172 機械修理	はん用・生産用・業務用機械器具修理工（原動機、金属加工機、建設機械、半導体製造装置、業務用冷凍機など）（生産設備保全工を含む）、電気機械器具修理工（電気機械、電気通信機器、電子応用機器、民生用電子・電気機器など）
173 自動車整備	自動車整備工
174 金属材料・金属加工品検査	金属材料検査工（金属製錬、圧延、鋳物、鍛造、熱処理、伸線など）、金属加工・溶接検査工（金属切削加工、金属研磨、金属プレス、製缶、鉄骨、めっき、板金、金属溶接など）
175 機械器具検査	はん用・生産用・業務用機械器具検査工（原動機、金属加工機、建設機械、半導体製造装置、業務用冷凍機、娯楽機械など）、電気機械器具検査工（電気機械、電気通信機器、電子応用機器、民生用電子・電気機器、半導体製品など）、自動車検査工、鉄道車両・船舶・航空機検査工、計量計測機器・光学機械器具検査工
176 建築塗装	建築塗装工
177 CADオペレーター（建築製図）	CADオペレーター（建築製図）
178 CADオペレーター（機械製図、電気・電子製図）	CADオペレーター（機械製図、電気・電子製図）
179 バス運転士（路線バス）	路線バス運転手（乗合バス、高速バス、観光路線バス、コミュニティバスなど）
180 バス運転士（その他）	貸切バス運転手（貸切観光バス、貸切マイクロバスなど）、送迎バス運転手（スクールバス、シャトルバスなど）
181 タクシー運転手	タクシー運転手（タクシー、ハイヤー、介護タクシー）
182 トラック・トレーラー・タンクローリー運転、自動車陸送	トラック運転手、トレーラートラック運転手、タンクローリー運転手、自動車陸送員（キャリアカー、車載専用車）、産業廃棄物運搬車運転手
183 ダンプカー・コンクリートミキサー車運転手	コンクリートミキサー車運転手、ダンプカー運転手
184 発電員、送電員、変電員、配電員	発電員、送電員、変電員、配電員（発電所・変電所・配電室での発電・送電・変電・配電装置の操作・監視・点検など）、自家用電気係員（工場・ビル・病院などの電気動力室での発電・変電・配電装置の操作・監視・点検など）
185 建設重機オペレーター（ブルドーザー・クレーン等）	クレーン・巻上機運転工、建設用機械車両運転工（掘削機、ショベルカー、ブルドーザ、ロードローラー、くい打機など）、舗装機械運転工（アスファルトフィニッシャー、コンクリートフィニッシャーなど）
186 建築躯体工事作業員（型枠、とび、鉄筋）	型枠大工、とび工（建築とび、取りこわし作業員）、鉄筋工（土木施設の鉄筋コンクリート工事）、鉄筋工（建築物の鉄筋コンクリート工事）
187 大工	大工
188 配管作業員	配管工
189 内装作業員	内装工
190 送電線・配電線・通信線架線作業員	送電線・配電線・通信線架線（敷設）作業員
191 電話線・通信線配線作業員（建物内）	電気通信装置据付・保守作業員（テレビ・ラジオ放送用送信機、中継装置、有線・無線通信用送信機、電話交換機など）
192 電気配線工事作業員（建物内）	電気配線工事作業員
193 建設・土木作業員	建設・土木作業員（建設・土木工事現場の土木作業）、舗装作業員（道路の舗装・補修、道路標識の設置、道路区画線の塗装など）
194 運搬・積降・引越し作業員	運搬作業員（工場、市場、リサイクル品回収など）、積卸作業員（工場、事業場、駅、運送店など）、引越作業員
195 倉庫作業員	倉庫作業員
196 荷物配達員	荷物配達員（宅配便・バイク便・メール便などの配達業務）
197 ルート集配員	ルート集配員（荷物・商品などの配達・回収）
198 ビル・建物清掃員	ビル・建物清掃員
199 ハウスクリーニング作業員	ハウスクリーニング作業員（住宅の水回り設備・換気扇・エアコンなどの清掃）
200 製品包装作業員（包装機械オペレーターを含む）	製品包装作業員（包装機械オペレーターを含む）

(参考2)分析対象とした192職業の比較表

番号	大分類	職業名	職業満足(100点)	現在の職業をずっと続けていきたいと思う(5段階評価)	仕事に充実感や達成感を感じる(5段階評価)	仕事は社会に役立っていると感じる(5段階評価)	自分の職業では年収はおよそ安定している(5段階評価)	学歴区分(注1)	参入障壁(注2)	年収の中央値(万円)	女性比率	平均年齢(歳)	職業継続年数(年)	現在の組織での就業期間(年)	正規労働者の割合	非正規労働者の割合	経営層・フリーの割合	違う職業にいたことがある
1	B-1	理系研究者	65	3.56	3.72	3.55	3.46	1	2	700.00	17.2%	43	13.74	12.23	81.4%	15.2%	3.4%	35.2%
2	B-1	文系研究者	66	3.58	3.84	3.56	3.03	1	2	600.00	28.1%	45	11.57	9.79	64.4%	19.2%	16.4%	52.1%
3	B-1	農林水産技術者	58	3.56	3.49	3.47	3.43	1	2	500.00	16.1%	44	15.99	15.46	81.1%	9.8%	9.1%	35.7%
4	B-1	食品技術者(開発・製造業務)	61	3.31	3.37	3.23	3.27	1	2	435.00	32.0%	41	11.48	11.39	79.3%	15.3%	5.3%	48.7%
5	B-1	電気・電子・電気通信技術者(開発業)	60	3.25	3.32	3.32	3.05	1	2	616.00	5.2%	46	17.98	16.09	89.0%	2.6%	8.4%	29.7%
6	B-1	機械技術者(開発業)	59	3.36	3.45	3.43	3.15	1	2	600.00	2.7%	46	18.03	17.19	91.2%	1.4%	7.4%	42.6%
7	B-1	自動車技術者(開発業)	61	3.38	3.49	3.52	3.49	1	2	600.00	6.0%	40	12.42	13.37	93.3%	5.4%	1.3%	39.6%
8	B-1	金属技術者(開発・製造業務)	58	3.36	3.47	3.38	3.05	1	2	500.00	5.3%	45	16.73	16.50	82.0%	11.3%	6.7%	39.3%
9	B-1	化学技術者(開発業)	61	3.24	3.35	3.44	3.49	1	2	600.00	20.3%	43	13.78	14.39	90.5%	8.1%	1.4%	31.8%
10	B-1	電気・電子・電気通信技術者(製造業)	58	3.10	3.22	3.32	3.03	3	0	550.00	4.6%	46	16.61	17.99	88.2%	7.2%	4.6%	43.8%
11	B-1	機械技術者(製造業)	58	3.20	3.40	3.21	3.28	3	0	500.00	3.3%	44	15.05	15.89	87.4%	6.0%	6.6%	51.0%
12	B-1	自動車技術者(製造業)	56	3.19	3.19	3.19	3.32	3	0	550.00	2.7%	42	14.74	15.66	90.6%	5.4%	4.0%	42.3%
13	B-1	化学技術者(製造業)	61	3.36	3.39	3.37	3.26	1	2	500.00	14.2%	42	11.76	13.68	85.1%	13.5%	1.4%	53.4%
14	B-1	建築技術者(設計業)	62	3.65	3.77	3.75	2.83	3	1	490.00	15.1%	49	21.31	14.67	51.7%	8.1%	40.1%	37.8%
15	B-1	建築施工管理技術者	60	3.42	3.72	3.85	3.17	3	1	500.00	1.3%	50	23.07	14.51	78.2%	11.5%	10.3%	35.9%
16	B-1	土木技術者(設計業)	58	3.39	3.42	3.82	2.93	1	2	600.00	5.3%	47	21.18	15.09	77.6%	4.6%	17.8%	30.3%
17	B-1	土木施工管理技術者	61	3.40	3.71	3.99	3.15	3	1	500.00	1.9%	48	22.38	16.42	88.1%	8.8%	3.1%	31.3%
18	B-1	測量士・測量士補	55	3.08	3.30	3.65	2.89	2	1	400.00	8.3%	46	18.46	13.63	75.9%	10.3%	13.8%	47.6%
19	B-1	ITアーキテクト	60	3.18	3.33	3.26	3.16	1	0	700.00	9.3%	43	14.09	15.76	94.7%	4.6%	0.7%	30.5%
20	B-1	プロジェクトマネー	57	3.07	3.31	3.29	3.15	2	0	700.00	7.9%	45	14.93	16.52	94.7%	3.3%	2.0%	23.0%
21	B-1	Webディレクター	62	3.30	3.80	3.47	2.73	2	0	360.00	22.2%	40	7.48	6.83	51.9%	7.4%	40.7%	77.8%
22	B-1	ソフトウェア開発技術者(WEB・オープン)	55	3.11	3.15	3.14	3.01	2	0	500.00	7.1%	42	14.61	11.36	78.1%	7.1%	14.8%	27.1%
23	B-1	ソフトウェア開発技術者(組込・制御系)	55	3.11	3.31	3.18	2.98	2	0	500.00	5.4%	42	16.59	12.06	89.9%	4.1%	6.1%	30.4%
24	B-1	ソフトウェア開発技術者(汎用機)	53	2.95	3.07	3.13	2.90	2	0	500.00	13.8%	45	20.32	13.92	73.1%	16.6%	10.3%	26.9%
25	B-1	マー	53	3.12	3.36	3.11	2.77	2	0	399.00	18.5%	40	14.30	11.23	69.5%	10.6%	19.9%	30.5%
26	B-1	システム運用管理者	59	3.27	3.16	3.29	3.14	2	0	500.00	8.8%	44	11.39	14.13	85.8%	8.8%	5.4%	54.7%
27	B-1	ネットワークエンジニア	55	3.11	3.25	3.41	3.11	3	0	550.00	5.3%	43	13.05	14.43	82.1%	11.3%	6.6%	42.4%
28	B-1	セキュリティエンジニア	59	3.33	3.38	3.46	3.21	1	0	600.00	7.7%	43	7.77	13.65	86.5%	5.8%	7.7%	59.6%
30	B-1	セールスエンジニア(ソフトウェア)	60	3.18	3.43	3.49	3.06	3	0	540.00	6.8%	43	15.14	14.93	88.4%	4.8%	6.8%	51.0%
31	B-1	社内SE	56	3.27	3.21	3.20	3.27	2	0	500.00	10.3%	43	12.09	12.23	91.8%	6.2%	2.1%	53.4%
32	B-2	医師	71	4.12	3.92	3.97	3.74	1	1	1500.00	11.6%	47	20.20	9.38	70.1%	8.2%	21.8%	5.4%
33	B-2	歯科医師	62	3.84	3.92	4.13	2.78	1	1	730.00	9.5%	49	21.24	16.04	23.8%	6.8%	69.4%	9.5%
34	B-2	薬剤師(調剤業務)	63	3.70	3.51	3.81	3.70	1	1	500.00	52.0%	43	13.88	9.18	77.0%	16.2%	6.8%	34.5%
35	B-2	看護師・准看護師	59	3.64	3.53	3.95	3.72	4	1	400.00	81.6%	42	14.55	9.73	81.6%	17.8%	0.7%	38.8%
36	B-2	診療放射線技師	64	3.91	3.68	4.05	3.76	4	1	550.00	18.4%	44	20.66	15.43	96.1%	3.9%	0.0%	17.1%
37	B-2	臨床検査技師(衛生検査技師を含む)	63	3.66	3.54	4.05	3.56	4	1	430.00	64.2%	42	16.75	13.47	70.9%	27.2%	2.0%	27.2%
38	B-2	理学療法士	68	4.00	4.03	4.17	3.64	4	1	400.00	30.2%	36	11.40	8.48	93.3%	4.7%	2.0%	26.2%
39	B-2	作業療法士	67	3.83	4.06	4.06	3.74	4	1	400.00	63.4%	36	11.35	7.23	91.0%	7.6%	1.4%	28.3%
40	B-2	歯科衛生士	61	3.62	3.77	3.81	3.59	4	1	250.00	100.0%	40	13.57	8.27	61.9%	34.0%	4.1%	36.7%
41	B-2	栄養士・管理栄養士	61	3.63	3.73	3.83	3.38	2	1	300.00	87.1%	37	10.73	8.05	74.8%	23.8%	1.4%	44.2%
42	B-2	臨床心理士(病院)	65	3.92	4.10	3.88	3.12	1	1	350.00	80.0%	38	8.98	7.56	64.0%	32.0%	4.0%	44.0%
44	B-2	老人福祉施設専門員	56	3.44	3.50	3.91	3.37	3	0	300.00	47.6%	43	6.98	6.10	72.8%	25.2%	2.0%	78.9%
45	B-2	障害者福祉施設専門員	57	3.38	3.47	3.83	3.32	3	0	290.00	38.9%	43	8.12	7.79	64.6%	31.9%	3.5%	77.1%
46	B-2	保育士	62	3.58	4.01	4.27	3.30	4	1	200.00	93.8%	42	12.13	8.95	39.7%	59.6%	0.7%	55.5%
47	B-2	介護支援専門員(ケアマネー)	56	3.33	3.65	3.92	3.24	3	1	300.00	59.9%	45	6.07	6.13	81.0%	16.3%	2.7%	87.1%

番号	大分類	職業名	職業満足度(0~100点)	現在の職業をずっと続けていきたいと思う(5段階評価)	仕事に充実感や達成感を感じる(5段階評価)	仕事は社会に役立っていると感じる(5段階評価)	自分の職業では年収はおおよそ安定している(5段階評価)	学歴区分(注1)	参入障壁(注2)	年収の中央値(万円)	女性比率	平均年齢(歳)	職業継続年数(年)	現在の組織での就業期間(年)	正規労働者の割合	非正規労働者の割合	経営層・フリーの割合	違う職業にいたことがある
48	B-2	医療ソーシャルワーカー(MSW)	58	3.43	3.70	3.85	3.17	1	1	350.00	44.3%	37	9.50	7.83	93.0%	6.1%	0.9%	53.9%
49	B-2	税理士	66	3.89	3.95	3.96	3.37	1	1	600.00	21.6%	46	13.86	12.32	55.4%	3.4%	41.2%	59.5%
50	B-2	金融専門職	61	3.58	3.70	3.05	2.83	3	0	600.00	17.1%	43	9.30	8.73	46.6%	11.0%	42.5%	65.8%
51	B-2	経営コンサルタント	68	3.74	4.20	4.13	2.76	1	0	600.00	15.6%	50	10.33	7.99	39.5%	5.4%	55.1%	83.0%
52	B-2	ファイナンシャル・プランナー	63	3.69	3.95	3.90	2.67	3	0	500.00	22.4%	45	8.20	7.60	44.0%	4.5%	51.5%	77.6%
53	B-2	幼稚園教員	67	3.80	4.24	4.19	3.60	4	1	200.00	90.7%	41	8.97	8.48	45.8%	50.8%	3.4%	64.4%
54	B-2	小学校教員	65	3.87	3.83	4.11	3.91	1	1	600.00	38.2%	47	20.72	18.16	88.2%	11.8%	0.0%	25.7%
55	B-2	中学校教員	64	3.86	3.79	4.02	3.91	1	1	630.00	22.5%	47	21.85	18.89	92.7%	7.3%	0.0%	23.2%
56	B-2	員	66	3.92	3.82	3.99	3.89	1	1	655.00	15.1%	47	21.95	17.83	85.5%	13.2%	1.3%	25.7%
57	B-2	特別支援学校教員	67	3.96	3.94	4.05	3.89	1	1	571.00	34.4%	45	14.83	12.72	85.4%	14.6%	0.0%	41.7%
58	B-2	大学教員	70	4.08	3.99	3.81	3.51	1	1	710.00	18.8%	47	12.90	12.00	85.4%	9.0%	5.6%	50.0%
59	B-2	専門学校(専修学校・各種学校)の教員	64	3.58	3.86	3.84	2.87	1	0	280.00	50.3%	45	11.72	9.95	34.6%	31.4%	34.0%	75.8%
60	B-2	新聞・雑誌・放送記者・ライター	59	3.56	3.66	3.51	2.64	3	0	500.00	25.8%	45	15.88	14.20	45.7%	7.3%	47.0%	54.3%
61	B-2	新聞・雑誌・図書編集者	61	3.52	3.93	3.57	2.67	1	0	400.00	46.9%	45	15.07	12.63	51.7%	19.7%	28.6%	55.1%
62	B-2	映像編集者	65	3.59	3.90	3.47	2.76	2	0	400.00	21.6%	41	12.57	10.65	56.9%	3.9%	39.2%	58.8%
63	B-2	イラストレーター	60	4.13	4.30	3.33	1.71	2	0	250.00	56.6%	42	14.25	12.94	6.3%	4.9%	88.8%	70.6%
64	B-2	グラフィックデザイナー	58	3.67	3.99	3.46	2.14	2	0	300.00	41.6%	46	18.90	12.72	33.6%	8.1%	58.4%	60.4%
65	B-2	WEBデザイナー	58	3.17	3.50	3.28	2.44	2	0	300.00	49.0%	39	7.25	6.10	40.0%	17.9%	42.1%	83.4%
66	B-2	写真家(助手含む)	59	3.96	3.99	3.53	2.07	2	0	300.00	14.3%	50	21.51	17.96	19.7%	4.1%	76.2%	55.8%
67	B-2	音楽家	67	4.40	4.46	3.62	1.74	3	0	220.00	49.7%	45	20.42	18.42	8.1%	4.7%	87.2%	40.9%
68	B-2	カウンセラー(学校・職場)	67	3.91	4.14	4.16	2.81	1	0	350.00	50.5%	48	9.17	8.12	27.6%	38.1%	34.3%	78.1%
69	B-2	学習塾教師	63	3.50	4.00	3.88	2.44	3	0	250.00	47.9%	44	10.86	9.52	27.4%	37.0%	35.6%	71.2%
70	B-2	パソコン教室教師	56	3.31	3.77	3.67	2.47	5	0	200.00	46.0%	46	9.30	8.41	26.3%	34.3%	39.4%	87.6%
72	C	総務事務員	57	3.11	2.85	3.04	3.17	3	0	400.00	46.5%	42	9.89	11.85	77.7%	21.0%	1.3%	56.1%
73	C	広報事務員	61	3.27	3.41	3.31	3.44	3	0	400.00	55.1%	40	6.01	10.16	73.5%	25.9%	0.7%	73.5%
74	C	人事係・教育・研修係事務員	60	3.18	3.17	3.17	3.27	3	0	400.00	44.8%	42	8.82	11.98	79.7%	17.5%	2.8%	61.5%
75	C	企画係事務員(商品企画を除く)	59	3.36	3.27	3.34	3.40	3	0	600.00	24.7%	44	10.57	13.90	88.0%	9.3%	2.7%	51.3%
76	C	商品企画・商品開発事務員	59	3.21	3.36	3.26	3.25	1	0	550.00	42.8%	41	8.66	12.14	86.8%	12.5%	0.7%	53.3%
77	C	受付係	64	3.35	3.20	3.27	3.31	3	0	200.00	79.7%	40	6.52	6.89	40.5%	58.1%	1.4%	79.1%
78	C	秘書	63	3.30	3.42	3.34	3.22	2	0	350.00	92.6%	40	8.20	9.07	59.5%	39.2%	1.4%	73.6%
79	C	コールセンターオペレーター・テレフォンアポイン	53	2.81	3.03	3.20	2.95	3	0	230.00	70.1%	41	4.99	5.73	24.8%	74.5%	0.6%	89.2%
80	C	一般事務員	56	3.22	3.00	3.11	3.27	3	0	280.00	72.7%	42	9.81	10.67	62.1%	35.4%	2.5%	65.2%
81	C	医療事務員	63	3.44	3.38	3.54	3.38	3	0	200.00	87.9%	40	8.11	7.00	50.3%	48.3%	1.3%	76.5%
82	C	員	64	3.45	3.51	3.47	3.47	1	2	600.00	22.3%	44	10.68	14.91	89.2%	10.8%	0.0%	57.4%
83	C	法務事務所事務員	64	3.27	3.30	3.58	3.20	3	0	400.00	51.7%	41	10.43	11.12	85.7%	12.9%	1.4%	62.6%
84	C	学校事務員	60	3.60	3.03	3.27	3.45	2	0	450.00	46.3%	42	12.54	12.97	76.5%	23.5%	0.0%	55.0%
85	C	会計・経理事務員	58	3.16	3.12	3.07	3.32	3	0	360.00	50.7%	44	11.17	12.87	80.0%	16.0%	4.0%	68.7%
86	C	生産・工程管理事務員	56	3.11	3.12	3.21	3.21	3	0	500.00	20.3%	45	12.20	16.13	86.1%	12.0%	1.9%	63.3%
87	C	商品仕入係事務員(内勤のもの)	58	3.12	3.18	3.18	3.08	3	0	360.00	44.9%	44	10.23	12.05	70.1%	26.5%	3.4%	72.8%
88	C	カウンター係(旅行・宴会・結婚式などの紹介・相談)	54	3.05	3.52	3.31	3.02	3	0	300.00	70.2%	38	8.88	8.86	65.5%	28.6%	6.0%	63.1%
89	C	営業事務員	57	2.99	3.11	3.20	3.26	3	0	400.00	48.7%	41	9.00	10.95	78.5%	19.0%	2.5%	64.6%
90	C	貿易事務員	63	3.41	3.43	3.43	3.29	2	0	350.00	73.3%	40	8.79	7.13	74.7%	24.7%	0.7%	74.0%
91	C	金融事務員	57	3.28	3.25	3.49	3.40	3	0	500.00	34.0%	43	12.12	13.21	74.1%	25.2%	0.7%	40.1%
92	C	保険事務員	57	3.09	3.13	3.41	3.49	3	0	350.00	60.0%	43	9.73	10.48	62.7%	35.3%	2.0%	72.0%
93	C	パソコンオペレーター	54	2.97	3.19	3.05	2.83	3	0	250.00	68.0%	42	6.63	6.27	25.9%	64.6%	9.5%	83.7%
94	C	データ入力係員	57	2.95	3.13	2.93	2.78	3	0	120.00	78.4%	41	6.13	5.53	12.8%	77.7%	9.5%	83.8%
95	D	コンビニエンスストア店長(主に販売の仕事に従事する)	55	3.08	3.31	3.49	2.75	3	0	370.00	16.1%	44	9.78	10.29	33.3%	18.4%	48.3%	79.3%
96	D	小売店長(コンビニ以外、主に販売の仕事に従事する)	49	3.08	3.21	3.28	2.66	3	0	300.00	17.4%	47	15.77	15.68	35.6%	14.8%	49.7%	72.5%

番号	大分類	職業名	職業満足度(100点)	現在の職業をずっと続けていきたいと思う(5段階評価)	仕事に充実感や達成感を感じる(5段階評価)	仕事は社会に役立っていると感じる(5段階評価)	自分の職業では年収はおおよそ安定している(5段階評価)	学歴区分(注1)	参入障壁(注2)	年収の中央値(万円)	女性比率	平均年齢(歳)	職業継続年数(年)	現在の組織での就業期間(年)	正規労働者の割合	非正規労働者の割合	経営層・フリーの割合	違う職業にいたことがある
97	D	ネットショップ責任者(ネットショップ店長)	52	3.21	3.46	3.38	2.45	3	0	300.00	28.0%	42	6.09	7.50	24.0%	5.3%	70.7%	86.7%
98	D	レン係(小売店)	52	2.61	2.96	2.95	2.88	5	0	120.00	77.3%	41	7.77	8.37	19.3%	66.7%	14.0%	76.0%
99	D	員	56	3.03	3.44	3.26	3.01	5	0	300.00	70.7%	42	11.87	11.63	48.0%	51.3%	0.7%	58.7%
100	D	コンビニエンスストア	53	2.60	2.89	3.07	2.75	5	0	100.00	64.2%	41	5.56	5.03	11.3%	86.8%	2.0%	86.1%
101	D	家庭用電気機器販売店	51	2.88	3.32	3.24	2.56	5	0	300.00	19.6%	46	14.54	13.29	43.1%	37.9%	19.0%	77.1%
102	D	医薬品登録販売者	52	3.24	3.36	3.63	3.05	3	0	200.00	55.1%	42	9.68	10.04	41.2%	44.1%	14.7%	72.8%
103	D	ガソリンスタンド販売	50	2.80	2.84	3.20	2.88	5	0	260.00	10.3%	46	11.88	12.08	49.0%	40.0%	11.0%	82.1%
104	D	スーパーマーケット	49	2.96	2.95	3.25	3.10	3	0	296.50	30.8%	45	11.35	10.64	52.1%	47.3%	0.7%	67.1%
105	D	員	56	3.29	3.73	3.40	3.02	5	0	245.00	90.7%	39	9.58	10.52	31.4%	44.2%	24.4%	74.4%
106	D	携帯電話販売員	53	2.54	3.43	3.35	3.43	5	0	300.00	62.7%	34	6.29	6.60	44.6%	53.0%	2.4%	74.7%
107	D	員	52	3.06	3.09	3.40	2.60	3	0	300.00	26.3%	46	19.06	16.98	46.3%	18.8%	35.0%	53.8%
108	D	フラワーショップ店	63	3.51	3.81	3.46	2.63	5	0	200.00	58.8%	45	13.47	12.85	20.6%	35.3%	44.1%	79.4%
109	D	ホームセンター店員	49	2.93	2.96	3.14	3.10	5	0	150.00	43.4%	43	8.30	7.70	32.8%	67.2%	0.0%	76.2%
110	D	員	50	2.85	3.11	3.00	2.86	5	0	300.00	28.2%	42	12.30	11.96	56.4%	23.5%	20.1%	73.8%
111	D	商品訪問販売員	57	3.57	3.66	3.63	2.55	3	0	300.00	33.8%	49	13.52	13.43	32.3%	15.4%	52.3%	84.6%
112	D	商品仕入営業員(バイヤー)	58	3.12	3.38	3.28	2.87	3	0	400.00	15.3%	45	10.03	11.38	56.9%	5.6%	37.5%	69.4%
113	D	不動産仲介・売買人・営業員	57	3.27	3.52	3.52	2.75	3	0	500.00	14.7%	46	11.75	10.69	68.0%	10.0%	22.0%	64.0%
114	D	保険代理人	54	3.27	3.47	3.67	2.51	3	0	400.00	28.3%	48	13.60	11.46	38.9%	12.4%	48.7%	83.2%
115	D	飲食料品営業員	55	3.06	3.26	3.26	3.12	3	0	450.00	12.1%	44	12.29	12.23	77.2%	12.8%	10.1%	63.1%
116	D	化学品営業員(医薬品を除く)	57	3.27	3.31	3.34	3.26	3	0	530.00	6.7%	43	13.11	13.38	87.9%	4.7%	7.4%	55.7%
117	D	医薬情報担当者(MR)・医薬品卸販売	65	3.70	3.68	3.73	3.53	3	0	800.00	9.5%	42	16.71	14.01	95.9%	2.7%	1.4%	29.3%
118	D	一般機械器具営業員	55	3.21	3.30	3.39	3.21	3	0	500.00	4.1%	45	13.92	14.88	90.3%	4.1%	5.5%	66.9%
119	D	電気機械器具営業員	56	3.01	3.26	3.32	3.04	3	0	600.00	2.7%	46	15.34	15.56	94.6%	3.4%	2.0%	52.3%
120	D	員	52	3.17	3.39	3.39	3.03	3	0	500.00	4.8%	42	14.21	14.64	84.9%	2.1%	13.0%	55.5%
121	D	医療機器販売営業員	58	3.20	3.43	3.80	3.14	3	0	550.00	8.8%	43	13.21	11.69	89.9%	6.8%	3.4%	63.5%
122	D	情報システム営業員	57	3.01	3.42	3.39	3.08	3	0	625.00	9.3%	45	13.34	14.15	89.3%	5.3%	5.3%	53.3%
123	D	員	56	3.13	3.25	3.25	2.99	3	0	450.00	6.7%	44	11.77	11.80	88.7%	4.7%	6.7%	64.0%
124	D	係	54	3.16	3.27	3.42	3.56	2	0	500.00	22.6%	40	12.43	12.75	86.3%	13.7%	0.0%	34.2%
125	D	損害保険会社営業社員(代理店担当)	59	3.29	3.72	3.82	2.56	3	0	400.00	31.1%	46	11.72	10.20	71.6%	7.4%	20.9%	82.4%
126	D	印刷営業員	50	2.85	3.16	3.24	2.77	3	0	450.00	6.2%	44	15.57	13.86	90.4%	2.7%	6.8%	57.5%
127	E	施設介護員(ケアワーカー)	50	3.07	3.37	3.85	3.19	5	0	280.00	40.7%	44	5.67	4.87	70.7%	29.3%	0.0%	88.7%
128	E	訪問介護員(ホームヘルパー)	56	3.26	3.65	3.97	2.73	5	0	164.00	65.3%	47	4.76	4.29	37.3%	59.3%	3.3%	89.3%
129	E	看護助手	55	3.08	3.22	3.63	3.21	5	0	200.00	82.1%	43	6.68	7.26	46.9%	51.7%	1.4%	82.8%
130	E	歯科助手	62	3.32	3.40	3.64	3.31	5	0	140.00	95.6%	38	7.57	7.64	37.4%	58.2%	4.4%	72.5%
131	E	理容師(見習い含む)	60	3.99	3.99	3.84	2.63	4	1	300.00	12.2%	48	27.96	23.95	4.7%	2.0%	93.2%	18.2%
132	E	美容師(見習い含む)	64	3.92	4.19	3.95	2.62	4	1	300.00	46.3%	45	22.99	16.54	18.8%	6.0%	75.2%	35.6%
133	E	日本料理調理人・すし	56	3.48	3.53	3.35	2.70	5	0	300.00	16.8%	45	17.32	14.28	32.9%	12.1%	55.0%	53.7%
134	E	西洋料理調理人(見習い含む)	62	3.70	3.92	3.46	2.64	5	0	300.00	22.6%	44	16.98	10.11	40.4%	16.4%	43.2%	63.7%
135	E	中華料理調理人(見習い含む)	59	3.51	3.67	3.23	2.80	5	0	300.00	13.1%	45	17.85	13.80	31.1%	19.7%	49.2%	60.7%
136	E	給食調理人	56	3.25	3.30	3.58	3.38	5	0	250.00	59.7%	46	8.46	8.06	54.4%	43.0%	2.7%	84.6%
137	E	調理補助	55	2.90	3.06	3.19	2.87	5	0	108.00	64.8%	43	6.20	6.11	15.2%	72.4%	12.4%	85.5%
138	E	レストラン等飲食店の店長(主に調理をする人を除く)	58	3.22	3.58	3.39	2.51	5	0	300.00	50.7%	44	11.64	10.91	27.7%	18.9%	53.4%	81.1%
139	E	配せん人	51	2.69	3.29	3.13	2.63	5	0	150.00	70.2%	43	7.56	7.59	23.1%	65.3%	11.6%	90.1%
140	E	ウエイター・ウェイトレス(飲食店)	56	2.91	3.40	3.18	2.69	5	0	100.00	81.8%	41	7.98	7.54	13.5%	71.6%	14.9%	87.8%
141	E	ホテル・旅館フロント	50	2.91	3.10	3.07	3.10	3	0	260.00	33.3%	41	9.72	8.11	63.2%	34.0%	2.8%	76.4%
142	E	ホテル・旅館接客・客	56	2.82	3.37	3.09	2.95	5	0	200.00	56.9%	42	7.27	6.85	40.8%	54.6%	4.6%	78.5%
143	E	係	50	2.65	2.96	2.68	2.62	5	0	200.00	50.7%	39	8.21	8.63	39.2%	52.7%	8.1%	75.0%

番号	大分類	職業名	職業満足度(0~100点)	現在の職業をずっと続けたらいいと思う(5段階評価)	仕事に充実感や達成感を感じる(5段階評価)	仕事は社会に役立っていると感じる(5段階評価)	自分の職業では年収はおおよそ安定している(5段階評価)	学歴区分(注1)	参入障壁(注2)	年収の中央値(万円)	女性比率	平均年齢(歳)	職業継続年数(年)	現在の組織での就業期間(年)	正規労働者の割合	非正規労働者の割合	経営層・フリーの割合	違う職業にいたことがある
144	E	娯楽場遊戯施設係	56	3.05	3.31	2.90	3.15	3	0	280.00	28.8%	41	8.53	8.00	47.5%	42.4%	10.2%	83.1%
145	E	マンション・アパート・下宿管理	59	3.25	3.02	3.29	3.09	3	0	210.00	12.9%	57	7.52	7.34	17.0%	38.8%	44.2%	95.9%
146	E	ビル管理人	52	3.09	3.00	3.48	3.04	3	0	350.00	4.7%	49	9.55	8.35	70.0%	24.0%	6.0%	86.0%
147	E	添乗員・観光案内人(ツアーコンダクター・ガイド)	57	3.04	3.56	3.36	2.63	3	0	300.00	39.7%	45	10.99	10.65	50.0%	32.2%	17.8%	70.5%
148	E	レンタルショップ店	52	2.90	3.08	3.08	2.78	5	0	300.00	24.8%	44	9.21	9.14	52.9%	27.5%	19.6%	78.4%
149	E	学童保育指導員	57	3.22	3.53	3.77	2.86	2	0	170.00	63.3%	45	7.40	7.46	27.2%	54.4%	18.4%	71.4%
150	E	カイロプラクター、整体師、リラクゼーション・スタッフ	65	3.62	4.03	3.79	2.55	5	0	250.00	55.4%	42	8.30	7.58	16.9%	15.5%	67.6%	87.8%
151	G	農耕従事者	56	3.33	3.54	3.38	2.37	5	0	200.00	16.2%	46	11.92	11.81	11.5%	16.9%	71.6%	76.4%
152	G	畜産従事者	57	3.32	3.64	3.40	2.96	5	0	260.00	28.8%	45	11.18	12.93	41.1%	21.9%	37.0%	71.2%
154	G	林業従事者	54	3.27	3.49	3.46	2.88	3	0	300.00	11.9%	45	10.86	10.61	71.2%	18.6%	10.2%	76.3%
156	H	金属材料製造(鉄鋼・非鉄金属)	56	3.27	3.05	3.16	3.05	5	0	400.00	10.7%	42	11.97	12.64	83.9%	10.7%	5.4%	64.3%
157	H	鋳物・鍛造・圧延	57	3.25	3.33	3.20	3.24	5	0	410.00	6.7%	41	10.73	13.44	88.0%	6.7%	5.3%	72.0%
158	H	機械加工	50	3.14	3.25	3.21	2.86	5	0	360.00	2.7%	45	14.22	15.42	81.0%	9.5%	9.5%	68.7%
159	H	金属プレス・鉄工	50	3.03	3.08	3.09	2.71	5	0	350.00	6.1%	44	13.91	14.93	76.4%	11.5%	12.2%	62.2%
160	H	建築板金・工場板金・自動車板金	54	3.16	3.47	3.37	2.80	5	0	400.00	2.1%	43	15.51	14.97	74.2%	6.2%	19.6%	69.1%
161	H	めっき・金属研磨	49	2.92	2.90	2.96	3.14	5	0	350.00	5.1%	42	11.54	12.22	82.1%	12.8%	5.1%	73.1%
162	H	金属製品製造・溶接	53	3.11	3.27	3.28	2.79	5	0	395.00	5.4%	44	13.98	13.97	77.9%	12.1%	10.1%	66.4%
163	H	造	55	3.16	3.03	3.29	3.26	5	0	450.00	16.8%	43	13.45	13.80	81.9%	16.1%	2.0%	63.8%
164	H	食料品製造	50	2.99	2.93	3.04	2.91	5	0	245.00	33.3%	43	9.01	10.47	44.0%	50.0%	6.0%	76.0%
165	H	繊維製品製造(アパレル等)	50	3.25	3.46	3.06	2.52	5	0	250.00	42.8%	44	14.40	13.55	44.1%	22.8%	33.1%	64.8%
166	H	木製品・紙・紙製製品製造	49	2.84	2.91	3.07	2.85	5	0	300.00	16.4%	45	13.88	14.15	67.1%	18.5%	14.4%	67.8%
167	H	印刷・製本・DIP作業	45	2.87	2.95	2.85	2.82	5	0	360.00	17.6%	44	15.20	14.16	83.0%	11.1%	5.9%	64.7%
168	H	プラスチック製品製造	49	2.94	2.79	2.97	2.90	5	0	360.00	13.0%	44	12.20	13.60	76.7%	19.2%	4.1%	69.9%
169	H	機械組立(電気機械)	53	3.11	3.05	3.34	2.98	5	0	350.00	11.5%	44	13.65	14.04	73.6%	23.0%	3.4%	59.5%
170	H	電子機器部品組立	50	2.86	2.84	3.00	2.72	5	0	365.00	19.0%	42	10.93	12.40	70.7%	27.6%	1.7%	72.4%
171	H	自動車組立	55	3.05	2.89	3.06	3.18	5	0	450.00	9.4%	42	13.47	14.88	71.8%	28.2%	0.0%	61.7%
172	H	機械修理	57	3.17	3.24	3.30	3.05	5	0	500.00	4.8%	45	15.37	16.54	83.0%	10.2%	6.8%	58.5%
173	H	自動車整備	55	3.23	3.41	3.25	2.97	5	0	350.00	3.4%	43	17.58	15.05	61.6%	8.2%	30.1%	47.3%
174	H	金属材料・金属加工	51	3.12	2.90	3.11	2.93	5	0	370.00	16.2%	43	12.86	14.71	79.7%	15.5%	4.7%	61.5%
175	H	査	52	3.04	2.98	3.15	3.08	5	0	400.00	14.8%	43	12.78	14.28	77.9%	21.5%	0.7%	53.7%
178	H	CADオペレーター(機械製図、電気・電子製)	52	3.22	3.47	3.28	2.97	5	0	360.00	19.2%	44	14.40	14.71	74.4%	15.4%	10.3%	51.3%
179	I	バス運転士(路線バ)	51	3.36	2.82	3.65	3.36	5	0	450.00	1.4%	45	12.18	11.97	93.1%	6.9%	0.0%	91.7%
180	I	バス運転士(その他)	60	3.26	3.17	3.50	2.88	5	0	250.00	3.0%	51	6.09	6.14	42.1%	52.6%	5.3%	89.5%
181	I	タクシー運転手	49	3.05	2.99	3.39	2.05	5	0	320.00	2.7%	53	9.76	8.47	80.7%	8.7%	10.7%	96.0%
182	I	トラック・トレーラー・タンクローリー運転・自動	51	2.87	2.93	3.35	2.82	5	0	350.00	2.6%	46	12.24	11.79	82.1%	12.2%	5.8%	84.0%
184	I	発電員、送電員、変電員、配電員	65	3.79	3.42	3.92	3.44	5	0	560.00	3.2%	46	18.47	19.56	85.5%	9.7%	4.8%	37.1%
185	I	建設重機オペレーター(ブルドーザー・ク)	56	3.48	3.29	3.52	2.83	5	0	400.00	3.2%	47	13.90	15.21	82.5%	7.9%	9.5%	82.5%
186	J	建築躯体工事作業員(型枠、とび、鉄筋)	52	2.98	3.46	3.41	2.49	5	0	350.00	8.3%	45	17.53	14.01	63.9%	9.8%	26.3%	74.4%
187	J	大工	58	3.56	3.80	3.71	2.40	5	0	350.00	4.8%	48	21.62	18.30	33.6%	6.8%	59.6%	58.2%
188	J	配管作業員	53	3.19	3.54	3.68	2.83	5	0	400.00	4.0%	45	18.72	14.58	64.4%	3.4%	32.2%	68.5%
189	J	内装作業員	59	3.30	3.58	3.39	2.47	5	0	360.00	5.4%	47	18.61	16.28	40.8%	4.8%	54.4%	64.6%
190	J	送電線・配電線・通信線架線作業	55	3.29	3.25	3.69	3.15	5	0	500.00	2.8%	43	17.83	16.24	87.5%	1.4%	11.1%	48.6%
191	J	電話線・通信線配線作業員(建物)	59	3.21	3.31	3.54	2.98	5	0	420.00	4.6%	44	16.33	14.53	66.4%	13.7%	19.8%	55.7%

番号	大分類	職業名	職業満足度(0~100点)	現在の職業をずっと続けていきたいと思う(5段階評価)	仕事に充実感や達成感を感じる(5段階評価)	仕事は社会に役立っていると感じる(5段階評価)	自分の職業では年収はおおよそ安定している(5段階評価)	学歴区分(注1)	参入障壁(注2)	年収の中央値(万円)	女性比率	平均年齢(歳)	職業継続年数(年)	現在の組織での就業期間(年)	正規労働者の割合	非正規労働者の割合	経営層・フリーの割合	違う職業にいたことがある
192	J	電気配線工事作業員(建物内)	58	3.39	3.55	3.59	2.87	5	0	400.00	0.7%	46	19.11	15.62	68.9%	4.1%	27.0%	54.7%
193	J	建設・土木作業員	56	3.12	3.35	3.71	2.96	5	0	400.00	1.2%	46	19.27	14.89	80.1%	7.5%	12.4%	48.4%
194	K	運搬・積降・引越し	49	2.82	2.90	3.19	2.78	5	0	300.00	6.1%	45	9.12	9.70	52.4%	36.7%	10.9%	83.7%
195	K	倉庫作業員	47	2.75	2.82	3.00	2.84	5	0	200.00	11.6%	42	6.48	6.84	36.1%	61.2%	2.7%	82.3%
196	K	荷物配達員	53	2.85	3.16	3.52	2.80	5	0	200.00	18.9%	45	8.61	8.59	26.4%	50.7%	23.0%	89.9%
197	K	員	51	2.86	2.99	3.18	2.85	5	0	300.00	16.9%	46	7.61	8.08	46.6%	41.2%	12.2%	91.9%
198	K	ビル・建物清掃員	52	2.80	3.11	3.19	3.14	5	0	110.00	62.2%	46	5.79	5.20	17.6%	75.7%	6.8%	86.5%
199	K	ハウスクリーニング	56	2.91	3.68	3.56	2.37	5	0	200.00	34.1%	46	6.68	7.21	22.0%	32.9%	45.1%	87.8%
200	K	作業員(包装機械オペレーターを含む)	47	2.64	2.88	2.96	2.71	5	0	200.00	43.8%	43	6.08	7.04	30.7%	67.2%	2.2%	88.3%
平均値			57	3.28	3.42	3.45	3.01			388.38	30.5%	44	12.57	11.77	61.8%	21.9%	16.2%	61.7%

注1)学歴区分

- 1:大学卒者、大学院修了者が中心になって構成される職業
- 2:大学卒者が中心になり、それに加えて短大卒者と専門学校卒者の多い職業
- 3:大学卒者が中心になり、それに加えて高校卒者の多い職業
- 4:専門学校卒者が中心になり、それに加えて大学卒者、短大卒者の多い職業
- 5:高校卒者が中心になり、それに加えて大学卒者の多い職業

注2)参入障壁

- 0:以下の1, 2に該当しない
- 1:1年以上の準備・講習・訓練で取得する資格が必要
- 2:大学院修了以上の高学歴者が多く就き、かつ教育課程(高校・専門学校・大学等)での専攻分野が入職に強く結びつく

注3)スペースの関係で職業名のコメントが途中までのものがある。切れている部分については第2章「資料1 調査対象職業一覧」を参照のこと。

補章1. 米国と英仏独の政府機関による職業情報 —米国労働省『職業展望ハンドブック』を中心に—

誰しも自分の職業を選ばなくてはならないが、それは簡単に決められるものではない。職業によって、必要な教育や訓練、生涯所得、また、生活や住む場所も変わり、慎重に選ばなくてはならない。いずれの国でも、多くの少年たちは小さなときからの夢を追い、俳優、スポーツ選手、音楽家になりたいと思うが、このような職業は狭き門であり、中々就職できない。需要の少ない職を探すよりも人手が足りない仕事を選ぶことには、社会的なメリットも個人的なメリットもある。経済状況も産業構造もたえず変化しており、やむを得ず何回も転職する人もいる。こうした失業者や転職者が適切な職業訓練を受けることは、再び社会で活躍する第一歩となる。

このようなことから職業情報を生かし、安定した自分に合った職種を見つけるのが重要となる。職業情報は貴重な役割を果たしており、求職者にとってなくてはならないものといえる。ここでは広く利用されている米国労働省の冊子「職業展望ハンドブック」を中心として米国と英仏独における政府機関の職業情報の状況を紹介する。

1. 米国における職業情報 — OOHとO*NET

米国では国民も政府も職業情報の重要性を認識し、多くの資料が提供されている。職業情報は個人のためにも経営者のためにも、政治的な思惑からは独立していることが必要であり、客観的なデータや資料に基づき、公平中立な立場から作成されている。そうした中、幅広く使われてきたのが「職業展望ハンドブック」(Occupational Outlook Handbook、略してOOH) という冊子である。OOHは学生と失業者向けのものであるが、これとは別に、米国労働省による就職支援の資料として、就職支援の専門家のために詳しい情報源となっているO*NET(Occupational Information Network)もある。以下の通り、両方は似ているところもあるが、それぞれの強みと弱みがあり、両立している。

OOHは第二次世界大戦後、復員してきた兵士に職業を紹介する小冊子から始まり、60年以上の歴史がある。OOHの目標は学生や求職者が知りたい情報を分かりやすく伝えることである。例えば、業務内容、雇用数、賃金の水準、雇用の将来展望、関連する団体の連絡先、類似職種などが記述されている。2010年改訂の米国職業分類に含まれた800以上の細分類の職種の中、OOHの全体で約750職種が入っている。OOHでは一つの解説文に複数の職種が紹介されている場合もあるので、数百の解説文には約600職種における詳細な情報がある。残りの約150の職種について詳しい情報はなく、職業の役割、雇用数、賃金または年収の中央値、将来展望、就くために必要な資格・訓練等の情報だけが提供されている。これによって全体としては総雇用数の95%をカバーしている。その他約50の職種ははっきりとした特徴がなく、総雇用数の5%でしかなく、OOHに入れる必要がないとみられている。

OOH の解説は求職者にも就職支援の専門家にも分かりやすいものとなっており、職業の別名で検索できるため、職業分類についての基本知識が必要ではない。もっとも、職業に関する統計を提供するため、OOH も職業分類に基づいて作成されている。OOH の Web サイトは、出版物よりも検索しやすいため、出版物の利用者が減っているが、まだほとんどの学校、図書館、職業紹介機関では出版物が活用されている。

O*NET は 1990 年代から、以前使われていた職業辞典(Dictionary of Occupational Titles、略して DOT) に代わるものとして開発されてきた。米国職業分類に含まれた 800 以上の職種ほぼすべてと、この分類よりも更に細かい職種、全体で約 900 職種について、具体的な能力、必要な知識、向いている興味や価値観等々を共通尺度上で数値化するとともに、課業のデータを提供している(図表 1)。O*NET は出版物ではなくインターネット上のデータベースであり、もっぱらこの Web サイトやそこからダウンロードしたものが活用されている。

障害者に適切な職種を調べている場合は、OOH よりも O*NET の方が適している。業務の中でどのような身体的な能力が必要か簡単に確認できるからである。職業分類番号で職業を探するときには O*NET の方が利用しやすいが、教育訓練の情報は OOH の方が充実している。

米国労働省によると O*NET の運営費は年間 600～650 万米ドル(約 5.8～6.2 億円)となっている。OOH の運営費もほぼ同じと考えられ、OOH は少ない予算で付加価値の高い刊行物を提供しているとよく言われる。

図表 1 O*NET のホームページ



2. OOH の機能と内容更新

OOH は 2 年間に一度情報を更新しており、Web サイトも出版物も新しいものとなる。民間企業は OOH を印刷し、販売しており、費用削減のため政府は現在では OOH を出版していない。職業情報は現状を捉えたものであることが必要であり、更新するために継続して情報収集し、整理し、分析を行っている。

図表 2 が OOH のトップページであるが、学生や求職者、また就職支援の専門家にも使い方はわかりやすい。職業の別名、フリーワード、職業の分野等で検索することができる。最近の機能としてスマートフォンでも職業情報が閲覧できるようになった。カラー写真は新しいものが豊富に提供されているが、他の国の職業情報 Web サイトのような職業における動画は提供されていない。しかし、スペイン語圏出身の労働者が増え、スペイン語版の OOH ホームページも公開されている。

OOH は 2 年ごとに更新しているが、毎回、OOH の作成はおよそ 1 年間半かかる。残りの半年は職業統計、将来展望に関する研究を行い、レポート等を執筆し、業務の手順や手法の

検討を行っている。作業開始年の7月に職業について詳しく調査を始め、各々の分析官が月に2～3職業の解説を更新し、翌年の7月までに文章を完成させる。重要な変更がある場合、作業終了年11月～12月まで文章を変更することもある。作業終了年の2月から11月までに職業別雇用展望が作成され、雇用展望が出来次第、OOHの文章に反映させ12月の公開となる。

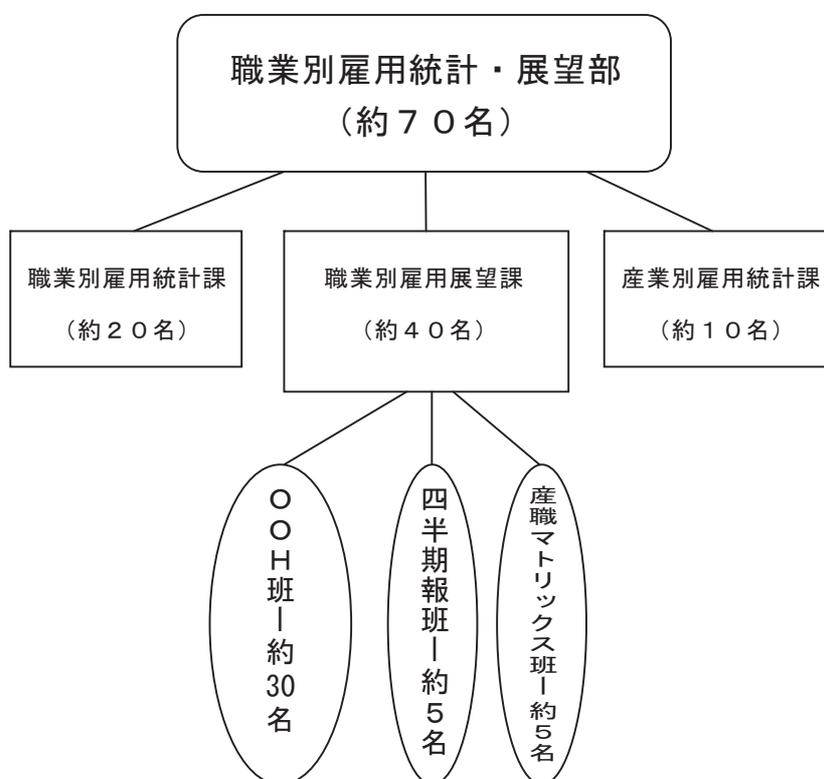
図表2 OOHのホームページ

The screenshot shows the Occupational Outlook Handbook (OOH) homepage. At the top, it displays the United States Department of Labor and Bureau of Labor Statistics logos. The main navigation bar includes links for Home, Subject Areas, Databases & Tools, Publications, Economic Releases, and Beta. Below this, there's a search bar and a list of links for OOH Home, Occupational Finder, OOH FAQ, OOH Glossary, A-Z Index, OOH Site Map, and En Español. The main heading is 'OCCUPATIONAL OUTLOOK HANDBOOK' with a search button. Below the heading, there's a 'Home' section with a welcome message and a QR code. A 'SELECT OCCUPATIONS BY' section allows filtering by 2010 Median Pay, Entry-Level Education, On-the-job Training, Number of New Jobs (Projected), and Growth Rate (Projected). A 'FEATURED OCCUPATION' section highlights 'Architects' with a photo and a link to their profile. There are also sections for 'BROWSE' (Highest Paying, Fastest Growing, Most New Jobs), 'A-Z INDEX', and 'ADDITIONAL INFORMATION'. The footer includes the publication date: Thursday, March 29, 2012.

多くの職種に関して記述等はあまり変わらず、主に最新の統計と雇用展望と訓練情報を更新する。しかし、以前からある職種においても、大きく様変わりするものもあることから、信頼性の高い情報を提供するために、一つひとつ職種を確認し、注意すべき職種を指摘する。

新規の職種について解説を作成するためには、雇用数、賃金・年収の統計が必要不可欠である。労働省労働統計局の職業別雇用統計・展望部は職業別の統計と OOH を含め職業情報を提供している。この部の構成を図表 3 に示しているが、この図の通りいくつかの事業に分かれている。職業別雇用統計課は毎年 2 回の大規模調査を行い、職業別の雇用数と賃金についてデータを提供している。OOH の作成において、職業別雇用統計課が作成する雇用数と賃金のデータが基本となっている。OOH に新規の職種を追加するためには、職業別雇用統計課の調査による雇用数と賃金のデータが必要となる。職業別雇用統計課は新規の職種がある場合、可能な限り早くその推計を連絡し、OOH の解説に反映させる。

図表 3 労働統計局職業別雇用統計・展望部の構成



米国の職業分類は 10 年に一度改定されており、そのときに OOH にも新規職種が多くなる。関心が集まる新規産業は、OOH 関連の定期刊行物に追加される。就職支援の定期刊行物は職業別情報と産業別情報があるが、職業別情報の方が関心を持たれる。産業別情報の定期刊行物は、主に大分類または中分類で区分されており、環境を守る業種を含めて注目される細分類の産業は該当する中分類の産業とともに紹介されている。

外部に委託している業務は少ない。OOH は雇用の将来展望を作成するため、Macroeconomic Advisers 社のマクロモデルを用いている。OOH の Web サイトに対する顧客満足度を把握するためには、ForeSee 社のオンライン調査を用いている。

3. OOHにおける情報の収集と分析

OOHの作成のために、情報収集と分析を分担する必要がある。全体で4名の係長と約20名の分析官がおり、1名の係長の下に5～6名の分析官がいる。この4グループは固定しているわけではないが、例として、①建設、運搬、清掃等の職業、②医療関係専門職、③販売、サービスの職業、④輸送、製造の職業、等の職業の大分類に分かれている。全部で数百の解説を分担し、一名の分析官が10～15の解説のために20～30職種を分析する。できる限り、係長と分析官の経験と希望に沿って分担を決める。教授、医師、看護師等の職種を分析するのは難しく、経験のない者に向いていない。

担当者は経済学を大学で学んだ者であり、少なくとも経済学部学士号を持っている。他の専門分野は重視されないが、昇格のためには経済学部修士号または博士号が有利となる。管理職になるには経営学修士号（MBA）が重視される。

情報収集は主に文献調査と電話でのヒアリング調査である。電話で職業に関する組織やその職業の経験者に連絡する。先方の担当者に合わせ、電話ではなく、電子メールで問合せこともある。職業に関しては教育訓練機関よりも、職業団体または教育訓練を評価する組織の方が中立性の高い情報を与えられる。

訪問することはあまり無いが、ときには団体の担当者と打合せをし、現場を視察することもある。各職業について個別、具体的な事情を収集するため、アンケート調査よりもヒアリング調査の方がふさわしい。団体の担当者から話を聞く場合は、より具体的な内容を聞き出すこともある。また、団体の担当者が自由に話す中に、分析官が質問しなかったことについて情報を得られる。

一つの職業解説のため、2～15名の関係者に連絡する。OOHは2年ごとに更新されるため、2年に一回以上はそれぞれの職業団体に連絡することになる。職業の調査において、定式化された調査票はない。ベテラン分析官と相談し、以前作成した質問、前回の記録等を参考にすることが基本である。関係者に連絡をする時には、どのような情報を求めているかをはっきり伝えるようにしているが、できるだけ関係者の話をよく聞くのが重要である。関係者と話しながらメモをとり、終わってからすぐインタビューの記録を作成する。

対象の組織によって聞く内容は異なるが、多くの場合、下記の内容を重点的に聞く。また、作成した職業解説の校閲を後ほど依頼する。

- ・ 職業に必要な訓練、資格、免許など
- ・ 就職に有利な訓練、資格、免許など
- ・ 職業の趨勢・変動・動向
- ・ 雇用増減の原因に関する特記事項

この他、政府統計以外の、各団体の調査（給料・雇用数・学歴）について尋ねることも有益な場合がある。このような調査結果の中には、団体から情報を頻繁に受け取るものもある。

解説を更新しながら研究ノートを作成する。係長、課長代理はこの原稿と研究ノートを確認する。この他、団体から貰った参考資料を整理保管することも、団体に校閲された解説を受け取り、OOH に反映することも職業分析官の仕事となる。

4. OOH における職業情報の評価と今後

米国労働省はOOHを通して職業情報の提供を50年以上行っており、社会に定着し、なくてはならないものになっている。

OOH の評価に関しては次のように言うことができる。OOH の Web サイトのアクセス件数は膨大である。例えば2012年4月にOOHのWebサイトが新しくなったが、次の月にページビューが約900万件となった。米国労働統計局のWebサイトの中でOOHのアクセス件数が最大となっている。顧客満足度指数（ASCI）も評価が高い（ASCIは官民のWebサイトにおける利用者の満足度を測定するオンライン調査である）。数年前から、労働統計局のASCIの点数はほとんどOOHによるものとなっており、OOHのWebサイトは政府や民間のサイトの平均点数よりも高い点数となっている。他の職業情報を提供するWebサイトを見ると、ほとんどがOOHの情報をそのままコピーしたものとなっている。このことはOOHの情報に価値があることを示している。OOHの情報を利用している民間の出版もかなりの出版数となっている。複数の会社はOOHの表紙だけを替えて冊子を印刷し、販売している。キャリア開発の専門家、スクールカウンセラー、経営者、大学の担当者などが出席する会議では参加者からOOHが高く評価されている。

米国労働省では顧客からの問い合わせが情報システムに蓄積されている。この蓄積からOOHが広く利用されていることがわかる。OOHに関してはフォーカスグループ、ヒアリング調査、ユーザビリティテストをしている。この結果からOOHの強みと改善すべき点が浮き彫りになるが、この結果に基づきOOHは改善されている。OOHで提供している雇用の将来展望に関しても、様々な学問的な検討がされ、有効性が示されている。

以上のように、OOHは広く利用され、高く評価されているが、2年毎の内容更新とともに、色々な検討が加えられ、より良いものになっている。

5. 英仏独における政府等公的機関の職業情報

EU（欧州連合、European Union）内では労働移動が盛んになっているが、国境を越えると職業の特徴が違う可能性がある。職業情報は統一されておらず、現状では各国それぞれのもとなっている。ここでは英国、フランス、ドイツの政府等公的機関が提供している職業情報をみていく。

<英国>

2012年5月より National Careers Service (以下 NCS とする)がサイト Job Profiles として約 750 の職業における基本的な情報を提供している。以前は英国政府のポータルサイト Directgov の中で職業情報が提供されており、その前は、WorkTrain という政府のサイトで職業情報と職業訓練情報を提供していた。図表4のように、Job Profiles では職業名や業務内容からの検索は現在できず、職業の分野から職業を検索する。職業情報の内容としては、どのような仕事か、労働時間、給与と報酬、必要なスキルと向いている職業興味、関連資格、その仕事に就いてから伸ばしていく必要のある能力、関連情報等がある。

Job Profiles とは別に、NCS のホームページでは職業適性や職業訓練の情報が提供されている。また、NCS の Web サイト及び電話相談では年間 37 万人の若者に就職支援を提供している。

図表4 英国NCSのJob Profiles

National Careers Service

Home Career tools **Careers advice** About us

Search this site Search

Lifelong Learning Account
Open an account / Log in

Job profiles

Everything you need to know about jobs...

Find information on **over 750 jobs** and make sure you have the right **skills and qualifications**. You can also find out about **what the work would be like**, the **average salary** you could expect and what the **career prospects** are.

Want to know more? View transcript Watch the video

Useful links

- Plan your career
- Understanding job ads
- Recruitment agencies
- Looking for work online

THERE'S A BUSINESS IN EVERYONE

WHAT'S THE BUSINESS IN YOU?

Want to work for yourself? Find out if there is a Business in You

Apprenticeships
Apply for an Apprenticeship

Find benefits information, jobs, or make a claim online
jobcentreplus
Department for Work and Pensions

Job profile search

Enter a job name or sector

Alternatively select from the list below

Administrative and clerical	Manufacturing and engineering
Alternative therapies	Marketing, selling and advertising
Animals, plants and land	Medical technology
Arts, crafts and design	Medicine and nursing
Catering services	Performing arts, broadcast and media
Construction	Publishing and journalism
Education and training	Retail sales and customer service
Environmental sciences	Science and research
Financial services	Security and uniformed services
General and personal services	Social services
Information technology and information management	Sport, leisure and tourism
Legal services	Storage, dispatching and delivery
Maintenance, service and repair	Transport
Management and planning	

Want to be a...?

- Primary school teacher
- Teaching assistant
- Care assistant
- Sales assistant
- Nursery nurse

Can't see the career you're after? Search over 700 job profiles.

<フランス>

フランスでは Pôle Emploi（雇用局）が ROME（Répertoire Opérationnel des Métiers et des Emplois：職業雇用実用リスト）として、職業情報を提供している。全体では職名の類語を含め約 1 万の職務が、約 500 の職業解説にまとめられている。Pôle Emploi は ANPE（Agence Nationale pour l'Emploi：国家雇用局）と Assédic（Association pour l'Emploi dans l'Industrie et le Commerce：産業・商務雇用連合）の結合された機関である。ROME は 2002 年より ANPE の Web サイトで提供されていたが、それ以前は印刷物であり（フランス国立文書館発行）、フランス全土の職業紹介機関で利用されていた。

ROME ではフリーワード、コンピテンシー、職業分野、テーマ、ROME コード（アルファベット 1 文字と 4 桁の数字）から職業を検索できる（図表 5）。各職業の情報としては、職業名と別名、職業の定義、一般的な労働条件、学歴・経験、能力や適性、具体的な活動（課業リスト）等が提供されている。類似職種は主に積んできた経験により移動しやすい職種と、再訓練及び積んできた経験により移動できる職種に分けられている。

図表 5 フランスROMEのトップ画面

Les fiches métiers Aide ?

Répertoire Opérationnel des Métiers et des Emplois (ROME)

Les fiches emploi/métier vous permettent de mieux connaître les métiers tels que nous les décrivons pour effectuer les rapprochements entre les offres d'emploi et les demandes d'emploi. (pour plus d'information consulter l'aide ?)

Rechercher une fiche métier

Par métier (ex. : maître nageur)

Par compétences

Par domaine professionnel

Par thème

Par code ROME

Lancer la recherche

ROME はフランス全土の職業紹介機関で利用されており、労働市場において求職者、求人企業、また紹介関係者の共通言語ともなっている。ROME は職業紹介機関における実務のために導入されたが、総合的な能力評価、就職指導のサイトとして、就職や転職を支援する専門家向けの情報も拡充してきている。

ROME は一般求職者や行政職員向けであるが、学生、若者向けの職業情報として ONISEP（Office National d'Information sur les Enseignements et les Professions：教育職業情報局）は別のサイトを用意している（図表 6）。ここでは約 800 の職業について、ど

のような仕事か、必要なスキル、活躍の場所、雇用や給与の状況、就くには、教育訓練機関、関連情報等が示されている。職業を動画でも紹介している（onisep.TV）。

図表6 フランスの学生・若者向けの職業情報サイト（ONISEP）

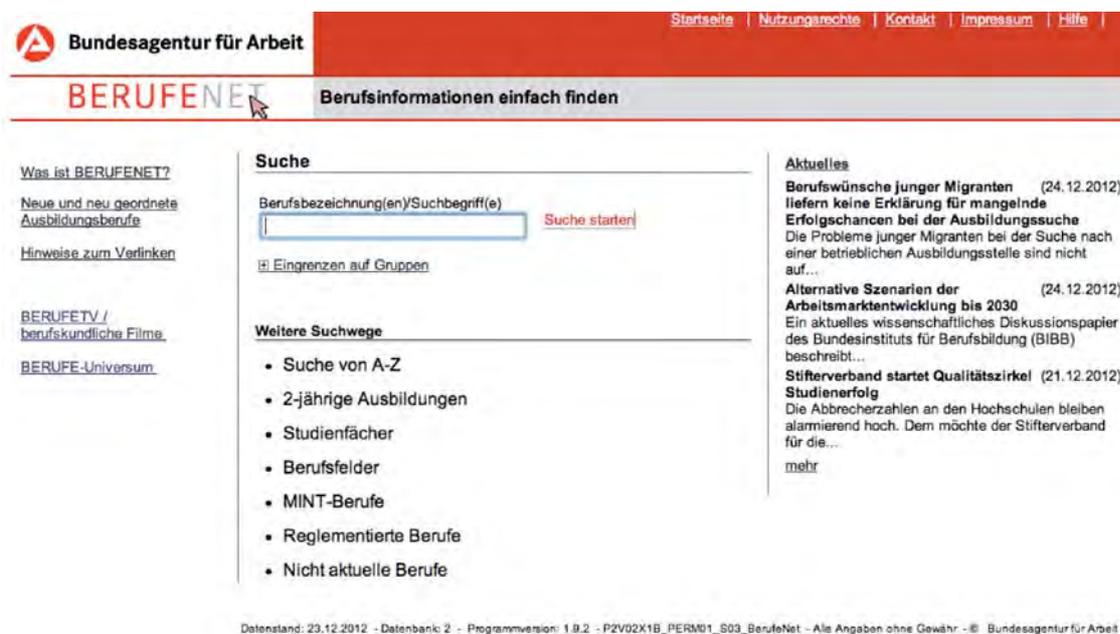


<ドイツ>

ドイツにおいては連邦雇用庁（Bundesagentur für Arbeit）が職業情報を収集、分析し、Webサイト BerufeNet として提供している（図表7）。BerufeNet では123 専門職、3,100 職務について、解説、課業、参入条件、収入や雇用機会等の情報が提供されている。解説では文字情報とともに、写真や動画情報も提供されている。検索としては、フリーワード検索、職業分野からの検索、取得した教育訓練からの検索が用意されている。細かい職業情報の修正は毎月行われているが、2年に一度全面的な見直しが行われる。

ドイツ連邦雇用庁は BerufeNet とは別に職業の動画サイト BerufeTV も提供している。また、ドイツ連邦雇用庁では学生（13 歳から 17 歳）向けのキャリアガイダンスのためのサイトも用意している。

図表7 ドイツ BerufeNet の画面



6. 職業情報の内容—システムエンジニアを例として

システムエンジニアと言う職種は数十年前から注目を集めてきた。ITの時代では効率的に情報技術を活用するために、欠かせない技術者である。最初は、職務の内容がはっきりとされていなかったが、近年先進国の職業分類に含まれているので、正確な情報が提供できるようになってきた。現在、日本を初め、欧米など世界的に能力の高いシステムエンジニアが不足していると思われる。若者及び転職者に細かい情報を提供すれば、通常親しみがない職種について認識が深まり、システムエンジニアと言う職業を目指す人々が増え、システムエンジニアの専門性が高まると考えられる。

日本：ハローワークインターネットサービスでは、厚生労働省の職業解説の案内が提供され、システムエンジニアは、ITアーキテクト、ITコンサルタント、ITスペシャリスト、セールス、ソフトウェア開発、プロジェクトマネージャーの六つの専門分野に分けて解説されている。

例として、「システムエンジニア（ソフトウェア開発）」の解説は下記のとおりである。

どんな職業か

顧客の求めに応じて、利用可能なハードウェアとソフトウェアから、様々な情報システムの設計と開発を行うのがシステムエンジニアである。システムエンジニアには色々な仕事があるが、ソフトウェア開発は、どんなソフトウェアが求められているかのマーケティング等に基づき、会計パッケージソフトなど様々な業務処理を行う一般的に流通しているソフトウェア製品、ネットワークやデータベースに関係するソフトウェア製品、Windowsなどコンピュータの基本ソフト(OS:オペレーティングシステム)などを企画・設計・開発する。また、音楽や映像に関するソフトウェアの開発を行う者もいる。

システムエンジニア(ソフトウェア開発)が開発するソフトウェアは、分野により基本ソフト、ミドルソフト、応用ソフトに区分される。基本ソフトはコンピュータシステム全体を管理する基本ソフトウェア(OS:オペレーティングシステム)であり、ミドルソフトはデータベース管理、ネットワーク管理などのソフトウェアであるが、システムエンジニア(ソフトウェア開発)はこれらソフトウェアのモジュールの開発や日本語版開発、カスタマイズ、技術支援を行う。応用ソフトは、業務パッケージ(ERP、CRMなどを含む)など特定の目的または領域で、情報システムを利用した業務改革や作業の効率化などを支援するソフトウェアであるが、この設計・開発及び技術支援を行う。

他社の製品と比較したり、販売数を予測して、開発可能かを検討する。開発が決定されると、効率的に開発する方法を考え、ソフトウェアを作成する。テストや性能試験を行い、必要であれば修正等を行う。開発終了後は問題点を分析し、次の開発に役立てる。

就くには

一般的な学歴は大卒以上であり、情報工学やコンピュータに関する技術と知識を身につけている者が有利であるが、文系出身者もいる。

プログラムの開発や製品のテスト、モジュール開発等の経験を積んでからシステム全体の設計に携わるのが一般的である。設計には技術的な知識や経験だけではなく、ソフトウェアが用いられる業務に関する知識、技術動向や通信環境等の変化に対する知識も必要とされる。

特に免許や資格は必要ないが、技術士(情報工学部門)試験、情報処理技術者試験等が定期的実施されている。ITスキル標準により職種とレベルが定義されており、キャリアアップの指針となっている。

経験が浅いうちはソフトウェアの設計に基づき、モジュールの開発などを担当する。経験を積んだ後、ソフトウェア製品開発のチームリーダーを勤めたり、開発全体をマネジメントするようになる。

コンピュータは変化が激しいので新しい技術を評価できる基礎的な知識や能力、習得するための積極性・柔軟性および新技術を製品化する企画力が求められる。グループで作業することが多いため、人間関係の維持や自分の主張を的確に表現できるコミュニケーション能力も必要である。

労働条件の特徴

ソフトウェア開発会社でオペレーティングシステムやミドルソフトを開発する部署、ソフトウェア販売会社でプログラムを開発する部署で働く。ソフトウェア開発会社は都市部に多かったが、最近はネットワーク環境の整備などから事業所を地方に設けることも多い。打ち合わせのために客先に向くこともあるが、通常は自分の会社内で働くことが多い。

働く時間、休日、休暇などに特徴はないが、フレックス制の適用など時間帯への制約は少なくなる傾向にある。開発段階でトラブル等が見つかった場合は、調査や修正のために休日や深夜に作業することもある。また、製品の納期が近くなると忙しくなることも多い。

20歳代後半から30歳代が中心で、男性の方が多い傾向がある。開発はリーダーを中心に数人から数十人のチームで行うことが多く、一人一人がネットワークでつながれたコンピュータを使用して作業を行う。

労働需要は安定している。

参考情報

関連団体 社団法人 情報サービス産業協会
関連資格 情報処理技術者

解説の中、画像は提供されていないが、一般的な就職方法は図表で説明されている。開発するソフトウェアの種類、就くために必要な能力と知識、昇格するために有利な資格と経験、職場の環境、労働時間、就業者の特徴、労働需要の状況、参考になる団体は説明されている。

米国：様々な技術者とIT専門家の別名はシステムエンジニアであるが、米国職業分類の

体系の中で、日本の「システムエンジニア（ソフトウェア開発）」に最も類似する職種はシステムソフトウェアのソフトウェア開発者（番号 15-1133）である。主な業務内容はコンピュータの基本ソフトウェア（OS：オペレーティングシステム）、ネットワーク配信などを設計し、開発することである。

O*NETによると、環境問題を解決するために、この職種は重要な役割を果たすと期待されているので、公的機関と民間企業が以前よりも環境問題に取り組む中で、労働需要が強まり、「グリーン」な職種と決定された。さらに、雇用の成長率が高く、求人数が多くなると予測されたので、「明るい展望」のある職種と指定された。O*NETでは、課業、活用する道具・技術、知識、能力、作業、心理的な項目が統一した尺度上で数値化されており、一見して職種の各側面が調べやすい。例として、重要な業務は従来のソフトウェアの改善であり、主要な道具がコンピュータ製品で、コンピュータにおける知識が必要不可欠で、問題解決能力とコミュニケーション能力が求められ、こまめな労働者に向いている仕事である。関連職種は同じ中分類職業に区分されたコンピュータ職業のみである。O*NETは労働統計局職業別雇用統計課の統計とOOHの雇用展望を反映し、OOHのWebサイトに載っている「ソフトウェア開発者」の解説へのリンクを提供しており、OOHと密接な関係がある。O*NETでは、画像は掲載されていないが、OOHでは職業の写真が提供されている。

下記はOOHに紹介された基本的なデータである。

□雇用数は2010年の392,300から2020年までに519,400に増加すると予測。

—つまり、10年間の成長率は約32%、全職業の成長率（14%）の倍となる。

□年収は2010年5月に94,180米ドル（約894万円）。

—全職業の33,840米ドル（約321万円）の年収を超えている。

□就くには情報工学部、工学部、数学部などの学士号が重要である。

金融機関・医療施設などでコンピュータと情報技術の普及とともにサイバー攻撃への対策に関心が集まり、ソフトウェア開発者の労働需要が強まり、2020年までに雇用数は急成長する見込みがある。さらに、携帯電話と家電製品を含めてソフトウェアを要する電気機器が広がり、システムソフトウェアを開発できる専門家は以前よりも必要となっていく。

関連職業はO*NETより豊富で、簡潔に比較するためにコンピュータハードウェア技術者、数学者、管理職等の職業についても基本的な情報が見られる。学士号をとらないにもかかわらず、コンピュータの業界に興味を持っている労働者のために、専門学校で資格をとれるコンピュータサポートの職業について基本的なデータも提供している。

英国：イギリスのNCSでは、ソフトウェア開発者について解説がある。解説には写真が含まれている。

イギリスでは、ソフトウェア開発者の別名はプログラマーであるが、日本と米国では、プログラマーはソフトウェア開発者と別の職業である。日本の場合には、ソフトウェア開発者

はプログラムを書くことができるが、主要な業務は情報システムの設計である。日本のプログラマーはシステムエンジニアの指導を受け、プログラムを書くだけである。イギリスの場合に、ソフトウェア開発者はプログラマーと一緒にいる。コンピュータ言語能力は必要不可欠であり、特に SQL、C++、XML、Java、Visual Basic、Oracle、Linux、ASP などを熟練するのが有利である。

基本のデータは下記のとおりである。

- 労働時間は週に 37～40 時間。
- 未経験者の年収はおよそ 2 万ポンド（約 288 万円）以上。
- 管理職以外、経験者の年収はおよそ 4 万ポンド（約 576 万円）まで上る。
- 専門学校、短期大学、または大学によるコンピュータ関係の資格は必要。

関連している教育機関を紹介するホームページへのリンクがある。他の国と違って、参考になる団体の中、大手会社へのリンクが提供されている。他の国では中立的な機関だけの情報を公表する。

解説の後半は情報通信の産業に関する重要な情報である。通信・放送産業では 150 万人の労働者が勤めている。10 年後の将来予測によると、毎年 2.5%成長率が見込まれている。通信・放送産業の労働者は主にロンドンまたは東南部で活躍している。

フランス：フランスの ROME ホームページによると、コンピュータシステムエンジニアは IT コンサルタントであるが、ソフトウェア開発者はイギリスのようにプログラマーと一緒にいる。就くには工学部の修士号またはオペレーティングシステム、ソフトウェアアプリケーション開発の実務経験が求められている。情報通信専門用語における英語能力が必要である。業務内容と基本知識が説明されている。関連職業にはコンサルタント、電気通信の研究開発、ウェブマスターなどが含まれる。

フランスの ONISEP ホームページでは、システムエンジニアの解説がソフトウェア開発者の解説と別のものである。システムエンジニアはソフトウェアとハードウェアの専門家であるが、ソフトウェア開発者はイギリスのようにプログラマーと一緒にいる。画像だけではなく、ソフトウェア開発者の解説の中、3 分間の動画が掲載されている（図表 8）。

図表8 フランスの ONISEP によるソフトウェア開発者の動画



基本のデータは下記のとおりである。

- 新入社員は平均で月に2～2.5千ユーロ（約25～31万円）を稼げる。
- 年間、6,500求人しか出ないので、就職機会が限られている。

大学卒または大学院卒は数年間の実務経験を積んでから就職できる。海外で働く可能性もある。経験が豊富なソフトウェア開発者はプロジェクトマネージャー、コンサルタント、セールスの技術者になれる。関連する教育機関へのリンク集も、経験者からの実話も提供されている。

ドイツ：ドイツの BerufeNet ではシステムエンジニアという職業はソフトウェア開発者と別の職業である。なお、ソフトウェア開発者という職業はプログラマーと一緒にではなく、別々に紹介されている。ソフトウェア開発者の解説では、多くの写真が技術者の日常作業を描いている（図表9）。ソフトウェアの説明書を作成し、システムの試行を実施し、データベース管理の改善案を書き、利用者のために研修を行うこともある。

図表9 ドイツのBerufeNetによるソフトウェア開発者の画像



基本的な統計は少ないが、月給は経験によるが約 2,932～3,315 ユーロ（約 36～41 万円）というデータがある。

就くには、情報通信学部またはソフトウェア工学部の学士号、修士号をとるのが有利だが、プログラマー、データベース開発者等の職業で実務経験を積んでから就職することもある。教育機関や業界の雑誌へのリンクを提供する。

各国が職業情報を充実させれば、給料と就職の条件と雇用の将来予測を比較することが可能になる。国境を越える労働者には重要な情報になると考えられる。

7. 各国政府の職業情報

以上見てきたように各国政府は職業情報を開発し提供している。米国では労働省、英国は NCS、フランスは Pôle Emploi（雇用局）、ドイツは連邦雇用庁がネット上で職業情報を提供している（図表 10）。米国では OOH と O*NET の二つがあるが、この二つは相互に補完しており、特に O*NET のスキル、知識、仕事環境、職業興味、価値観等、職業の各側面

を統一した尺度上で数値化している点は他にない特徴となっている。

図表 10 各国政府の職業情報

	米国 (OOH)	米国 (O*NET)	英国 (Job Profiles)	フランス (ROME)	フランス (ONISEP)	ドイツ (BERUFENET)
収録職業数 (概数)	750職業(内150 は簡略情報)	900職業	750職業	500職業	800職業	123職業 3100職務
職業分類 との関係	リンク先にある	○	—	○	—	○
職業の解説	○	△ 課業一覧	○	○	○	○
職業の写真	○	—	△ 多くない	—	○	△ 多くない
職業の動画	—	—	—	—	○	○
職業の従業者数	○	OOHの情報を 反映	—	—	○	リンク先にある
賃金・年収	○	OOHの情報を 反映	○	—	△ 初任給	△ 無い場合もある
就くには	○	△ 詳しくない	○	○	○	○
一般的な 学歴・資格	○	—	—	—	—	—
労働時間	○	—	○	—	—	—
類似の職業	○	○	○	○	—	○
職業の将来展望	○	OOHの情報を 反映	—	—	—	—
関連する産業の 情報	○	—	○	—	○	—
産業の将来に 関する情報	○	OOHの情報を 反映	○	—	—	—
能力、指向性他 各側面の数値化	—	○	—	—	—	—

英国、フランス、ドイツの職業情報は、米国とは異なり統計情報が重視されておらず、雇用・賃金統計がないものもある。また、雇用の増減に関する予測（職業の将来展望）も示されていない。将来展望がないと求職者が資格を取得したり、訓練を受けたにも関わらず、就職できない職種を選ぶことも考えられる。この他、英国とフランスのサイトは職業と産業の関係を示しており、ドイツのサイトは職業と訓練情報の関係に重点を置いている。

日本では、以前 OOH を手本として職業ハンドブックを提供し、O*NET のようなインターネット上に公開されたデータベースも作成したが、現在欧米の職業情報 Web サイトに匹敵するものは厚生労働省の職業解説ホームページである(図表 11)。400 職種において業務、必要な資格と訓練、労働条件、関連団体の情報は紹介されているが、就業者数や賃金の水準

の情報は乏しい。写真も動画も掲載されていない。

図表 11 厚生労働省の職業解説ホームページ

The screenshot shows the 'HelloWork Internet Service' website. The main content area is titled '職業分類・職業解説に関するご案内' (Guidance on Occupational Classification and Occupational Description). It features several sections:

- 厚生労働省編職業分類 (平成23年改定)** (Ministry of Health, Labour and Welfare Occupational Classification, Revised Heisei 23): A section explaining the classification system, its integration with the Japanese Standard Occupational Classification, and its use for job matching and career guidance.
- 職業分類の説明** (Explanation of Occupational Classification): A list of links for '分類の考え方' (Classification Concept), '分類構造' (Classification Structure), '職業名の列示' (Listing of Occupational Names), '職業の決定方法' (Method of Determining Occupations), and '日本標準職業分類との違い' (Difference from Japanese Standard Occupational Classification).
- 職業解説** (Occupational Description): A section providing detailed descriptions for approximately 400 occupations, including their content and working conditions. It also includes links for '50音順検索' (Search by 50 Sounds) and '職業分野別検索' (Search by Occupational Field).

A sidebar on the right contains a '職業分類メニュー' (Occupational Classification Menu) with links to the main page, the classification system, an explanation, 50-sound search, field-based search, and an index.

欧州委員会 (European Commission) の HP によると、EU として共通のスキル、適性、資格、職業分類を開発しており、2013年公開予定である。EU内での労働移動が活発化している現在、職業分類や職業名、職業の内容に関しても共通化が重要となっているのであろう。将来的には EU 共通の職業情報が提供されると考えられる。

文 献

労働政策研究・研修機構 (2011). 総合的職業情報データベースの研究開発

労働政策研究・研修機構資料シリーズ No.86

英国経営活性化・能力省 Web サイト (2012 年 5 月)

<https://www.gov.uk/government/organisations/department-for-business-innovation-skills>

厚生労働省編職業分類・職業解説の案内 (2011 年 3 月)

https://www.hellowork.go.jp/info/mhlw_job_info.html

欧州委員会の雇用・社会問題・一体性総局 Web サイト (2013 年 5 月閲覧)

<http://ec.europa.eu/social/>

関連 Web サイト

米国 O*NET 開発センター (U.S. Department of Labor, Employment and Training Administration, National Center for O*NET Development, O*NET Resource Center) : <http://www.onetcenter.org/>

米国労働省 O*NET ホームページ (U.S. Department of Labor, Employment and Training Administration, O*NET Online) : <http://www.onetonline.org/>

米国労働省『職業展望ハンドブック 2012-13 年版』(Bureau of Labor Statistics, U.S. Department of Labor, Occupational Outlook Handbook, 2012-13 Edition) : <http://www.bls.gov/ooh/>

スペイン語版:<http://www.bls.gov/es/ooh/>

英国 National Careers Service

<https://nationalcareersservice.direct.gov.uk/advice/planning/jobfamily/Pages/default.aspx>

フランス雇用局(Pôle Emploi)ROME(Répertoire Opérationnel des Métiers et des Emplois)
<http://www2.pole-emploi.fr/espacecandidat/romeligne/RliIndex.do>

フランス教育職業情報局 ONISEP (Office National d'Information sur les Enseignements et les Professions)
<http://www.onisep.fr/Decouvrir-les-metiers>

ドイツ連邦雇用庁(Bundesagentur für Arbeit) BerufeNet

<http://berufenet.arbeitsagentur.de/berufe/index.jsp>

補章2. 欧米の職業別雇用予測とインプリケーション

職業別雇用予測は失業対策として将来性のある職種を示し、学生と求職者には大きな手助けとなっている。ここでは、この米国労働省の産業・職業別雇用予測と、英、仏、独における同様の雇用予測がどのようなものか報告する。また、国際機関による雇用予測も紹介する。最後にインプリケーションを述べる。

1. 米国における雇用展望

米国労働省労働統計局は2年ごとに産業・職業別中期雇用展望を作成している。就職等に役立つよう、細かいレベルの職業の雇用数を、10年後どう変わるか示している。求職者や学生にどの職種の雇用数が急に増加するか、どの職種で求人が大きく増加するか示し、職業を選ぶ際の参考となるようにしている。

(1) 雇用展望の実例

米国労働統計局の2010～20年職業別展望によると、雇用数が増えるのは、医療系、営業職、事務職であり、常に募集している代表的な職種といえる（図表1）。高齢化が進み、高齢者が増えてくるので、高齢者の生活を支える職業への需要が高まるとも見込まれている。増加率の高い職種には、高齢者を自宅で介護する介護職と先端技術を生かす生物医学技術者、また、様々な分野の助手が入っている（図表2）。費用削減のため、労働費の低い助手を以前よりも活用する傾向が示されている。

図表1 米国で増加数が多い職種上位10：2010～20年

雇用数・増加数の単位は千名

職種	2010年雇用数 (実数)	2020年雇用数 (予測)	増加数	増加率(%)	必要な学歴
看護師	2,737.4	3,449.3	711.9	26.0	短期大学卒
販売店員	4,261.6	4,968.4	706.8	16.6	高校卒未満
在宅介護者	1,017.7	1,723.9	706.3	69.4	高校卒未満
ホームヘルパー	861.0	1,468.0	607.0	70.5	高校卒未満
一般事務員	2,950.7	3,440.2	489.5	16.6	高校卒
ファストフードなどの調理・接客	2,682.1	3,080.1	398.0	14.8	高校卒未満
カスタマーサービス事務員	2,187.3	2,525.6	338.4	15.5	高校卒
トラック運転手	1,604.8	1,934.9	330.1	20.6	高校卒
運搬作業員	2,068.2	2,387.3	319.1	15.4	高校卒未満
大学教員	1,756.0	2,061.7	305.7	17.4	博士号

図表2 米国で増加率が高い職種上位10：2010～20年

雇用数・増加数の単位は千名

職種	2010年雇用数 (実数)	2020年雇用数 (予測)	増加数	増加率(%)	必要な学歴
ホームヘルパー	861.0	1,468.0	607.0	70.5	高校卒未満
在宅介護者	1,017.7	1,723.9	706.3	69.4	高校卒未満
生物医学技術者	15.7	25.4	9.7	61.7	大学卒
石工の助手	29.4	47.0	17.6	60.1	高校卒未満
大工の助手	46.5	72.4	25.9	55.7	高校卒未満
獣医の付属職員	80.2	121.9	41.7	52.0	短期大学卒
鉄板作業者	19.1	28.4	9.3	48.6	高校卒
リハビリの助手	67.4	98.2	30.8	45.7	短期大学卒
配管工の助手	57.9	84.2	26.3	45.4	高校卒
催事の担当者	71.6	102.9	31.3	43.7	大学卒

なお、新しい技術の導入及び自動化の影響により、農家や郵便局の事務員は最も減少する職種となっている。このような職種に入るのは困難になると予測されている。

増加数の多い職種と増加率の高い職種は将来性があると考えられるが、定着率が低い職種の場合には、増加数が少なくても、数多くの離職者を補充するため求人が多く、入りやすい職種といえる。総職業雇用数は2010年から2020年までに2千万以上増える（増加率14.8%）が、離職者を交代するための求人数は3千万以上になる。

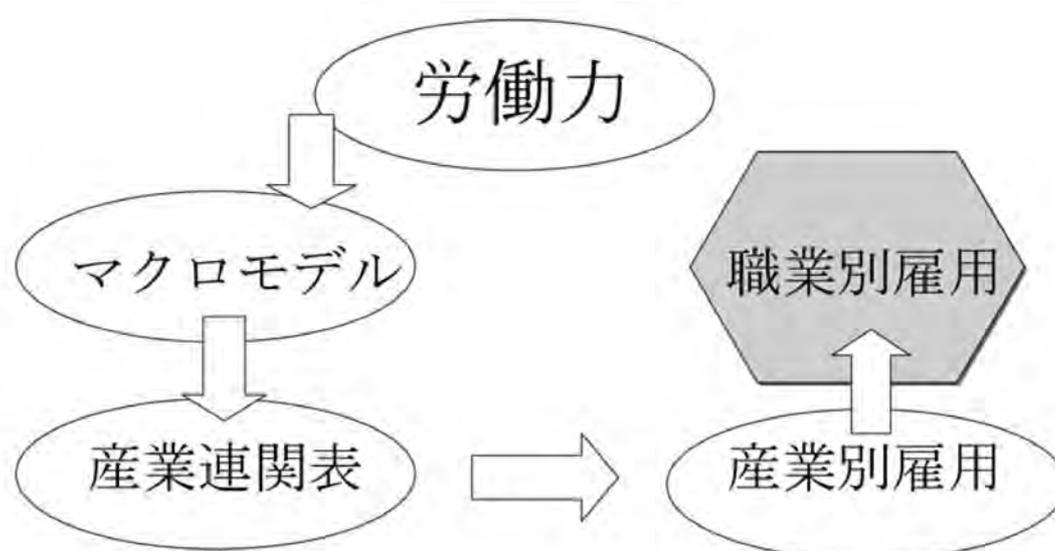
アメリカの主要な雇用調査には、企業を対象とする大規模な調査（以下「企業調査」）と家庭を対象とする大規模な調査（以下「家庭調査」）の二つがある。企業調査は事業所から雇用数のデータを集め、家庭調査は個人から就業者人数のデータを集める。企業調査は雇用保険に入っている事業所しか含まれないが、家庭調査は個人を対象としているため、雇用保険に入っていない就労者についての情報も得られる。副業をしている就業者は一つ以上の仕事をしているため、企業調査が報告する雇用数は家庭調査の雇用保険に入っている就業者人数より少し多い。産業・職業別雇用展望を作成するために、両方の調査結果を用いる。企業調査の雇用数に家庭調査による雇用保険に入っていない就業者数を加え、総合的な雇用数が計算されている。つまり、雇用展望は就業者数の予測ではなく、雇用数の予測となる。

（2）作成過程

このような雇用展望の作成過程を図表3に示した。産業・職業別雇用展望を作成するために、まずは労働力の大きさを予測する必要がある。労働市場の規模を把握するために、商務省国勢調査局の人口予測を用い、入手できる調査データから、人種・年齢・性別労働力率の推移を予想し、労働力の予測を計算する。マクロモデルにより、経済成長を代表する国内総生産とその内訳、失業率、インフレのそれぞれのマクロ経済指標を予想する。国内総生産を最終需要とすれば、商務省の産業連関表を用い、各々の産業別産出量を推計する。過去の調査データを生か

し、産業別平均労働時間と生産性を予測し、産業別雇用展望を計算する。産業・職業別雇用マトリックスを作成し、各産業の中の職業別雇用の分布を考慮し、200以上の産業構成の変化を予測し、700以上の職種の趨勢を参考にし、職業別雇用展望を作る。この結果を徹底的に検討し、職業団体の代表者と相談し、問題点を指摘し、6～7回、この過程を繰り返し、信頼性の高い展望を決定する。

図表3 米国労働統計局職業別雇用統計・展望部による
産業・職業別雇用展望の仕組み



(3) 現在までの評価

展望を評価するのは重要な作業である。予測された年度となり、実際の調査データが入手できるとすぐに、過去の展望を評価し、結果を報告する。最新の評価は Wyatt (2010) により、1996～2006年の予測期間を振り返ったものである。基本として用いた国勢調査局の労働人口予測が実数より少なく、住宅等の不動産及び石油の高騰を予測できず、当たり外れが発生していた。しかし、米国労働統計局のモデルは単に過去の10年間の職業別雇用データのみに基づいたモデルよりも的中していた。各職業の予測された雇用数と実数を比べる以外に、各職業の雇用構成比の予測を評価することもできる。非類似指数 (dissimilarity index) は構成比の予測がどの程度外れたかを見る指標である。各職業の実際の構成比を ρ 、構成比の予測を ν とすれば、数式は下記のとおりである。

$$\text{非類似指数} = \frac{1}{2} * \sum_{i=1}^N (\rho - \nu)$$

構成比の予測と実際の構成比との違いが大きい場合に、非類似指数の水準は高い。1996～2006年の間に、職業分類が大きく変わり、すべての職種を評価できないが、数百職種の雇用構成比の予測を実際の数値と比べると、非類似指数は4.2%と言う結果になり、水準が低いと言われている。

2. 英・仏・独の政府機関他による雇用予測

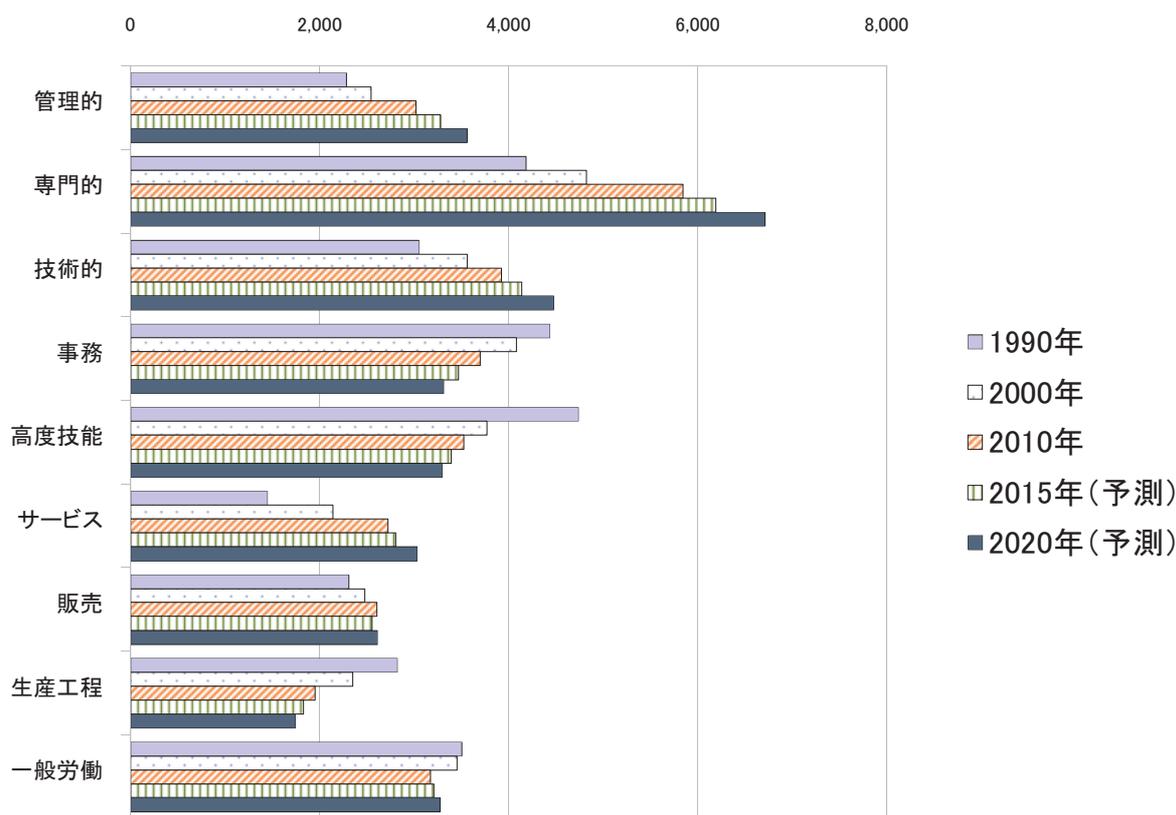
各国の政府機関、研究機関、欧州委員会も雇用予測を作成している。社会保障の問題を把握するために失業予測もある。

イギリスにおける雇用予測は Homenidou&Wilson (2012) に紹介されている。英国雇用・技能委員会の連携機関は2010～20年の期間において、産業・職業別雇用予測を行っている。職業分類の中分類で予測しており、性別雇用展望もある。アメリカの場合には細分類までの職業展望を提供するが、主要な職業雇用調査データには性別情報が出ないので、性別雇用展望を作成しない。職業の細かいレベルまで分析していないイギリスの機関では、雇用予測の作成に従事する専門家の人数はアメリカより少ないと考えられる。

イギリスでは数十年に渡って雇用数の伸びが続き、2020年までに人口と経済の成長によって、雇用数の増加が150万になる。加えて、退職と転職による求人は1,200万に上っており、これも注目すべき見通しである。管理職、専門職等は増え続けるが、事務職の雇用数は低下すると予測されている（図表4）。大学卒業者及び大学院卒業者が入る仕事は増えて行くが、そちらの職業の成長率は以前の予測を下回ると見込まれている。

図表4 イギリスの大分類職業別雇用数の推移：1990～2020年

単位：千名



イギリスでも、就業者数の予測ではなく、雇用数の予測となる。

ドイツでは雇用数は複数のデータソースから計算されるため、遅延があり公開までに約70日かかる。このギャップを埋めるため、Gaggermeier (2006) は利用可能なデータを用い、3ヶ月の期間にわたって労働者数や社会保険料の受給数を予測した。失業保険において被保険者数、失業者数、企業からの新規受注の期待などを変数として、短期的な指標を示すモデルを作成した。これらの指標モデルは、雇用の開発を説明するが、純粋な自己回帰モデルの予測は、部分的に、経済指標を改善できる。

フランスでは失業予測を公開している。Landré (2012) によると、2012年の初めに被保険失業者は123,300人であったが、年末までに140,500人に上ると見込まれている。

欧州委員会の2013年冬期経済予測によると (欧州委員会,2013)、イギリスの雇用成長率は2013年にわずか0.5%、2014年に1.1%になるが、ドイツとフランスの成長の方が鈍い (図表5)。失業率は2014年までフランスは高いが、ドイツとイギリスでやや低下すると見込まれている。

図表5 欧州委員会の2013年冬期経済予測

単位：%

	イギリス		ドイツ		フランス	
	雇用成長率	失業率	雇用成長率	失業率	雇用成長率	失業率
2013年	0.5	8.0	0.1	5.7	0.0	10.7
2014年	1.1	7.8	0.3	5.6	0.5	11.0

3. 国際機関による雇用予測情報

国連は人口及び経済予測を報告しているが、雇用予測は提供していない (国連,2010)。国際労働機関 (ILO) は2012年4月の世界雇用展望で、2012～16年の各地域の失業率を予測している。経済協力開発機構は2012年雇用アウトックという報告書で失業率の予測を紹介しているが、予測期間は特定されていない (OECD,2012)。

マンパワーグループは3ヶ月ごとに世界の42カ国の企業を対象として、雇用予測調査を行い、結果を報告している (マンパワーグループ,2012)。企業は該当する四半期にわたって増員するか減員するか回答し、「金融・保険・不動産」、「製造」、「鉱工業・建設」、「公共・教育」、「サービス」、「運輸・公益」、「卸・小売」の7業種における純雇用予測が計算されている。純雇用予測は、調査結果の「増員する」と回答した企業数の割合 (%) から「減員する」と回答した企業数の割合 (%) を引いた値である。

2013年第1四半期に、純雇用予測 (季節調整値) は米国で12%、イギリスで6%、ドイツで5%、フランスで-1%、日本で11%としている。日本では公共、教育以外の企業が増員する傾向を示している。

4. 日本の従業者数の将来予測

労働政策研究・研修機構は2000年に産業別・職業別従業者の将来予測を提供している。1970～95年の国勢調査データを用い、2000年、2005年、2010年の産業中分類別と職業小分類別従業者予測を作成している。例として、人文・社会科学系研究者の推移を図表6に示した。

図表6 人文・社会科学系研究者の従業者数の推移：1970～2010年

単位：千人

年度	1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000 予測	2005 予測	2010 予測
人文・社会科学系 研究者	2	2	2	3	6	8	9	10	10

予測と実際をみると、2005年の国勢調査では、この職種は実際は10,000人ではなく6,000人であった。2005年の総従業者数は6,504万人と予測されたが、実際には5,202万人であった。労働者の規模の外れ、他の要因も加わり、この職種は過大に予測されたといえる。

従業者数将来予測を再度作成することは、求職者や転職者への手助けとなるが、経済のグローバル化等に伴い、個別職業毎の将来予測は難しくなっている（松本,2013）。しかしながら、過去からの動向を検討することにより、職業の雇用の趨勢について手がかりが得られることも考えられる。

1975年に採択された国際労働機関の第150号、人的資源開発の勧告では、職業情報として職業選択、職業訓練、雇用予測を対象とすべきとしている（下記下線部分）。この第150号は、2004年の人的資源開発勧告（第195号）に代わられているが、この中でも将来予測の必要性が述べられている（下記下線部分）。

2000年12月に日本労働研究機構が行った個人調査の結果によると、職業選択時に重視する情報は主に仕事の内容と労働条件であるが、男性の4割、女性の約3割が職業の将来性に関心を持っていた。同時に行った企業調査の結果によると、企業の約8割が社内外の人材流動化、人材の最適配置のために必要となる情報は、今後の動向、将来展望であると回答している。

以上のように、職業別雇用展望を通して職業の成長性や安定性について示唆を与えることは、求職者に有益な情報を提供できることになる。

1975年の人的資源開発勧告（第150号）

正式名：人的資源の開発における職業指導及び職業訓練に関する勧告

X I 調査

6 8 加盟国は、次のことを目的とする調査計画及び実験計画のための措置をとるべきである。

- (a) 特定の経済活動部門及び住民層に係る職業指導及び職業訓練の開発に関し、優先順位を定め、かつ、戦略を策定するための基準の決定
- (b) 各種の経済活動部門及び職業における雇用機会の決定及び予測
- (c) 職業指導及び職業訓練の心理学的、社会学的及び教育学的側面の知識の増大
- (d) 職業指導及び職業訓練の制度の個々の構成要素の内部的機能及び外部に対する効果の評価
- (e) 職業指導及び職業訓練を提供する各種の方式及び方法の直接的及び間接的な費用及び利点の決定
- (f) 関係のある住民のため、才能の確認、適性及び興味の評価並びに職業訓練を通じて到達した知識及び技能の水準の評価のための心理学的検査及び他の方法を改善すること。
- (g) 職業及びその要件に関する利用し得る情報の増大

2004年の人的資源開発勧告（第195号）

正式名：人的資源の開発（教育、訓練及び生涯学習）に関する勧告

1 9 加盟国は、社会的パートナーと協議の上、データ収集が企業に及ぼす影響を考慮して、次の人的資源の開発及び訓練に関する研究を支援し、及び発展させるべきである。

- (a) 学習及び訓練方法（訓練における情報通信技術の使用を含む。）
- (b) 技能認定及び資格認定の枠組み
- (c) 人的資源の開発及び訓練のための政策、戦略及び枠組み
- (d) 訓練への投資及び訓練の効果及び影響
- (e) 労働市場における能力及び資格に対する需要供給傾向の特定、測定及び予測
- (f) 訓練及び教育を受けられることに対する障害の特定及び解決
- (g) 能力評価における性別による偏りの特定及び解決
- (h) 政策、調査及び使用可能なデータに関する報告及び文書の作成、刊行及び周知

5. まとめ

以上のように、職業別雇用展望を通して職業の成長性や安定性について示唆を与えることは、求職者に有益な情報を提供できることになる。各国の政府機関による雇用調査の方法及びデータは一致しないので、雇用予測も相違点が多い。予測期間も、産業分類と職業分類も、業種・職種の範囲も、雇用の単位も、予測方法も国によって異なる。どの国でも、より詳しい雇用予

測を提供すれば、求職者は将来性のある職業を目指し、効率的に訓練・資格・教育を受けると考えられる。総職業雇用数があまり増加しないと予測されているドイツ・フランス・日本では、増加数の多い職種と増加数の少ない職種を指摘するのは、必要以上の失業を解決するカギであろう。

文 献

米国労働統計局職業別雇用展望課ホームページ（2013年3月10日閲覧）：

<http://www.bls.gov/emp/>

Wyatt, Ian. “Evaluating the 1996-2006 employment projections.” Monthly Labor Review, September 2010: <http://www.bls.gov/opub/mlr/2010/09/art3exc.htm>

Homenidou, K. and Wilson, R.A. “Working Futures 2010-2020.” Warwick Institute for Employment Research, August 2012:

<http://www.ukces.org.uk/assets/ukces/docs/publications/evidence-report-41-working-futures-2010-2020.pdf>

Gaggermeier, Christian. “Indikatoren-Modelle zur Kurzfrist-prognose der Beschäftigten in Deutschland.” IAB Forschungsbericht, Bundesagentur für Arbeit, 2006.6:

<http://doku.iab.de/forschungsbericht/2006/fb0606.pdf>

Landré, Marc. “L'Unedic revoit ses prévisions pour l'emploi à la baisse.” Le Figaro, 2010.1.20

欧州委員会（2013）. 経済予測 インターネット：

http://ec.europa.eu/economy_finance/eu/forecasts/2013_winter_forecast_en.htm

マンパワーグループ（2012）. マンパワー雇用予測調査：2013年第1四半期（1－3月期）結果発表 2012年12月11日 インターネット：

http://www.manpowergroup.jp/navi/press/121211_001.html

国際連合（2010）. 世界経済状況と見通し2011年 ニューヨーク、インターネット：

http://www.un.org/esa/policy/wess/wesp2011files/wesp2011_prerelease1.pdf

ILO—国際労働機関（2012）. 世界雇用展望、2012年4月予測 インターネット：

http://www.ilo.org/wcmsp5/groups/public/---ed_emp/---emp_elm/---trends/documents/publication/wcms_179663.pdf

OECD—経済協力開発機構（2012）. 雇用アウトルック インターネット：

<http://www.oecd.emb-japan.go.jp/>

日本労働研究機構（2000）. 産業別・職業別就業者数の将来予測報告書 東京：

<http://www.jil.go.jp/kokunai/statistics/sansyoku/sansyoku.html>

松本安彦（2013）. 職業研究をめぐって—漱石の空想から ビジネスレーバートレンド 2月号

労働政策研究・研修機構（2011）. 総合的職業情報データベースの研究開発 労働政策研究・

研修機構資料シリーズ No.86

JILPT 資料シリーズ No.135

職業の現状と動向

— 職業動向調査（就業者Web調査）結果 —

発行年月日 2014年3月28日

編集・発行 独立行政法人 労働政策研究・研修機構

〒177-8502 東京都練馬区上石神井4-8-23

（照会先） 研究調整部研究調整課 TEL：03-5991-5104

印刷・製本 大東印刷工業株式会社

© 2014 JILPT

* 資料シリーズはホームページでも全文を提供しております。(URL:<http://www.jil.go.jp/>)